

第6回 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会

日時：令和5年6月29日（木）午前10時から

場所：小田原市役所7階 大会議室

1 地域包括支援センターの運営について

【報告事項】

- (1) 令和4年度（2022年度）地域包括支援センター運営状況……………資料1、別冊1
- (2) 地域包括支援センター運営事業 令和4年度（2022年度）運営評価、
令和5年度（2023年度）活動計画……………資料2、別冊2-1～2-2

2 おだわら高齢者福祉介護計画について

【報告事項】

- (1) 第8期おだわら高齢者福祉介護計画の進捗状況……………資料3
- (2) 介護事業所アンケート集計結果報告……………資料4
- (3) 在宅介護実態調査集計結果報告……………資料5

【協議事項】

- (1) 第9期おだわら高齢者福祉介護計画について……………資料6、7、8

3 事業所等指定について

【協議事項】

- (1) 地域密着型サービス事業所等の新規指定等について……………資料9

4 その他

※ 第7回会議は、8/31（木）午前（時間未定） 市役所7階大会議室で開催予定

【資料一覧】

- 資料1 地域包括支援センター運営状況の概要（令和4年度）
資料2 地域包括支援センター運営事業 令和4年度運営評価と令和5年度活動計画の概要
資料3 第8期おだわら高齢者福祉介護計画 令和4年度進捗状況
資料4 「おだわら高齢者福祉介護計画」に関する市内事業所アンケート集計結果
資料5 在宅介護実態調査報告書（概要版）
追加資料1 報告事項の課題の整理【追加作成】
資料6 第9期おだわら高齢者福祉介護計画・推進委員会スケジュールについて
資料7 第9期おだわら高齢者福祉介護計画・基本的事項について
資料8 第9期おだわら高齢者福祉介護計画・構成等について【追加作成】
資料9 介護保険事業所の新規指定等について
資料10 意見・質問等記入用紙

【別冊資料一覧】

- 別冊1 地域包括支援センターの運営状況（令和4年度）
別冊2-1 地域包括支援センター運営評価（令和4年度）
別冊2-2 地域包括支援センター活動計画（令和5年度）
別冊5-1 在宅介護実態調査報告書（令和4年度）

地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー
運 営 状 況 の 概 要 （ 令 和 4 年 度 ）

地域包括支援センター運営状況の概要

(平成30年度～令和4年度)

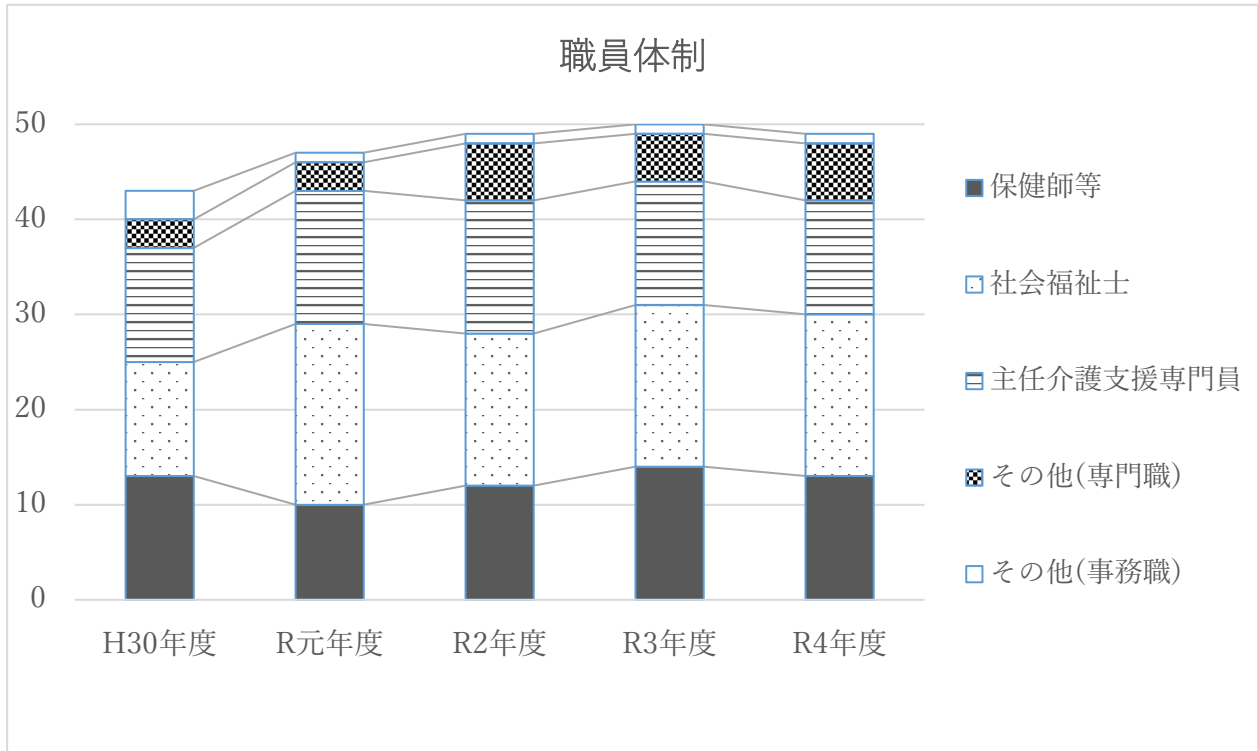
1 地域包括支援センターの運営体制と基盤的業務

(1) 職員体制 (当該年度末時点)

○地域包括センターによっては、職員体制（1包括センター当たり4人）を維持できない状態が長期化する傾向にある。《別冊1・1ページ参照》

(単位：人)

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----------|-------|------|------|------|------|
| 保健師等 | 13 | 10 | 12 | 14 | 13 |
| 社会福祉士 | 12 | 19 | 16 | 17 | 17 |
| 主任介護支援専門員 | 12 | 14 | 14 | 13 | 12 |
| その他(専門職) | 3 | 3 | 6 | 5 | 6 |
| その他(事務職) | 3 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 合計 | 43 | 47 | 49 | 50 | 49 |



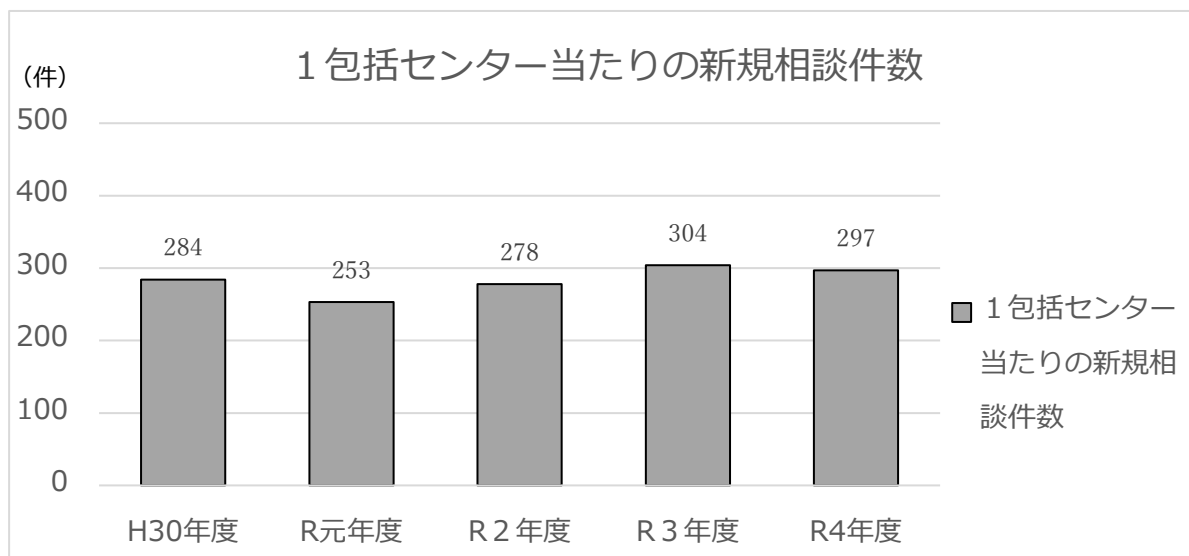
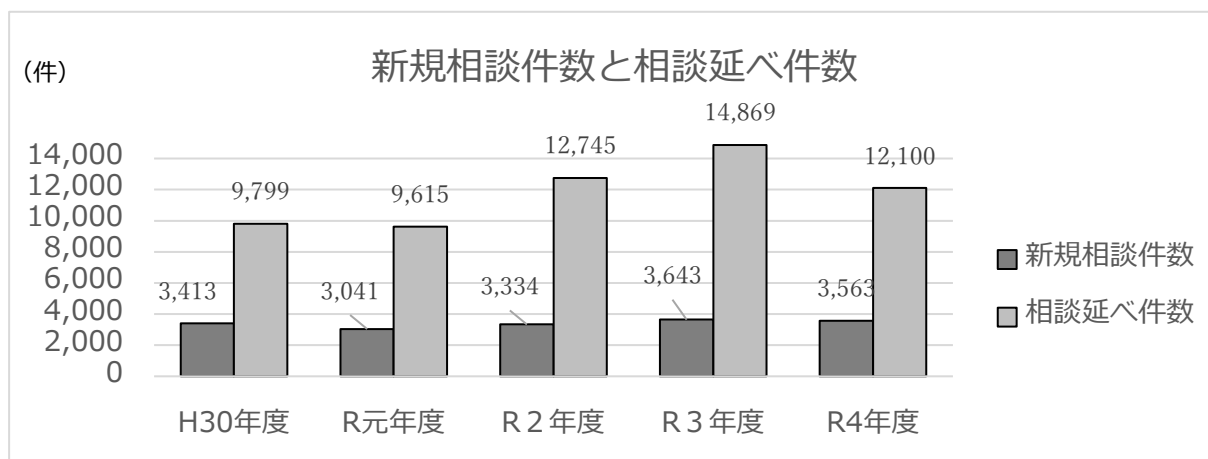
2 総合相談支援事業

- 令和4年度の新規相談件数はそれ以前と概ね同規模で推移。
- 相談延べ件数は、令和3年度に対して減少した。新型コロナウイルス感染症による社会様態の変化が落ち着いたことが背景か。相談内容の割合は令和3年度と比較し、大きな変化はない。
- 1件の相談の課題が複雑複合化しており、対応する時間や職員数が増大しており、業務負担となっている。
- ➡令和5年度より重層的支援体制整備事業を実施。複合化する相談の対応強化を図る。

(1) 相談件数の推移

(単位：件)

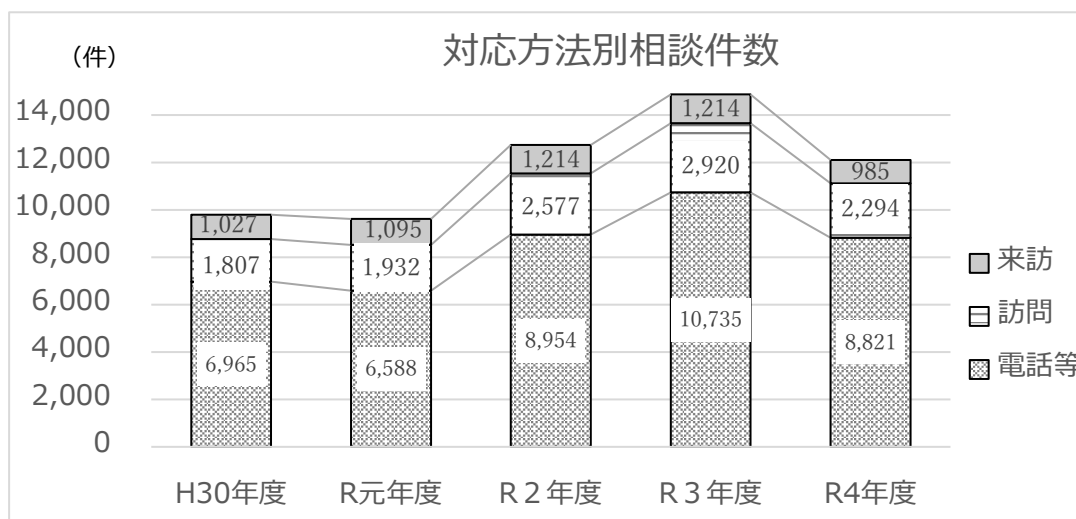
| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-------------------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 新規相談件数 | 3,413 | 3,041 | 3,334 | 3,643 | 3,563 |
| 相談延べ件数 | 9,799 | 9,615 | 12,745 | 14,869 | 12,100 |
| 1包括センター当たりの新規相談件数 | 284 | 253 | 278 | 304 | 297 |



(2) 対応方法別相談延べ件数

(単位：件)

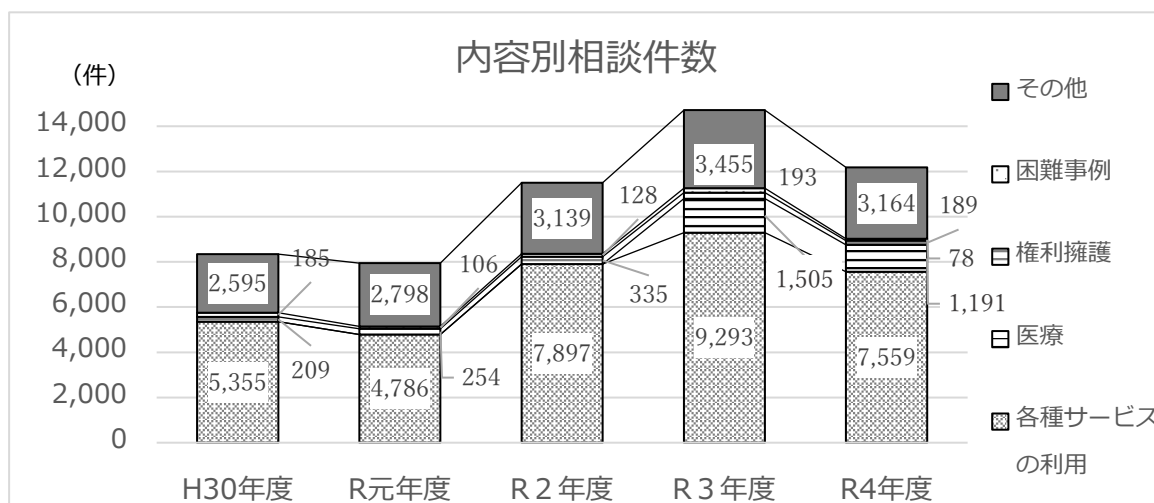
| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----|-------|-------|--------|--------|--------|
| 電話等 | 6,965 | 6,588 | 8,954 | 10,735 | 8,821 |
| 訪問 | 1,807 | 1,932 | 2,577 | 2,920 | 2,294 |
| 来訪 | 1,027 | 1,095 | 1,214 | 1,214 | 985 |
| 合計 | 9,799 | 9,615 | 12,745 | 14,869 | 12,100 |



(3) 内容別相談延べ件数

(単位：件)

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 各種サービスの利用 | 5,355 | 4,786 | 7,897 | 9,293 | 7,559 |
| 医療 | — | — | — | 1,505 | 1,191 |
| 権利擁護 | 209 | 254 | 335 | 266 | 189 |
| 困難事例 | 185 | 106 | 128 | 193 | 78 |
| その他 | 2,595 | 2,798 | 3,139 | 3,455 | 3,164 |
| 合計 | 8,344 | 7,944 | 11,499 | 14,712 | 12,181 |



3 権利擁護事業

○権利擁護に関する相談は大幅に減少した。

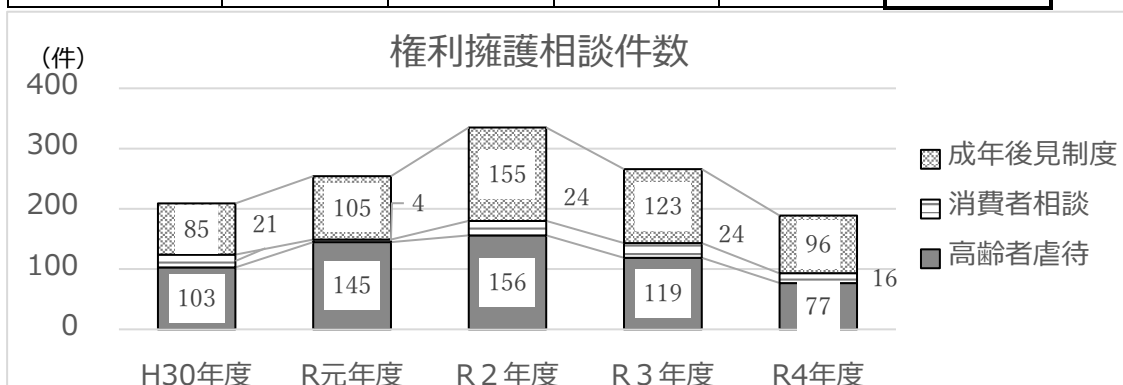
➡コロナ禍による地域活動の停滞や同居家族の在宅割合の向上も要因の一つか。

○高齢者虐待の新規通報は令和3年度と同規模であるが、虐待と判断された事例の割合が高くなっている。また通報者の8割以上が「職務上知り得た者」となっている。

(1) 権利擁護に関する相談件数

(単位：件)

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-----------------|-------|------|------|------|------|
| 高齢者虐待 ※疑いを含む | 103 | 145 | 156 | 119 | 77 |
| 消費者相談 | 21 | 4 | 24 | 24 | 16 |
| 成年後見制度 | 85 | 105 | 155 | 123 | 96 |
| 合計 | 209 | 254 | 335 | 266 | 189 |

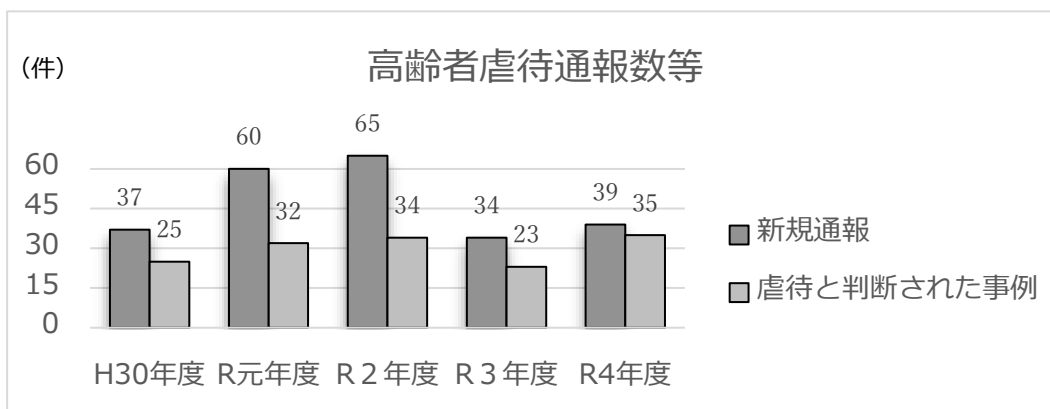


(2) 高齢者虐待

① 新規通報と虐待件数

(単位：件)

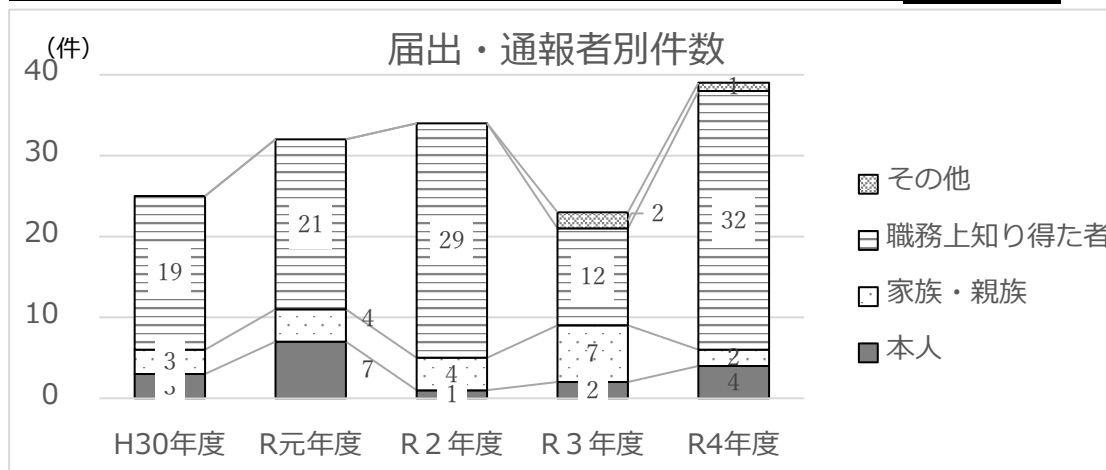
| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|------------|-------|------|------|------|------|
| 新規通報 | 37 | 60 | 65 | 34 | 39 |
| 虐待と判断された事例 | 25 | 32 | 34 | 23 | 35 |



②相談・通報者内訳（重複あり）

（単位：人）

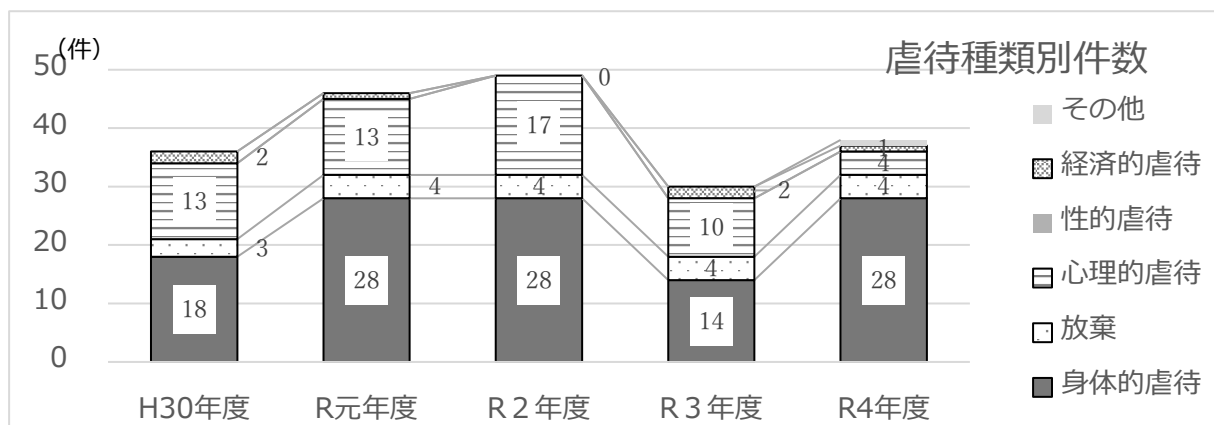
| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|----------|-------|------|------|------|------|
| 本人 | 3 | 7 | 1 | 2 | 4 |
| 家族・親族 | 3 | 4 | 4 | 7 | 2 |
| 職務上知り得た者 | 19 | 21 | 29 | 12 | 32 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| 合計 | 25 | 32 | 34 | 23 | 39 |



③虐待の種別内訳（重複あり）

（単位：件）

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-------|-------|------|------|------|------|
| 身体的虐待 | 18 | 28 | 28 | 14 | 28 |
| 放棄 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| 心理的虐待 | 13 | 13 | 17 | 10 | 4 |
| 性的虐待 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経済的虐待 | 2 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計 | 36 | 46 | 49 | 30 | 38 |



4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

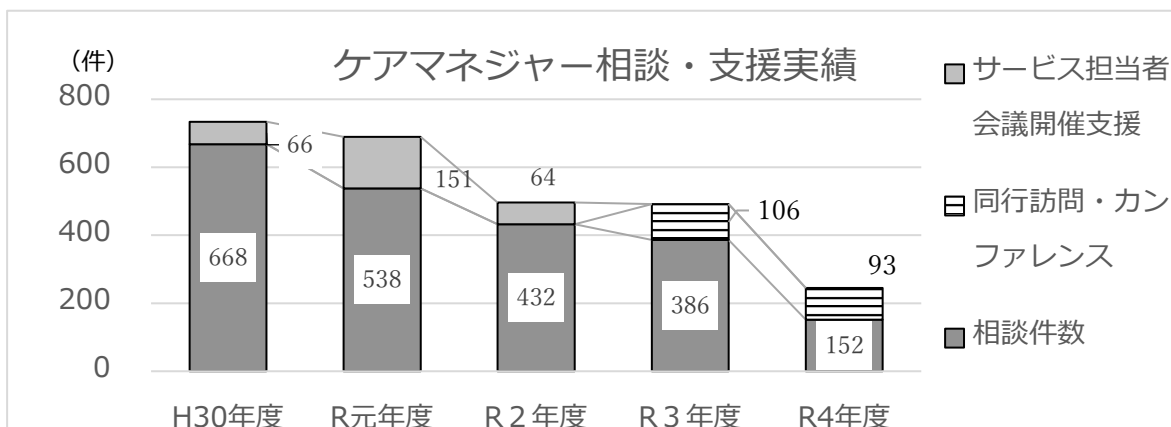
○令和4年度は、相談件数が減少した。
 ○相談内容の複雑化と複合化により、各相談に十分な時間をかけて深く振り下げ、個別に対応することが増えており、結果として相談件数の減少につながっている。

(1) ケアマネジャー支援

①ケアマネジャー相談・支援実績

(単位：件)

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|----------------|-------|------|------|------|------|
| 相談件数 | 668 | 538 | 432 | 386 | 152 |
| 同行訪問・カンファレンス支援 | — | — | — | 106 | 93 |
| サービス担当者会議開催支援 | 66 | 151 | 64 | — | — |



5 介護予防ケアマネジメント事業

○令和3年度と比較し、対応件数が増えているが、再委託率は減少している。
 ⇒予防プランの再委託先となる事業所が減少している。
 ○ケアマネジャーの不足や、認定結果が出るまでに時間がかかることから、要介護認定者について、包括センターの支援によるケアプランの自己作成が多い。

(1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業）

①要支援者等の介護予防ケアプラン作成

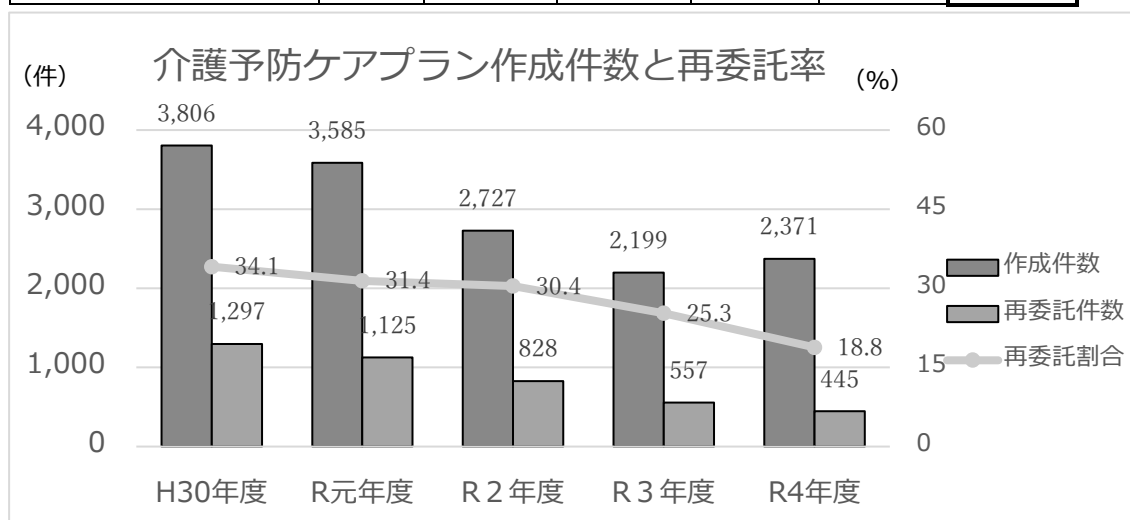
(単位：件)

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 介護予防サービス計画原案作成 | 1,874 | 1,865 | 1,600 | 1,285 | 1,428 |
| 介護予防ケアマネジメント | 1,932 | 1,720 | 1,127 | 914 | 943 |
| うち介護予防ケアマネジメントA | 1,800 | 1,557 | 1,062 | 844 | 866 |
| うち介護予防ケアマネジメントB | 132 | 162 | 65 | 78 | 76 |
| うち介護予防ケアマネジメントC | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| 対応件数（今年度以前の把握も含む） | 3,806 | 3,585 | 2,727 | 2,199 | 2,371 |

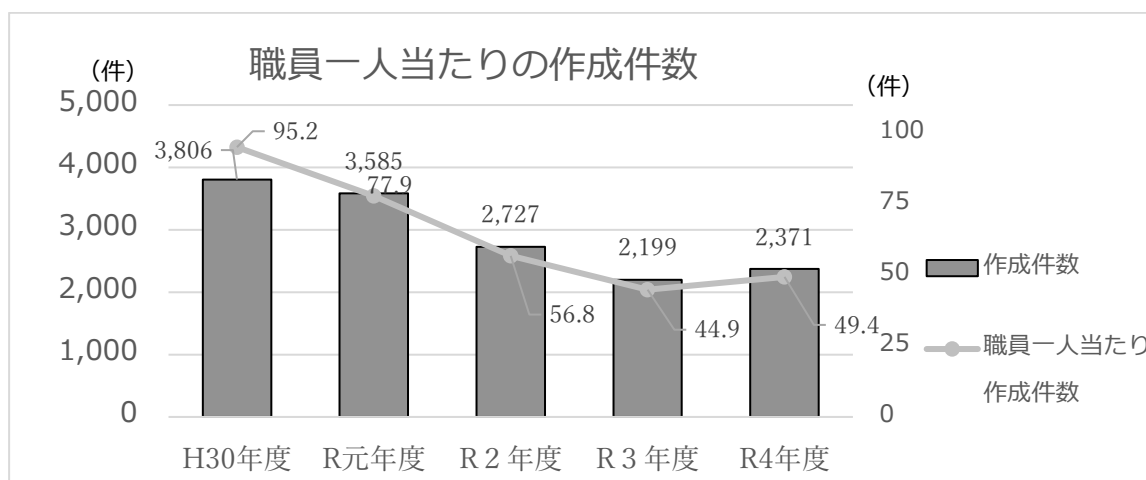
②居宅介護支援事業所への委託実績

(単位：件・%)

| | | H30 年度 | R 元年度 | R 2 年度 | R3 年度 | R4 年度 |
|------------------------|----|--------|-------|--------|-------|-------|
| 介護予防サービス 計画原案作成委託件数 | 件数 | 658 | 627 | 510 | 324 | 246 |
| | 割合 | 35.1 | 33.6 | 31.9 | 25.2 | 17.2 |
| 介護予防ケアマネジメント 委託件数 | 件数 | 639 | 498 | 318 | 233 | 199 |
| | 割合 | 33.1 | 29.2 | 28.2 | 25.5 | 21.1 |
| 合 計 | 件数 | 1,297 | 1,125 | 828 | 557 | 445 |
| | 割合 | 34.1 | 31.4 | 30.4 | 25.3 | 18.8 |



※令和2年度以降は、介護予防ケアプラン適用期間の延長したため、作成件数が減少している。



参考：要介護認定者に係るケアプランの自己作成件数の推移

(※包括センター作成成分以外も含む)

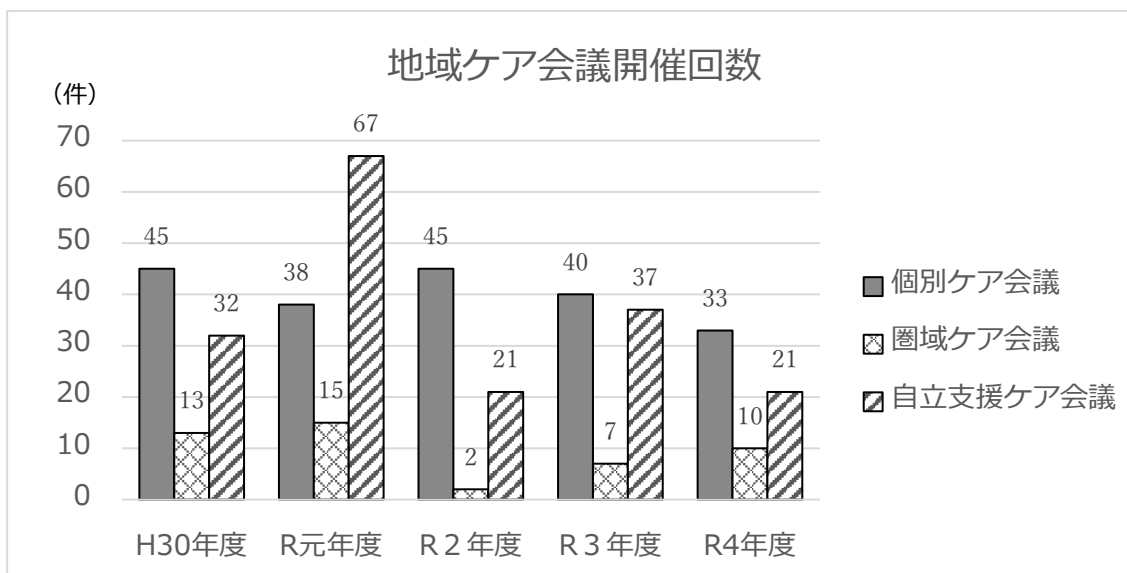
| H30 年度 | R 元年度 | R2 年度 | R3 年度 | R4 年度 | R5 年度(4~6 月請求分のみ) |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------------------|
| 139 件 | 91 件 | 211 件 | 219 件 | 329 件 | 127 件(年間推計 508 件) |

6 ネットワーク構築等

- 個別ケア会議開催数は減少した一方で、圏域ケア会議の開催数は増加した。
- 自立支援ケア会議は、居宅介護事業所を事例提出者に加えたことにより、地域包括支援センターの提出件数は減少している。

(1) 地域ケア会議

| | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 |
|-------------|-------|------|------|------|------|
| 個別ケア会議（回） | 45 | 38 | 45 | 40 | 33 |
| 開催した包括センター数 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 |
| 圏域ケア会議（回） | 13 | 15 | 2 | 7 | 10 |
| 開催した包括センター数 | 10 | 7 | 2 | 6 | 9 |
| 自立支援ケア会議（回） | 12 | 21 | 9 | 18 | 16 |
| 事例提出件数（件） | 32 | 67 | 21 | 37 | 21 |



7 その他の取組

- ・ 地域の企業の高齢社会に関する意識調査
- ・ 高齢者家族の介護状況についての実態調査
- ・ 短期集中通所型サービス修了後の利用者の居場所づくり
- ・ 認知症カフェの立ち上げ・運営の支援

7 職種別部会事業

(1) 保健師・看護師部会

①部会の開催状況

- ・開催回数：12回

②部会事業の取組状況

| | |
|--------------------|---|
| <p>事業名</p> | <p>介護予防の取組み～地域診断からフレイル予防の観点で地域へのアプローチを考える～</p> |
| <p>事業期間</p> | <p>令和4年度</p> |
| <p>事業目的</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が高い健康意識や「自助努力」の考えを持ち、有する能力の維持に努めることができる。 ・地域住民が、自身の暮らしている地区のインフォーマルサービスを把握することができる。 ・地域住民が、介護保険制度を理解し、インフォーマルサービスを活用しながら、在宅生活を送ることができる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防（口腔・栄養、医療、運動、社会参加）の4項目を踏まえた共通ツールの完成 ・フレイル予防について、地域活動を行うにあたっての効果的なアプローチ方法及び対象者の検討 ・共通ツールを活用し、地域活動の開始 ・参加対象者へのアンケート実施 |
| <p>事業内容</p> | <p>【令和元年度・2年度・3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係者と連携し、地域住民の状況や地域資源等を情報収集し、「地域診断～資料集」を作成。地域課題を見出し、共通課題であるフレイルについて地域活動を行う準備として、専門家より講義を受けた。 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防について、地域への効果的なアプローチ方法及び対象者の検討 ・高齢者ひとりひとりが「自助努力」の考えを持ち、有する能力を維持するための支援について考える。 ・地域包括支援センターの職員として保健師や看護師の専門性を活かしながら地域に出向き、地域の方々と顔が見える関係性を築く事で、相談しやすい体制を作る。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防について共通ツールを作成する。また、地域への効果的なアプローチ方法を検討し、地域活動を実施する。実施後はアンケートを実施して評価につなげる。 |

| | |
|---------------|---|
| 取組みの概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・部会員が同水準で地域活動を行うためにアドバイザーからの意見をいただき、共通ツール作り（フレイル総論、医療、口腔・栄養、運動、社会参加）として、パンフレットと台本を作成した。 ・効果的なアプローチ方法、対象者の選定について講師を招いて研修を受け、検討した。 |
| 取組みの成果 | <p>【成果指標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防の普及活動に使用する共通ツールとしてパンフレットと台本を作成し、完成した。 ・研修を受けてアプローチ方法を学び検討した。 ・アンケート方法について検討した。 <p>【活動指標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動に向けて使用する共通ツールを完成させた。 ・効果的なアプローチ方法や評価について、講師を招き、研修から具体的な実施方法やその評価について検討した。 |
| 課題等 | <p>参加対象者の選定をし、地域活動を実施する。その後、地域活動の評価として、直後と3か月後に参加者へアンケートの実施する予定としているが、その内容や具体的な方法について今後、検討していく。</p> |

(2) 社会福祉士部会

①部会の開催状況

- ・開催回数：12回

②部会事業の取組状況

| | |
|-------------|--|
| 事業名 | 権利擁護業務における専門職との連携と相談援助技術・地域支援の知識の向上 |
| 事業期間 | 令和4年度 |
| 事業目的 | <p>① 専門職団体(弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会福祉士会、社会保険労務士会、税理士会等)や市社協との連携を図ることで、権利擁護業務の円滑化を促進する。</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に左右されず、臨機応変に専門職団体と連携を図ることができる。 <p>② 包括センターの社会福祉士の専門性を理解し、相談援助技術の向上を図ることで地域の多様なニーズに応える柔軟性を身に付ける。</p> <p><成果指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルと講話資料の業務実践、内容のブラッシュアップができる。 ・部会内でピアスーパービジョン体制を確立し、相談援助技術の研鑽ができる。 |

| | |
|---------------------|--|
| <p>事業内容</p> | <p>① 権利擁護に携わる専門職と連携し、支援しやすい環境整備を行うため、専門職団体と顔の見える関係づくりを行う。</p> <p><活動指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面、オンライン形式を問わず専門職団体との交流会、又は事例検討会の実施。 ・市、市社協を交えて地域の実情や支援について話し合う。 <p>② 部会内で事例相談、検討や自身の実践を振り返る時間を設け、包括センターの社会福祉士の相談援助技術の向上を目指すとともに、相談業務における疑問や不安を解消できる場とする。</p> <p><活動指標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会内での事例検討や実践の振り返りの実施 … 通年 ・講師を招いての研修会の実施 … 年1回以上 ・エンディングサポート諸制度についてのマニュアルの作成 ・部会内で権利擁護に関する勉強会や事例検討 … 年3回 |
| <p>取組の概要</p> | <p>【多職種との連携】</p> <p>○多職種交流会の実施</p> <p>権利擁護に携わる専門職との顔の見える関係づくりを目的に交流会を開催した。方法はオンライン形式とハイブリッド形式を検討したが、感染者数が増加していたことや感染拡大防止のためオンライン形式を選択した。昨年度に準じた職能団体の協力を得てそれぞれの会員にもご参加いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和4年11月25日(金)15時～17時 ・参加者数：56名 <ul style="list-style-type: none"> 弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士（ばあとなあ）・税理士・社会保険労務士、社協、行政、包括センター社会福祉士 ・内容：エンディングサポートをテーマにしたワールドカフェ方式での交流会。 ・交流会後のアンケートで次年度以降に交流会もしくは事例検討会を行う際に企画・検討への協力を専門職に募ったところ、4名よりご協力いただけるとの回答が得られた。 <p>○市・市社協との情報共有</p> <p>令和5年2月の部会内で市社協の仕組みや組織について担当職員から講義いただいた。</p> <p>【相談支援技術の研鑽】</p> <p>○部会内の事例検討会</p> <p>年度を通し、部会内で生活困窮や虐待などの事例検討会や通常業務であった情報交換などのディスカッションをおこなった。</p> |

| | |
|---------------------|--|
| | <p>○講師を招いての研修会</p> <p>在宅介護支援センターや包括センターの社会福祉士として活動されたのち、行政書士取得後福祉と法律の両面から「自分らしい生活」を送るための支援やエンディングサポートを行われている鈴木雅人氏を招聘し研修会をおこなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：令和4年10月13日（木）13時30分～15時30分 ・参加者：小田原市役所高齢介護課・障がい福祉課職員、小田原市社会福祉協議会職員、包括センター職員を対象とし、50名を超える参加があった。 ・内容：「実践者から学ぶ～エンディングサポート編～人生いろいろ。終わりもいろいろ。支え方だっていろいろ!？」と題し、オンライン形式で行った。 <p>○エンディングサポート諸制度についてのマニュアル作成</p> <p>エンディングサポート諸制度について、マニュアル作成を目指し各種制度についてグループワークを行った。</p> |
| <p>取組の成果</p> | <p>成果指標の達成状況</p> <p><成果指標></p> <p>① 社会情勢に左右されず、臨機応変に専門職団体と連携を図ることができる。</p> <p>② -1 マニュアルと講話資料の業務実践、内容のブラッシュアップができる。</p> <p>-2 部会内でピアスーパービジョン体制を確立し、相談援助技術の研鑽ができる。</p> <p><成果指標の達成状況></p> <p>① オンラインツールも活用し、専門職団体と円滑な連携ができるよう顔の見える関係づくりを継続しておこなった。</p> <p>② - 1 業務時それぞれの部会員が相談内容に応じマニュアルを活用して相談対応にあたった。講話は担当圏域内でおこない、個別相談につながるケースもあった。様式を紙芝居やパワーポイントにして場所や対象に応じて活用している。今後もブラッシュアップ作業は継続していく。</p> <p>- 2 部会内での事例検討会やフリーディスカッションを通して相談援助業務について検討や相談できる体制が恒常化されており、相談援助の質や技術が向上できる研鑽の機会となっている。</p> |
| <p>課題等</p> | <p>コロナ禍となって4年あまりが経過していくなか、包括センターへ寄せられる相談内容はより複雑化し、ものごとが進みづらく解決に向けての道のりも難局となるケースが増加している。包括センター職員の増員時に入職した社会福祉士は、活動が広がりこれから経験を積んでいくタイミングで新型コ</p> |

コロナウイルスの影響を受け、結果としてその機会が阻まれることとなってしまった。そのため経験を積むことで得られていく「自信」が取得しきれず、相談支援にあたり不安を感じ困る場面に直面することも少なくない。経験の多寡に左右されず社会福祉士という専門職としての役割を果たしていくために、部会内での研鑽の場で学習機会をもち知識や疑似体験を重ねることで自信をもって相談支援にあたることができるようにしていくことが不可欠となっている。

(3) 主任介護支援専門員・介護支援専門員部会

①部会の開催状況

・開催回数：12回

②部会事業の取組状況

| | |
|--------------|--|
| 重点事項 | ケアマネジメントの質の向上 |
| 事業名 | ケアマネジメント支援事業 |
| 現状と課題 | <p>【現状】 令和3年度部会事業として居宅介護支援、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護に所属するケアマネジャー（以下、在宅生活の支援を行っているケアマネジャー）にアンケートを行い、ケアマネジャー業務における悩みや困りごと、当部会に望む事などを集計分析するとともに、ケアマネジャーの円滑な支援を行うためのヒアリングを実施した。 アンケートとヒアリングの内容から、高齢者の生活を支えるための地域の社会資源が不足しており、その不足を補うためにケアマネジャーがケアマネジメント業務以外の活動を求められ、業務を圧迫されている状況にあることが分かった。 また、在宅生活の支援を行っているケアマネジャーの中では社会資源活用に向けた意識が高まっている状況にあることも分かった。</p> <p>【課題】 ・地域に不足している社会資源開発のための手技や手法について当部会を含め在宅生活の支援を行っているケアマネジャーの理解が十分ではない。</p> |
| 目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・当部会員が在宅生活の支援を行っているケアマネジャーと協力して社会資源開発活動に取り組んでいくことができる。 ・社会資源を開発できるように3年を目標に経年的に活動していく。 <p>【成果指標】 ・当部会員が社会資源開発の手技、手法を理解できる。 ・ケアマネジャー交流会(年1回)で社会資源開発に対する在宅生活の支援を行っているケアマネジャーの声を拾い、「活動したい」と回答する在宅生活の支援を行っているケアマネジャーが50%以上いる。</p> |

| | |
|---------------------|---|
| <p>事業内容</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当部会員が社会資源開発について研修を受け、スキルアップを図る。 ・不足している社会資源の開発につなげられるように、在宅生活の支援を行っているケアマネジャーとネットワークを構築し、ロードマップを作成する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター主任介護支援専門員・介護支援専門員部会員対象の社会資源開発についての研修を受講する。 ・在宅生活の支援を行っているケアマネジャー交流会を開催(年1回)。 ・在宅生活の支援を行っているケアマネジャーと協力して社会資源開発のためのロードマップを作成し、周知する。 |
| <p>取組の概要</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインにて社会資源開発についての研修を受講。日程：9月15日(参加者：72名) 講師：一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会医療経済研究機構 服部真治氏 テーマ：介護予防・日常生活支援総合事業と社会資源開発 対象：当部会員、市内居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所に所属する介護支援専門員 ・上記の研修を上映。対象：包括職員 上映後意見交換を実施。12月20日(参加者：36名) ・ケアマネジャー交流会の実施。6月15日、2月13日の2回 第1回ケアマネジャー交流会(ZOOMと会場と同時開催、参加者59名) テーマ：プラン、やりがい、社会資源について。 第2回ケアマネジャー交流会(会場にて 参加者60名) テーマ：ケアマネ業務での困りごと、ロードマップ、社会資源について ・ケアマネジャー向け社会資源についてのアンケートの実施 ・ロードマップの制作 ・ケアプラン検証への参加(訪問介護の利用割合が一定以上の者の事例) |
| <p>取組の成果</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防・日常生活支援総合事業と社会資源開発の研修を受けて介護予防の推進、要支援者支援の概念の確認ができた。又地域ケア会議のあり方、自治体との予算を含めた協力体制の確認が大切であること等学べた。 ・ケアマネジャーとの交流会 令和3年度に交流会が実施できなかった為令和4年度は交流会を2回実施した。日々の業務の悩み事の共有と社会資源創出・開発に向けた意向確認を行った。又部会として今後行っていく社会資源開発における現時点でのロードマップを交流会にて提示した。 6月の交流会では参加して期待通り、それ以上と答えた方が84%。 2月の交流会では参加して期待通り、それ以上と回答した方が91.7%。社会資源について意識が高まったと回答した方が68.3%。 ・ロードマップの作成 ロードマップの3年計画を作成。社会資源開発までの過程を明らかにすることが出来た。 |
| <p>課題等</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・目的に挙げていた部会とともに社会資源開発の活動が行えるケアマネジャーの把握については、ケアマネジャーの参加方法が具体的に提示できる段階ではなかった為時期尚早と判断し把握には至っていない。 |

地域包括支援センター運営事業
令和 4 年度運営評価と
令和 5 年度活動計画の概要

地域包括支援センター運営事業 令和4年度運営評価と令和5年度活動計画の概要

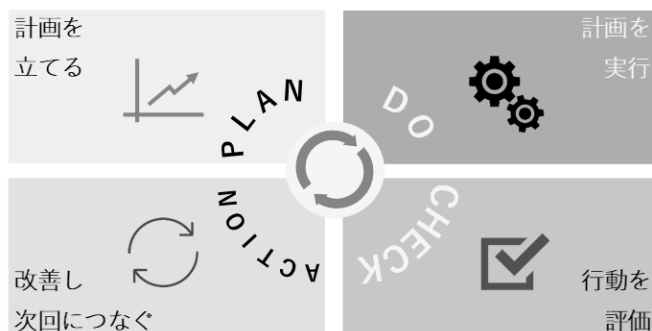
※ [左欄]令和4年度運営状況評価表(別冊 2-1)におけるチェック数 / [右欄]令和5年度活動計画(別冊 2-2)に掲げた取組内容

| 評価項目 センター名 | 地域包括支援センターの 運営体制 【22項目】 平均 20.8(達成率 94.7%) | 総合相談支援業務 【9項目】 平均 8.9(達成率 98.9%) | 権利擁護業務 【9項目】 平均 7.7(達成率 85.6%) | 包括的・継続的ケアマネジメント 業務 【13項目】 平均 11.3(達成率 86.9%) | 認知症総合支援事業 【5項目】 平均 4.2(達成率 84.0%) | 介護予防ケアマネジメント 業務 【8項目】 平均 7.8(達成率 97.5%) | その他 (評価項目外の活動) |
|---------------|--|---|---|---|--|---|--|
| ① しろやま | 21 / 22 — | 9 / 9 ○民生委員との情報共有によるサロン活動の再開支援 ○地域性を活かした重層的支援体制の整備 | 8 / 9 ○地域の協働で行う成年後見制度についての理解促進 | 11 / 13 ○ケアマネジャーとの交流会の実施 ○活動周知のための広報展開 | 5 / 5 ○認知症の高齢者が接客する「注文をまちがえるあつまあるカフェ」の地域展開の検討 | 8 / 8 — | — |
| ② はくおう | 22 / 22 ○業務進捗状況の確認と情報共有等 ○同一法人4包括センターでの勉強会による職員のスキルアップ ○自然災害・感染症の業務継続計画策定 | 9 / 9 ○自治会等の定例会やでサロンの情報収集 ○独居、サービス未利用者等への定期訪問と情報共有 | 8 / 9 ○権利擁護・消費者被害に関する講話の場の開拓 | 13 / 13 ○「おたすけ帳」の定期更新、包括だよりの配布を通じた民生委員等との連携 ○「茶つと会」の開催によるケアマネジャーとの連携 ○サロン等の場の開拓 | 4 / 5 ○認知症啓発活動の場の開拓 | 8 / 8 — | — |
| ③ じょうなん | 18 / 22 ○職員の対応スキル向上と属人化しない対応体制の構築 | 9 / 9 — | 7 / 9 — | 12 / 13 ○4地区合同での圏域ケア会議の継続開催 | 4 / 5 ○民生委員、地域の人への認知症の普及啓発 | 8 / 8 — | — |
| ④ はくさん | 22 / 22 ○定期的な情報共有と業務分担・連携体制 ○同一法人4包括センターでの勉強会による職員のスキルアップ | 9 / 9 ○医療機関・介護保険事業所・地域団体とのネットワークの構築 ○集合住宅などへのアウトリーチを通じた実態把握や地域課題の発見 | 8 / 9 ○民生委員との「お茶会」を通じた情報提供 | 13 / 13 ○「おたすけ帳」の更新や広報紙「はくさんだより」の発行による情報提供 ○「茶つと会」の開催によるケアマネジャーとの連携 ○地域課題の共有と圏域ケア会議の開催 | 4 / 5 ○認知症サポーター養成講座や個別ケア会議開催による普及啓発 ○認知症関係の介護サービス事業所との情報共有 | 8 / 8 ○圏域内の認知症対応型デイサービスやグループホームや民生委員と連携した認知症に関する理解促進活動 | — |
| ⑤ ひがしとみず | 22 / 22 ○職員教育への注力と5人体制の維持 | 9 / 9 ○毎月の民児協出席による情報収集 ○多様な相談受理のための職員のスキルアップ | 7 / 9 ○地域住民や民生委員に向けた講話の実施 ○広報紙「かりがわだより」を通じた権利擁護に関する周知活動 | 13 / 13 ○オンライン会議システムを利用した圏域ケア会議の開催 ○同一法人3包括センターでの地域のケアマネジャーとの勉強会の開催 | 4 / 5 ○認知症カフェの運営支援 | 7 / 8 — | ○サロン型の啓発活動「わたしのまちの保健室」の開催 ○小学校との連携の継続 |
| ⑥ とみず | 18 / 22 — | 8 / 9 ○年代を超えた地域住民に対する移転後の包括センターの活動周知 | 6 / 9 — | 12 / 13 ○多問題を抱えているが潜在化している家庭の早期支援のための連携強化 ○地域住民との懇談の機会の開拓 | 5 / 5 — | 7 / 8 — | — |

| 評価項目 センター名 | 地域包括支援センターの 運営体制【22項目】 平均 20.8(達成率 94.7%) | 総合相談支援業務 【9項目】 平均 8.9(達成率 98.9%) | 権利擁護業務 【9項目】 平均 7.7(達成率 85.6%) | 包括的・継続的ケアマネジメント 業務【13項目】 平均 11.3(達成率 86.9%) | 認知症総合支援事業 【5項目】 平均 4.2(達成率 84.0%) | 介護予防ケアマネジメント 業務【8項目】 平均 7.8(達成率 97.5%) | その他 (評価項目外の活動) |
|--------------------|--|--|---|---|--|---|---|
| ⑦ さくらい | 20 / 22 ○情報共有とチーム対応の体制確立 ○研修や事例検討会への参加を通じた対応力の向上 | 9 / 9 ○民生委員や自治会との協働による見守り活動 ○広報紙「かりがわだより」の発行と包括センターの周知 | 6 / 9 — | 11 / 13 ○地域のケアマネジャーとの勉強会の開催 ○健康づくり課との共催による健康促進に関する取り組み「伸ばそう！健康寿命!!」の開催 | 3 / 5 — | 8 / 8 — | ○「さくらい本箱」や調理スペース、浴室を活用した交流の場の創造 |
| ⑧ さかわ こや わた・ふじみ | 20 / 22 ○同一法人4包括センターでの勉強会による職員の質の向上 ○業務継続計画の策定とシミュレーションの実施 | 9 / 9 ○「茶話会」やサロンを通じた周知活動 ○商店・金融機関・医療機関・公営団地等での掲示や案内配架を通じた周知活動 | 9 / 9 — | 13 / 13 ○民生委員や地域関係者との顔の見える関係づくり ○「茶々と会」の開催によるケアマネジャーとの連携 | 4 / 5 ○認知症カフェの再開 ○企業・住民対象の認知症サポーター養成講座の実施 | 8 / 8 — | — |
| ⑨ しもふなか | 22 / 22 ○人員体制の維持 ○業務マニュアルの作成 | 9 / 9 ○属人化しない対応体制の構築 ○困難ケースの事例検討の実施 | 8 / 9 ○成年後見制度や終活に関する周知 ○おだわら成年後見支援センターとの連携 | 13 / 13 ○ケアマネジャーとの協働による「むらカフェ」の展開 ○居場所づくりと自立支援を目的とした「しもふなかコンパスたいむ」の開催 | 4 / 5 ○家族会の紹介や「昼のおはなし会」の開催 | 8 / 8 ○介護予防に関する講話の実施 | — |
| ⑩ とよかわ・ かみふなか | 20 / 22 ○業務進捗状況の確認と情報共有等 ○同一法人4包括センターでの勉強会による職員のスキルアップ | 9 / 9 ○商店・金融機関・医療機関等での掲示や案内配架を通じた周知 ○サロンなどへの参加を通じた、地域と協働できる体制の構築 | 7 / 9 — | 12 / 13 ○「おたすけ帳」の更新を通じた民生委員との連携 ○包括センターから離れた地域での出張相談の実施 ○「茶々と会」の開催によるケアマネジャーとの連携 | 4 / 5 ○認知症をにんちしよう会や認知症カフェの参加を通じた知識の普及と啓発の実施 | 8 / 8 — | — |
| ⑪ そが・しも そが・こうづ | 22 / 22 — | 9 / 9 — | 9 / 9 — | 13 / 13 ○「さぼ・さぼ」の開催による顔の見える関係構築とケアマネジャー・地域支援の実施 | 5 / 5 ○曾我病院とオレンジカフェ「ふあみいゆ」を開催し、安心して暮らせる地域づくりを展開 | 8 / 8 ○包括センター職員相互でのケアプラン点検の実施 | ○権利擁護や認知症総合支援事業、社会資源等の情報発信のため広報誌を定期発行 |
| ⑫ たちばな | 22 / 22 ○定期的な情報共有と業務分担・連携体制 ○「たちばないいき福祉マップ」への職員紹介掲載 | 9 / 9 ○困難・虐待ケースの2人での対応体制の維持 | 9 / 9 ○高齢者虐待対応の知識習得に係る研修への出席 ○「公園 de ラジオ体操」の後にエンディングサポートの講話会の実施 | 11 / 13 ○支援につながないケースの定期的把握 ○困難ケースに係るケアマネジャーや市、社会福祉協議会との連携体制の構築 | 4 / 5 ○小学生を対象とした認知症講話の実施 | 8 / 8 ○居宅介護支援事業所との信頼関係を強化することによる再委託の推進 | ○「たちばなカフェ」でのフレイル予防活動 ○フレイル予防を目的とした「公園 de ラジオ体操」の継続 |

おだわら高齢者福祉介護計画 令和4年度の実績及び令和5年度の取組について

第8期計画では、重点指針「自分らしい高齢期の実現」を踏まえ、PDCAサイクルにより事業を着実に実施し、継続的に評価・検証し、改善を図るものとしています。



PDCAサイクル

1 各種事業（P1～P8）

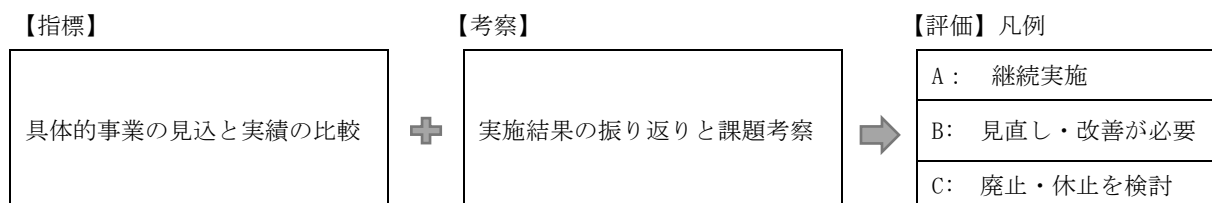
令和3年度の見込（目標）と実績の差の確認、振り返りを行い、自己評価を踏まえて、令和4年度の取組を検討しました。

基本方針1(1)(2)・・・生きがいくりに関する事業等

基本方針2(1)(2)(4)・・・介護予防や保健に関する事業等

基本方針3(2)(3)・・・介護事業所支援に関する事業等

基本方針4(1)～(7)・・・地域における相談支援体制に関する事業等

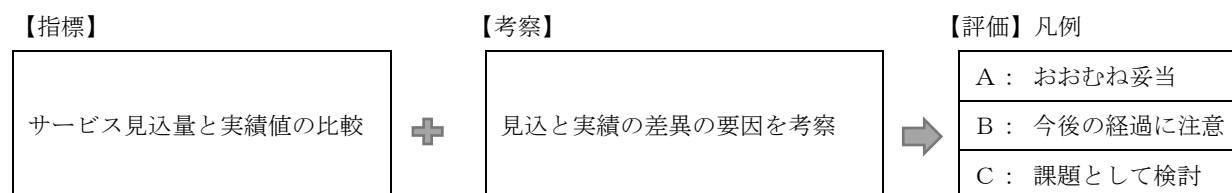


2 介護（介護予防）サービス量等（P9～P11）

令和3年度の見込値と実績値の差異の把握とその要因の考察を行いました。

基本方針2(3)・・・介護予防・日常生活支援サービス事業

基本方針3(1)・・・介護（介護）サービス給付、施設整備等



基本方針1 高齢者がいきいきと活動できる環境づくりの促進

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の実組 |
|--------------------|--------------------------|-------------|----------|----------|--|--|---|--|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策1 | 1 アクティブシニア応援ポイント事業 | 事業登録者数(人) | 175 | 195 | 215 | 感染予防のため、新規登録者セミナー等を中止。高齢者施設等は、感染予防のため、年間を通じて受け入れを自粛する傾向のため、一部の施設等においては、活動することができなかったものの、参加延べ人数については増加傾向であるため、徐々に外出に対する意識の変化があり、活動機会が増加したものと推測する。 | A.継続 | 外出に対する意識の変化がみられることから、事業の周知方法を検討。新規募集を行い、登録者数・参加者数の増加を図っていく。短期集中通所型サービス事業の終了後等自立後の居場所として活用促進する。 |
| | | | 181 | 100 | 101 | | | |
| | | 参加延べ人数(人) | 1,300 | 2,800 | 3,100 | | | |
| | | | 426 | 811 | 1,455 | | | |
| | 2 セカンドライフ応援セミナー事業 | セミナー参加者数(人) | 240 | 340 | 340 | ITリテラシー向上セミナーや合同企業説明会を対面で開催することで、多くのシニアの参加につなげた。 | A.継続 | 引き続き各種セミナーを開催するとともに、合同企業説明会については開催回数を増やし、より多くのシニアの参加を促す。 |
| | | | 238 | 157 | 118 | | | |
| | 3 シニアバンク事業 | シニア登録件数(件) | 440 | 540 | 640 | 市内在住の55歳、60歳、61歳にセカンドライフの普及啓発とシニアバンクへの登録を促すダイレクトメールの発送や、電話での企業訪問の実施により、シニアの登録件数及び活動登録件数の増加につなげた。 | A.継続 | 市内在住の60歳にセカンドライフの普及啓発とシニアバンクへの登録を促すダイレクトメールの発送や、電話での企業訪問を継続的に実施することで、シニアの登録件数及び活動登録件数の増加につなげる。 |
| 680 | | | 828 | 1,033 | | | | |
| 活動登録件数(件) | | 170 | 210 | 250 | | | | |
| | | 189 | 237 | 317 | | | | |
| 4 シルバー人材センター運営補助事業 | - | - | - | - | 補助金を適切に執行し、活動・会員募集等に適宜協力。 | A.継続 | 補助金を適切に執行する。活動・会員募集等に協力を継続する。 | |
| 5 シルバー人材センターの活用 | 市委託金額(千円) | 45,000 | 45,000 | 45,000 | 市発注業務については、各課予算の範囲内で活用。令和4年9月に厚生労働省から発出された「最低賃金引き上げに係るシルバー人材センターとの契約等について」を受けて、庁内に、シルバー人材センターとの契約等において最低賃金の上昇傾向を踏まえた価格設定を依頼した。 | A.継続 | 請負業務・派遣業務の受注状況を、随時確認する。インボイス制度の導入を見据えた、他市の動きについて情報収集する。 | |
| | | 48,143 | 43,906 | 実績集計中 | | | | |
| 6 老人クラブ活動補助事業 | - | - | - | - | 補助金を適切に執行し、活動・会員募集等に適宜協力。ただし、感染予防のため、一部事業を自粛した。 | A.継続 | 補助金を適切に執行。活動・会員募集等に協力継続。 | |
| 7 老人クラブ加入促進活動への支援 | - | - | - | - | 市老連に随時協力。高齢化に伴う役員のなり手不足や感染予防のための活動減等により単位クラブ数・会員数共に減少した。 | A.継続 | 市老連の会員募集に協力継続。クラブ解散後の居場所について地域活動や介護予防活動とのつながりを検討する。 | |
| 施策2 | 1 高齢者外出関連情報の提供 | - | - | - | - | 情報冊子を作成・配架。自立支援の啓発文を掲載周知 | A.継続 | 情報冊子を作成・配架。 |
| | 2 福寿カード交付事業 | - | - | - | - | 優待利用延べ人数増加傾向。徐々に外出に対する意識が変化し、外出機会が増加したものと推測する。 | A.継続 | 年齢要件やサービスのあり方について、検討する。 |
| | 3 高齢者はりきゅう・マッサージ等施術費助成事業 | 利用延べ人数(人) | 3,400 | 3,200 | 3,000 | 利用延べ人数減少。対象年齢の段階的な引き上げ(1歳ずつ上げていき令和5年度までに75歳以上とする)について周知を継続した。 | A.継続 | 施術費の助成を適切に執行。対象年齢の段階的な引き上げ(75歳以上)の終了年度。各年度の対象年齢について誤った認識である事業所に対し、再度周知していく。 |
| | | | 3,097 | 3,213 | 2,882 | | | |
| | 4 敬老行事・長寿祝事業 | - | - | - | - | 訪問等により祝品等を贈呈。見守りの一環となる。「敬老行事のあり方検討会」を開催し意見交換のうえ、市敬老祝金品の見直しを検討し、市敬老祝金や他の祝品の内容や贈呈方法の見直しを行った。 | A.継続 | 引き続き、敬老行事あり方について意見交換を継続し、見直しを検討。 |
| | 5 生きがいふれあいフェスティバル開催事業 | - | - | - | - | 感染症の影響により開催を中止した。 | A.継続 | 感染症の影響を見ながら、開催の可否を検討する。 |
| 6 高齢者施設管理運営事業 | - | - | - | - | 感染症の影響により一時休館。老朽化に伴い施設・設備の故障等が多く、都度、維持修繕を行った。 | A.継続 | 利用者が快適に利用できるよう維持管理を継続する。 | |

基本方針2 高齢者の介護予防と健康づくりの推進

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の実組 |
|----------------|-------------------------------|------------|----------|----------|---|--|---|--|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策 1 | 1 介護予防把握事業 | - | - | - | - | 対象者3,798人に調査票を送付し、回答数1,656人(回答率43.6%)であった。調査結果報告書の作成、回答者にアンケート結果に応じた介護予防へのアドバイス票を送付した。また、希望する地域包括支援センターにもアンケート集計及び圏域内の対象者の個別データを送付し、地域包括支援センターとの情報共有を図った。 令和4年度は、例年に比べ回答率が低かった。 | A:継続 | 令和5年度も同様に70歳になる方、及び令和3年度未回答者で71歳～74歳になる方に対し、調査を実施する予定である。 回答率向上に向けた方策を検討する。 |
| | 2 高齢者筋力向上トレーニング事業(基幹型・地域型) | 参加延べ人数(人) | 17,535 | 24,995 | 33,710 | 基幹型(小田原アリーナ・生きがいふれあいセンターいそぎ・プール)については、施設の定員数の半数以下での使用・検温・手指消毒及び換気を徹底し、開催時間や参加頻度を見直し、コロナ禍でも事業を中止することなく実施した。地域型については、実施できない団体もあった。 コロナ禍での開催であったため、見込みを大幅に下回る参加延べ人数であった。 | A:継続 | 感染防止対策を取りながら、引き続き実施していく。地域の通いの場の活用や自主グループ化を引き続き検討する。地域型は活動状況の把握に努める。 各教室の参加定員の見直しの検討を行う。 |
| | | | 12,190 | 24,737 | 25,923 | | | |
| | 3 高齢者栄養改善事業 | 参加延べ人数(人) | 26 | 130 | 260 | 小田原市老人クラブ連合会との共催事業 コロナ禍により、調理実習は実施せず、1時間の講義形式で市内5会場にて栄養に関する講座を実施した。 コロナ禍での開催であったため、見込みを大幅に下回る参加延べ人数であった。 | B:見直し・改善 | 参加者から調理実習を望む声が多く寄せられていることから、感染防止対策を取りながら、調理実習を再開し、調理実習と講義を合わせた形式での実施を検討する。 |
| | | | 0 | 101 | 93 | | | |
| | 4 認知症予防事業 | 参加延べ人数(人) | 828 | 1,248 | 1,555 | 施設の定員数の半数以下での使用、検温・手指消毒及び換気を徹底し、コロナ禍でも事業を中止することなく、市内7会場各12回のプログラムで実施した。 コロナ禍での開催であったため、見込みを大幅に下回る参加延べ人数であった。 | A:継続 | 感染防止対策を取りながら、引き続き実施していく。 ポピュレーションアプローチ(*)による参加者を増やす方策を検討する。 ※ 市の特定健診を受診した65歳以上の方のうち、一定の基準に該当する方に対し、個別通知により教室への参加を促す。 |
| | | | 1,025 | 1,144 | 1,021 | | | |
| | 5 介護予防普及啓発事業 | 参加延べ人数(人) | 2,166 | 3,400 | 5,100 | コロナ禍で実施できなかった事業もあったが、施設の定員数の半数以下での使用、検温・手指消毒及び換気を徹底し、開催時間を見直し、コロナ禍でも事業を中止することなく実施した。 コロナ禍での開催であったため、見込みを大幅に下回る参加延べ人数であった。 | A:継続 | 感染防止対策を取りながら、引き続き実施していく。 参加者増に向け、高齢者のニーズに合った講座の開催を検討する。 |
| | | | 915 | 1,911 | 1,871 | | | |
| | 6 生きがいふれあいフェスティバル開催事業(介護予防事業) | 参加延べ人数(人) | 0 | 100 | 110 | コロナ禍により、生きがいふれあいフェスティバルが中止となったため、予定していた介護予防講座を介護予防普及啓発事業として実施した。 | A:継続 | 生きがいふれあいフェスティバルの中で、介護予防の講座を開催する。 フェスティバルの中止や規模縮小が見込まれる場合には、単独での講座を開催する。 |
| 0 | | | 0 | 0 | | | | |
| 7 高齢者体操教室開催事業 | 参加延べ人数(人) | 4,000 | 6,000 | 6,120 | 施設の定員数の半数以下での使用、検温・手指消毒及び換気を徹底し、開催時間や参加頻度を見直し、コロナ禍でも事業を中止することなく、市内4会場で実施した。 コロナ禍での開催であったが、見込みを上回る参加延べ人数であった。 | A:継続 | 感染防止対策を取りながら、引き続き実施していく。 各教室の参加定員の見直しの検討を行う。 地域の通いの場の活用や自主グループ化を引き続き検討する。 | |
| | | 2,890 | 6,402 | 6,959 | | | | |
| 8 いきいき健康事業 | 参加延べ人数(人) | 600 | 1,200 | 2,400 | コロナ禍により事業を中止していた地区も活動を再開したが、コロナ禍以前の実績には達していない。 | A:継続 | 感染防止対策を取りながら、引き続き実施していく。未実施の地区に対しても呼びかけを行う。 | |
| | | 379 | 689 | 1,883 | | | | |
| 9 地域介護予防活動支援事業 | 参加延べ人数(人) | 120 | 240 | 360 | コロナ禍のため、3師会への講師派遣依頼はできなかったが、市職員による講義を2回行った。(防災・介護保険) | A:継続 | 引き続き3師会からの講師派遣は困難と思われるため、別に講師を依頼し、実施していく。 | |
| | | 60 | 124 | 124 | | | | |
| 10 ふれあい担い手発掘事業 | 助成対象数(件) | 2 | 4 | 4 | コロナ禍の影響により、補助金の交付申請がなかったため未実施。 | B:見直し・改善 | 通いの場立ち上げに活用できる事業として、周知を図るとともに、新たな自主活動のニーズについて把握に努める。 | |
| | | 0 | 0 | 0 | | | | |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の取組 |
|-------------------|----------------------|----------------|----------|----------|---|---|---|---|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| | 11 地域リハビリテーション活動支援事業 | - | - | - | - | コロナ禍により中止していたスポーツイベントに参加したり、研修会への参加や令和5年度に発行するリハビリ情報誌の編集業務を実施した。 | A:継続 | 引き続き介護事業所等への支援を行うほか、小田原市HPに掲載した「リハビリ講座」の内容をまとめたリハビリ情報誌第2号を発行するなど、広く市民への普及啓発を行う。 |
| | 12 介護予防事業評価事業 | - | - | - | - | 令和6年度から令和8年度までを計画期間とする「第9期おだわら高齢者福祉介護計画」の策定に向けて、高齢者福祉及び介護保険事業の施策形成のための基礎資料とするため、市内高齢者の状況やニーズ等の調査を実施した。 | | 次回は、令和7年度実施予定 |
| 施策 2 | 1 特定健診(特定健康診査) | 受診率(%) | 34.0 | 36.0 | 38.0 | 令和3年度は前年度と比較して受診率は増加傾向である。令和4年度は特定健診集団検診を2回開催し、104名の参加が得られた。受診者勧奨通知は4回実施した。未受診者勧奨のための架電を8月より2名の保健師・看護師で実施した。 | A:継続 | 6月1日より健診受診を開始した。令和4年度までは新型コロナウイルス感染症による受診控え者もみられていたこともあり、引き続き普及啓発や、未受診者勧奨通知、受診勧奨のための架電を実施する予定。特定健診集団健診も2回実施する予定である。 |
| | | | 27.8 | 29.0 | 9月集計 | | | |
| | | うち65歳以上の受診率(%) | 76.8 | 78.0 | 79.2 | | | |
| | | | 77.2 | 77.9 | 9月集計 | | | |
| | 2 長寿健診(長寿高齢者健康診査) | 受診率(%) | 28.6 | 28.9 | 25.2 | 令和3年度は例年通り6月より受診開始としたが、前年度と比較し受診率は増加している。 | A:継続 | 受診控えがない様、受診勧奨のための普及啓発をしていく。 |
| | | | 27.9 | 28.9 | 9月集計 | | | |
| | 3 特定保健指導 | 終了率(%) | 26.0 | 28.0 | 30.0 | 特定健診の受診開始日を例年通り6月としたが、特定保健指導の開始日は11月からと遅れてスタートした。コロナ禍で前年度増加した初回面談をオンラインで選択した利用者は、今年度は減少傾向にある。 | A:継続 | 特定保健指導の開始時期を早め実施できるように努める。コロナ禍より開始したオンライン面談の活用についても参加者へ利用を促していく。集団特定健診後の特定保健指導の実施も今年度は計画していく。引き続き利用率の向上に務める。 |
| | | | 9.3 | 13.1 | 9月集計 | | | |
| | | うち65歳以上の受診率(%) | 15.0 | 17.0 | 19.0 | | | |
| | | | 7.7 | 6.2 | 9月集計 | | | |
| | 4 健康教育 | 実施回数(回) | 150 | 250 | 250 | コロナ禍以前より年間実績回数は少ないが、地区活動再開の必要性が浸透したせいか、依頼による健康教育は増えている。感染症予防を配慮しながらの実施のため、大人数への健康教育は少ないが、自宅で視聴できる運動講座の動画は視聴数が増えた。 | A:継続 | 令和5年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症の影響による健康2次被害の予防教育を実施していくほか、高血圧予防に関する運動や食事の健康教育について重点的に実施していく。 |
| | | | 54 | 126 | 179 | | | |
| | | 65歳以上の参加者数(人) | 3,000 | 4,000 | 4,000 | | | |
| | | | 1,324 | 1,774 | 1,856 | | | |
| 5 健康相談 | 実施回数(回) | 655 | 665 | 675 | 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となったイベントはあったが、地域での教育や健康おだわら普及員の地区活動など再開した事業に併せて健康相談を実施することができ、実績としては昨年度と比較して増加した。 | A:継続 | 本市の健康課題や家庭血圧測定の重要性について普及啓発を行いながら、自宅でセルフケアができるよう健康相談を実施していく。 | |
| | | 511 | 561 | 535 | | | | |
| | 65歳以上の参加者数(人) | 1,387 | 1,526 | 1,678 | | | | |
| | | 316 | 436 | 289 | | | | |
| 6 成人・老人訪問指導 | 訪問実績(人) | 20 | 100 | 100 | 福祉まるごと相談及び福祉政策課など他部署からの相談より、訪問につながったケースがあった。 | A:継続 | 地域共生社会の実現に向け重層的支援が求められている中で、本課の事業や保健師の役割について注視されているため、保健師のスキルアップを行いながら多職種連携を図り、訪問指導を行う。 | |
| | | 8 | 5 | 5 | | | | |
| | うち65歳以上の人数(人) | 3 | 70 | 70 | | | | |
| | | 1 | 1 | 1 | | | | |
| 7 脳血管疾患予防プロジェクト事業 | 脳血管疾患死亡率(人口10万対) | 98.0 | 96.0 | 94.0 | 運動と食事の両面からアプローチを実施。運動では、市民の運動の習慣化を目的に健幸ポイント事業と連動した「10万歩14DAYSチャレンジ」のウォーキングイベントを開催し、公民連携事業を実施した。栄養は、減塩や野菜摂取についてコンビニエンスストアやスーパーマーケットでのポップの掲示や、スーパーマーケットでの管理栄養士監修の弁当の販売の継続を行った。その他、インスタグラム、パネル展示、広報などの普及啓発にも取り組んだ。 | A:継続 | 第2期健康増進計画に基づき、運動・食事・媒体から高血圧予防を行っていく。民間企業や庁内他課と連携した事業を展開していく。 | |
| | | 114.4 | R5年度末に集計 | R6年度末に集計 | | | | |
| 8 健康おだわら普及員事業 | 地区活動実績(回) | 0 | 190 | 190 | 地区活動は前年度よりも実施回数、参加人数ともに増加した。しかし、地区の状況により地区活動を再開できなかった地区もあった。 | A:継続 | 第2期健康増進計画に基づき、健康おだわら普及員の活動テーマも第2期健康増進計画の重点施策である高血圧対策を軸に置き、展開していく。 | |
| | | 1 | 36 | 54 | | | | |
| | 65歳以上の参加者数(人) | 0 | 3,500 | 3,500 | | | | |
| | | 36 | 373 | 368 | | | | |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度 of 取組 |
|---|-----------------------|----------------|----------|----------|--|--|--|--|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 9 | 食育実践活動事業 | 地域での活動実績(回) | 0 | 20 | 30 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、調理実習や対面による食育教室や栄養教室は中止し、保育園への食育資料「みんなでにっこりあさごはん」とレシピ集「おだわら梅丸レシピ」の配布のみ行った。 | A:継続 | 調理実習については今年度も見合わせ、保育園等対象施設に食育資料を配布する。受け入れ可能な施設については、食育教室を実施する。 |
| | | 65歳以上の参加者数(人) | 14 | 14 | 14 | | | |
| 1 | 生活支援協議体の設置 | 協議体会議開催数(回) | 0 | 100 | 150 | 新型コロナウイルス感染症の影響は収束の兆しを見せ、実績数は増加しているが、一部の地域では、自粛期間中に担い手や支援が途切れ、活動が再開できない状況がある。 | A:継続 | 感染症の影響を見ながら、地域関係者と会議開催を検討。 |
| | | | 0 | 0 | 0 | | | |
| 2 | 生活支援コーディネーターの配置 | コーディネーター配置数(人) | 20 | 104 | 250 | 補助も含み、15名体制を維持している。 | A:継続 | 第2層コーディネーターと顔の見える関係性を継続しながら、本市の生活支援体制整備事業の在り方を検討する。 |
| | | | 105 | 213 | 208 | | | |
| 3 | 生活支援事業主体の育成・支援 | - | 12 | 12 | 13 | 担い手の育成に向けた従事者研修を実施した。 | A:継続 | 担い手の育成及びその後の活動支援を充実させる体制づくりに努める。 |
| | | | 11 | 15 | 15 | | | |
| 4 | 地域の介護予防・生活支援サービスの情報提供 | - | - | - | 市及び関係機関(市社協・地域包括支援センター、ケアマネジャーなど)により高齢者の医療と介護に関する情報や生活支援に関する情報を収集しているが、情報の一元化ができておらず、共有が不十分であることを踏まえ、データの一元管理による効率的な情報収集・共有を行うことで、住民サービスの向上につなげることができるよう検討した。また、関係者の報告の簡略化と成果の可視化をするためのツールの構築について検討した。 | A:継続 | 健康づくり課との連携を深めながら、介護予防に限らず広く高齢者の健康維持に資する取組等の普及を進める。データ管理や可視化のためのツールについては、システム導入による構築に限らず幅広く手法を検討していく。 | |

基本方針3 保険給付事業の円滑な運営

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の取組 |
|--------------------|-----------------------|----------------------|----------|----------|--|---|--|--|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策2 | 1 介護保険事業者指導・監査事業 | 実地指導の実施箇所数(箇所) | 90 | 92 | 96 | 県指定及び市指定ともに実地指導を再開し、実施計画通りに実施した。 | A:継続 | 県と連携しながら、計画的に指導を実施していく。 |
| | | | 2 | - | 96 | | | |
| | 2 介護保険事業者支援事業 | 事業者連絡会議参加者数(人) | 210 | 210 | 0 | 介護サービスの質の確保・向上を図るため、市内の全ての介護サービス事業者を対象とした連絡会議を開催し、高齢者施策等に係る情報提供等を行うことにより、介護保険制度の円滑な運営のための環境形成を図る。 令和4年度は、過去2か年度同様、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者及び関係者の健康と安全を最優先に考慮し、会場招集型の会議によらず、メール配信による書面(資料配付)により周知を行った。 | A:継続 | 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に変更されたため、令和5年度から元の会場招集型の会議に戻して開催する。 |
| | | | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 3 介護人材確保支援事業 | - | - | - | - | 市立小中学校の児童・生徒を対象とし、介護の魅力に係る普及啓発を行うための出前講座を実施したほか、介護職員等キャリアアップ支援事業費補助金を新設し、市内で介護保険事業所等を運営する法人が、介護職員等にキャリアアップのための研修を受講等させた際に、負担した経費の一部を助成した。また、市内の若手職員が事業所を超えた関係をつくるとともに、職員の職場定着へとつなげることを目的として、年度末には就労5年目以下の職員による意見交換会を開催した。 | B:見直し・改善 | 市立小中学校の児童・生徒を対象とした出前講座を継続して実施する。また、研修費等の負担に関する事業者向け補助金の対象研修を拡大し、介護人材の資質の向上及び事業所の負担軽減を図るとともに、事業所向け出前研修を開催することで、さらに資質の向上を図る。 |
| | 4 ケアマネジメント技術向上支援事業 | ケアプラン点検数(件) | 108 | 108 | 108 | ケアプラン点検については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて感染対策を徹底しながら、全件面談で実施。ケアマネジメント技術向上支援事業研修会においては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、YouTube等での動画視聴を基本としたが、回によっては会場と動画視聴のハイブリッドでも開催した。 | B:見直し・改善 | 今後もケアマネジャーの声を踏まえて随時改善していく。なお、今後の研修についても、新型コロナウイルス感染状況を見ながら、Zoomや動画を活用して事業を進めていく予定だが、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、内容に応じて対面が有効であると考えられる場合は対面で実施できるように検討する。 |
| | | 研修会参加者数(人) | 150 | 150 | 450 | | | |
| | | | 110 | 357 | 409 | | | |
| 5 介護サービス相談員派遣事業 | 事業所訪問延べ回数(回) | 609 | 609 | 1,100 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、派遣を中止していたが、令和5年2月から、受入可能な事業所において派遣を再開した。 | A:継続 | 感染症の状況をみながら、介護相談員及び受入事業所の意向を確認し、派遣を行う。 | |
| | | 0 | 0 | 35 | | | | |
| | 派遣事業所数(箇所) | 54 | 54 | 54 | | | | |
| | | | 53 | 53 | 48 | | | |
| 6 介護給付適正化事業 | - | - | - | - | 給付費通知の発送、ケアプランの点検等、これまでの事業に加え、国民健康保険団体連合会から提供されるデータの活用により給付の適正化を図った。 | A:継続 | 引き続き、給付の適正化を図っていく。 | |
| 7 居宅介護支援事業者等補助事業 | 助成件数(件) | 68 | 73 | 78 | 実績が見込量を下回り、助成件数も減となった。補助要件を満たさず不交付になった件数は16件にのぼった。 | A:継続 | 適切な助成が行われるよう、引き続き申請内容を確認していく。 | |
| | | 61 | 70 | 54 | | | | |
| 施策3 | 1 高額介護サービス費等の給付 | 高額介護サービス費(千円) | 357,916 | 427,197 | 442,148 | 実績が見込量を上回ったが、見込量とおおむね同程度で推移している。 | A:継続 | 適切な助成が行われるよう、高額介護サービス費及び高額医療合算介護サービス費については、引き続き対象者に申請勧奨を行い、特定入所者介護サービス等費については、金銭的に困難な利用者に対し、窓口等で制度の案内を行う。 |
| | | | 385,812 | 386,053 | 380,228 | | | |
| | | 高額医療合算介護サービス費(千円) | 48,978 | 58,375 | 60,418 | | | |
| | | | 50,192 | 49,938 | 51,948 | | | |
| | | 特定入所者介護サービス費等給付費(千円) | 351,001 | 373,806 | 386,888 | | | |
| | | 351,281 | 294,327 | 240,413 | | | | |
| 2 社会福祉法人等利用者負担軽減事業 | 利用者負担軽減によるサービス利用者数(人) | 10 | 11 | 12 | 実績が見込量を上回り、利用者数も増となった。 | A:継続 | 引き続き、経済的に困難な利用者に対し、窓口等で制度の案内を行う。 | |
| | | 13 | 15 | 24 | | | | |
| 3 介護サービス情報公表事業 | - | - | - | - | 事業所情報について、月に1度情報を更新し、ホームページでの公開及び窓口での情報提供を行った。 | A:継続 | 引き続き、窓口やホームページで情報を公開する。 | |

基本方針4 地域における高齢者支援体制の強化

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の取組 |
|-----|--------------------------|-----------------|--------------------|----------|----------|--|------|---|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策1 | 1 地域包括支援センター運営事業 | 相談件数(件) | 8,180 | 8,430 | 8,680 | 「議題2 地域包括支援センターの運営について」参照 | A:継続 | 「議題2 地域包括支援センターの運営について」参照 |
| | 2 地域包括支援センターの運営評価 | - | - | - | | | | |
| 施策2 | 1 自立支援ケア会議の開催 | 検討ケース数(件) | 個別ケア会議の件数を含む 21 | 36 48 | 54 35 | オンライン(Zoom)併用によるハイブリッドでの会議を継続。対象を要介護1のケースに拡大したことで、軽度認定者の自立支援・重度化防止につながった。また、令和4年度はねりんピック開催により11月の会議開催がなかったこと、ケアプラン検証の検討(10ケース)を本会議の場で開催したことなどで、検討ケースの見込と実績に乖離が生じた。 | A:継続 | これまでの会議の結果を分析し、会議の目的に応じた開催ができるよう事例対象者や内容などの検討を行う。 |
| | 2 個別ケア会議・圏域ケア会議の開催 | 個別ケア会議検討ケース数(件) | 72 | 36 | 66 | ねりんピック開催や新型コロナウイルス感染症の関係で全体の開催数は減っているが、圏域ケア会議の開催件数が回復傾向にあり、地域課題の共有や関係構築が進められた。WEB会議の活用で会議の多様化が進んでいる。 | A:継続 | 市の地区担当者からの積極的な働きかけや会議テーマの協議等の後方支援を進める。医療職はもとより、法律専門職の参加が少ないことから、関係団体との連携を深め参加者層が厚くなるようバックアップする。 |
| | 3 おだわら地域包括ケア推進会議の開催 | - | - | - | - | 昨年度に引き続き「認知症や独居でも安心して小田原で暮らす」をテーマに実施。地域全体として高齢者を支える仕組みづくりについて検討した。コンビニエンスストアや金融機関といった地域の事業所を対象として、高齢者支援への取組内容等について調査を行った。 | A:継続 | 地域の事業所に対するアンケート調査の結果をもとに、高齢者を支えるためにどのような地域資源が必要か検討していく。 |
| 施策3 | 1 地域の医療・介護の資源の把握 | - | - | - | - | 「在宅医療・介護連携に関する検討会」の開催にあたり、参考データの収集・共有を行った。 | A:継続 | 引き続き現状把握や課題抽出の参考データを収集し、検討会の場で共有・活用をする。 |
| | 2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 | - | - | - | - | 在宅医療・介護連携に関する検討会内で入退院支援をテーマに協議を行い、入院病床を抱える市内11医療機関へ照会を行い、入退院支援の現状、課題を収集し、支援者間でのより良い連携方法について協議した。(年2回) | A:継続 | 令和5年度は「看取り」をテーマに協議する。(年2回) |
| | 3 在宅医療・介護サービス情報発信事業 | - | - | - | - | 令和4年度は19件の情報発信を行い、前年度(20件)と同等の件数だった。発信内容は、小田原医師会地域医療連携室からの毎月の相談医の案内が最も多く、続いて研修案内だった。 | A:継続 | 引き続き実施予定。医療・介護に係るものであれば、研修及びイベント以外の様々な内容の発信をしていく。 |
| | 4 在宅医療・介護連携ツールの作成 | - | - | - | - | ケアネットOHMYと1市3町が協力し、情報共有シートを作成した。令和2年6月から運用中。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により延期していたが、令和5年2月に見直しのための打ち合わせを開催し、各種団体からの活用状況の共有や、周知強化について協議した。 | A:継続 | 引き続き活用状況の把握と見直しを行う。 |
| | 5 相談体制の充実 | - | - | - | - | 小田原医師会地域連携室に相談窓口を設置し、機能維持・強化のため、包括支援センターとの打合せ会を対面で開催した。(令和4年5月17日) | A:継続 | 令和5年度からは周知対象を介護サービス事業所へ変更することとし、10月に開催予定の介護サービス事業所連絡会の場で周知予定。 |
| | 6 多職種共同研修 | 研修会参加者数(人) | 150 | 400 | 400 | 感染症の影響により年3回の対面開催から年2回(1回あたり2回×2の延べ4回)のオンライン(Zoom)形式に変更し、実施した。第1回は自助から始める防災対策について、第2回は「認知症患者における意思決定支援について協議した。各回では、参加者から書記を募り、より参加型の研修になるよう努めた。 | A:継続 | 引き続き年2回のオンライン(Zoom)形式を継続するとともに対面開催も織り交ぜたハイブリッド開催を企画する。第1回は「高齢者の心身の衰えを多職種でケアする」、第2回は「終末期の意思決定支援(看取り)」について扱う予定。 |
| | 7 終活講座 | 講座参加者数(人) | - | 200 | 400 | 感染症予防対策(検温・消毒・人数制限)を行い、開催する。応募多数のため、会場を拡大し、実施(令和4年6月19日)。アンケート結果で要望が多かった「ライフ・デザイン・ノート」の書き方と「終活期の意思決定支援の仕方」について講義する。 | A:継続 | 引き続き、終末期の意思決定支援の重要性について講義するとともに、過去の参加者アンケートや小田原市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果から「終末期の準備として成年後見人制度や死後事務委任・財産整理に関する講義」を行う予定。(令和5年10月29日開催) |
| | | | 開催せず | 207 | 355 | | | |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の見直し |
|----------------------|-------------------------|-------------------------------|----------|----------|---|---|--|--|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策4 | 1 認知症サポーター養成講座 | サポーター養成講座受講者数(人) | 800 | 1,400 | 1,400 | 感染症の影響により企業の講座開催が中止になったところもあったが令和3年度よりは、企業や学校からの依頼が若干、増加した。 | A:継続 | 高齢者の生活に身近な企業へ積極的に働きかけるほか、聴覚障がい者、外国人向けのツール作りを検討する。また、学校関係に働きかけ、若い世代の対象者に認知症に関する正しい知識の普及を図る。認知症サポーターの活躍の場として、地域でクラス認知症の方を見守り支援するチームオレンジの立ち上げを検討する。 |
| | | | 330 | 305 | 449 | | | |
| | 2 認知症地域支援推進事業 | | - | - | - | キャラバン・メイト連絡会等を通じ認知症カフェの運営のサポートを行った。企業アンケートの取組により、認知症啓発の必要性が明らかとなった。 | A:継続 | 介護者の介護負担軽減のため、認知症カフェの安定した運営を目指す。また、認知症サポーターの活躍の場として今後、認知症カフェを利用し、地域における支援体制の強化を目指す。企業アンケートの結果から、企業のニーズに寄り添った認知症啓発を行っていく。 |
| | 3 認知症初期集中支援事業 | 認知症初期集中支援チーム員によるケアマネジメント件数(件) | 5 | 5 | 5 | 感染症の影響により1回中止、オンライン開催や対面会議を行った。新規ケースは5件。 | B:見直し・改善 | 支援が必要な高齢者がいた時には、この事業のシステムを活用して担当の医師に円滑に相談が行われるよう促していく。 |
| | | | 4 | 1 | 5 | | | |
| | 4 認知症居場所づくり支援事業(認知症カフェ) | 認知症カフェ(件) | - | 5 | 5 | 6か所の地域包括支援センターの圏域で認知症カフェを運営している。 | A:継続 | 新規立ち上げの認知症カフェが1か所ある。介護者の介護負担軽減のため、認知症カフェの安定した運営を目指す。 |
| | | 1 | 5 | 5 | | | | |
| 5 高齢者成年後見制度利用支援事業 | 市長申立て審判請求件数(件) | 20 | 21 | 19 | 市長申立て審判請求件数に関しては、年間通じて成年後見制度利用調整会議を行い、対象者に適した権利擁護支援のあり方を多角的な視点から検討した。 | A:継続 | 成年後見制度が必要な方を適切に制度に繋げるため、成年後見制度利用調整会議の質を高めていき、状況に応じて市長申立てが実施できるよう市内での連携を図っていく。 | |
| | 成年後見人等報酬助成件数(件) | 6 | 11 | 12 | | | | |
| | | 24 | 25 | 32 | | | | |
| 6 成年後見制度利用支援事業 | 中核機関の相談件数 | - | - | 150 | ・令和4年10月に中核機関である「おだわら成年後見支援センター」を設置し、成年後見制度の広報・相談支援体制を整えた。 ・小田原市成年後見制度利用促進審議会を2回開催(8月・3月)し、成年後見制度利用支援事業について委員から助言を受けた。 | A:継続 | 引き続き、成年後見制度利用促進のための制度の普及啓発や市民後見人の養成を実施するほか、権利擁護支援のための地域連携ネットワークの構築を進めていく。 | |
| | | - | - | 52 | | | | |
| | 市民後見人研修受講者数(人) | - | - | 2 | | | | |
| | | - | 20 | 5 | | | | |
| 施策5 | 1 家族介護教室開催事業 | 教室参加人数(人) | 200 | 500 | 600 | 【教室】教室については市のホームページからも申込みができるよう改善した。 【交流会】12回すべて開催できた。箱根町の住民が参加しやすいように、また、外出の機会を増やすため1回だけ箱根町のホテルで開催したところ、当事者の参加が増えた。また、おむつの講話を業者に依頼した。 | B:見直し・改善 | 教室、交流会ともに感染症予防対策を行いながら、オンラインと対面方式のハイブリッド型で実施することで、引き続き参加者の増加を図る。 交流会は、年1回の箱根町開催を定着させていく。 |
| | | | 34 | 133 | 267 | | | |
| | 交流会参加人数(人) | 120 | 120 | 120 | | | | |
| | | 87 | 112 | 151 | | | | |
| 2 家族介護用品支給事業 | 支給延べ人数(人) | 472 | 488 | 505 | 委託業者と調整し、受給者が円滑に商品を受け取ることができるよう整備した。また、ホームページにて製品情報の詳細を掲載し、製品を選択しやすくなるよう改善した。 | B:見直し・改善 | 今後の家族介護用品支給事業に関する国の方針を踏まえて、支給を中止する場合はおむつ教室等の代替案を検討する。支給を継続する場合は、支給条件を検討し、並行して普及啓発を図れるような機会を作る等、全体を通して本事業の見直しを図る。 | |
| | 411 | 421 | 475 | | | | | |
| 3 認知症等高齢者SOSネットワーク事業 | | - | - | - | 令和3年度末の登録者数は105人(前年比32名減)であり、登録者数が減少した。 | A:継続 | 引き続き、本事業の目的や方針をより詳しく説明し、市民にも協力を求めるようにする。 | |
| 4 介護マーク普及事業 | | - | - | - | 広報誌で周知を行うことで認知度の向上に努めた。 | A:継続 | 引き続き周知を行い家族介護者の介護負担の軽減に努める。 | |
| 施策6 | 1 食の自立支援事業(任意事業) | 配食実人数(人) | 110 | 105 | 100 | 配食実績は減少傾向にある。要因としては、民間業者の高齢者向けの配食サービスが多様化していることや、高齢化に伴う、施設入所や入院、死亡等があげられる。 | A:継続 | 高齢者のための福祉ガイドや各業者のパンフレット等を窓口配布していく。引き続き周知を行い、サービスを必要とする高齢者の利用につなげる。 |
| | | | 72 | 74 | 57 | | | |
| | 配食数(食) | 18,240 | 17,280 | 16,320 | | | | |
| | | 13,738 | 11,763 | 7,818 | | | | |
| 2 高齢者救急要請カード配付事業 | 新規対象者配付率(%) | 0 | 96.0 | 96.0 | 地区民生委員の戸別訪問等により配布を実施した。 | A:継続 | 地区民生委員の戸別訪問等により配布を実施した。 既に配布している方に対する更新勧奨が、前回の実施から5年経過したことから、更新勧奨を実施。 | |
| | 0 | 96.5 | 96.3 | | | | | |
| 3 独居老人等緊急通報システム事業 | システム設置台数(台) | 15 | 15 | 15 | 新規2件。取り外し1件。(死亡1件) | A:継続 | 事業周知継続。なお近年のホームセキュリティ、見守りサービスの多様化、携帯電話等の普及により、市民の選択肢が広がっている可能性あり。 | |
| | 8 | 9 | 10 | | | | | |
| 4 福祉タクシー利用助成事業 | 利用台数(台) | 2,400 | 2,500 | 2,600 | 利用台数増。徐々に外出に対する意識が変化し、医療機関への受診等外出機会が増加したものと推測。引き続き、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種に利用した場合に使用した枚数のみ追加交付。 | A:継続 | 在宅生活を支える移動支援として、市広報、ホームページ、認定結果通知に同封する案内文、窓口配架の情報冊子等で事業の周知を継続。 | |
| | 2,228 | 3,070 | 3,215 | | | | | |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の振り返り | 評価 | 令和5年度の実組 |
|---------|------------------------|-------------|----------|----------|----------|---|------|---|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策 6 | 5 地域住民主体の支え合い活動に対する支援 | - | - | - | - | 感染症対策を講じながら、各地区での生活応援隊事業や見守り活動等が行われた。 | A:継続 | 集合形式での活動が安心して開催されるよう、引き続き感染症予防対策に関する理解を促し、支え合い活動の更なる活性化を図る。 |
| | 6 居住支援関連情報の提供 | - | - | - | - | 庁内関係課へ対し、県及び県居住支援協議会からの情報提供を行った。 | A:継続 | 引き続き情報提供及び課題の整理のため関連課で連携を図る。 |
| | 7 民間事業者等の協力体制の整備 | - | - | - | - | 協定先から年間10件の連絡があり、地区の民生委員等と協力し速やかに安否確認を行った。 | A:継続 | 協定先から通報があった場合には、地区の民生委員等と協力し、速やかに対応を行う。 |
| | 8 在宅要配慮者に対する災害時支援体制の構築 | - | - | - | - | 災害時の避難を事前に定めておく個別避難計画の作成について自治会・防災部会・ケアマネ事業者等へ説明を行い、作成体制への協力を依頼した。 | A:継続 | 災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が努力義務化されたため、必要な体制について関係機関と調整を進め、モデル地区での計画作成に着手する。 |
| 施策 7 | 1 高齢者虐待防止ネットワーク事業 | 研修会の参加人数(人) | 100 | 100 | 100 | 研修会は身体拘束をテーマに施設職員向けにオンラインであるが実施することができた。ネットワーク会議については、コロナ渦ということもあり未実施であった。 | A:継続 | 研修会は引き続き実施する。ネットワーク会議については、虐待通報の傾向から精神疾患を持った子または孫から、高齢者に対する虐待通報件数が増加しているため、それをテーマにしたネットワーク会議を開催したい。 |
| | 2 養護老人ホーム入所判定事業 | - | - | - | - | 令和4年度は対象おらず未開催。 | A:継続 | 必要に応じて、入所判定会議を行う。 |
| | 3 老人ホーム入所等措置事業 | - | - | - | 2 | 令和2年12月以降、1人について養護老人ホームに措置入所することとなり、安定した生活が継続している。その他令和4年に2名措置をおこなったが、いずれも在宅復帰している。 | A:継続 | 必要に応じて、適切に措置の判断を行う。 |
| | 4 緊急一時入所事業 | - | - | - | - | 利用なし。 | A:継続 | 必要に応じて、高齢者の安全を最優先し対応していく。 |

基本方針2 高齢者の介護予防と健康づくりの推進

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の見込値と実績値の差異の要因等 | 評価 |
|--------------------------|-------------------------------|--------------------------|----------|----------|---|---|--------|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | |
| 施策 3 | 1 訪問型サービス事業 | 国基準訪問型サービス利用 人数(人/月) | 471 | 483 | 498 | 見込値の推移に対して実績値が減少しているが、新規利用者よりも利用を辞めた者が上回ったことによるものである。 | B:経過注意 |
| | | | 437 | 424 | 404 | | |
| | | 基準緩和訪問型サービス利用 人数(人/月) | 10 | 10 | 11 | 見込値と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | | | 12 | 9 | 9 | | |
| | | 住民主体訪問型サービス利用 人数(人/月) | 2 | 3 | 4 | 見込値と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | | | 2 | 4 | 3 | | |
| | 短期集中訪問型サービス利用 人数(人/年) | 2 | 2 | 3 | 【訪問栄養指導】 実績は1件であった。 実績増加にはつながっていないが、訪問栄養指導に関しては地域包括支援センターの認識が高まっており、必要な選出ができていないと感じている。 【訪問口腔指導】 令和3年12月から新規事業を開始したが、実績はなかった。訪問栄養指導と同様、地域包括支援センターに訪問口腔指導の必要性について積極的に周知する。 | A:妥当 | |
| | | 2 | 2 | 1 | | | |
| | 2 食の自立支援事業(介護予防・日常生活支援サービス事業) | 配食実人数(人) | 1 | 2 | 4 | 食の自立支援事業の利用者はすべて、任意事業の利用であったため、実績がない状況である。 サービスを必要とする高齢者を適切にサービスにつなげられるように、今後も地域包括支援センター等と連携を図りながら進めていく。 | B:経過注意 |
| | | | 0 | 0 | 0 | | |
| | | 配食数(食) | 91 | 182 | 364 | | B:経過注意 |
| | 0 | | 0 | 0 | | | |
| | 3 通所型サービス事業 | 国基準通所型サービス利用 人数(人/月) | 1,091 | 1,120 | 1,156 | 見込値と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | | | 948 | 945 | 943 | | |
| | | 基準緩和通所型サービス利用 人数(人/月) | 75 | 77 | 79 | 見込値と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | | | 69 | 77 | 69 | | |
| 住民主体通所型サービス利用 人数(人/月) | | 20 | 25 | 30 | 利用人数は令和3年度に比べると減少した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、利用が控えられたこと等が見込値と実績値の差異の原因と考えられる。 | B:経過注意 | |
| | | 5 | 14 | 6 | | | |
| 短期集中通所型サービス利用 人数(人/年) | | 50 | 80 | 80 | 令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防のため1クールの定員の上限を10名と制限したが、人数制限し、今までよりも手厚く個別支援を行ったことで、事業実施前後での参加者個々の運動や認知機能等の向上が見られた。また、少しずつ参加者数が見込み値に近い数値になりつつある。 | A:妥当 | |
| | | 33 | 47 | 62 | | | |
| 4 介護予防ケアマネジメントの実施 | 利用件数(件/月) | 973 | 999 | 1,031 | 見込値の推移に対して実績値が減少しているが、要支援・要介護認定に変更、介護・予防サービスの利用開始等により、対象者数が減少した。 | B:経過注意 | |
| | | 846 | 833 | 801 | | | |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の見込量と実績値の差異の要因等 | 評価 |
|---------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---|--------|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | |
| 施策 1 | 1 要支援・要介護認定事業 | 要介護認定審査判定件数 (件) | 5,200 5,574 | 8,500 5,167 | 8,800 5,534 | 新型コロナウイルス感染症による更新申請の特例措置(審査せずに同じ要支援・要介護度の期間を延長)が前年に引き続き通年で適用となったため、見込量に対し実績値は大幅に下回ったが、特例措置適用件数を含めた件数は年間10,267件であり、おおむね同程度で推移していると言える。ただし、年間の認定件数は、更新申請件数の増加に伴い増加している。 | A:妥当 |
| | 2 訪問介護 | 利用回数(回/年) | 238,649 242,252 | 245,928 269,649 | 254,585 281,706 | 実績値は見込量を上回っているが、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 3 訪問入浴介護 | 利用回数(回/年) | 8,321 8,457 | 8,181 8,658 | 8,080 9,178 | 実績値は見込量を上回っているが、サービス利用者数の増によるものである。 | A:妥当 |
| | 4 介護予防訪問入浴介護 | 利用回数(回/年) | 15 2 | 15 20 | 15 44 | 実績値は見込量を上回っているが、従来のサービス利用者の利用回数の増等によるものである。 | A:妥当 |
| | 5 訪問看護 | 利用回数(回/年) | 62,738 65,246 | 64,652 72,508 | 66,928 74,180 | 実績値は見込量を上回っているが、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 6 介護予防訪問看護 | 利用回数(回/年) | 5,294 5,389 | 5,456 5,756 | 5,648 4,982 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、要介護への介護度変更等により、利用者数が減少した。 | A:妥当 |
| | 7 訪問リハビリテーション | 利用回数(回/年) | 5,566 6,202 | 5,735 6,456 | 5,937 6,819 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 8 介護予防訪問リハビリテーション | 利用回数(回/年) | 778 743 | 801 747 | 829 541 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、要介護への介護度変更等により、利用者数が減少した。 | B:経過注意 |
| | 9 居宅療養管理指導 | 利用回数(回/年) | 36,874 38,082 | 40,191 41,560 | 43,618 44,477 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 10 介護予防居宅療養管理指導 | 利用回数(回/年) | 1,891 1,951 | 1,949 2,017 | 2,018 1,954 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 11 通所介護 | 利用回数(回/年) | 179,165 185,405 | 184,629 197,136 | 191,128 194,333 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 12 通所リハビリテーション | 利用回数(回/年) | 38,170 38,305 | 47,684 42,066 | 49,362 42,746 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 13 介護予防通所リハビリテーション | 利用人数(人/月) | 112 118 | 126 134 | 130 161 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 14 短期入所生活介護 | 利用日数(日/年) | 49,529 51,308 | 51,039 49,446 | 52,836 49,676 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 15 介護予防短期入所生活介護 | 利用日数(日/年) | 934 653 | 1,436 729 | 1,436 837 | 実績値は見込量を下回っているが、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 16 短期入所療養介護 | 利用日数(日/年) | 3,229 2,979 | 3,162 3,916 | 3,111 3,685 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 17 介護予防短期入所療養介護 | 利用日数(日/年) | 48 0 | 48 10 | 48 14 | サービスの性質上、医療的ケアの必要な要支援認定者は元々少ないが、過去の実績から一定程度の利用を見込んだものの、実績値は見込量を下回った。 | B:経過注意 |
| | 18 特定施設入居者生活介護 | 利用人数(人/月) | 690 715 | 743 703 | 770 696 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 19 介護予防特定施設入居者生活介護 | 利用人数(人/月) | 102 85 | 105 79 | 109 68 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、新規利用者が少なく、また要介護への介護度変更等により、利用者数が減少した。 | B:経過注意 |
| | 20 福祉用具貸与 | 利用人数(人/月) | 2,883 2,957 | 2,971 3,183 | 3,076 3,346 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 21 介護予防福祉用具貸与 | 利用人数(人/月) | 815 812 | 840 831 | 870 874 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 22 特定福祉用具販売 | 支給人数(人/年) | 622 612 | 641 585 | 664 583 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |

| | 第8期計画上の事業名 | 項目 (単位) | R2(2020) | R3(2021) | R4(2022) | 令和4年度の見込量と実績値の差異の要因等 | 評価 | |
|-----|------------|-------------------------------|------------------|--------------------|--------------------|----------------------|--|--------|
| | | | 見込 | 見込 | 見込 | | | |
| | | | 実績 | 実績 | 実績 | | | |
| 施策1 | 23 | 特定介護予防福祉用具販売 | 支給人数(人/年) | 230 220 | 237 191 | 245 168 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、予防貸与の利用増が影響したと考えられる。 | A:妥当 |
| | 24 | 住宅改修 | 支給件数(件/年) | 484 460 | 499 401 | 517 423 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 25 | 介護予防住宅改修 | 支給件数(件/年) | 289 237 | 298 250 | 308 227 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、年毎に増減を繰り返しており、事前申請(改修開始)から事後申請(改修完了)までの期間のバラつきが影響していると思われる。 | A:妥当 |
| | 26 | 居宅介護支援 | 利用人数(人/月) | 4,154 4,296 | 4,281 4,450 | 4,432 4,641 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 27 | 介護予防支援 | 利用人数(人/月) | 1,034 988 | 1,066 995 | 1,104 1,040 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 28 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 利用人数(人/月) | 42 41 | 43 35 | 45 38 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 29 | 夜間対応型訪問介護 | 利用人数(人/月) | 46 50 | 47 49 | 49 49 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 30 | 認知症対応型通所介護 | 利用回数(回/年) | 4,526 3,713 | 4,800 4,292 | 4,969 5,027 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 31 | 介護予防認知症対応型通所介護 | 利用回数(回/年) | 10 0 | 28 159 | 29 77 | サービスの性質上、要支援認定者の中に対象者が元々少ないところ、要介護への介護度変更やそれに伴う認知症対応型通所介護の利用増が影響したと考えられる。 | A:妥当 |
| | 32 | 認知症対応型共同生活介護 | 利用人数(人/月) | 291 294 | 294 289 | 304 288 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 33 | 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 利用人数(人/月) | 1 2 | 1 4 | 1 6 | サービスの性質上、要支援認定者の利用は少ないが、実績値は見込量を上回った。 | A:妥当 |
| | 34 | 小規模多機能型居宅介護 | 利用人数(人/月) | 145 123 | 168 138 | 168 148 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 35 | 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 利用人数(人/月) | 17 11 | 19 8 | 19 7 | サービスの性質上、要支援認定者の利用は少なく、実績値は見込量を下回った。 | B:経過注意 |
| | 36 | 看護小規模多機能型居宅介護 | 利用人数(人/月) | 25 27 | 26 19 | 54 26 | 令和4年度に予定していた新規事業所の開設が、令和5年度へ先送りとなり、実績値は見込量を下回った。 | A:妥当 |
| | 37 | 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 利用人数(人/月) | 3 1 | 4 2 | 4 1 | 市内に施設がないが、他市町村の施設利用を一定程度見込んだものの、実績値は見込量を下回った。 | A:妥当 |
| | 38 | 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 利用人数(人/月) | - - | - - | - - | 施設整備計画なし | |
| | 39 | 地域密着型通所介護 | 利用回数(回/年) | 131,709 118,535 | 135,726 121,524 | 140,504 115,290 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、廃止事業所数が新規事業所数を上回ったことによるものと考えられる。 | A:妥当 |
| | 40 | 介護老人福祉施設 | 利用人数(人/月) | 726 733 | 816 774 | 828 763 | 見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。 | A:妥当 |
| | 41 | 介護老人保健施設 | 利用人数(人/月) | 594 543 | 564 525 | 583 514 | 見込量の推移に対して実績値が減少しているが、在宅の医療系サービスが伸びている事によるものと考えられる。 | A:妥当 |
| | 42 | 介護療養型医療施設 | 利用人数(人/月) | 4 3 | 5 1 | 5 1 | 既に多くの施設が医療保険適用の病床等に転換していることから、サービス利用は少数を見込んだものの、実績値は見込量を下回った。 | A:妥当 |
| | 43 | 介護医療院 | 利用人数(人/月) | 37 43 | 38 55 | 79 46 | 令和4年度に予定していた新規事業所の開設が年度末となり、実績値は見込量を下回った。 | A:妥当 |
| | 44 | 介護保険施設等整備事業 (第8期計画期間 新規整備) | 介護保険施設及び特定施設(床) | 100 100 | 0 △10 | 50 50 | 本市では初となる介護医療院が開設された。 | A:妥当 |
| | 45 | | 認知症高齢者グループホーム(床) | 18 18 | 0 0 | 18 0 | 18床の整備を見込んでいたが、令和4年2月に生じたロシアによるウクライナ侵攻により、物資調達に影響が出たことから、令和4年度～5年度の2ヶ年計画に整備計画を見直す必要が生じた。 | B:経過注意 |
| | 46 | | 小規模多機能型居宅介護(箇所) | 2 1 | 0 0 | 1 0 | 令和3年度の公募で事業者選定に至らなかったため、令和4年度に再度公募を行い、令和5年度での整備を予定している。 | B:経過注意 |
| | 47 | 介護保険事業者の指定 | - | - | - | - | 地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護予防・日常生活支援総合事業所の指定を行った。 | |

「おだわら高齢者福祉介護計画」に関する 市内事業所アンケート集計結果

| | |
|------|---|
| 目的 | 市内の介護事業所等について、サービスの利用状況や事業運営上の課題等を把握する。 |
| 対象 | 市内の介護事業所、介護予防・日常生活支援総合事業の事業所、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅 349 事業所 |
| 調査期間 | 令和5年3月31日から令和5年5月24日まで |
| 調査方法 | メール、郵送による配布／メール、FAX、郵送による回収 |

1 アンケート調査の回収状況

○349 事業所中 282 事業所から回答がありました。

○回答率は、80.8%でした。

| サービス種別 | 配付数 | 回収数 | 回収率 |
|---------------------|-----|-----|--------|
| 介護予防支援 | 12 | 12 | 100.0% |
| 居宅介護支援 | 51 | 43 | 84.3% |
| 訪問介護 | 49 | 38 | 77.6% |
| 訪問入浴介護 | 4 | 3 | 75.0% |
| 訪問看護 | 30 | 17 | 56.7% |
| 訪問リハビリテーション | 5 | 3 | 60.0% |
| 夜間対応型訪問介護 | 1 | 1 | 100.0% |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 2 | 2 | 100.0% |
| 通所介護 | 31 | 20 | 64.5% |
| 地域密着型通所介護 | 49 | 39 | 79.6% |
| 通所リハビリテーション | 9 | 7 | 77.8% |
| 認知症対応型通所介護 | 5 | 2 | 40.0% |
| 短期入所生活介護 | 11 | 10 | 90.9% |
| 短期入所療養介護 | 5 | 1 | 20.0% |
| 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） | 10 | 10 | 100.0% |
| 介護老人保健施設 | 5 | 5 | 100.0% |
| 介護医療院 | 1 | 1 | 100.0% |
| 認知症対応型共同生活介護 | 17 | 16 | 94.1% |
| 特定施設入居者生活介護 | 16 | 16 | 100.0% |
| 小規模多機能型居宅介護 | 7 | 7 | 100.0% |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 1 | 1 | 100.0% |
| 住宅型有料老人ホーム | 14 | 14 | 100.0% |
| 軽費老人ホーム | 1 | 1 | 100.0% |
| ケアハウス | 1 | 1 | 100.0% |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 12 | 12 | 100.0% |
| 総計 | 349 | 282 | 80.8% |

2 施設・居住系サービスの入所・入居状況

令和5年4月1日現在の入所・入居状況について調査しました。

○介護老人福祉施設、介護老人保健施設、特定施設入居者生活介護において、前回（令和2年4月1日時点）の入所・入居率（介護老人福祉施設 96.3%、介護老人保健施設 95.9%、特定施設入居者生活介護 80.9%）を下回っており、利用が伸び悩んでいるものと言えます。

○特に、特定施設入居者生活介護の入居率は、「高齢者向け住まいにおける運営形態の多様化に関する実態調査研究（令和3年度老人保健事業推進費等補助金）」によれば、同施設に係る全国平均が 89.7%であることから、10ポイント以上下回っていることとなります。

○住宅型有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅には、250人を超える要介護3以上の方が入居しており、重度者の住まいとしての役割を担っていることが窺えます。

施設・居住系サービスの入所・入居状況（令和5年4月1日時点・保険者別）

| サービス種別 | 定員数 | 入所・入居者数 | | | 空床 | 入所・入居率 |
|---------------|-------|---------|-------|-----|-----|--------|
| | | 市内 | 市外 | 未回答 | | |
| 介護老人福祉施設 | 908 | 849 | 656 | 193 | 59 | 93.5% |
| 介護老人保健施設 | 560 | 509 | 333 | 176 | 51 | 90.9% |
| 介護医療院 | 50 | 44 | 29 | 15 | 6 | 88.0% |
| 特定施設入居者生活介護 | 1,192 | 912 | 567 | 345 | 280 | 76.5% |
| 短期入所生活介護 | 198 | 143 | 100 | 27 | 16 | 72.2% |
| 認知症対応型共同生活介護 | 279 | 266 | 266 | 0 | 13 | 95.3% |
| 住宅型有料老人ホーム | 393 | 345 | 267 | 78 | 48 | 87.8% |
| 軽費老人ホーム | 66 | 58 | 55 | 3 | 8 | 87.9% |
| ケアハウス | 30 | 27 | 16 | 11 | 3 | 90.0% |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 227 | 210 | 155 | 55 | 17 | 92.5% |
| 総計 | 3,903 | 3,363 | 2,444 | 903 | 16 | 86.2% |

※未回答事業所がある都合上、本表中の定員数は、実際の定員数と異なります。（短期入所生活介護の実際の定員数は252、認知症対応型共同生活介護の実際の定員数は297）

施設・居住系サービスの入所・入居状況（令和5年4月1日時点・要介護状態区分別）

| サービス種別 | 入所・入居者数 | | | | | | | | | |
|---------------|----------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| | 要介護認定区分 | | | | | | | | | |
| | 不明・申請中など | 自立 | 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | |
| 介護老人福祉施設 | 849 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 219 | 403 | 222 |
| 介護老人保健施設 | 509 | 105 | 0 | 0 | 0 | 40 | 75 | 104 | 129 | 56 |
| 介護医療院 | 44 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 9 | 13 | 15 |
| 特定施設入居者生活介護 | 912 | 4 | 3 | 59 | 49 | 237 | 158 | 137 | 181 | 84 |
| 短期入所生活介護 | 143 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 認知症対応型共同生活介護 | 266 | 10 | 0 | 0 | 3 | 50 | 63 | 75 | 46 | 19 |
| 住宅型有料老人ホーム | 345 | 10 | 1 | 4 | 7 | 70 | 69 | 57 | 75 | 52 |
| 軽費老人ホーム | 58 | 0 | 17 | 6 | 7 | 19 | 9 | 0 | 0 | 0 |
| ケアハウス | 27 | 2 | 7 | 5 | 6 | 5 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| サービス付き高齢者向け住宅 | 210 | 5 | 7 | 21 | 16 | 57 | 34 | 32 | 27 | 11 |
| 総計 | 3,363 | 136 | 35 | 95 | 88 | 482 | 418 | 633 | 874 | 459 |

※短期入所生活介護に係る要介護認定区分は、調査していません。

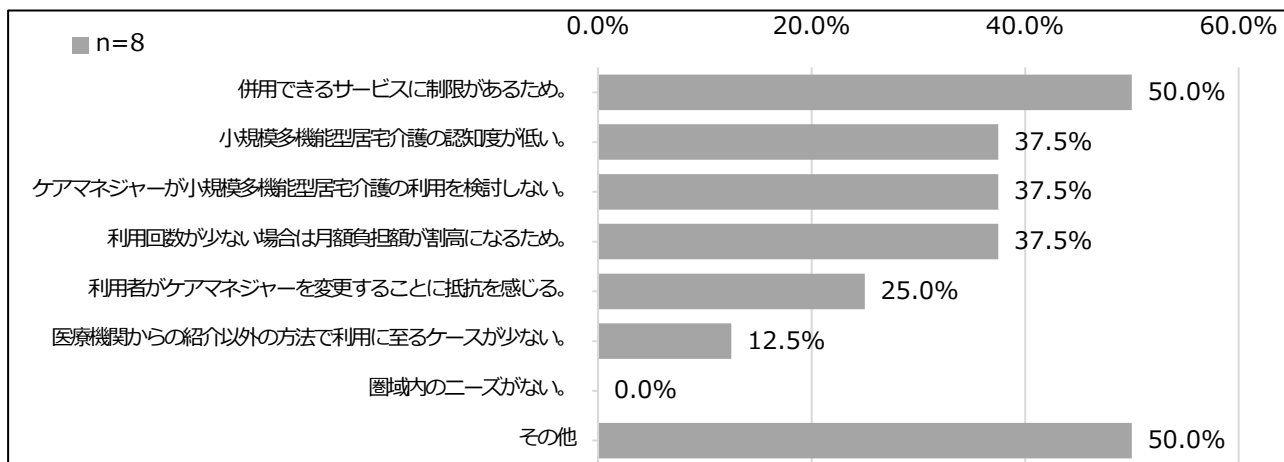
3 (看護) 小規模多機能型居宅介護の状況

令和5年4月1日現在の登録状況について調査しました。

○登録定員 228 人に対し、登録者数は 166 人、登録率は 72.8%でした。

○登録者が伸び悩む理由として、「併用できるサービスに制限がある」「認知度が低い」「ケアマネジャーが利用を検討しない」「利用回数が少ない場合は月額負担額が割高になる」ことが挙げられました。

利用者が少ない理由（複数回答）



4 事業所運営上の課題

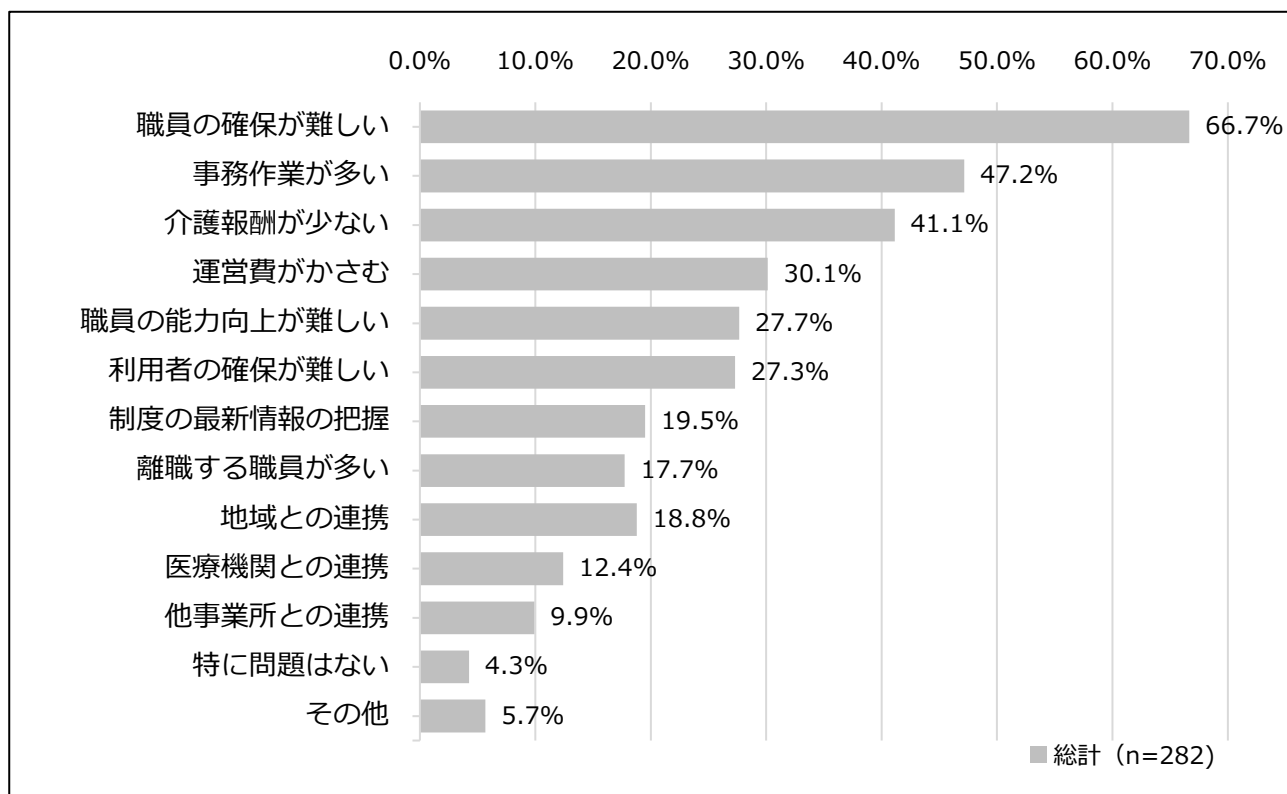
事業所を運営する上での課題について調査しました。

○約3分の2の事業所が、「職員の確保が難しい」と回答しています。前回から12.1ポイント増加しており、職員確保の困難さが増しています。

○半数近くの事業所が、「事務作業が多い」「介護報酬が少ない」と回答しています。

○特に、介護予防支援事業所（12事業所）の83.3%、居宅介護支援事業所（43事業所）の67.4%が「事務作業が多い」と回答しています。

事業所運営上の課題（全事業所・複数回答）



サービス類型別・事業所運営上の課題（複数回答）

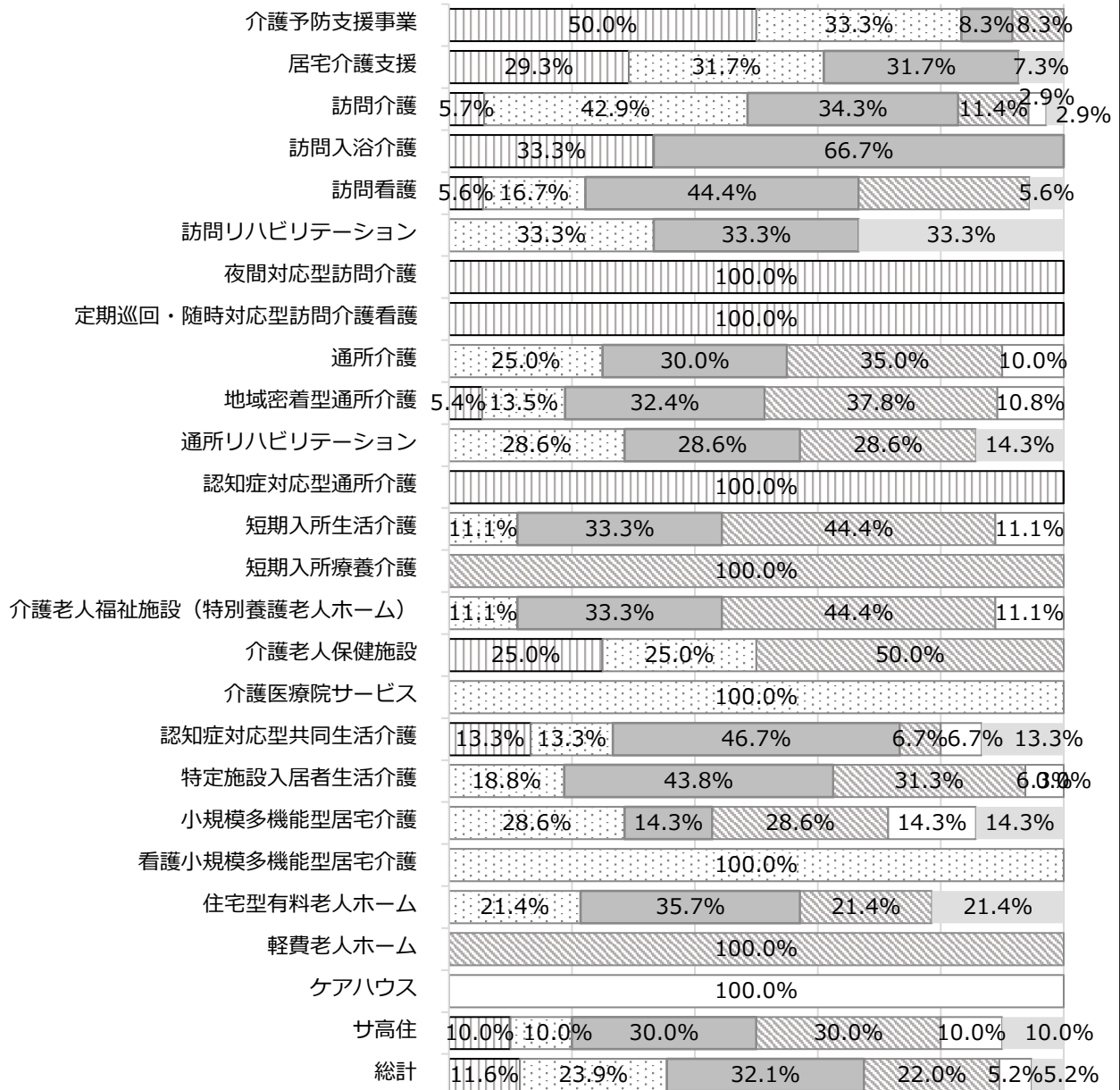
| サービス種別 | 職員の確保が難しい | 事務作業が多い | 介護報酬が少ない | 運営費がかさむ | 職員の能力向上が難しい | 利用者の確保が難しい | 制度の最新情報の把握 | 地域との連携 | 離職する職員が多い | 医療機関との連携 | 他事業所との連携 | 特に問題はない | その他 |
|----------------------------|-----------|---------|----------|---------|-------------|------------|------------|--------|-----------|----------|----------|---------|-------|
| 介護予防支援事業 (n=12) | 75.0 | 83.3 | 16.7 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 8.3 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 0.0 | 8.3 |
| 居宅介護支援 (n=43) | 55.8 | 67.4 | 51.2 | 20.9 | 11.6 | 2.3 | 41.9 | 7.0 | 7.0 | 11.6 | 2.3 | 4.7 | 9.3 |
| 訪問介護 (n=38) | 84.2 | 57.9 | 42.1 | 13.2 | 10.5 | 15.8 | 5.3 | 10.5 | 13.2 | 0.0 | 7.9 | 5.3 | 5.3 |
| 訪問入浴介護 (n=3) | 100.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 訪問看護 (n=17) | 52.9 | 58.8 | 35.3 | 29.4 | 29.4 | 23.5 | 41.2 | 11.8 | 17.6 | 17.6 | 17.6 | 5.9 | 5.9 |
| 訪問リハビリテーション (n=3) | 66.7 | 33.3 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 33.3 |
| 夜間対応型訪問介護 (n=1) | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (n=2) | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |
| 通所介護 (n=20) | 85.0 | 45.0 | 55.0 | 35.0 | 45.0 | 35.0 | 15.0 | 25.0 | 25.0 | 20.0 | 15.0 | 0.0 | 0.0 |
| 地域密着型通所介護 (n=39) | 51.3 | 28.2 | 46.2 | 48.7 | 35.9 | 43.6 | 23.1 | 33.3 | 10.3 | 10.3 | 12.8 | 2.6 | 7.7 |
| 通所リハビリテーション (n=7) | 71.4 | 57.1 | 42.9 | 57.1 | 28.6 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 14.3 |
| 認知症対応型通所介護 (n=2) | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 短期入所生活介護 (n=10) | 80.0 | 40.0 | 30.0 | 60.0 | 30.0 | 60.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 | 30.0 | 20.0 | 10.0 | 0.0 |
| 短期入所療養介護 (n=1) | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） (n=10) | 80.0 | 30.0 | 60.0 | 80.0 | 40.0 | 70.0 | 10.0 | 50.0 | 40.0 | 20.0 | 10.0 | 10.0 | 10.0 |
| 介護老人保健施設 (n=5) | 80.0 | 20.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 40.0 | 20.0 | 0.0 | 40.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 介護医療院サービス (n=1) | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 認知症対応型共同生活介護 (n=16) | 81.3 | 37.5 | 31.3 | 6.3 | 43.8 | 37.5 | 0.0 | 25.0 | 25.0 | 6.3 | 6.3 | 0.0 | 6.3 |
| 特定施設入居者生活介護 (n=16) | 81.3 | 37.5 | 25.0 | 25.0 | 31.3 | 31.3 | 6.3 | 37.5 | 31.3 | 12.5 | 18.8 | 6.3 | 0.0 |
| 小規模多機能型居宅介護 (n=7) | 71.4 | 57.1 | 14.3 | 14.3 | 57.1 | 42.9 | 42.9 | 14.3 | 42.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 (n=1) | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 住宅型有料老人ホーム (n=14) | 35.7 | 35.7 | 71.4 | 35.7 | 14.3 | 28.6 | 7.1 | 14.3 | 7.1 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 軽費老人ホーム (n=1) | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| ケアハウス (n=1) | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| サービス付き高齢者向け住宅 (n=12) | 41.7 | 8.3 | 16.7 | 25.0 | 58.3 | 25.0 | 25.0 | 33.3 | 8.3 | 25.0 | 0.0 | 8.3 | 0.0 |
| 総計 (n=282) | 66.7 | 47.2 | 41.1 | 30.1 | 27.7 | 27.3 | 19.5 | 17.7 | 18.8 | 12.4 | 9.9 | 4.3 | 5.7 |

5 各サービスの需給状況

サービス別に、現在の需給状況をどのように考えるか、調査しました。

○介護予防支援、居宅介護支援については、「需要は供給体制を大きく上回っている」または「需要は供給体制をやや上回っている」と回答した事業所の割合が大きく、供給力が不足している現状が窺えます。

需給状況（サービス別）



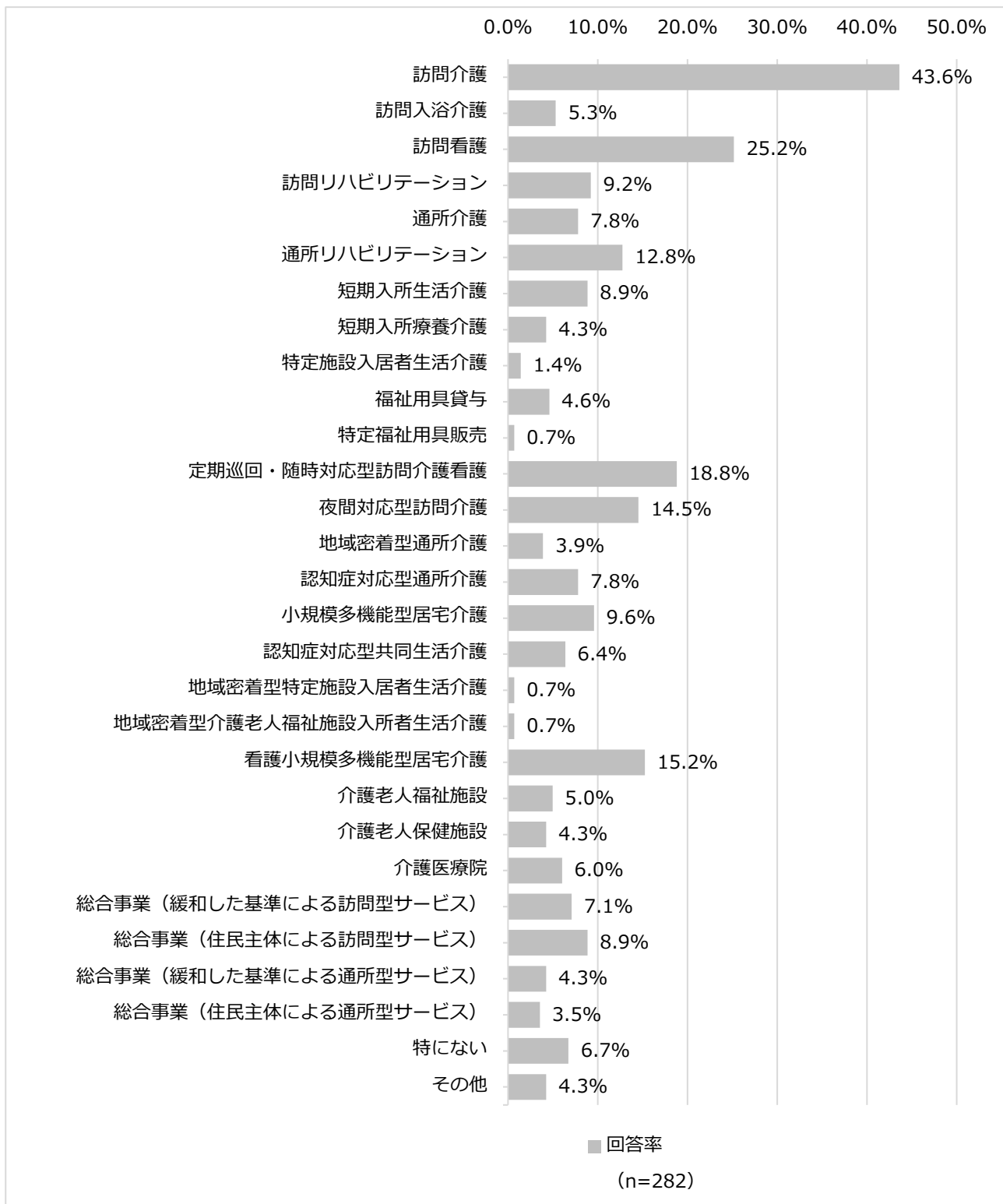
- 需要は、供給体制を大きく上回っている。
- 需要は、供給体制を上回っている。
- 需要は、供給体制とおおむね均衡している。
- 需要は、供給体制をやや下回っている。
- 需要は、供給体制を大きく下回っている。
- わからない。

6 今後充実が必要と思われる介護（介護予防）サービス

「地域包括ケアシステム」を推進するに当たり、今後充実（量的な充実）が必要と思われる介護（介護予防）サービスについて調査しました。

○訪問介護、訪問看護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護が上位を占めており、この傾向は、前回と変わっていません。

今後充実が必要と思われるサービス（全事業所・複数回答）

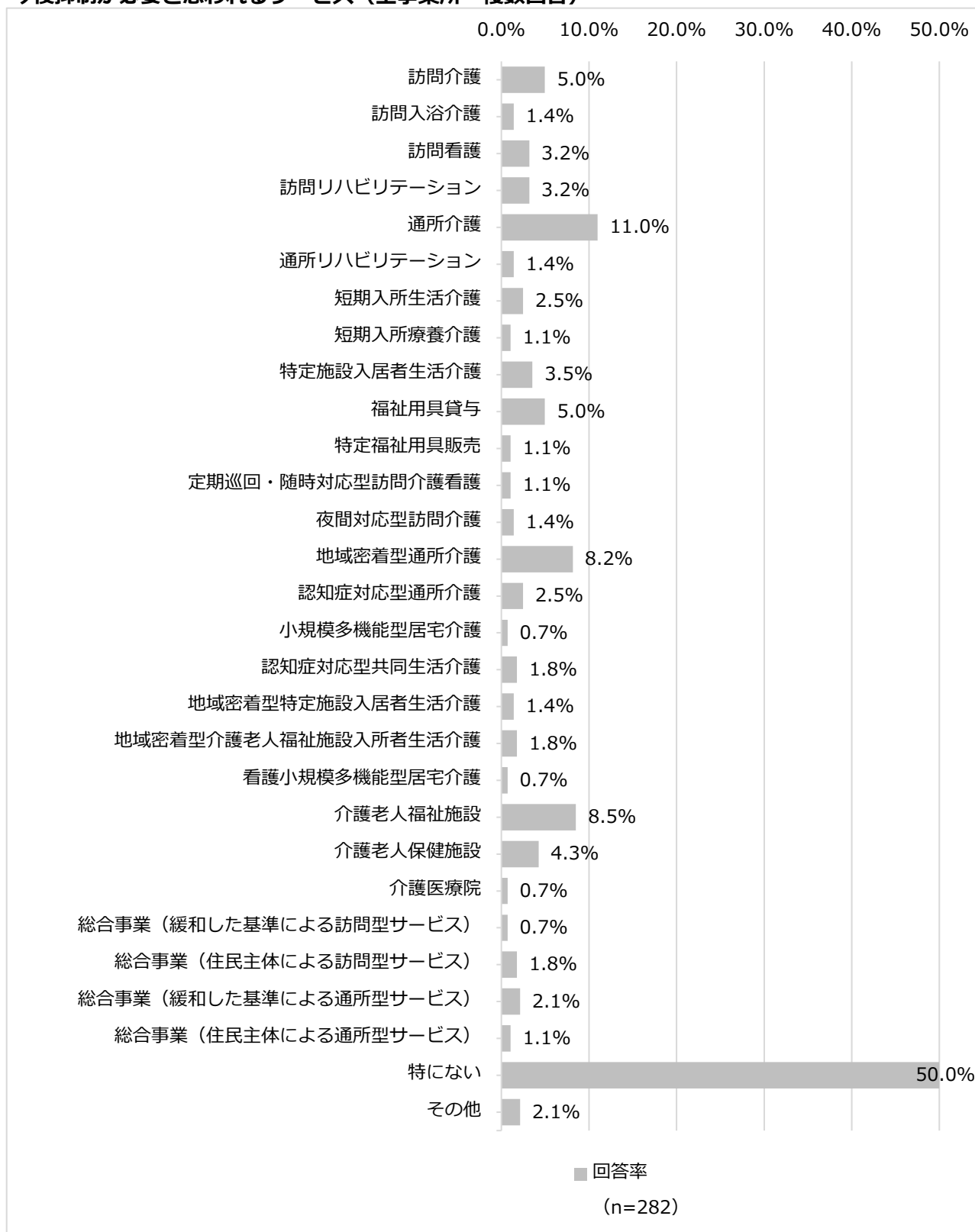


7 今後抑制が必要と思われる介護（介護予防）サービス

「地域包括ケアシステム」を推進するに当たり、今後抑制（量的な抑制）が必要と思われる介護（介護予防）サービスについて調査しました。

○「特にない」との回答が最も多く、5割近くの事業所が回答しています。

今後抑制が必要と思われるサービス（全事業所・複数回答）

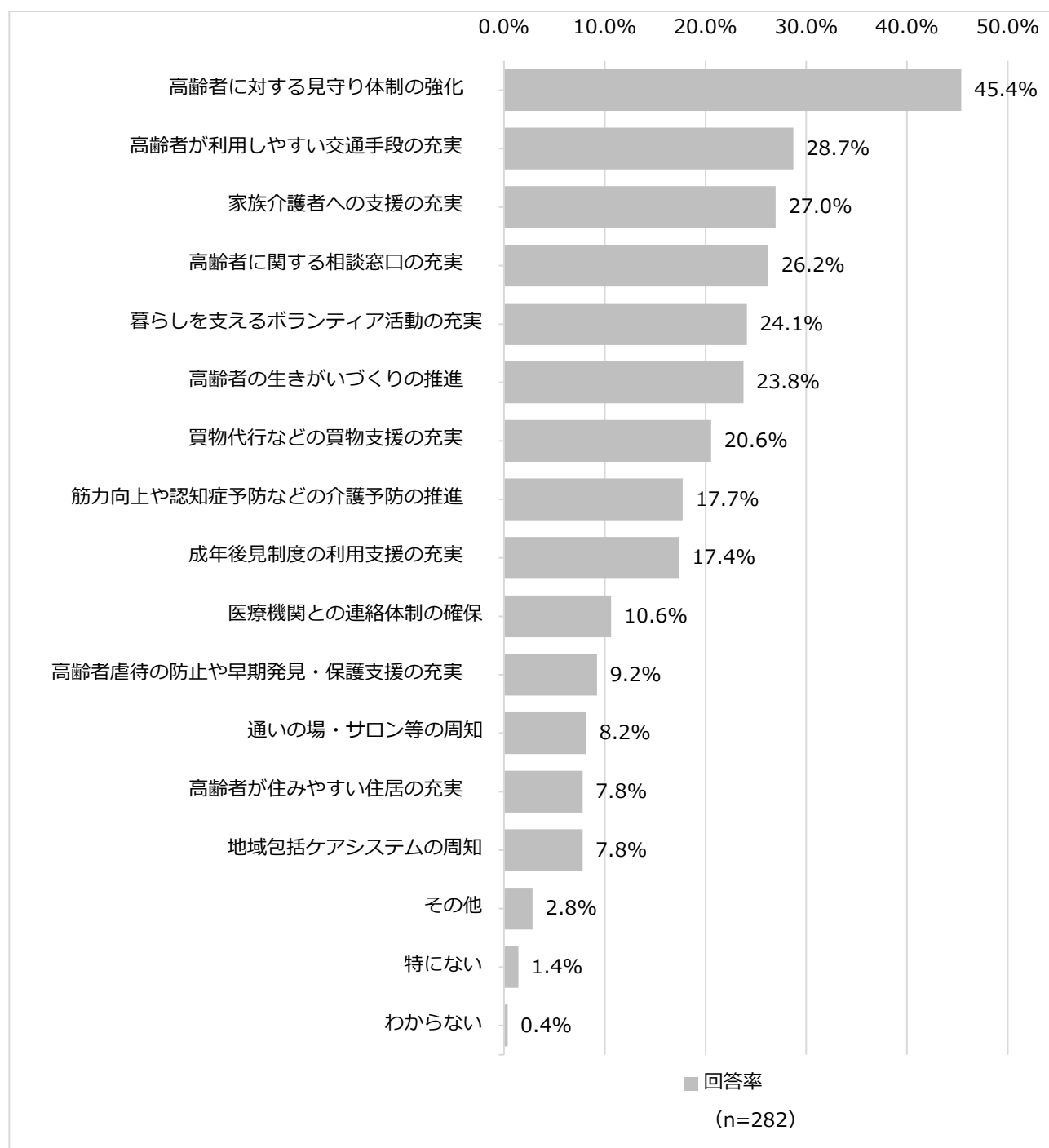


8 今後充実が必要と思われる高齢者施策

「地域包括ケアシステム」を推進するに当たり、介護保険のサービス以外に、今後充実（量的・質的な充実）が必要と思われるものについて調査しました。

- 「高齢者に対する見守り体制の強化」については、4割超の事業所が、必要と回答しています。
- 「高齢者が利用しやすい交通手段の充実」「家族介護者への支援の充実」「高齢者に関する相談窓口の充実」「高齢者の暮らしを支えるボランティア活動の充実」、「高齢者の生きがいがづくりの推進」「買物代行などの買物支援の充実」についても多くの回答がありました。「高齢者に関する相談窓口の充実」については、前回から10ポイント以上上昇しました。

介護保険のサービス以外に、今後充実（量的・質的な充実）が必要と思われるもの（全事業所・複数回答）

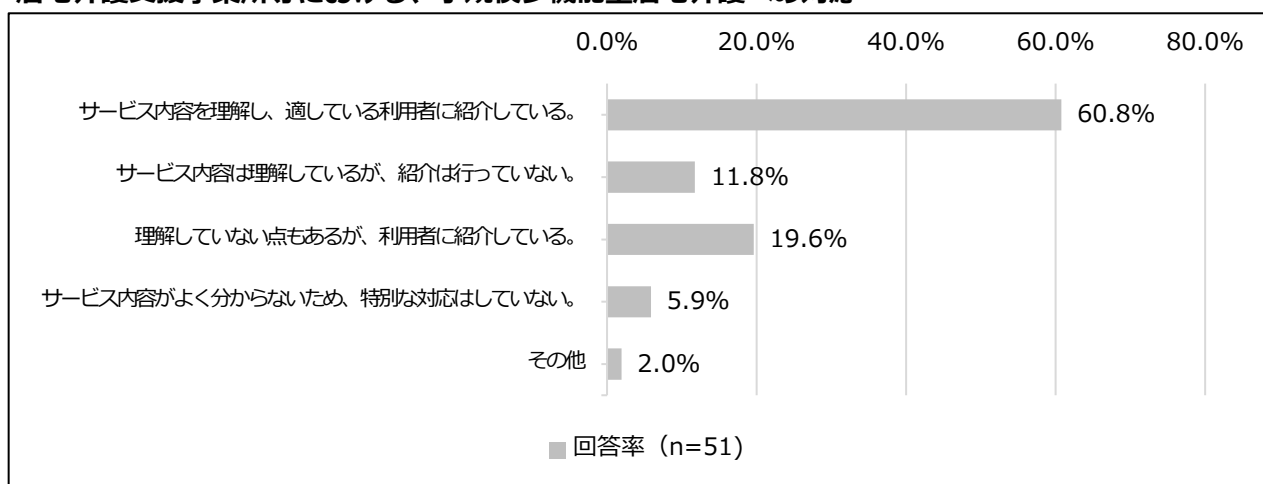


9 小規模多機能型居宅介護への対応

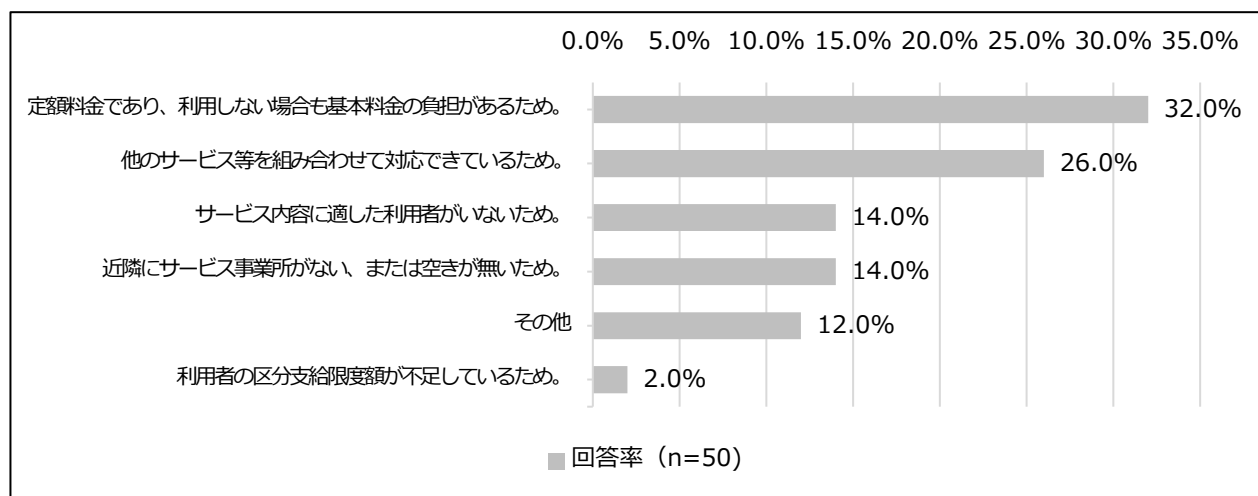
介護予防支援事業所及び居宅介護支援事業所において、小規模多機能型居宅介護にはどのように対応しているか、また、利用に至らない場合、至る場合の理由について、調査しました。

- 約7割の事業所が「サービス内容を理解している」と回答しています。
- 約2割の事業所が「サービス内容を理解していない・よくわからない」と回答しています。
- 7割以上の事業所が「(サービスに) 適していると思われる利用者がいれば紹介している」と回答しています。
- サービスの利用に至らない理由としては、「定額料金であり、サービスを利用しない場合も基本料金の負担があるため」と半数近くの事業所が回答しました。
- 「近隣にサービス事業所がない、または空きがない」との回答も約1割見られました。
- サービスの利用を検討する場合、利用に至る場合としては、「突然宿泊サービスを利用する必要が生じる場合」が多く挙げられました。

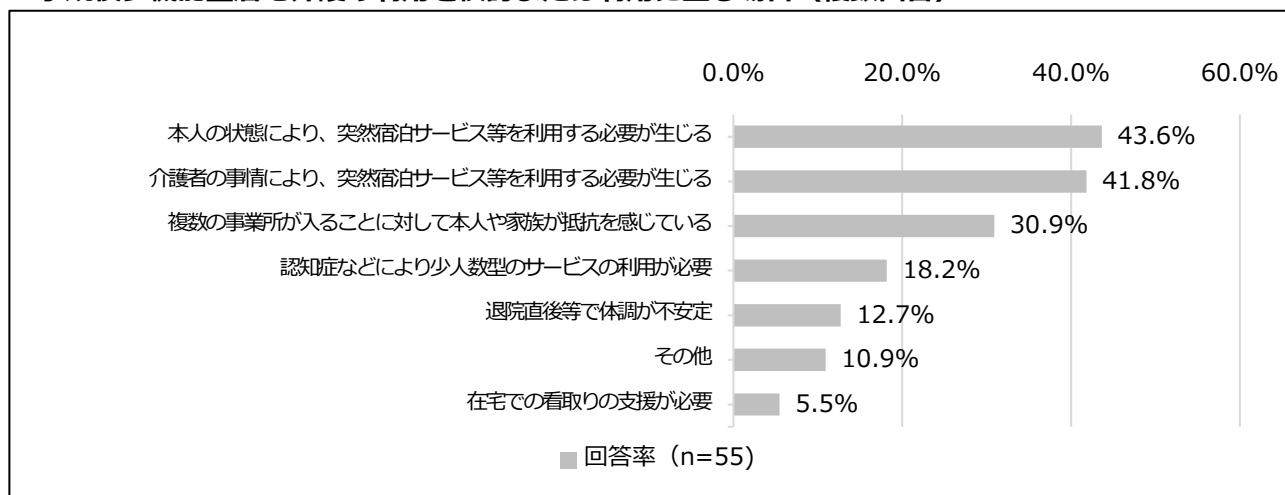
居宅介護支援事業所等における、小規模多機能型居宅介護への対応



小規模多機能型居宅介護の利用に至らない理由



小規模多機能型居宅介護の利用を検討または利用に至る場合（複数回答）

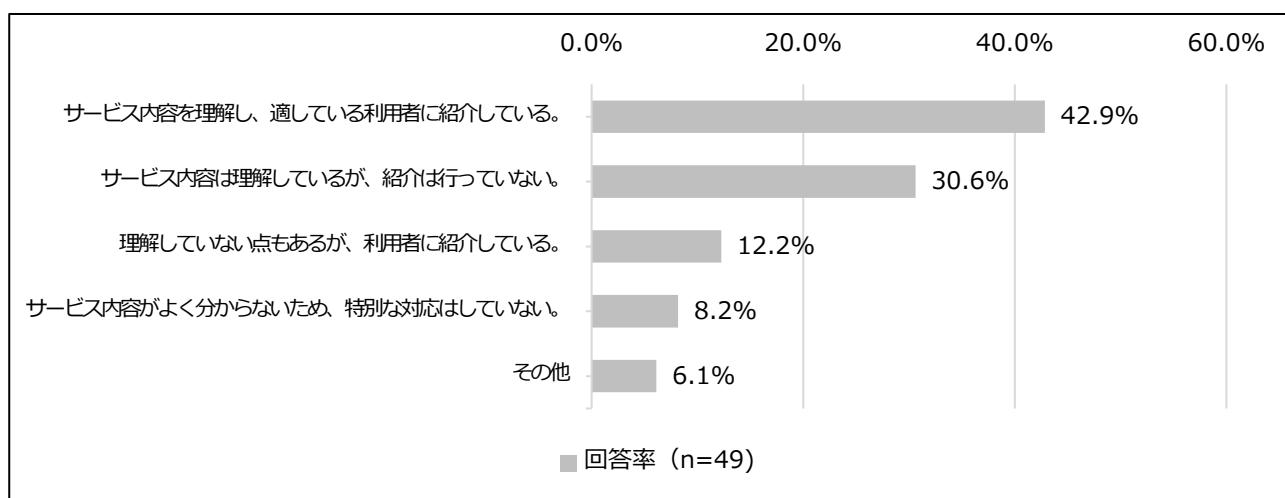


10 看護小規模多機能型居宅介護への対応

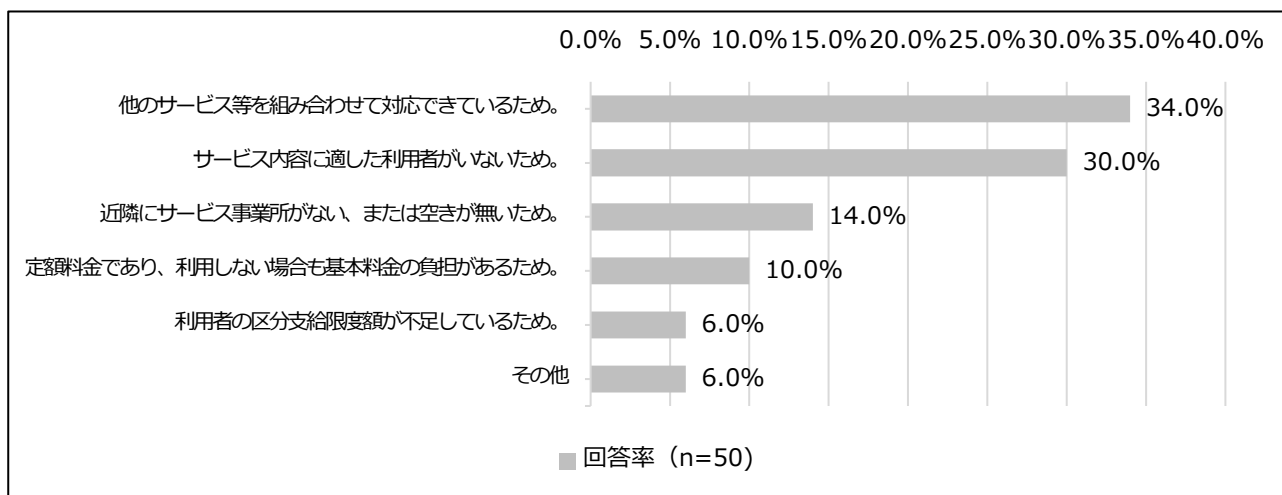
介護予防支援事業所及び居宅介護支援事業所において、看護小規模多機能型居宅介護にはどのように対応しているか、また、利用に至らない場合にはその理由について、調査しました。

- 7割超の事業所が「サービス内容を理解している」と回答しています。
- 約2割の事業所が「サービス内容を理解していない・よくわからない」と回答しています。
- 約半数の事業所が「(サービスに) 適していると思われる利用者がいれば紹介している」と回答しています。
- サービスの利用に至らない理由としては、それぞれ3割の事業所が「看護小規模多機能型居宅介護以外の介護サービス等を組み合わせて利用することで対応できているため」、「サービス内容に適した利用者がいないため」と回答しています。
- サービスの利用を検討する場合、利用に至る場合としては、「退院直後等で体調が不安定な場合」が多く挙げられました。

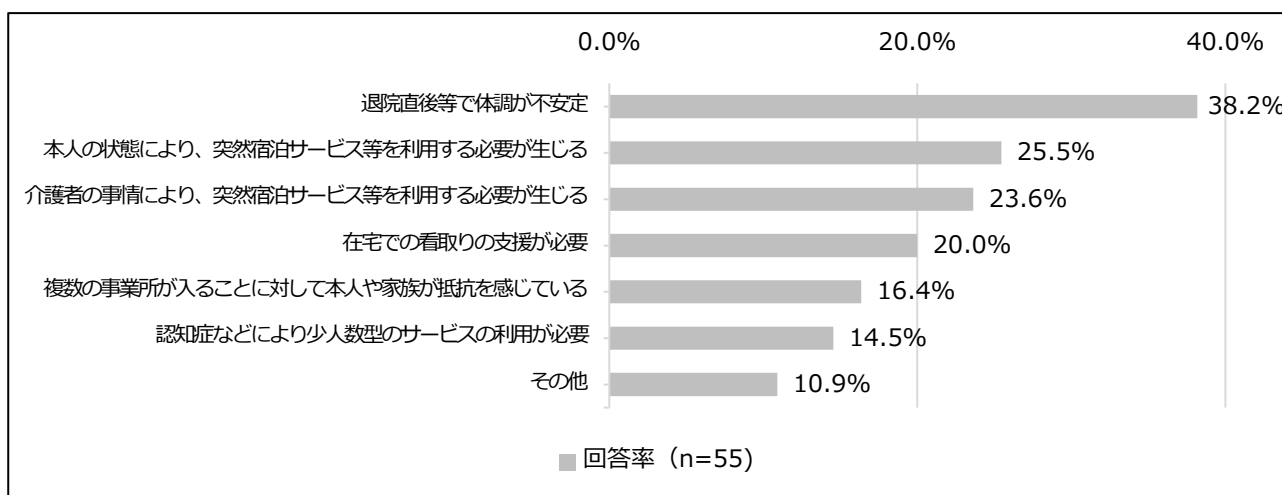
居宅介護支援事業所等における、看護小規模多機能型居宅介護への対応



看護小規模多機能型居宅介護の利用に至らない理由



看護小規模多機能型居宅介護の利用を検討または利用に至る場合（複数回答）

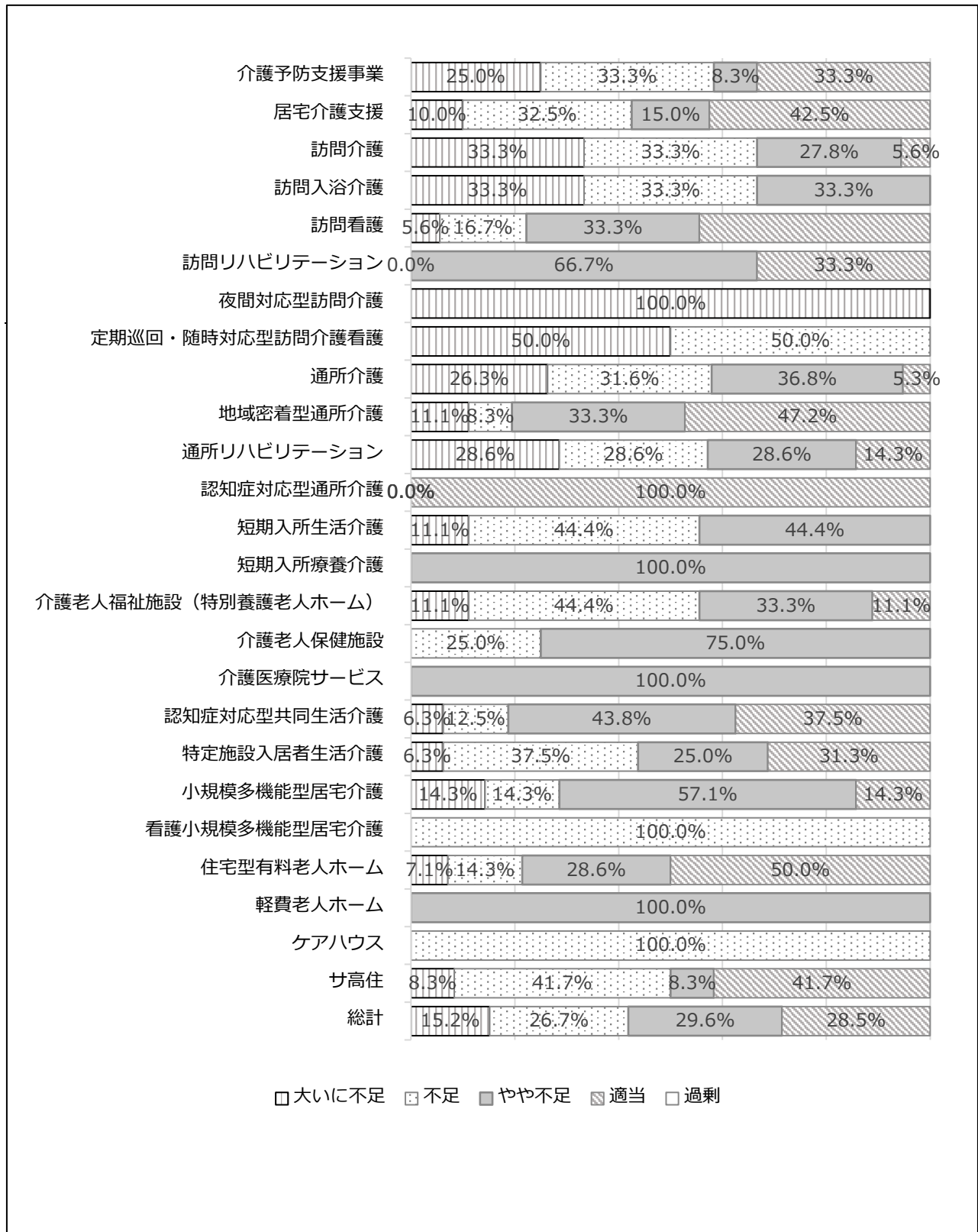


11 職員の不足について

サービス別に、現在の需給状況をどのように考えるか、調査しました。

○7割以上の事業所が、「大いに不足」「不足」「やや不足」と回答しています。

職員の過不足の状況

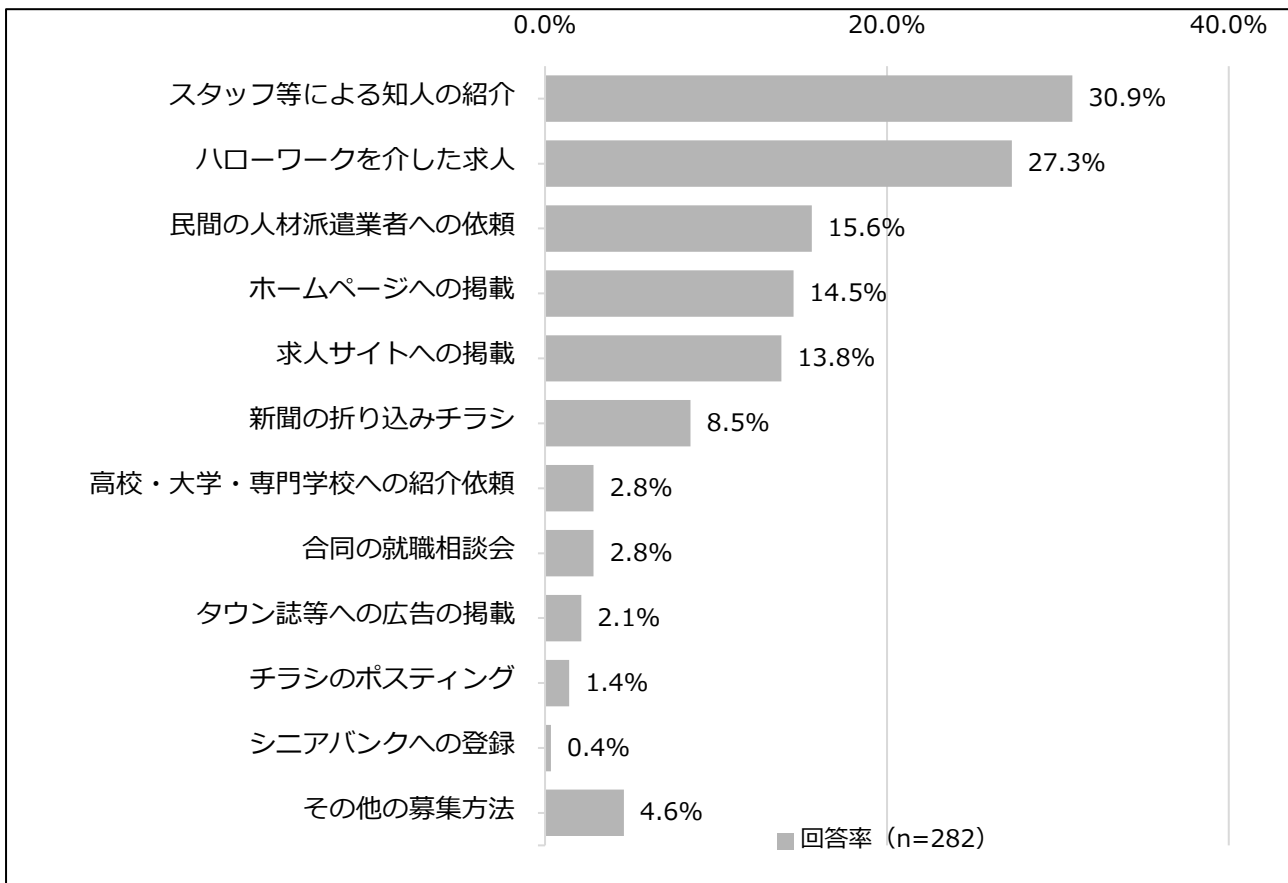


12 職員の採用

職員の採用について調査しました。

○効果があった募集方法として、「スタッフ等による知人の紹介」「ハローワークを介した求人」が多く挙げられました。

職員の募集方法のうち、特に効果があったもの（3つまで）



13 職員の定着

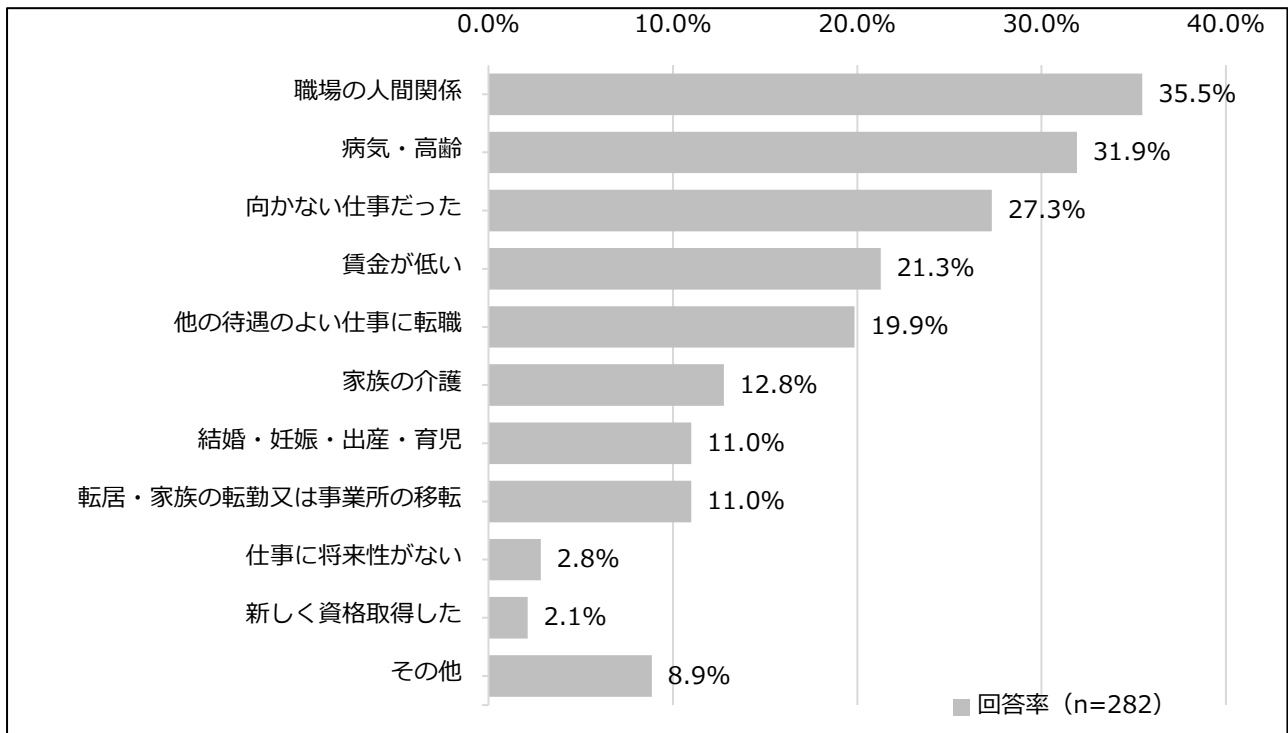
職員の定着について調査しました。

○職員が離職する原因として「職場の人間関係」「病気・高齢」「向かない仕事だった」が多く挙げられました。

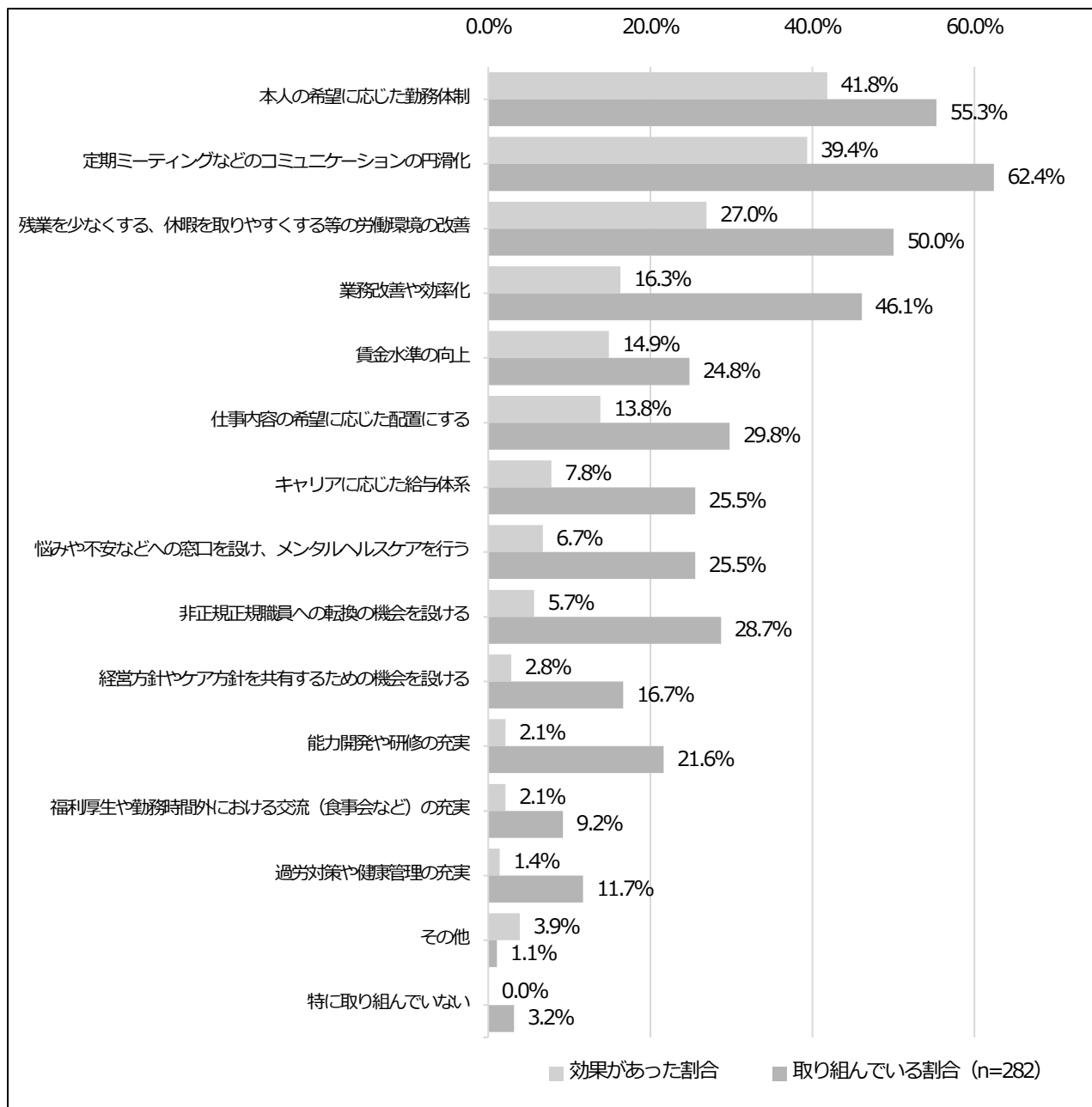
○離職防止のために事業所が取り組んでいることとしては「本人の希望に応じた勤務体制にする」「仕事におけるコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティングや面談など）」「残業を少なくする、休暇を取りやすくする等の労働環境の改善」が多く挙げられました。

○最も効果があったものは「本人の希望に応じた勤務体制にする」であり、「仕事におけるコミュニケーションの円滑化（定期的なミーティングや面談など）」「残業を少なくする、休暇を取りやすくする等の労働環境の改善」が続きました。

職員が離職する原因（3つまで）



離職防止や定着促進のために取り組んでいること・そのうち特に効果があったもの（3つまで）



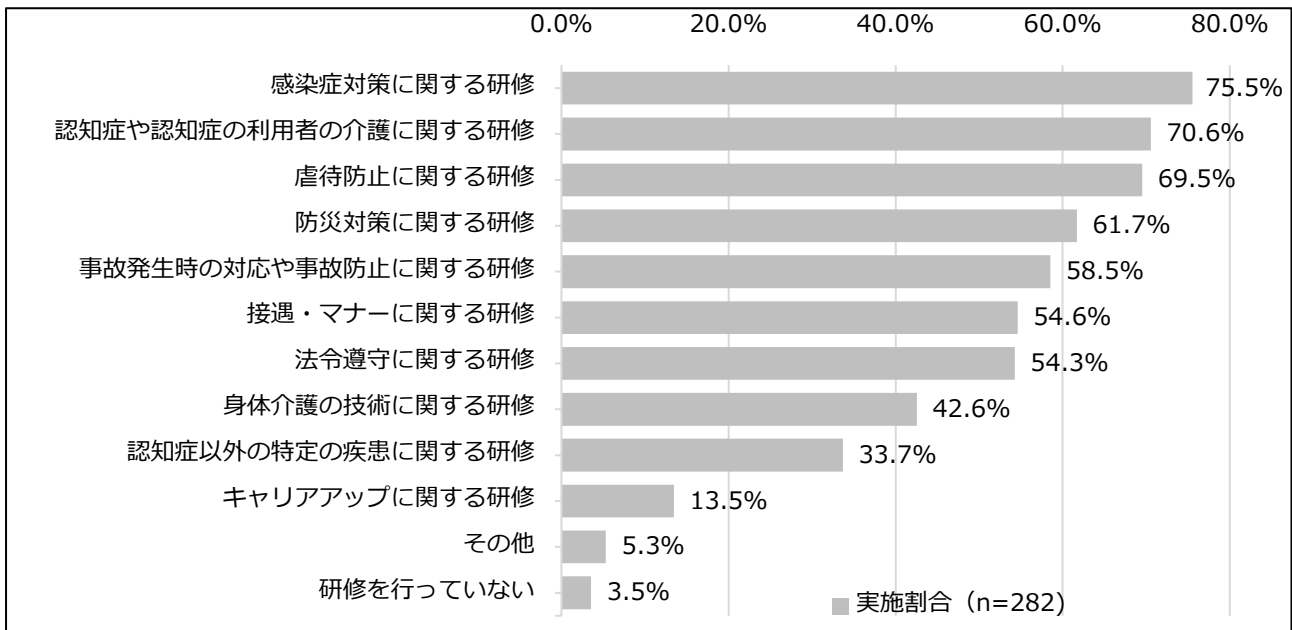
14 職員の研修

職員の研修について調査しました。

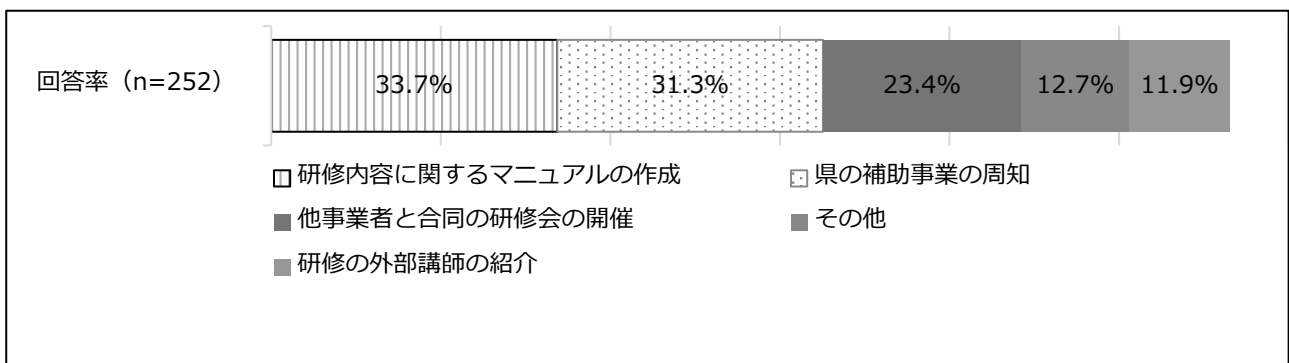
○過半数以上の事業者が、職員 1 人当たり年間 6 回以上の研修を受けさせていましたが、その中でも「感染症対策に関する研修」「認知症や認知症の利用者の介護に関する研修」「虐待防止に関する研修」の実施率が高い結果となりました。

○研修や資格取得のための支援として市に望むものとしては、「研修内容に関するマニュアルの作成」「県の補助事業の周知」が多く挙げられました。

ここ 1 年間（令和 4 年 4 月から令和 5 年 3 月）に行った職員を対象とした研修の内容（複数回答）



研修や資格取得のための支援として、市に望むこと



15 職員の確保・育成全般

職員の確保・育成全般について調査しました。

○職員の確保・育成に係る他の事業者との協力体制について、「協力体制はないが、あったらよい」との回答が過半数に上りました。

○職員の確保・育成に関する課題のうち、最も重視する課題について「職員の定着（離職防止）」との回答が過半数に上りました。

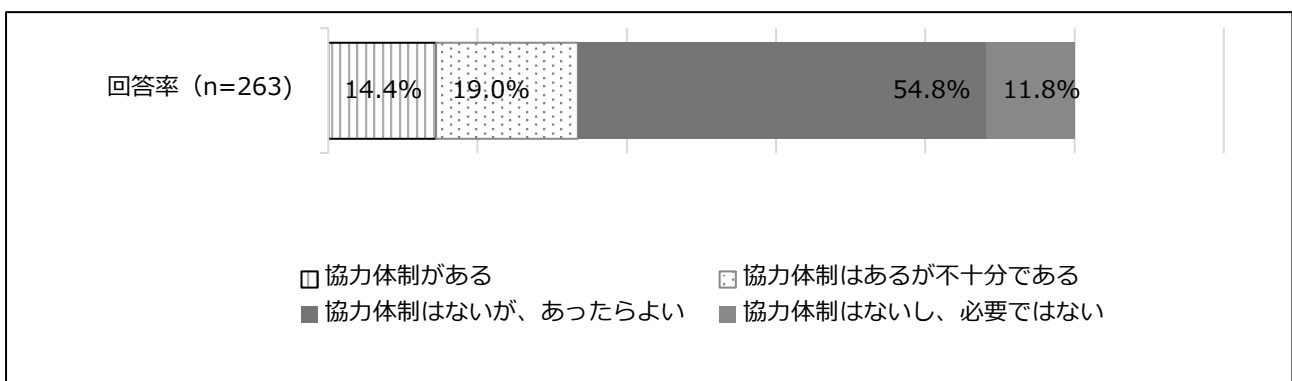
○職員の確保・育成に係る各種の施策について、「有効である」「有効でない」の二者択一方式で質問したところ、「資格取得者に対する補助金」について96.6%の事業者から「有効である」との回答がありました。一方、「複数事業者の若手職員交流研修会開催」に対しては「有効でない」との回答が30.7%に上りました。

○外国人介護人材については、「既に受け入れている」が約2割、「機会があれば受け入れたい」「受け入れる考えはない」がそれぞれ約4割となりました。

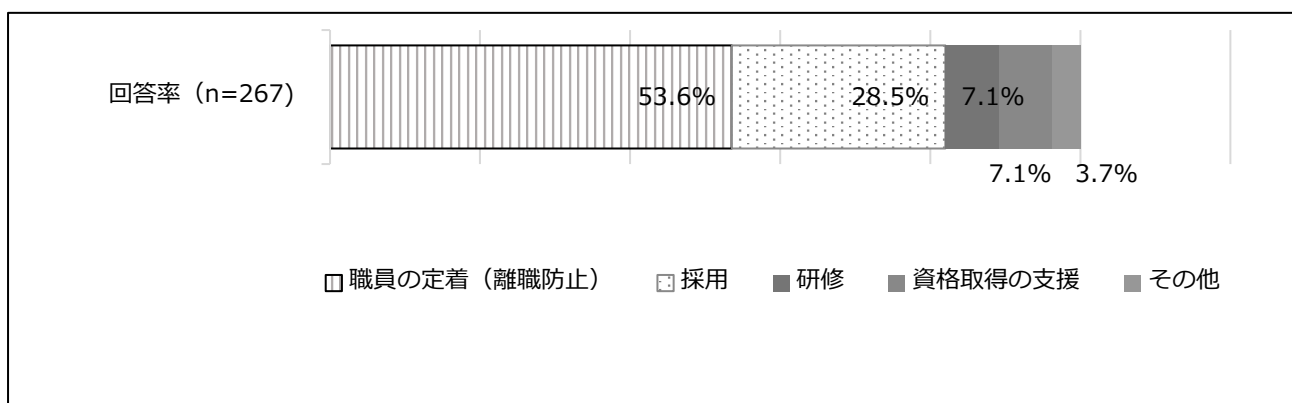
○外国人介護人材を受け入れていない理由としては、「外国人介護人材の対応に不安がある」が半数弱に上りました。

○高齢者（65歳以上）の雇用については、9割近い事業所が、すでに受け入るか、受け入れを検討するとの回答であり、高齢者の雇用が進んでいる状況が窺えました。

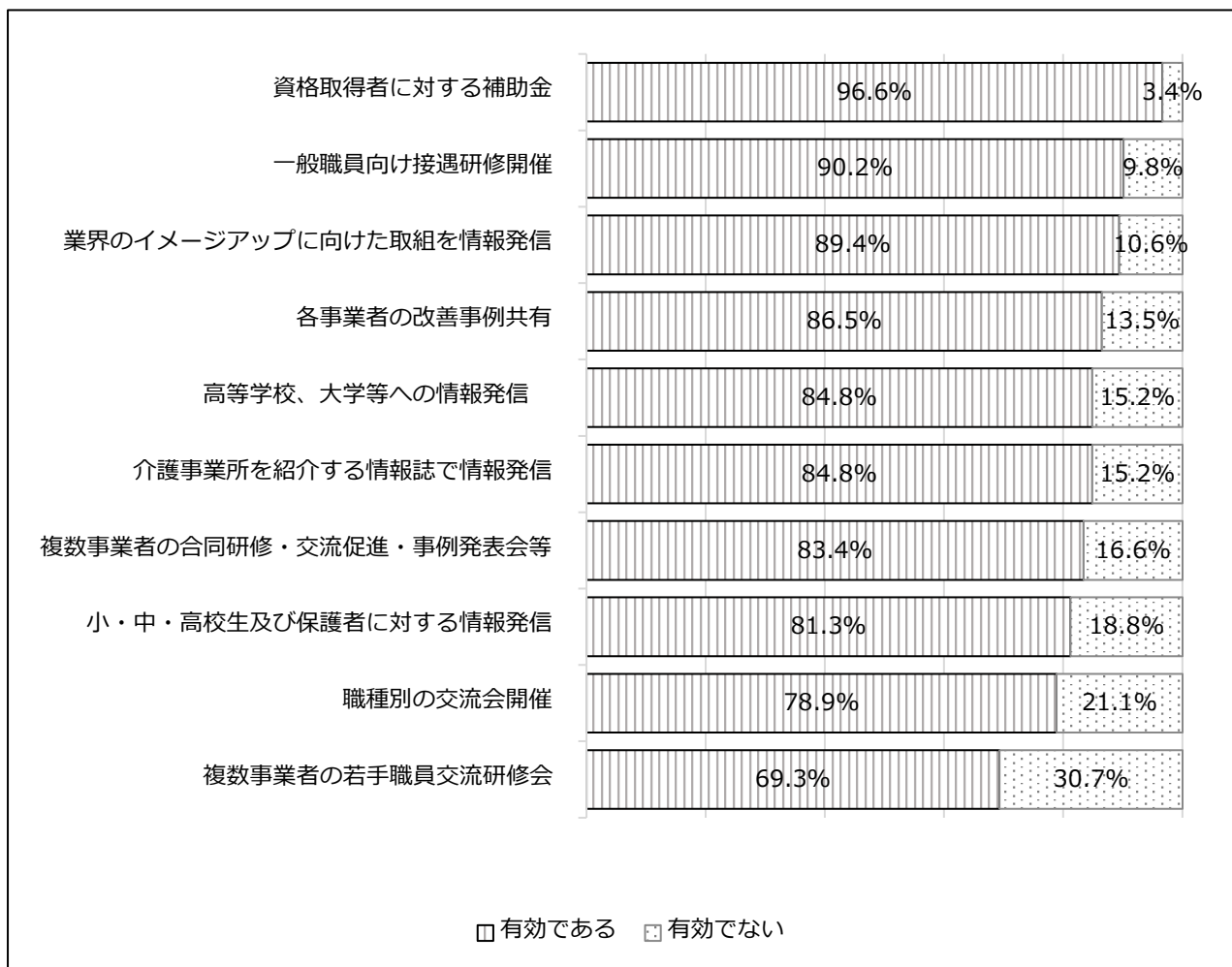
職員の確保・育成に係る他の事業者（他の法人）との協力体制（合同の就職相談会、採用・研修のノウハウの共有、合同の研修、他の事業者からの技術援助や講師派遣など）



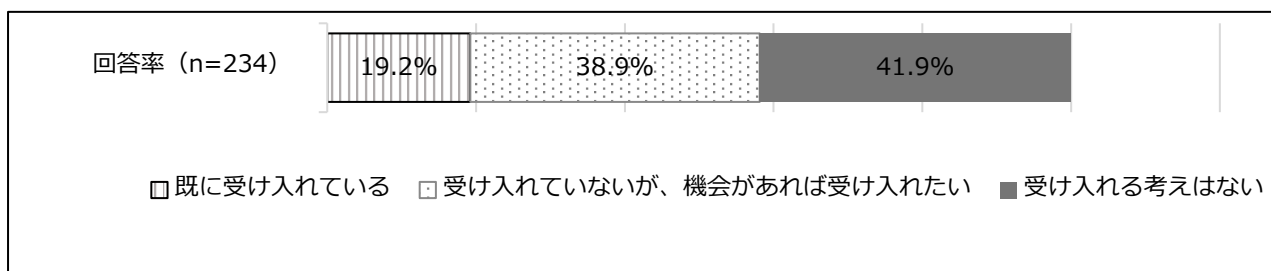
職員の確保・育成に関する課題のうち、最も重視する課題



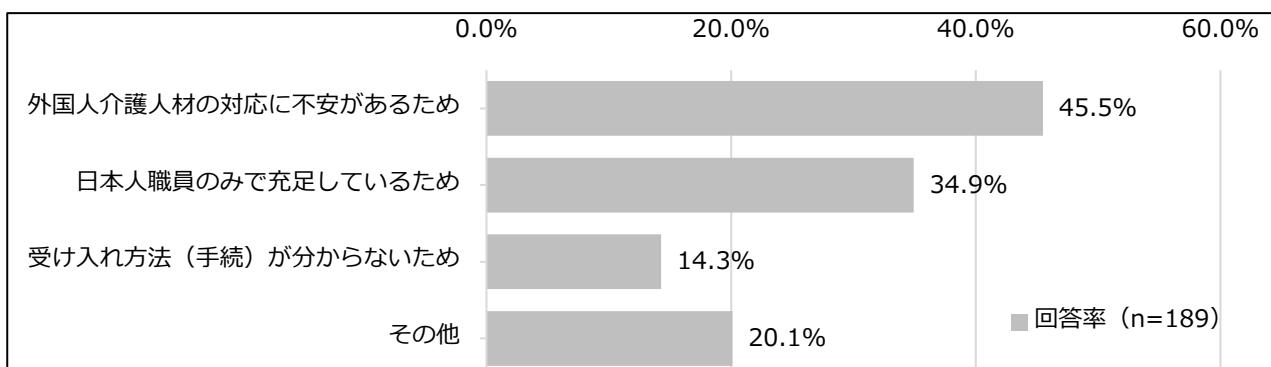
職員の獲得・育成に対し、有効な施策・有効でない施策



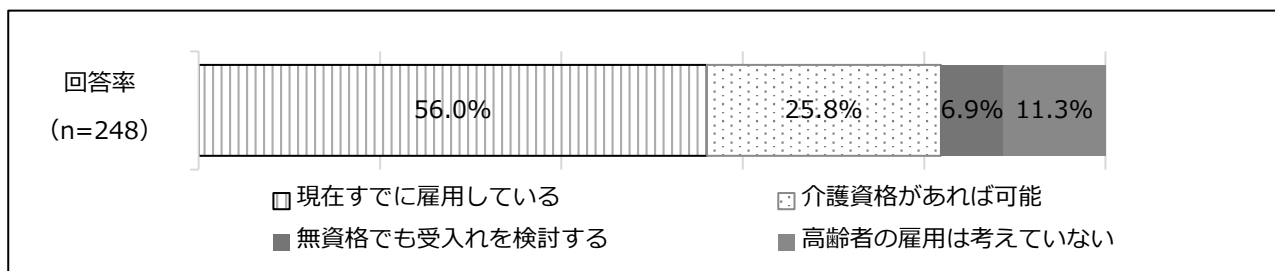
外国人介護人材の受入意向



外国人介護人材を受け入れていない、受け入れない理由



高齢者（65歳以上）の雇用



16 高齢者施策に関する小田原市への意見や要望（抜粋）

- ・地域の支援を考えれば多様な生活スタイルを持った高齢者に対し個別対応ができる柔軟性がほしい（例えばごみ収集時間の柔軟性として戸別収集や午後への時間変更など）。
- ・介護業界はとにかく余裕がないところが多い。原因は賃金水準にある。市が開催する研修や講習をさらに充実させ、レベルアップが証明できた人材に助成金を支給するような仕組みがあるとよい。
- ・専門性が高い職場なので基礎的かつ実践に近い研修を多く企画してほしい。
- ・書式の統一。研修内容のマニュアル。
- ・働く人がいない中、紹介会社に相当な金額を払っているのが現状。それでも、長く勤務される方は少なく、働き手の確保に相当の経費を費やしている。
- ・ハローワークで人材を募集すると、民間の人材派遣や紹介会社はその情報を使って募集する。紹介された事業所は高額な費用（50～70万円）を紹介料として支払うことになる。合法とはいえ、足元を見て金額をつり上げている悪質な業者が目立つ。求職者を使った荒稼ぎにしか見えない現状に憤る。
- ・紹介派遣会社を有効としたが、しかたがなく利用している。ハローワークが現実的な対応をしてくれるのであれば利用したくない。
- ・施設系では夜勤を希望する職員が少なくなってきた。若者にとって魅力を感じる仕事ではないのだと思う。スマホと向き合っていくことが大事で、人と人との関わりがなくなっている。70代60代が体にムチを打って仕事をしている。子育て支援よりも直近では介護をどうしていくのが重要。介護を担う職員も高齢化してきていることを忘れないでほしい。

- ・ 高齢の介護者は、経験があれば資格がなくても受け入れている。会社は 60 歳定年の再雇用は拒否できないと義務付けられているので延長は可能だが、65 歳からの再雇用を積極的に受け入れ、努力義務ではなく条例でもよいので制度化してほしい。
- ・ 人材不足でサービスを縮小しなければならないのではという危機感を強く持っている。社会福祉法人が施設の新規整備に躊躇する最も大きな要因でもあり、人材不足は行政の施設整備計画にも大きな影響を及ぼすと思われる。ただでさえ給与の高い都市部に外国人人材は流れる。かつ都市部では外国人を優遇する各種の施策を実施しており、一社会福祉法人の努力レベルではなんともしがたい状況。外国人人材の獲得は国策であり、推進せざるを得ない課題。出遅れにより効果は著しく減じる。地域の実情を踏まえ、前向きな検討をお願いしたい。
- ・ 介護職員の人数が少なく、管理者も現場に入り仕事をしていて、現場が終わって管理業務に入るので行政から依頼のものがなかなかできずに申し訳なく思うが、理解いただきたい。
- ・ 施設の老朽化が進んでいる。壁紙、床の交換に係る補助をしてほしい。
- ・ 水道光熱費が高騰しているので、市による独自補助を検討してほしい。
- ・ 学校の先生に介護のことを理解してほしい。未だに先生が「介護が大変だからやるな」と学生に言っているそうです。
- ・ 大規模災害時には、自施設での対応は難しいため、どのような協力や連携が取れるか教えてほしい。医療度の高い入居者（人工呼吸器、難病等）が多く、BCP 作成においても、通常の入居者と同じには作成できない

(クロス集計・概要版)

在宅介護実態調査集計結果報告書

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年5月

<小田原市>

目 次

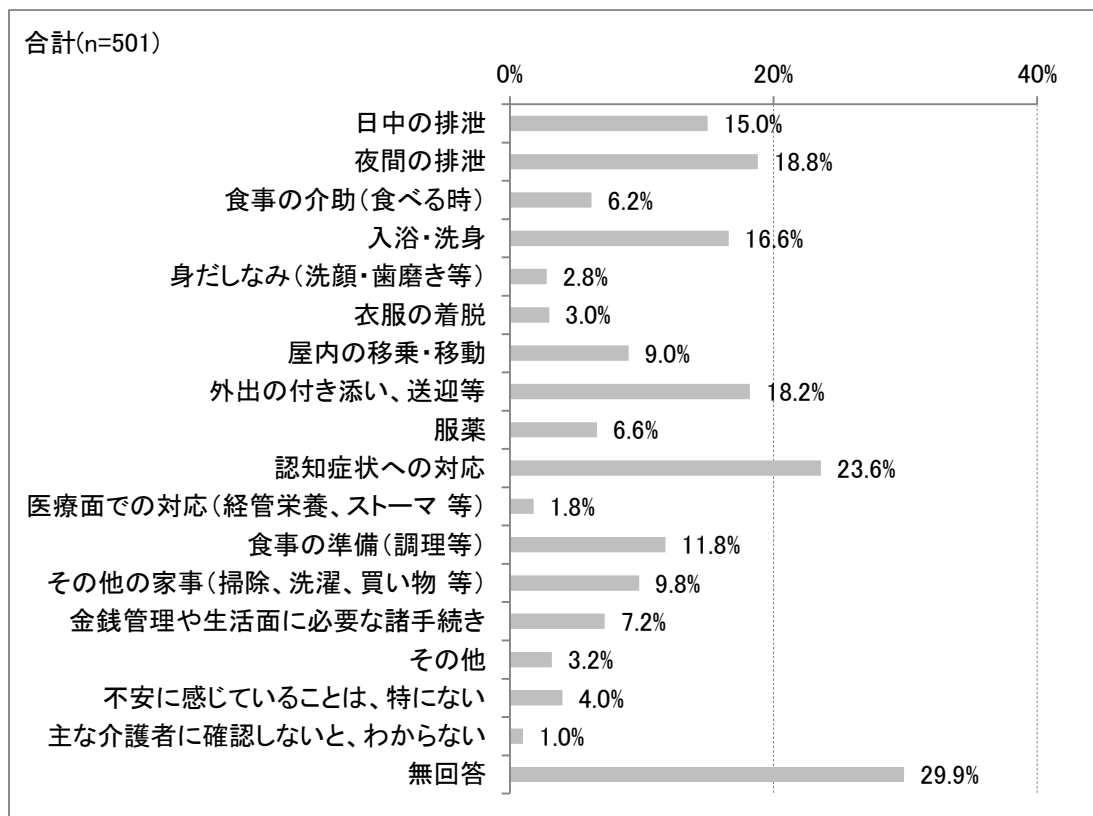
| | |
|--|---------|
| 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 1] |
| (1) 「認知症状への対応」、「(夜間の)排泄」に焦点を当てた対応策の検討 | |
| (2) 多頻度の訪問を含む、複数の支援・サービスを組み合わせたサービス提供 | [P. 4] |
| 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 9] |
| (1) 介護者の就労継続に向けた、「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」に係る不安の軽減 | |
| 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 | [P. 12] |
| (1) 移送サービスの検討 | |
| 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 15] |
| (1) 単身世帯世帯類型別の要介護者の在宅療養生活を支えるための、支援・サービスの検討 | |
| 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 18] |
| (1) 医療ニーズのある要介護者の在宅療養生活を支える新たな支援・サービスの検討 | |
| 6 その他 | [P. 20] |
| (1) 要介護度別の抱えている傷病 | |

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 「認知症状への対応」、「(夜間の)排泄」に焦点を当てた対応策の検討

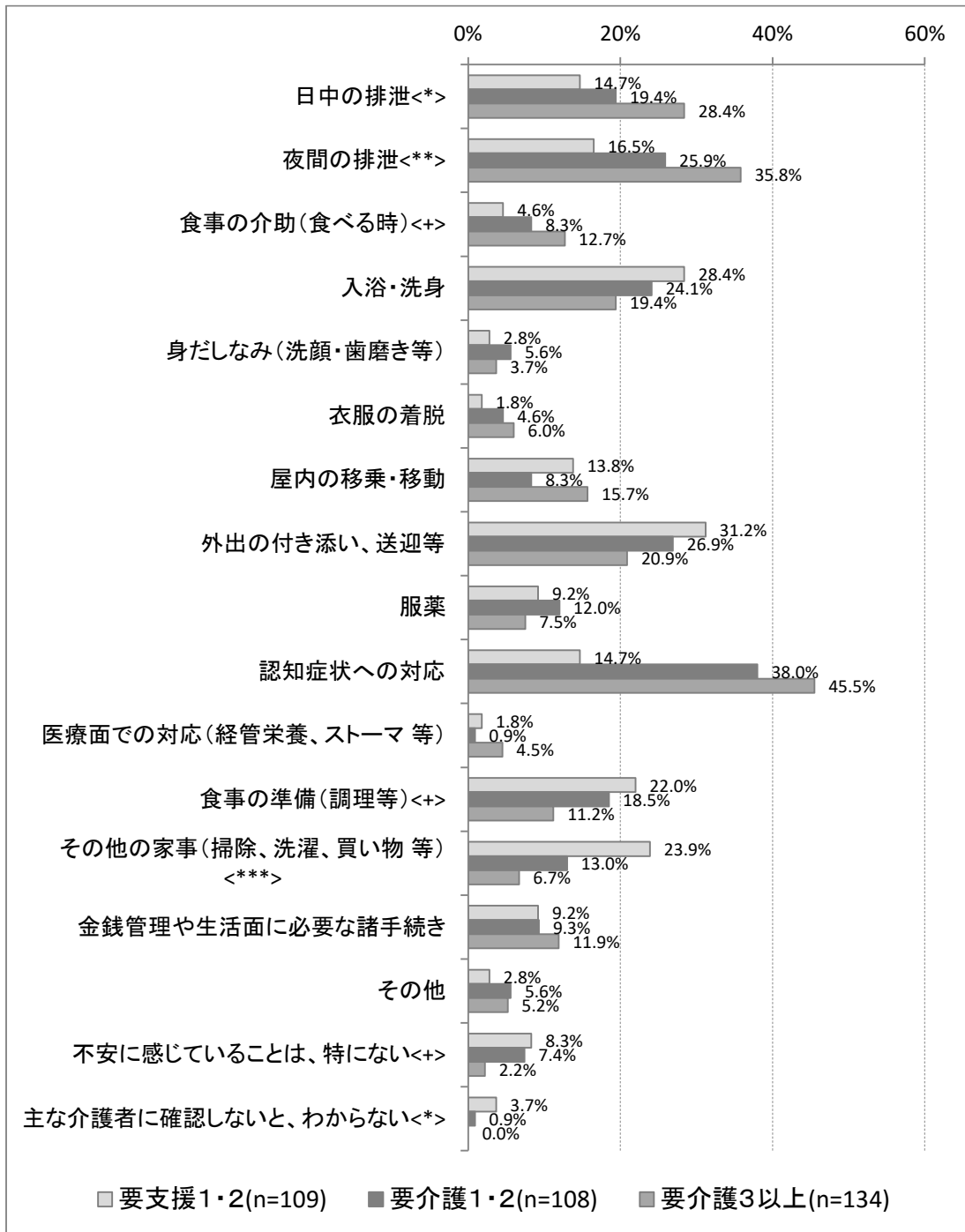
- ・介護者不安の側面からみた場合の、在宅限界点に影響を与える要素としては、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」の2つが得られました。(図表 2-5)
- ・介護者の方の「認知症状への対応」と「夜間の排泄」に係る介護不安を如何に軽減していくかが、在宅限界点の向上を図るための重要なポイントになると考えられます。
- ・更に、要介護度別に細分化してみた場合では、要支援1から要介護2までは、「外出の付き添い、送迎等」に係る介護者不安の割合が高くなっています。(図表 1-4)
- ・したがって要介護者の在宅生活の継続の達成に向けては、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」及び「外出支援」に係る介護者不安の軽減を目標として、具体的な取組につなげていくことが1つの方法として考えられます。
- ・具体的な取組としては介護教室や本人・介護者同士の交流会をはじめとする介護者支援事業等により介護者不安の軽減を図ります。また、その達成のために、「地域資源」、「ケアマネジメント」、「各職種に期待される役割」、「多職種連携のあり方」等について、地域ケア会議等を通じて、関係者間で検討を進めていくことが必要です。
- ・単身世帯や高齢者のみ世帯が増える中、認知症の方に対して、本人の意思を尊重しながら、適切なサービス利用や支援をしていくためには、引き続き本人及びご家族の意思決定支援にも取り組む必要があります。

図表 2-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）



(集計分析結果 単純集計版より抜粋)

図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

(2) 多頻度の訪問を含む、複数の支援・サービスを組み合わせたサービス提供

- ・サービス利用の組み合わせ別にみると、訪問系のサービスを利用しているケースで「認知症状への対応」や「夜間の排泄」に係る介護者の不安が軽減されるとともに、「施設等検討割合」が低下する傾向がみられました。(図表 1-16、図表 1-10)

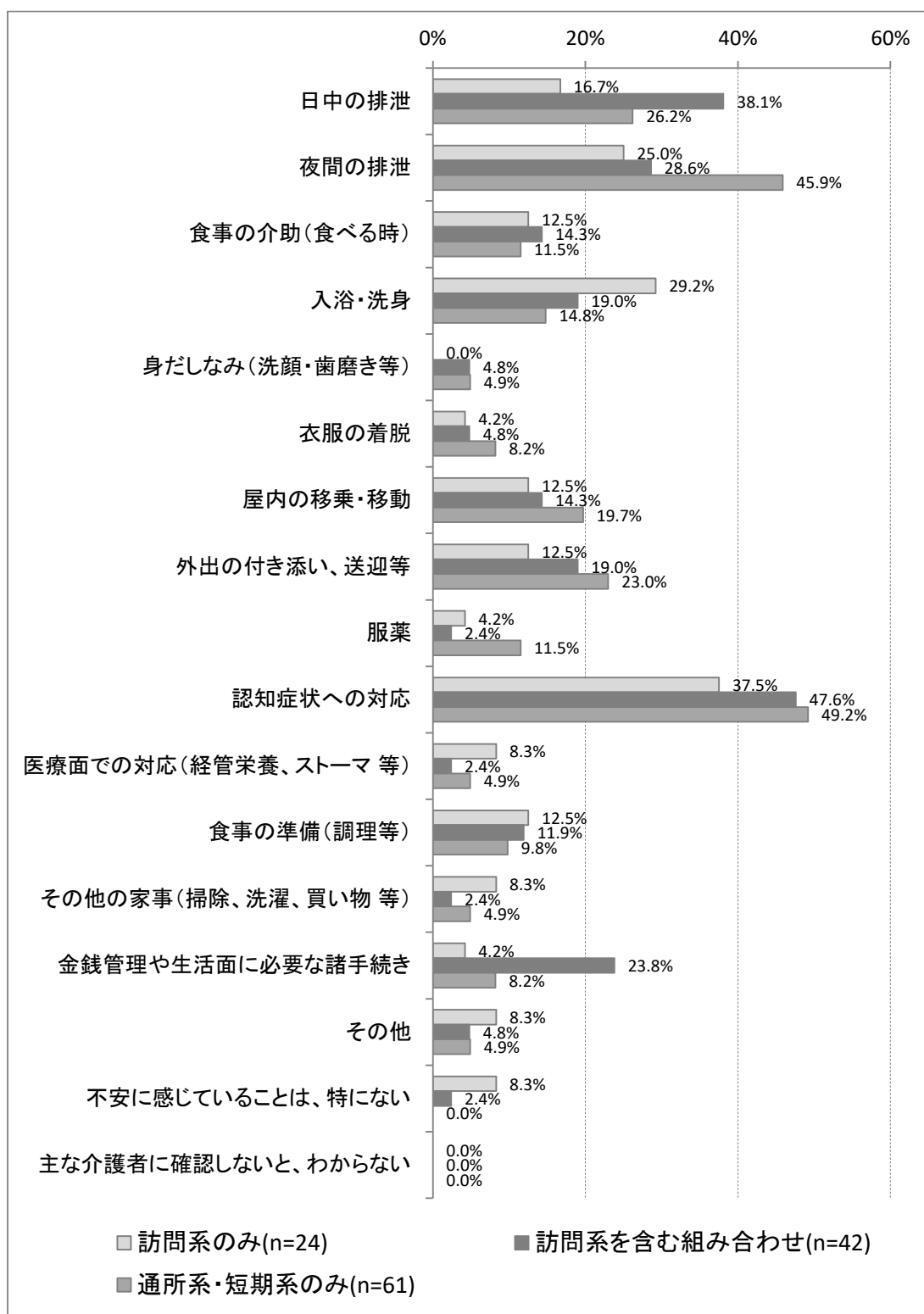
- ・また、訪問系サービスを頻回に利用しているケースでも、「夜間の排泄」に係る介護者不安が軽減される傾向がみられました。(図表 1-24、図表 1-25、)

- ・このような多頻度の訪問系サービスの提供を実現するためには、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進を図ることが効果的であると考えられます。

- ・訪問系のサービス利用により、在宅生活の継続に寄与する傾向がみられたことは、在宅での生活に、介護職・看護職等の目が多く入ることで、生活環境の改善や介護者の不安の軽減につながったものと考えられます。

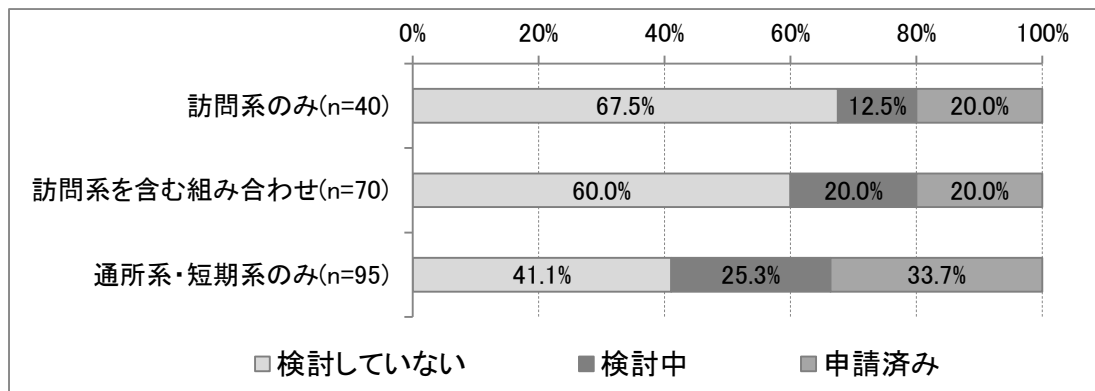
- ・したがって、地域目標の達成に向けては、サービス提供による効果が十分に得られるよう、各専門職が果たすべき役割について、関係者間での意見交換を行っていくことなどが重要であるといえます。

図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



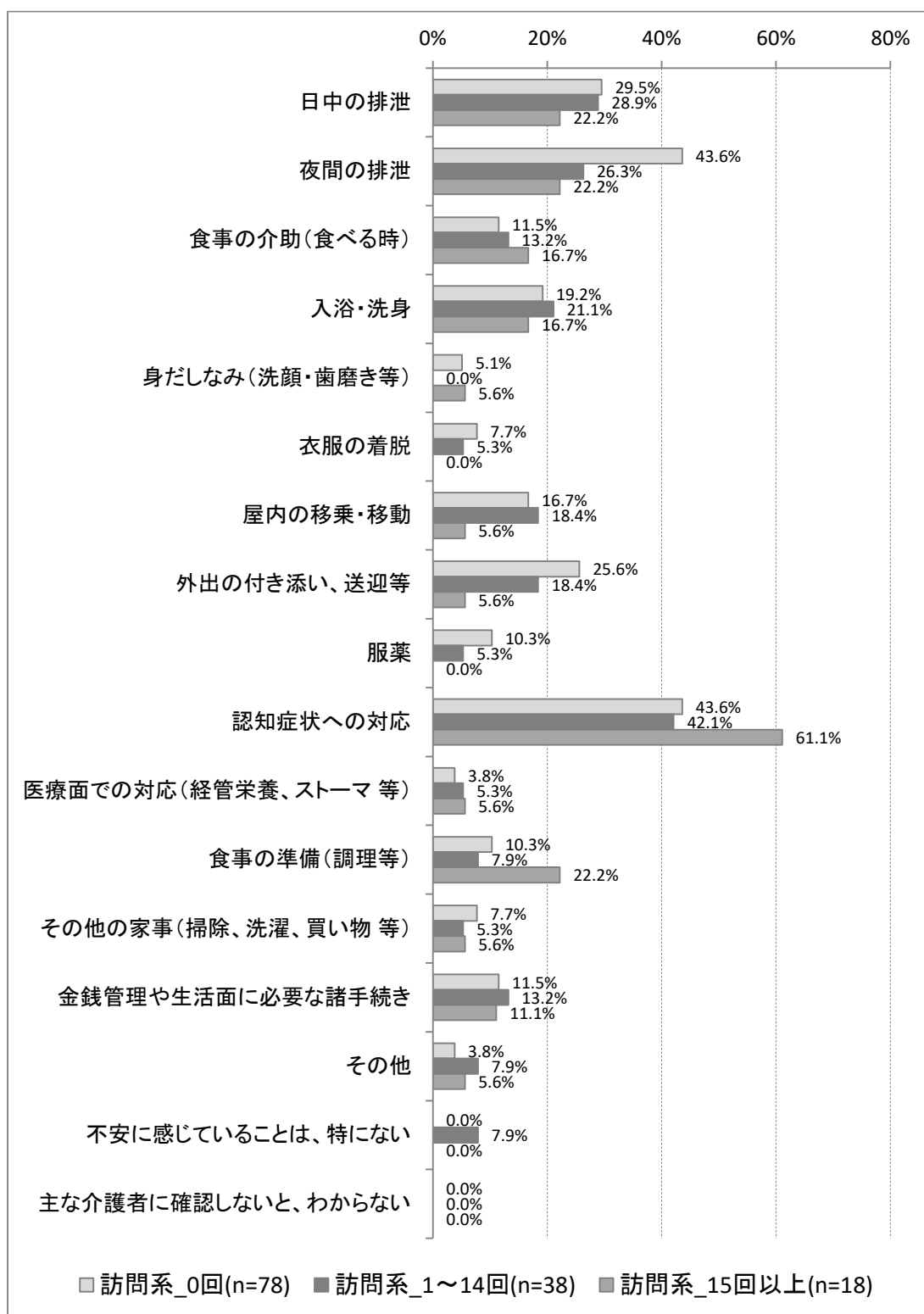
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）



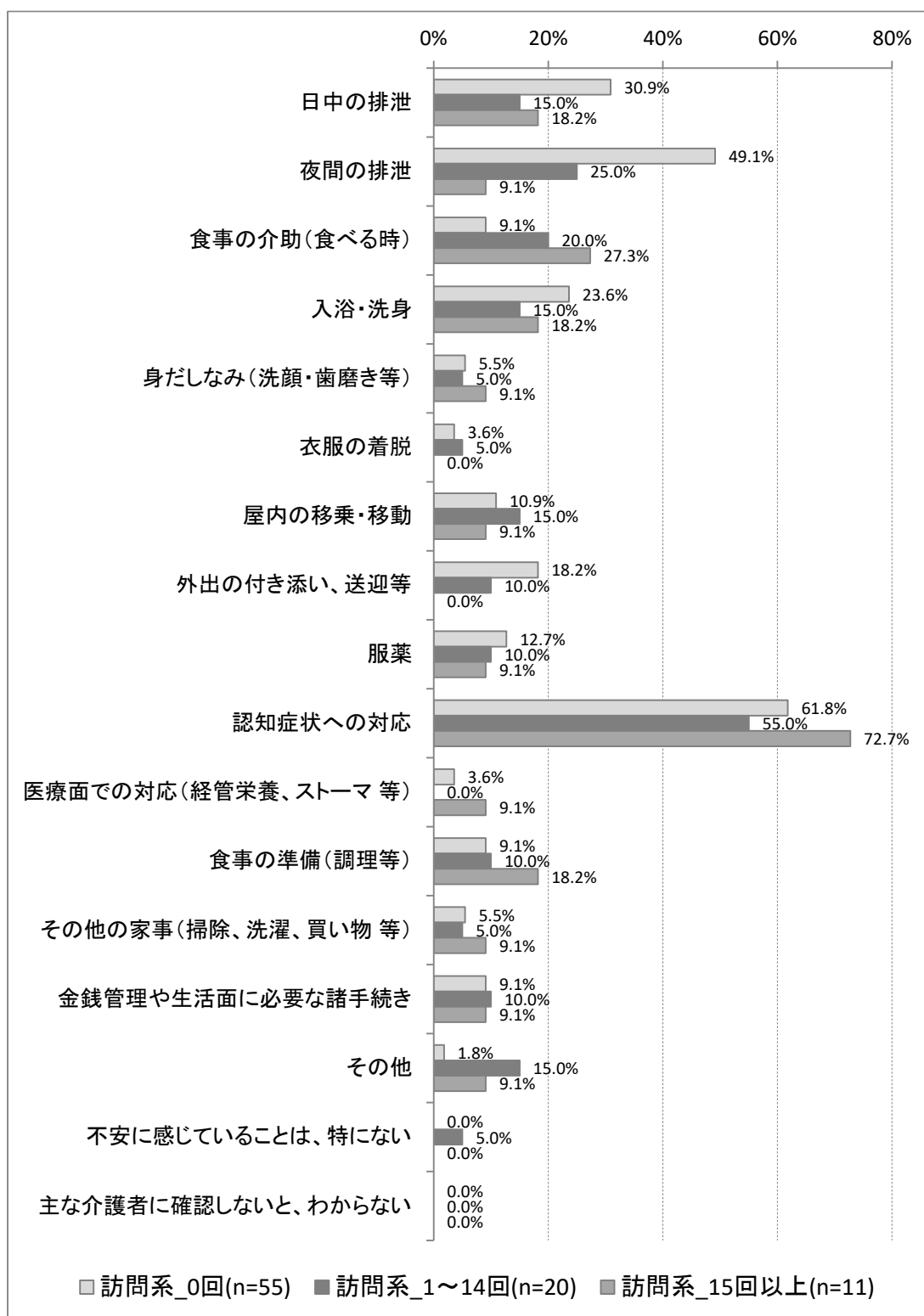
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



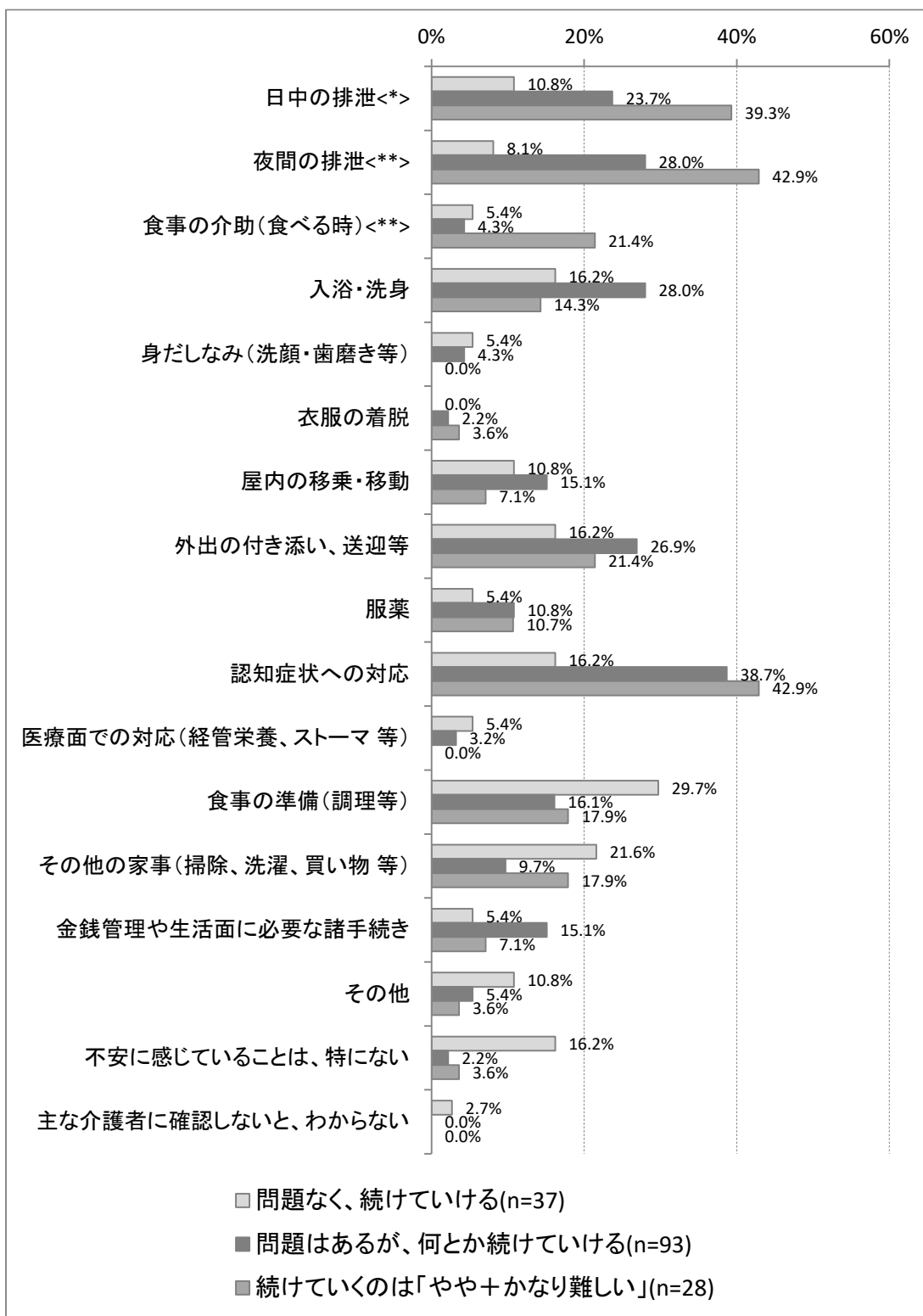
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 介護者の就労継続に向けた、「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」に係る不安の軽減

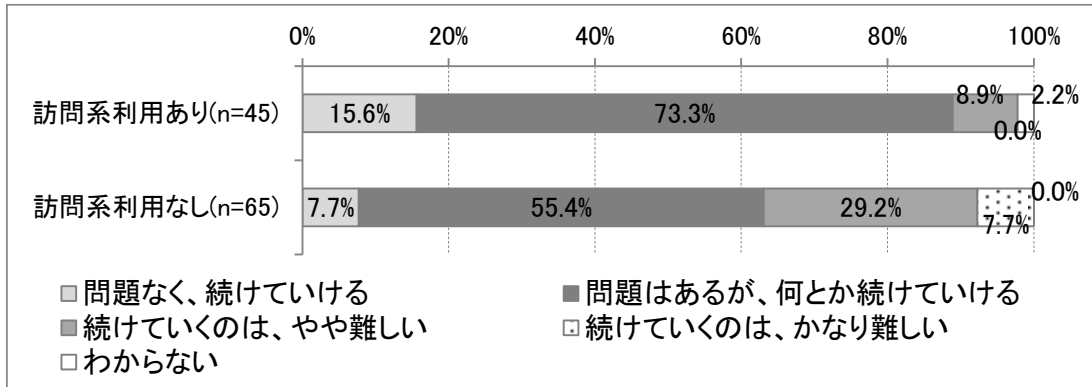
- ・就業の継続について、より困難と感じている介護者については、特に「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」の介護について不安が大きい傾向がみられました。(図表 2-15)
- ・これは、これらの介護に係る介護者の不安を軽減することが、「検討テーマ1の在宅限界点の向上」と「検討テーマ2の仕事と介護の両立」のいずれにも効果的である可能性があるといえます。
- ・また、介護者が、より就労を継続できると感じているケースでは、「検討テーマ1の在宅限界点の向上」と同様に、サービス利用の組み合わせに訪問系サービスが含まれている割合や訪問系サービスを多頻度で利用している割合が高い傾向がみられました。(図表 2-17、図表 2-18)
- ・介護者が離職した場合、再就職が困難となる可能性が考えられるなど、就労の継続は介護者の将来設計に大きく影響します。また、介護者が過剰な介護負担を抱え込み、社会から孤立することがないように、サービス利用による就労継続の意識啓発が必要と考えられます。

図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護（フルタイム勤務+パートタイム勤務）



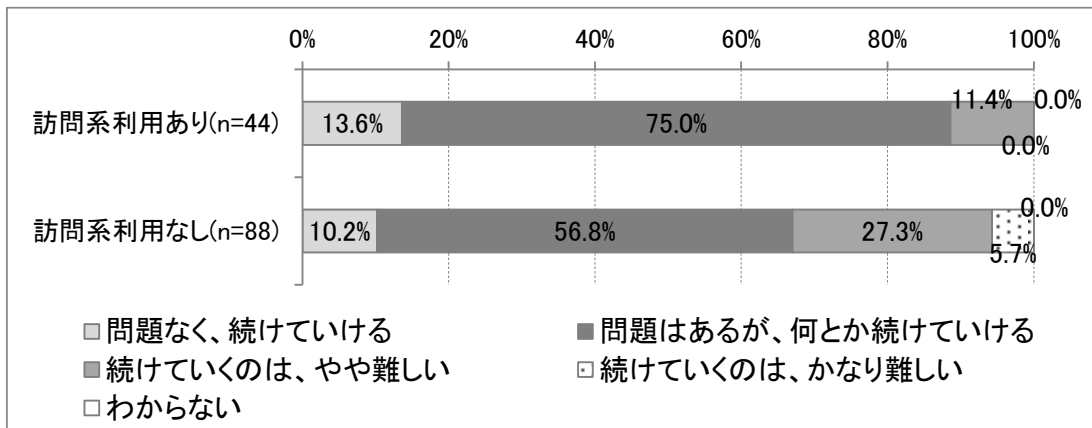
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
 (要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み
 (認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

(1) 移送サービスの検討

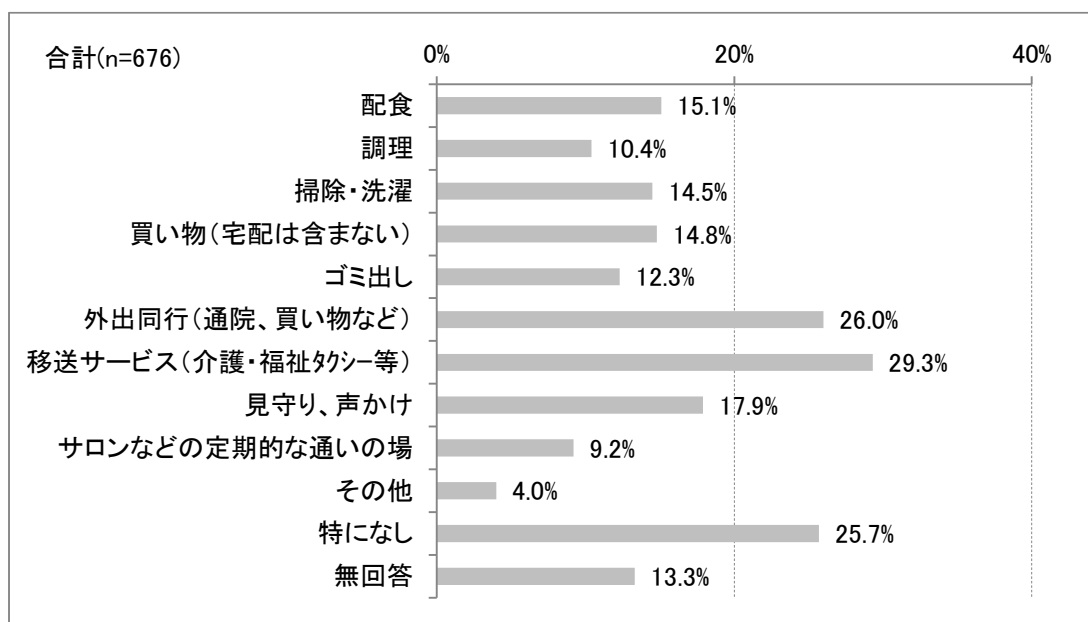
・要介護度別の「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみると、要支援及び要介護全般において、特に「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」のニーズが高い傾向がみられました。（図表 3-2、図表 3-9）

・また、要介護 1・2 では、「外出同行（通院、買い物など）」のニーズが更に高い傾向がみられるなど、全体的に外出・移送に係る支援のニーズが高いことが分かりました。（図表 3-9）

・特に、このような外出に係る支援・サービスは、「買い物」や「サロンへの参加」など、他の支援・サービスとの関係も深いことから、「外出に係る支援・サービスの充実」は非常に大きな課題であるといえます。

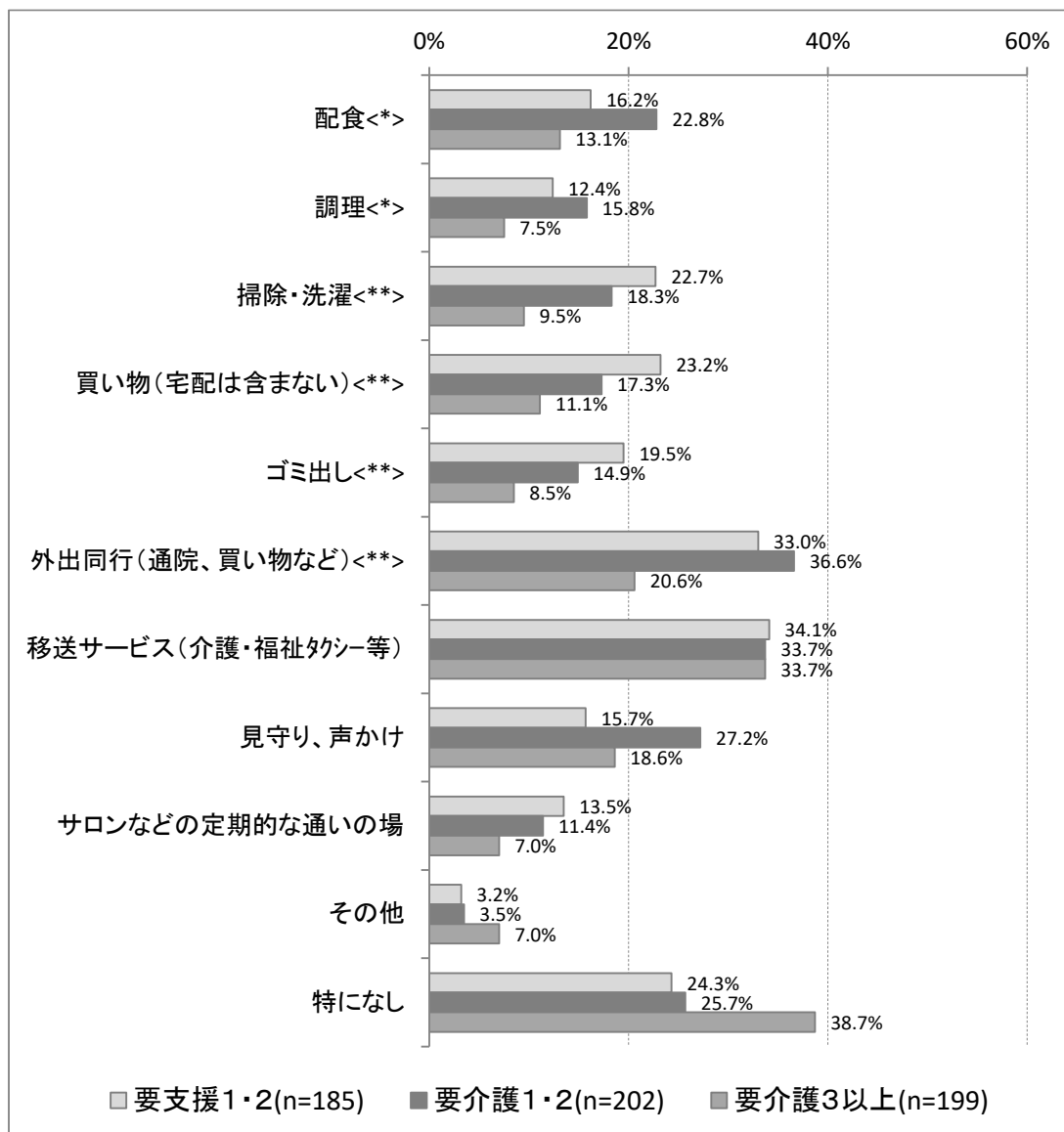
・具体的な取組として、「福祉タクシー利用助成事業」の継続を始め、通所介護の送迎車を有効活用する「福祉ムーバー」や「地域住民同士の支え合いによる移動手段の確保」などを含め、多様な移送手段の導入について関係各課及び団体等と検討を行う必要があります。

図表 3-2 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 3-9 要介護度別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



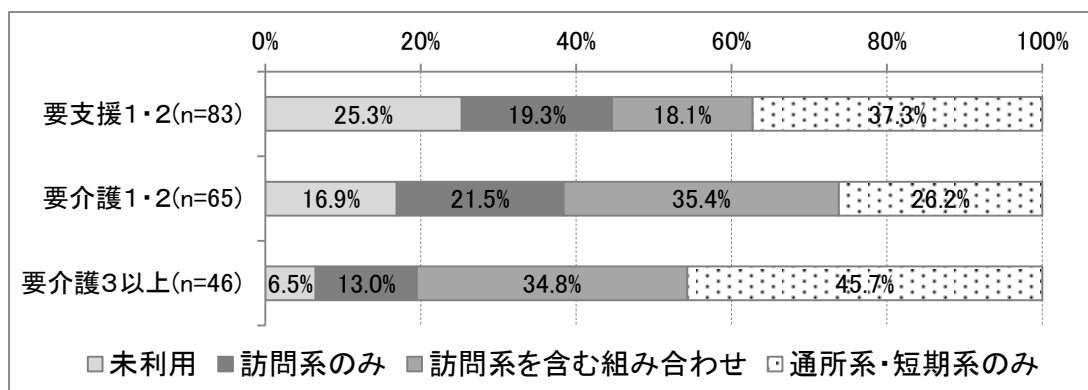
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 世帯類型別の要介護者の在宅療養生活を支えるための、支援・サービスの検討

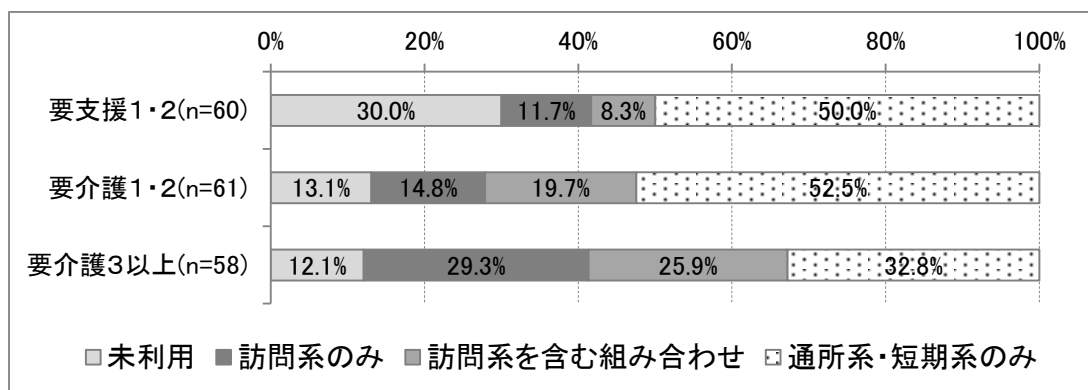
- ・本調査に基づく分析の中では、「単身世帯」及び「その他世帯」の方については、要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ利用」もしくは「通所系・短期系のみ」が増加する傾向がみられました。(図表 4-7、図表 4-9)
- ・なお、「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられ、中重度の単身世帯のうち、家族等による介護の頻度は「ほぼ毎日」もしくは「週3～4日」の割合が50%を超えています。(図表 4-4)
- ・「夫婦のみ世帯」の方については、中重度の要介護者について「通所系・短期系のみ」の割合が最も高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ利用」の割合が高くなっていますが、顕著な差はみられません。(図表 4-8)
- ・同居の家族がいる世帯では、家族等の介護者へのレスパイトケアの必要性が高いことから、「通所系」や「短期系」の利用が多くなっていると考えられます。
- ・また、「夫婦のみ世帯」では、他の世帯類型と比較して、要介護1・2における「サービスの未利用率」がやや高い傾向がみられました。
- ・「夫婦のみ世帯」に限らず、サービスが未利用の中重度の要介護者については、家族等の介護者の負担が過大となることも懸念されることから、必要に応じて要介護者とその家族等へのアウトリーチを推進していくことが必要です。
- ・したがって、地域での資源の整備を検討する際には、「通いを中心とした包括的サービス拠点」としての「小規模多機能型居宅介護（もしくは看護 小規模多機能型居宅介護）」の利用促進を図ることにより、在宅療養生活を支えていくことが一つの方法として考えられます。

図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）



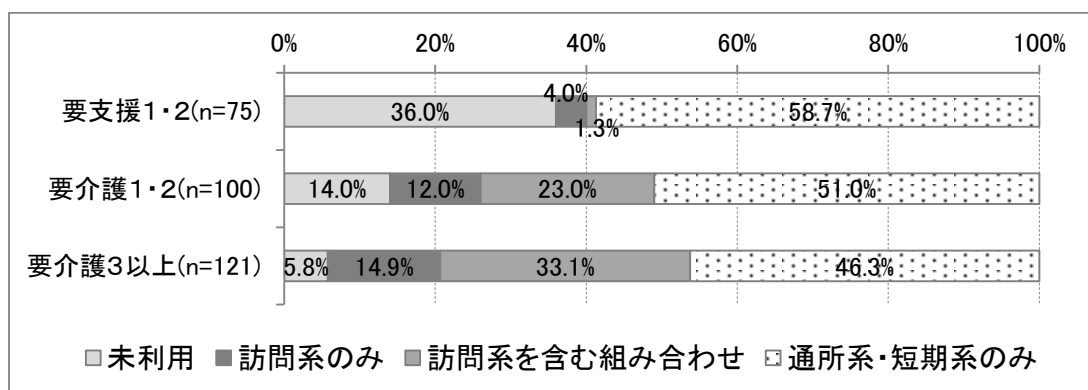
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）



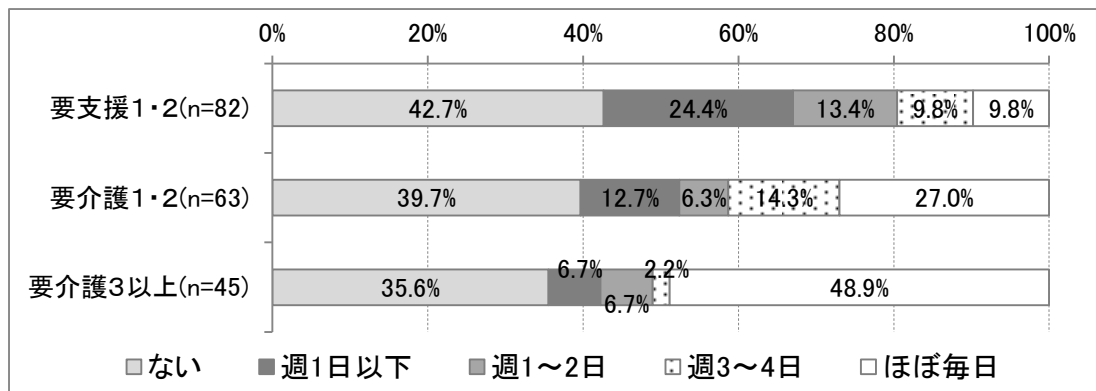
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）



(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度（単身世帯）



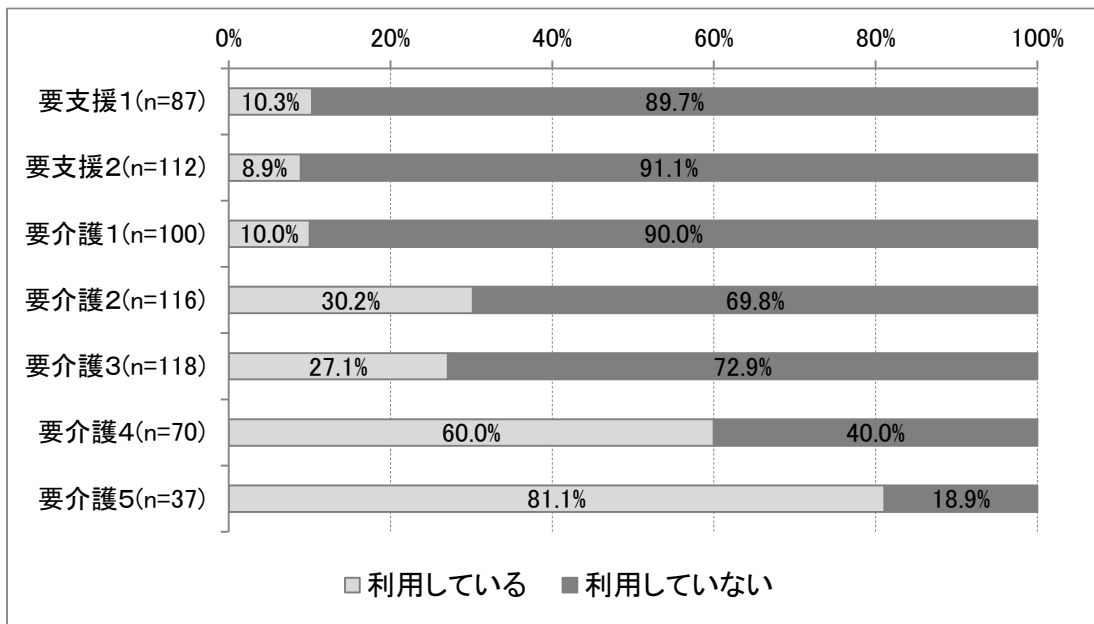
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

(1) 医療ニーズのある要介護者の在宅療養生活を支える新たな支援・サービスの検討

- ・要介護度別の「訪問診療の利用の有無」から、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加する傾向がみられました。(図表 5-6)
- ・今後は、「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」の大幅な増加が見込まれることから、このようなニーズに対して、如何に適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題となります。
- ・また医療ニーズのある利用者に対応することができる介護保険サービスとして、「通いを中心とした包括的サービス拠点」の一つとして看護小規模多機能型居宅介護、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」として、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進を図ることなどが考えられます。

図表 5-6 要介護度別・訪問診療の利用割合



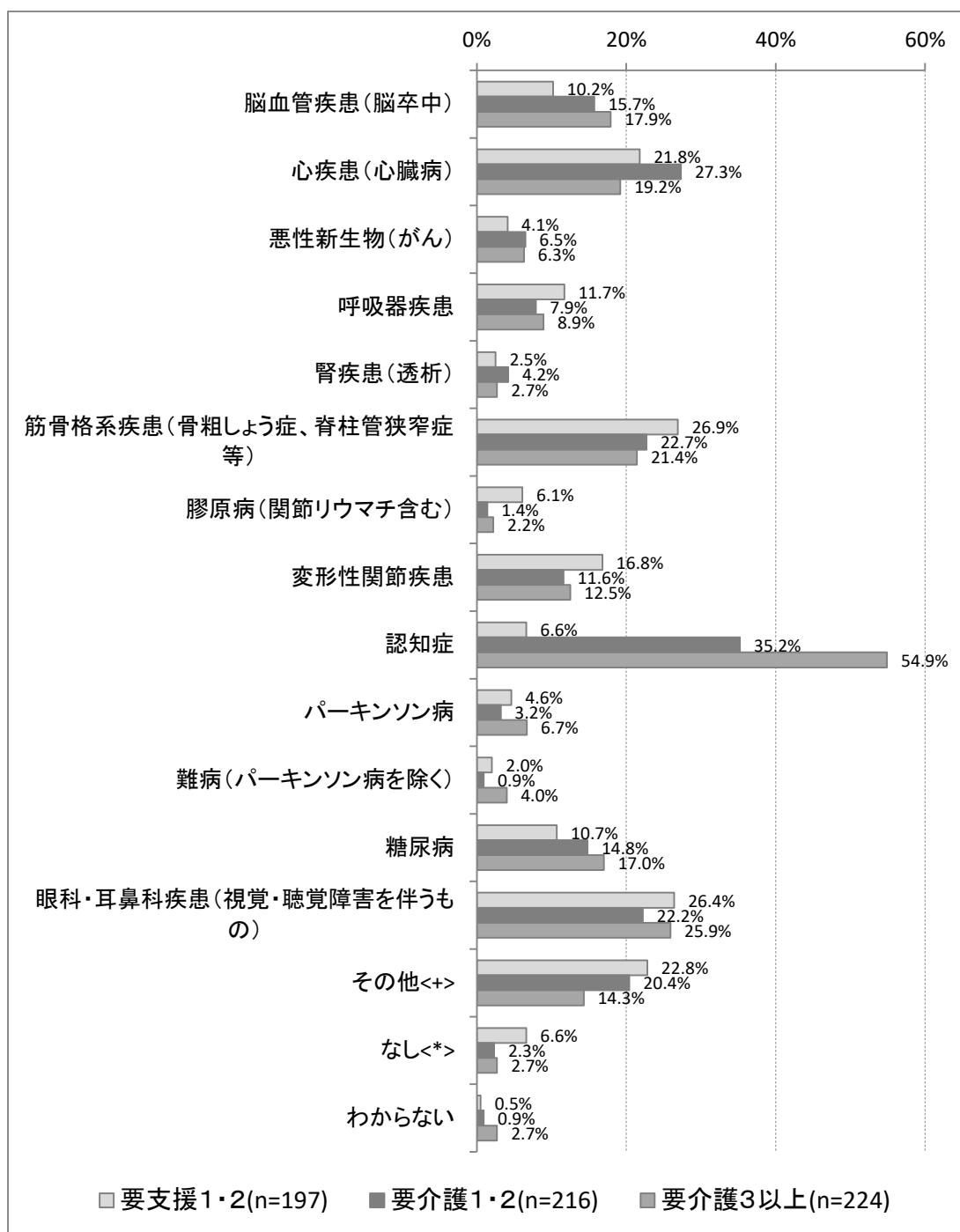
(集計分析結果 クロス集計版より抜粋)

6 その他

(1) 要介護度別の抱えている傷病

- ・要支援1・2では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。（図表6-14）
- ・要介護1・2では「認知症」、次いで「心疾患（心臓病）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の順に割合が高くなっています。（図表6-14）
- ・要介護3以上では「認知症」、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の順に割合が高くなっています。（図表6-14）
- ・「筋骨格系疾患」は、加齢による筋肉量の減少や関節の変化、骨密度の低下が大きく影響していますが、定期的な運動プログラムによって筋肉量の低下を遅らせることができるため、身体的に可能な場合は、日常生活に運動を取り入れる必要があります。
- ・いずれの要介護度でも、多くみられる「心疾患」、「脳血管疾患」については、再入院や再発予防等、医療との連携が不可欠となります。また、これらの疾患と関連の高い疾患（腎臓病、糖尿病、高血圧等）を本人及び支援者が理解し、対策を取ることで防げる介護リスクがあると考えられます。在宅を支えるケアマネジャーなどの支援者が疾患への理解を深め、悪化防止及び健康寿命の延伸につながるケアマネジメントや健診等保健事業との連携した取組が必要と考えられます。

図表 6-14 要介護度別・抱えている傷病



第9期 おだわら高齢者福祉介護計画（報告事項の課題の整理）

○計画の進捗、アンケート・実態調査等の結果分析

1 おだわら高齢者福祉介護計画令和4年度の実績及び令和5年度の実績について

1 各種事業

個別事業の令和4年度の実績の振返りの全体的な傾向として、各イベントや研修事業等において、令和3年度までは、コロナ禍により開催中止や開催回数の縮小により参加者の減少となっていたが、令和4年度には、回復傾向となっている。

また、現行計画の視点の一つに掲げた「新しい生活様式」を踏まえた事業手法の検討において、オンライン形式や対面形式とのハイブリッド開催も取り入れ、デジタル技術の活用と対面による支援の両立を実現してきた。

(1) 基本方針1の「高齢者がいきいきと活動できる環境づくりの促進」では、すべての事業において「A 継続」の評価結果となっている。

- ・「アクティブシニア応援ポイント事業」では、受入施設において、受入れ自粛があったものの参加延べ人数は、増加傾向にあり、外出意識の変化や活動機会は回復している。
- ・「敬老行事・長寿祝事業」では、「敬老行事のあり方検討会」において地域の負担軽減のため、市敬老祝金の内容や贈呈方法の見直しの検討を行った。引き続き、対象者の増加に伴う調査や担い手の高齢化に対する更なる負担軽減のため、あり方検討会において見直しの検討を行う。

(2) 基本方針2の「高齢者の介護予防と健康づくりの推進」では、「高齢者栄養改善事業」「ふれあい担い手発掘事業」において「B 見直し・改善評価」となっている。栄養改善事業では、コロナ禍で実施を見合わせていた調理実習の再開を望む要望が多く寄せられていることから、調理実習の開催を検討する。

- ・「高齢者体操教室開催事業」では、見込を上回る参加実績があり、「特定健診（特定健康診査）」「長寿健診（長寿高齢者健康診査）」の受診率は増加傾向にある。
- ・「脳血管疾患予防プロジェクト事業」では、毎年、健診受診を促すほか、市内スーパーと「野菜たっぷり（ひそかに減塩）弁当」の開発・販売を展開するとともに、健幸ポイントアプリの普及啓発や運動に関する動画の配信などで運動の習慣化を支援した。今後も民間企業等と連携し事業を展開していく。
- ・施策4の「地域の介護予防・生活支援サービスの情報提供」では、関係機関間で情報共有が不十分であり、データの一元管理や関係者の報告の簡略化と成果の可視化のためのツールの構築について検討した。今後も幅広く手法を検討していく。

(3) 基本方針3「保険給付事業の円滑な運営」の施策2では、「介護人材確保支援事業」や「ケアマネジメント技術向上支援事業」について「B 見直し・改善」としている。

- ・介護職員等キャリアアップ支援事業費補助金の新設、介護保険事業所等を運営する法人へのキャリアアップ研修の負担経費の一部を助成した。令和5年度は、補助金の対象研修の拡大、介護人材の資質の向上及び事業所の負担軽減、事業所向け出前研修を開催する。

(4) 基本方針4の「地域における高齢者支援体制の強化」のうち、施策2「個別ケア会議・圏域ケア会議の開催」では、圏域ケア会議の開催件数は回復傾向にあり、地域課題の共有や関係構築が進められた。またWEB会議の活用で会議の多様化が進んでいる。

2 介護（介護予防）サービス量等

(1) 施策3の「介護予防・生活支援サービス事業の充実」では、全体的にコロナの影響により、実施の見合わせや利用控え等による実績値の減少により、「B 経過注意」の評価が多い。「介護保険施設等整備事業」では、本市初となる介護医療院を開設したが、認知症高齢者グループホームについては、ウクライナ情勢による物資調達の影響から、（看護）小規模多機能型居宅介護については、1度目の公募で事業者選定に至らなかったことから、それぞれ整備が令和5年度にずれ込んでいる。

| 2 介護保険事業所アンケート | | | | |
|----------------|--|-------|-------|-------------|
| 目的 | 市内の介護保険事業所等について、サービスの利用状況や事業運営上の課題等を把握する。 | | | |
| 対象者 | 市内の介護保険事業所、介護予防・日常生活支援総合事業の事業所、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等 349 事業所 | | | |
| 調査期間 | 令和5（2023）年3月31日（金）～5月26日（金） | | | |
| 調査方法 | メール、郵送による配布／メール、FAX、郵送による回収 | | | |
| 対象数 | 349 票 | 有効回答数 | 282 票 | 有効回答率 80.8% |

- (1) 令和5年4月1日時点の入所・入居率は、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）93.5%、介護老人保健施設 90.9%、特定施設入居者生活介護（介護付き有料老人ホーム）76.5%と、いずれも前回（3年前）の調査を下回っており、利用が伸び悩んでいるものと言える。**第9期計画期間における施設整備については、慎重に検討する必要がある。**
- (2) **事業所運営上の課題として「職員の確保が難しい」**ことが最も多く挙げられており、全事業所の66.7%が課題としている。市も人材確保施策にさらなる注力が必要である。
- (3) 介護予防支援事業所（地域包括支援センター）の83.3%、居宅介護支援事業所（ケアマネ事業所）の67.4%が、**運営上の課題として「事務作業が多い」**ことを挙げている。全事業所でも47.2%が回答しており、事務の簡素化・効率化の視点での点検を検討する必要がある。
- (4) サービスの需給状況では、介護予防支援事業所の83.3%、居宅介護支援事業所の61.0%が**「需要は供給体制を上回っている」**と回答。地域における資源の不足が顕在化している。
- (5) **外国人介護人材**について、既に受け入れている事業所は19.2%であるが、現在は受け入れていないものの機会があれば受け入れたい意向の事業所が38.9%あることから、その**活用に係る市の支援について検討を行う必要がある。**

| 3 在宅介護実態調査 | | | | | |
|------------|---|-------|-------|-------|-------|
| 目的 | これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。 | | | | |
| 対象者 | 主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方 | | | | |
| 調査期間 | 令和5（2023）年3月31日（金）～4月21日（金） | | | | |
| 調査方法 | 郵送による配布・回収 | | | | |
| 配布数 | 1,200 通 | 有効回答数 | 676 通 | 有効回答率 | 56.3% |

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

- ・「認知症状への対応」と「夜間の排泄」の2つについて介護者の不安が大きく、介護度別に細分化すると次いで「外出支援」の割合が高い。
- ・訪問系のサービスを利用しているケースで「認知症状への対応」や「夜間の排泄」に係る介護者の不安が軽減されるとともに、「施設等検討割合」が低下する傾向がみられた。

(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

- ・「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」が、就業の継続について、介護者がより困難と感じている。
- ・就労を継続できると感じているケースでは、サービス利用の組み合わせに訪問系サービスが含まれている割合や訪問系サービスを多頻度で利用している割合が高い傾向がみられた。

(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

- ・「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「外出同行（通院、買い物など）」のニーズが高い傾向がみられた。

(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

- ・「単身世帯」及び「その他世帯」の方については、要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ利用」もしくは「通所系・短期系のみ」が増加する傾向がみられた。

(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

- ・要介護度別の「訪問診療の利用の有無」から、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加する傾向がみられた。

【参考】第5回小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会（令和5年3月開催）配布資料

| ○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 | | | | | |
|--------------------|--|-------|--------|-------|-------|
| 目的 | 要介護状態になる前の高齢者の日常生活状況を把握し、地域の課題を捉える。 | | | | |
| 対象者 | 要介護1～5の認定を受けていない市内在住の65歳以上の方（一般高齢者、要支援1・2、事業対象者）※無作為抽出 | | | | |
| 調査期間 | 令和4（2022）年11月22日（火）～12月9日（金） | | | | |
| 調査方法 | 郵送による配布・回収 | | | | |
| 配布数 | 7,500通 | 有効回答数 | 5,346通 | 有効回答率 | 71.3% |

1 第8期の評価指標（主観的健康度・主観的幸福度）は、微増

- ・主観的健康度（78.1% → 79.3%）、主観的幸福度（7.04 → 7.07）
- ・転倒、物忘れについての不安は軽減、外出の頻度や、「生きがいあり」の回答、地域活動への参加意欲が減少。

2 高齢者像が変化しつつある

- ・65歳～69歳の外出頻度は高く、就労意欲も伸びており、60代後半は老後というイメージではなくなりつつあるのではないかと。
- ・グループ活動に参加するという高齢者はほぼ横ばい。
- ・テレビや口コミだけでなく、市の窓口やインターネットで自分から情報収集をしていく層が増えつつあると思われる。

3 家族や友人以外に頼れる先を、本人が捉えきれしていない

- ・地域包括支援センターの認知度は向上しているが事業内容についての理解が不足している。また、認知症の相談先がどこかを十分に把握していない。
- ・単身や夫婦二人暮らしが増加し、別居の親族との会話が増えている一方で、家族や友人以外で何かあったときに相談する相手は「いない」と考える方が増えている。

4 終活・成年後見制度の市民周知は、効果がでていない

- ・終活（75.4%→76.8%）、成年後見制度（39.5% → 43.1%）
- ・制度名は聞いたことがあるが具体的内容までは把握していない段階と思われる。
- ・「子供や親族に迷惑をかけない」といった考え方も、制度への関心に繋がっているのではないかと。

○第9期おだわら高齢者福祉介護計画・策定スケジュール（案）

| R5年度 | 委員会検討事項 | 市の動き |
|------|--|---|
| 5月 | | ◆課内（庁内）事前調整 ・第6次総合計画、第4期地域福祉計画 ・デジタル田園都市（スマートシティ） ・AI、UDCの活用 ◆5/31 玉木副市長説明 |
| 6月 | ■第6回会議（6/29・木） ・第8期計画進捗報告 ・在宅介護実態調査結果報告 ・介護事業所アンケート結果報告 ・第9期計画の基本理念・重点指針・視点・基本方針・評価指標の検討 | ◆6/9 市長説明 ・基本理念、重点指針、視点 ・基本方針、評価指標、具体的事業の検討（R6年度実施分は概算要求） ・保険者機能強化推進交付金等の財源検討 ・施設等整備の検討 |
| 8月 | ■第7回会議（8/31・木） ・第9期計画素案の検討（介護サービス量の見込を除く） | ・第9期計画素案（介護サービス量の見込を除く）作成 |
| 9月 | | ・理事者へ中間報告（9月上旬） |
| 10月 | ■第8回会議（10/中下旬） ・見える化システムによる地域分析の報告 ・第9期計画素案の検討 | ・基礎データ（基準日10/1）集計 ・介護サービス見込み量・費用算出 ・第9期計画素案修正 |
| 11月 | ■第9回会議（11/月上旬） ・介護サービス量及び費用の見込み提示 ・第9期計画素案（パブコメ用）承認 | ・理事者報告（保険料率見込） ・厚生文教常任委員会（12月定例会）報告（計画素案、パブコメの実施） |
| 12月 | | ・パブリックコメント（12/15～1/15） 広報広聴室合議締切（12/1） データ・印刷物提出締切（12/8） |
| 1月 | | ・第9期計画素案の修正（パブコメ反映） |
| 2月 | ■第10回会議（2月頃） ・パブリックコメント結果（報告） ・サービス総費用見込額と介護保険料 ・第9期計画最終案の検討 | ・第9期計画最終案の作成 ・介護保険料率の改定 ・介護保険条例改正（3月定例会上程） |
| 3月 | ■答申（委員長から市長へ） | ・予算特別委員会 ・第9期計画策定 |

I 基本的事項

1 計画の目的

「おだわら高齢者福祉介護計画」（以下、「本計画」という。）は、小田原市の高齢者福祉施策と介護保険事業の方向性や取組内容を示すことを目的とします。

2 計画の位置付け

本計画は、老人福祉法第 20 条の 8 に規定する「市町村老人福祉計画」及び介護保険法第 117 条に規定する「市町村介護保険事業計画」を一体的に定めるものであり、かながわ高齢者保健福祉計画及び神奈川県保健医療計画との整合性も図ります。

また、上位計画である「小田原市地域福祉計画」及びそれに紐づく福祉・医療に係る各個別計画や施策と連携するとともに、他の政策分野の取組とも調和を図ります。

なお、本計画の施策を含めた市全体を網羅する上位計画としては、「小田原市総合計画」、「地域別計画」、「小田原市デジタル田園都市構想総合戦略」及び「小田原市SDGs未来都市計画」が展開されています。

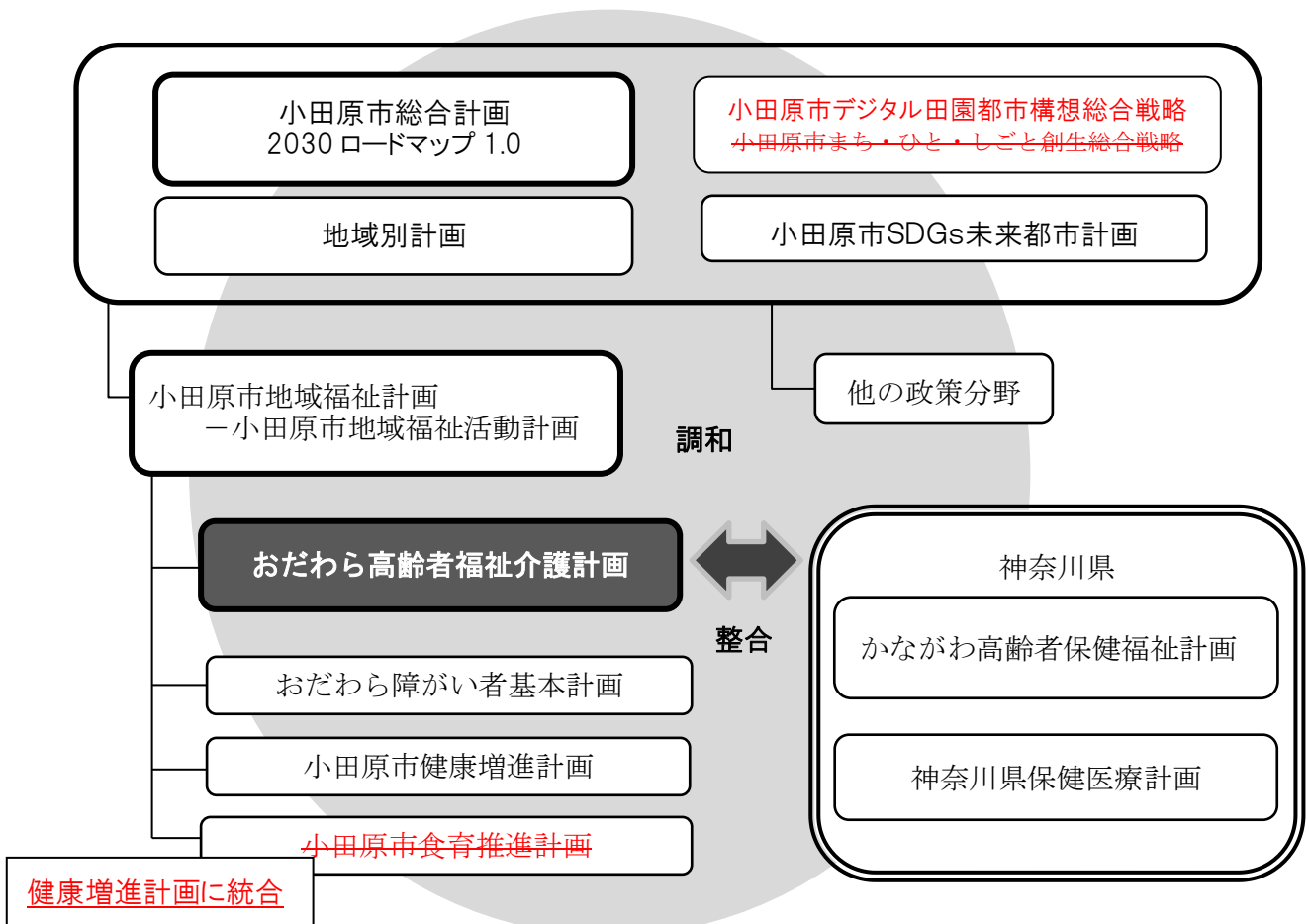


図 I-1 計画の位置付け

3 計画の対象者

本計画の対象者は、原則として、小田原市内在住の65歳以上の高齢者と高齢者の介護者です。ただし、施策によって、小田原市内在住の40歳以上の方も対象に含みます。

4 計画期間

本計画は、平成12（2000）年の介護保険制度の開始から、3年ごとに見直しています。

第9期となる本計画の期間は、令和6（2024）年度から令和8（2026）年度までの3年間です。

なお、いわゆる「団塊の世代」が75歳以上の後期高齢者となる令和7（2025）年度が近づいており、令和22（2040）年には、全国的に総人口・現役世代人口が減少する中で、高齢人口がピークを迎え、介護ニーズの高い85歳以上人口の増加が見込まれる状況を考慮して、本市における中長期的な人口構造の変化の見通し等を勘案した施策の展開を図るものとしています。

| 計画名称 | 現行期間 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | |
|--|--------|----------------|----|-----|----|----|----------------|-----|-----|--|
| 第6次小田原市総合計画 2030 ロードマップ 1.0 ODAWARA | R4～R12 | [Solid Arrow] | | | | | | | | |
| 第4期小田原市地域福祉計画 ・地域福祉活動計画 | R4～R8 | | | | | | | | | |
| 第9期おだわら高齢者福祉介護計画 | R6～R8 | 第8期 | | 第9期 | | | 第10期 | | | |
| 第2期小田原市健康増進計画 | R5～R9 | 第2期 | | | | | | 第3期 | | |
| 第9期かながわ高齢者保健福祉計画 | R6～R8 | [Dashed Arrow] | | 第9期 | | | [Dashed Arrow] | | | |
| 第8次神奈川県保健医療計画 | R6～R11 | [Dashed Arrow] | | 第8次 | | | | | | |

図 I - 2 主な計画の期間

5 計画の推進体制

第9期計画は、継続的に進捗管理と評価、実態調査等を行い、市の附属機関である「小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会」において、専門的見地からの意見や助言を得ながら、各施策を推進し、次期計画策定に向けて見直しを図ります。

また、地域における支援に関しては「おだわら地域包括ケア推進会議」、施設整備に関しては「介護保険関係施設整備調整会議」の意見を聴取し、施策に反映していきます。

第9期おだわら高齢者福祉介護計画

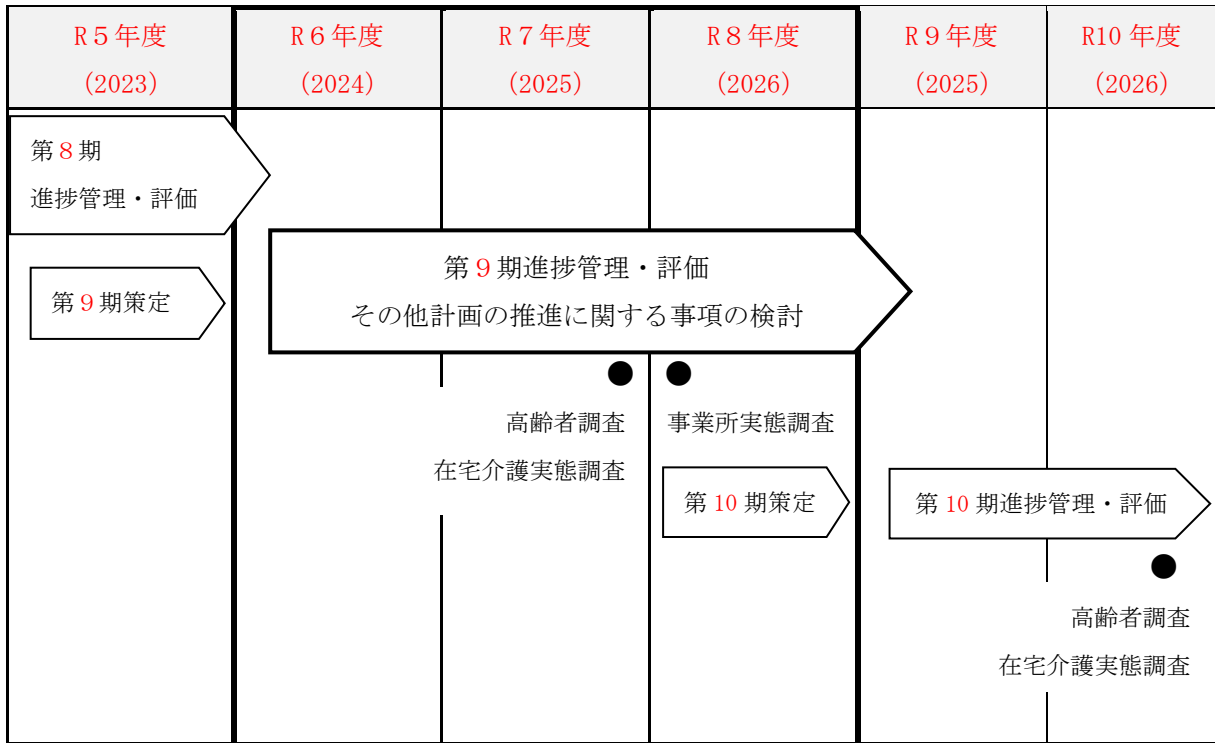


図 I - 3 計画のスケジュール

| 附属機関名 | 審議事項 |
|-----------------------|---|
| 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会 | おだわら高齢者福祉介護計画並びに高齢者福祉施策及び介護保険事業の総合的かつ計画的な推進に関する事項 |
| おだわら地域包括ケア推進会議 | 高齢者が地域において自立した日常生活を営むために必要な支援に関する事項 |
| 介護保険関係施設整備調整会議 | おだわら高齢者福祉介護計画に基づく介護保険関係施設の整備に関する事項 |

図 I - 4 計画推進に係る附属機関一覧

- 老人福祉法
(市町村老人福祉計画)
第20条の8 市町村は、老人居宅生活支援事業及び老人福祉施設による事業（以下「老人福祉事業」という。）の供給体制の確保に関する計画（以下「市町村老人福祉計画」という。）を定めるものとする。
- 介護保険法
(市町村介護保険事業計画)
第117条 市町村は、基本指針に即して、3年を1期とする当該市町村が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施に関する計画（以下「市町村介護保険事業計画」という。）を定めるものとする。

図 I - 5 根拠法

第6次小田原市総合計画 2030 ロードマップ 1.0

将来都市像「世界が憧れるまち小田原」

3つのまちづくりの目標

生活の質の向上
地域経済の好循環
豊かな環境の継承

3つの推進エンジン

行政経営
公民連携・若者活躍
デジタルまちづくり

7つの重点施策

1 医療・福祉

- 1 安心の地域医療体制
- 2 地域共生社会の実現
- 3 健康寿命の延伸

25の施策

2 高齢者福祉

| 詳細施策 1 生きがいの促進 | | | | | |
|----------------------------------|-----------------|------------------|-----|-----------|-------|
| 目標 (KPI) 名 | 基準値 (基準年) | 目標値 (目標年) | 方向性 | 実績値 R4 | 目標達成率 |
| アクティブシニア 応援ポイント事業 年間延べ参加者数 | 426人 (令和2年度) | 3700人 (令和6年度) | ↗ | 1455人 | 31% |

| 詳細施策 2 高齢者支援・相談体制の充実 | | | | | |
|---|----------------|-----------------|-----|-----------|-------|
| 目標 (KPI) 名 | 基準値 (基準年) | 目標値 (目標年) | 方向性 | 実績値 R4 | 目標達成率 |
| 高齢者の地域課題 に関する検討会議 (地域ケア会議) の取扱件数 | 68件 (令和2年度) | 126件 (令和6年度) | ↗ | 88件 | 34% |

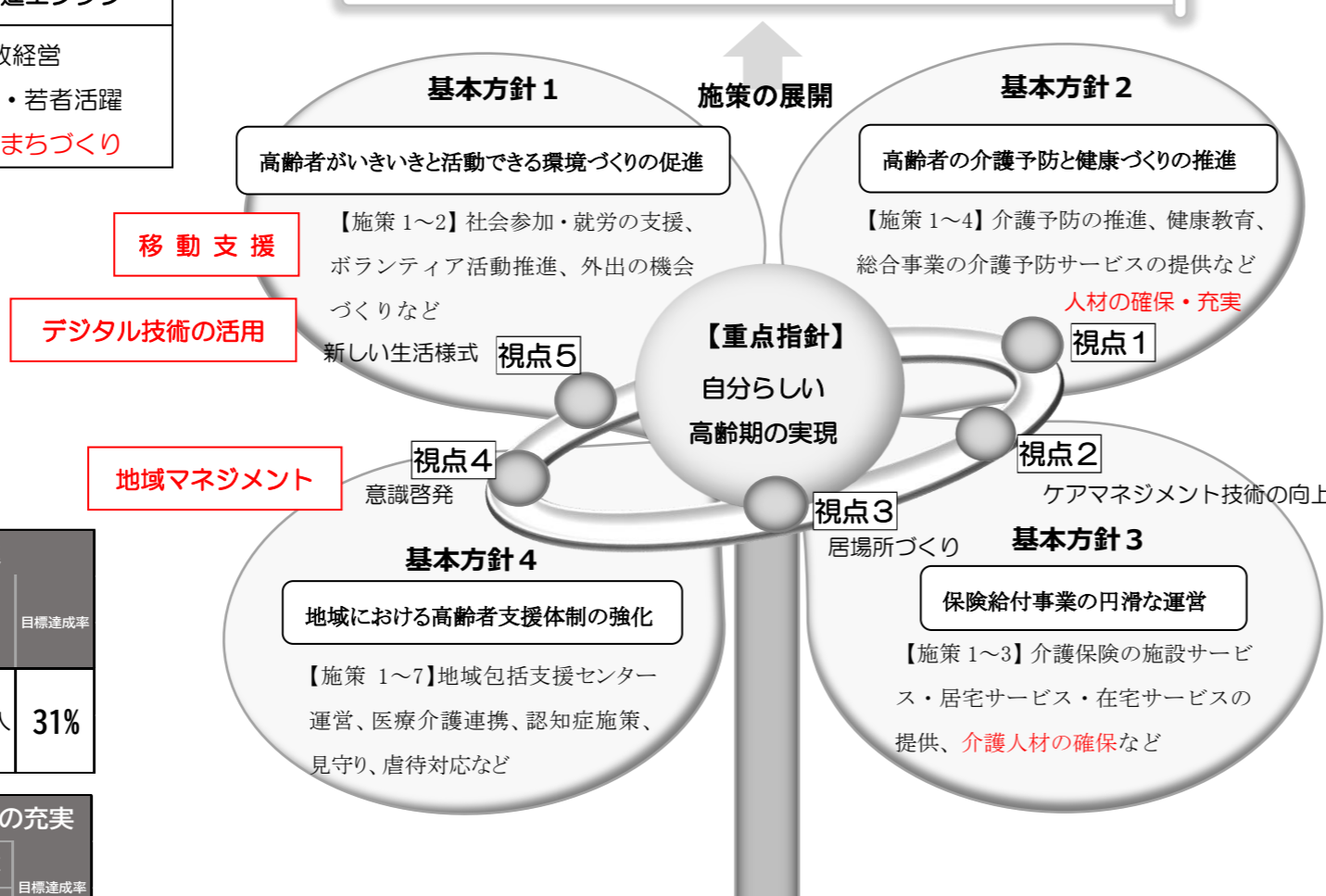
小田原市デジタル田園都市構想総合戦略

小田原市総合計画を上位計画とし、総合計画実行計画に位置付けた各事業を、デジタル技術を活用した人口減少・少子高齢化などの社会課題解決の観点から、基本目標や施策に関する基本的方向に沿って再構成したもの

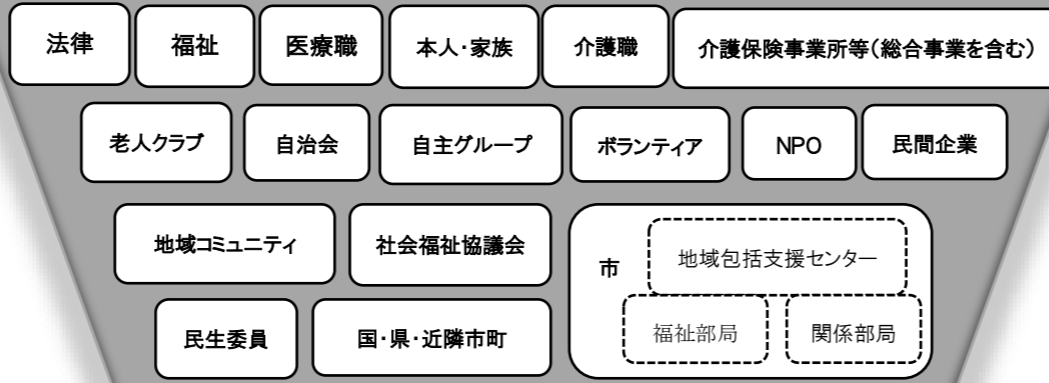
| | |
|-------|---|
| 基本目標4 | 活力にあふれ、住み続けたいまちをつくる |
| 施策の方向 | 誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる |
| 評価指標 | 脳血管疾患による死亡率(対人口10万人) 101.5人(H30)→88.9人(R9) |

第9期 おだわら高齢者福祉介護計画 (施策の体系)

《基本理念》 「ともに生きる活力ある長寿・福祉社会」をめざして



多様な主体が参画・連携



基本理念という天に向かう、植物をイメージしています。花びらである4つの基本方針と16の施策が、相互に関連して事業を展開し、花全体を形づくりまします。重点指針は中心の軸となり、5つの視点を常に巡らせながら養分や水を与えます。また、多様な主体の参画や連携が根となり、全体を支えます。

第4期小田原市地域福祉計画

「みんなで支え合い誰もが生き生きと安心して暮らせるまち」

基本目標2 地域ケア力の醸成

成果目標② 高齢者の地域課題に関する検討会議の取扱件数

基本目標3 社会参加と自立支援の推進

成果目標① アクティブシニア応援ポイント事業年間延べ参加者数

第2期小田原市健康増進計画

いつまでも自分らしく心もからだも健やかに暮らせるまち小田原

目標⑨ 高齢者の健康

「こころも身体も元気な高齢者を目指します」

評価指標
・高齢者の主観的幸福度
・高齢者の主観的健康度

第8期計画の総合的な指標

| 指標 | 第7期 | | 第8期 | 出典 |
|------------------------------|---------------------|--------------------|-----------------|----------------------------|
| | H30 (2018) 年度 | R元 (2019)年 度 | | |
| ア 高齢者の主観的幸福度 | | 平均 7.04点 | 目標:上昇 7.07点 | 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 |
| イ 高齢者の主観的健康度 | | 「よい」 78.1% | 目標:上昇 79.3% | 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査 |
| ウ 65歳以上の通いの場への参加率 | 1.3% | 1.1% | 目標:上昇 (R5年度) | 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況に関する調査 |
| エ 要支援・要介護認定者の更新申請認定結果における改善率 | 14.2% | 14.8% | 目標:上昇 (R5年度) | 小田原市の調べ |
| オ 要支援・要介護認定率の推移 | 16.6% | 17.2% | 推移の確認 | 介護保険事業状況報告 |
| カ 後期高齢者数の伸び率 | 4.2% | 2.1% | | 小田原市の調べ |
| キ 保険給付費と介護予防・生活支援サービス費の伸び率 | 2.7% | 4.1% | | 小田原市の調べ |

介護保険事業所の新規指定等について

1. 介護予防・日常生活支援総合事業事業所の新規指定

| no | 法人名 | 代表者名 | 事業所名 | 事業所所在地 | サービス種類 | 指定年月日 |
|----|------------------|-------|----------------|----------------------------|-------------|----------------|
| 1 | 医療法人社団 敬仁会 | 武市 早苗 | 訪問介護ステーション”悠久” | 神奈川県小田原市成田462番地 1 | 国基準訪問型サービス | 令和 5 年 6 月 1 日 |
| 2 | 有限会社メディカルエムアンドエス | 福元 重美 | 楽だ整骨院 | 神奈川県小田原市栢山375番地2 栢山レジデンスA棟 | 基準緩和通所型サービス | 令和 5 年 6 月 1 日 |

意見・質問等記入用紙

氏 名 _____

第6回 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会の案件に対する御意見・御質問
につきまして、「あり」「なし」のどちらかに○をつけてください。

「あり」の場合は、「質問・意見」欄に御記入ください。（「なし」の場合は、御記入は
不要です。）

※提出期日：令和5年（2023年）7月13日（木）

FAX またはメールでお送りください。

2 おだわら高齢者福祉介護計画について

| 【報告事項】(1) 第8期おだわら高齢者福祉介護計画の進捗状況 | | あり・なし |
|---------------------------------|--|-------|
| 質問・意見 | | |

| 【報告事項】(2) 介護事業所アンケート集計結果報告 | | あり・なし |
|----------------------------|--|-------|
| 質問・意見 | | |

裏面に続く

| | |
|--------------------------|-------|
| 【報告事項】(3) 在宅介護実態調査集計結果報告 | あり・なし |
| 質問・意見 | |

| | |
|--------------------------------|-------|
| 【協議事項】(1) 第9期おだわら高齢者福祉介護計画について | あり・なし |
| 質問・意見 | |

ありがとうございました。

小田原市 福祉健康部
 高齢介護課 高齢者福祉係
 F A X : 0465-33-1838
 メール : korei@city.odawara.kanagawa.jp

地域包括支援センターの運営状況
(令和4年度)

小田原市福祉健康部高齢介護課

1 従事職員の状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 備考 |
|--------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--------------------------|
| しろやま | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | |
| 看護師 | 塩澤 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 鈴木 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 松場 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 府川 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 村上 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 事務員 |
| はくおう | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 看護師 | 鈴木 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 松田 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 関根 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 看護師 | 松嶋 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| じょうなん | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 看護師 | 村越 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 伊藤 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 加藤 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 廣瀬 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| はくさん | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 看護師 | 熊澤 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 木村 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 青木 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 田代 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 介護支援専門員 |
| ひがしとみず | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | |
| 看護師 | 中村 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 服部 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 呉屋 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 奥津 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 越野 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 介護支援専門員 |
| とみず | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | |
| 保健師 | 石川 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 看護師 | 入月 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 非常勤 |
| 社会福祉士 | 若松 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 杉山 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 野村 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 介護支援専門員 |
| さくらい | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | |
| 保健師 | 星野 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 栗原 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 秋山 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 深水 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| さかわ こやわた・ふじみ | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | |
| 保健師 | 三瓶 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 桑原 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 石原 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 佐味 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 介護支援専門員 |
| しもふなか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 保健師 | 櫻田 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 田村 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 室田 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 徳弘 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| とよかわ・かみふなか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | |
| 主任介護支援専門員 | 池田 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 保健師 | 山縣 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 川端 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 片山 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | | | | | | | | | | | 除外 | → | 介護支援専門員 |
| そが・しもそが・こうつ | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 看護師 | 小林 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 生方 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 遠藤 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| その他 | 相原 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | 介護支援専門員 |
| たちばな | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| 看護師 | 椎野 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 寺岡 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | 関原 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 主任介護支援専門員 | 柳沢 | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | → | |
| 社会福祉士 | | | | | | | 中村 | → | → | → | → | → | |
| 合計 (人) | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 | 51 | 50 | 50 | 50 | 48 | 49 | 49 | 参考 R4.3末 職員数 50 |
| 保健師、看護師 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 14 | 13 | 13 | 13 | 14 |
| 社会福祉士 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 18 | 17 | 17 | 17 | 17 |
| 主任介護支援専門員 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 12 | 13 |
| その他 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 7 | 7 | 6 |

※各月末日における従事職員数です。

2 相談業務（方法別）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-------------|
| しろやま | 新規 | 27 | 41 | 31 | 31 | 35 | 31 | 24 | 30 | 21 | 21 | 33 | 25 | 350 |
| | 合計件数 | 27 | 33 | 24 | 33 | 35 | 44 | 23 | 30 | 24 | 23 | 39 | 24 | 359 |
| | 来訪 | 1 | 7 | 4 | 8 | 3 | 9 | 1 | 3 | 8 | 3 | 6 | 3 | 56 |
| | 訪問 | 4 | 3 | 1 | 4 | 8 | 10 | 7 | 2 | 6 | 1 | 10 | 3 | 59 |
| | 電話 その他 | 22 0 | 22 1 | 19 0 | 21 0 | 23 1 | 25 0 | 14 1 | 25 0 | 9 1 | 19 0 | 23 0 | 18 0 | 240 4 |
| はくおう | 新規 | 39 | 41 | 47 | 36 | 32 | 32 | 29 | 31 | 22 | 25 | 23 | 33 | 390 |
| | 合計件数 | 76 | 82 | 85 | 58 | 61 | 90 | 69 | 74 | 61 | 61 | 61 | 59 | 837 |
| | 来訪 | 3 | 5 | 10 | 4 | 5 | 4 | 1 | 4 | 4 | 3 | 6 | 3 | 52 |
| | 訪問 | 8 | 20 | 7 | 6 | 10 | 1 | 7 | 10 | 1 | 1 | 3 | 5 | 79 |
| | 電話 その他 | 62 3 | 53 4 | 65 3 | 48 0 | 46 0 | 81 4 | 58 3 | 60 0 | 53 3 | 57 0 | 51 0 | 48 3 | 682 24 |
| じょうなん | 新規 | 21 | 23 | 22 | 21 | 22 | 21 | 24 | 27 | 31 | 39 | 18 | 23 | 292 |
| | 合計件数 | 90 | 122 | 112 | 83 | 92 | 93 | 103 | 95 | 105 | 117 | 92 | 93 | 1,197 |
| | 来訪 | 7 | 5 | 7 | 3 | 7 | 7 | 5 | 8 | 10 | 8 | 6 | 9 | 82 |
| | 訪問 | 14 | 30 | 23 | 22 | 25 | 21 | 20 | 19 | 18 | 34 | 15 | 20 | 261 |
| | 電話 その他 | 69 0 | 87 0 | 80 2 | 54 4 | 59 1 | 65 0 | 78 0 | 66 2 | 72 5 | 74 1 | 68 3 | 64 0 | 836 18 |
| はくさん | 新規 | 24 | 23 | 21 | 27 | 34 | 14 | 16 | 21 | 17 | 27 | 14 | 20 | 258 |
| | 合計件数 | 349 | 329 | 321 | 216 | 279 | 234 | 195 | 172 | 118 | 99 | 90 | 96 | 2,498 |
| | 来訪 | 17 | 24 | 41 | 28 | 37 | 22 | 39 | 20 | 17 | 18 | 19 | 25 | 307 |
| | 訪問 | 87 | 74 | 79 | 56 | 54 | 80 | 26 | 28 | 31 | 8 | 16 | 12 | 551 |
| | 電話 その他 | 240 5 | 225 6 | 188 13 | 129 3 | 176 12 | 129 3 | 128 2 | 112 12 | 67 3 | 72 1 | 48 7 | 57 2 | 1,571 69 |
| ひがしとみず | 新規 | 40 | 28 | 25 | 34 | 26 | 24 | 21 | 15 | 19 | 27 | 20 | 18 | 297 |
| | 合計件数 | 170 | 152 | 140 | 164 | 144 | 68 | 49 | 46 | 67 | 105 | 49 | 25 | 1,179 |
| | 来訪 | 11 | 4 | 3 | 7 | 5 | 1 | 1 | 4 | 4 | 7 | 2 | 1 | 50 |
| | 訪問 | 20 | 20 | 15 | 22 | 8 | 5 | 5 | 3 | 9 | 13 | 9 | 2 | 131 |
| | 電話 その他 | 139 0 | 126 2 | 118 4 | 129 6 | 131 0 | 62 0 | 43 0 | 39 0 | 54 0 | 84 1 | 38 0 | 22 0 | 985 13 |
| とみず | 新規 | 35 | 28 | 21 | 19 | 20 | 22 | 22 | 21 | 15 | 29 | 22 | 18 | 272 |
| | 合計件数 | 39 | 34 | 23 | 21 | 31 | 24 | 28 | 24 | 16 | 29 | 22 | 20 | 311 |
| | 来訪 | 4 | 6 | 4 | 3 | 3 | 5 | 3 | 4 | 1 | 8 | 3 | 4 | 48 |
| | 訪問 | 4 | 2 | 6 | 4 | 8 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 36 |
| | 電話 その他 | 29 2 | 24 2 | 12 1 | 12 2 | 18 2 | 17 0 | 23 0 | 19 0 | 13 1 | 19 0 | 16 2 | 13 0 | 215 12 |
| さくらい | 新規 | 31 | 19 | 24 | 19 | 22 | 19 | 27 | 13 | 22 | 19 | 15 | 29 | 259 |
| | 合計件数 | 94 | 41 | 91 | 92 | 56 | 59 | 70 | 60 | 77 | 69 | 60 | 50 | 819 |
| | 来訪 | 6 | 11 | 10 | 7 | 5 | 5 | 12 | 5 | 1 | 4 | 5 | 4 | 75 |
| | 訪問 | 22 | 5 | 2 | 18 | 13 | 9 | 14 | 10 | 18 | 11 | 13 | 12 | 147 |
| | 電話 その他 | 65 1 | 25 0 | 74 5 | 58 9 | 37 1 | 43 2 | 43 1 | 45 0 | 58 0 | 54 0 | 42 0 | 33 1 | 577 20 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 新規 | 13 | 20 | 31 | 28 | 16 | 27 | 26 | 12 | 21 | 21 | 23 | 19 | 257 |
| | 合計件数 | 206 | 207 | 224 | 192 | 211 | 178 | 179 | 191 | 181 | 136 | 112 | 56 | 2,073 |
| | 来訪 | 11 | 9 | 14 | 17 | 10 | 19 | 7 | 10 | 9 | 12 | 11 | 10 | 139 |
| | 訪問 | 59 | 60 | 58 | 46 | 48 | 39 | 51 | 71 | 37 | 44 | 22 | 11 | 546 |
| | 電話 その他 | 136 0 | 138 0 | 151 1 | 129 0 | 153 0 | 117 3 | 119 2 | 110 0 | 135 0 | 79 1 | 74 5 | 32 3 | 1,373 15 |
| しもふなか | 新規 | 35 | 29 | 29 | 20 | 21 | 16 | 10 | 11 | 16 | 19 | 16 | 21 | 243 |
| | 合計件数 | 55 | 45 | 53 | 37 | 33 | 28 | 29 | 24 | 31 | 35 | 28 | 35 | 433 |
| | 来訪 | 8 | 2 | 4 | 2 | 2 | 1 | 5 | 1 | 3 | 5 | 2 | 5 | 40 |
| | 訪問 | 10 | 7 | 8 | 8 | 3 | 1 | 6 | 5 | 6 | 16 | 6 | 3 | 79 |
| | 電話 その他 | 36 1 | 36 0 | 40 1 | 27 0 | 28 0 | 26 0 | 18 0 | 18 0 | 22 0 | 14 0 | 19 1 | 27 0 | 311 3 |
| とよかわ・かみふなか | 新規 | 25 | 19 | 15 | 9 | 29 | 19 | 14 | 23 | 26 | 23 | 23 | 22 | 247 |
| | 合計件数 | 36 | 38 | 40 | 28 | 29 | 19 | 15 | 27 | 27 | 24 | 23 | 22 | 328 |
| | 来訪 | 8 | 2 | 6 | 2 | 2 | 1 | 0 | 5 | 0 | 6 | 3 | 1 | 36 |
| | 訪問 | 6 | 4 | 6 | 2 | 4 | 1 | 0 | 2 | 3 | 2 | 1 | 4 | 35 |
| | 電話 その他 | 22 0 | 32 0 | 28 0 | 21 3 | 22 1 | 17 0 | 14 1 | 19 1 | 24 0 | 16 0 | 19 0 | 17 0 | 251 6 |
| そが・しもそが・こうづ | 新規 | 67 | 49 | 40 | 42 | 37 | 28 | 32 | 18 | 16 | 30 | 27 | 24 | 410 |
| | 合計件数 | 96 | 70 | 55 | 69 | 79 | 41 | 44 | 28 | 20 | 34 | 36 | 30 | 602 |
| | 来訪 | 8 | 3 | 1 | 1 | 4 | 3 | 1 | 0 | 2 | 4 | 1 | 2 | 30 |
| | 訪問 | 6 | 1 | 54 | 3 | 3 | 3 | 3 | 1 | 0 | 1 | 2 | 3 | 80 |
| | 電話 その他 | 74 8 | 62 4 | 0 0 | 61 4 | 67 5 | 35 0 | 39 1 | 27 0 | 17 1 | 29 0 | 31 2 | 23 2 | 465 27 |
| たちばな | 新規 | 54 | 23 | 28 | 20 | 11 | 23 | 24 | 21 | 19 | 27 | 20 | 18 | 288 |
| | 合計件数 | 139 | 122 | 116 | 114 | 132 | 94 | 122 | 128 | 121 | 126 | 134 | 116 | 1,464 |
| | 来訪 | 6 | 5 | 2 | 7 | 5 | 5 | 8 | 6 | 4 | 7 | 5 | 10 | 70 |
| | 訪問 | 33 | 28 | 26 | 22 | 22 | 17 | 26 | 21 | 29 | 19 | 22 | 25 | 290 |
| | 電話 その他 | 99 1 | 86 3 | 87 1 | 83 2 | 105 0 | 70 2 | 85 3 | 100 1 | 87 1 | 100 0 | 106 1 | 80 1 | 1,088 16 |
| 計 | 新規 | 411 | 343 | 334 | 306 | 305 | 276 | 269 | 243 | 245 | 307 | 254 | 270 | 3,563 |
| | 合計件数 | 1377 | 1275 | 1284 | 1107 | 1182 | 972 | 926 | 899 | 848 | 858 | 746 | 626 | 12,100 |
| | 来訪 | 90 | 83 | 106 | 89 | 88 | 82 | 83 | 70 | 63 | 85 | 69 | 77 | 985 |
| | 訪問 | 273 | 254 | 285 | 213 | 206 | 189 | 167 | 173 | 159 | 152 | 120 | 103 | 2,294 |
| | 電話 その他 | 993 21 | 916 22 | 862 31 | 772 33 | 865 23 | 687 14 | 662 14 | 640 16 | 611 15 | 617 4 | 535 22 | 434 12 | 8594 227 |

3 相談業務（内容別）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-------------|------|------|------|------|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|
| しろやま | 73 | 77 | 65 | 89 | 62 | 87 | 65 | 72 | 71 | 53 | 88 | 64 | 866 |
| 各種サービス | 48 | 52 | 46 | 64 | 45 | 47 | 37 | 44 | 42 | 28 | 43 | 44 | 540 |
| 医療 | 14 | 13 | 12 | 16 | 7 | 10 | 11 | 8 | 11 | 12 | 19 | 3 | 136 |
| 権利擁護 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 13 |
| 困難事例 | 4 | 0 | 0 | 1 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 13 |
| その他集計 | 6 | 12 | 7 | 7 | 8 | 23 | 15 | 19 | 15 | 11 | 26 | 15 | 164 |
| はくおう | 85 | 92 | 95 | 65 | 64 | 99 | 78 | 81 | 67 | 60 | 66 | 65 | 917 |
| 各種サービス | 36 | 29 | 35 | 31 | 31 | 40 | 24 | 35 | 23 | 20 | 27 | 41 | 372 |
| 医療 | 20 | 9 | 9 | 7 | 11 | 23 | 22 | 7 | 17 | 15 | 13 | 8 | 161 |
| 権利擁護 | 1 | 4 | 1 | 4 | 0 | 2 | 5 | 7 | 6 | 3 | 2 | 2 | 37 |
| 困難事例 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 15 |
| その他集計 | 26 | 49 | 48 | 23 | 22 | 33 | 22 | 32 | 21 | 21 | 22 | 13 | 332 |
| じょうなん | 93 | 130 | 118 | 85 | 96 | 97 | 104 | 105 | 114 | 123 | 100 | 98 | 1,263 |
| 各種サービス | 43 | 57 | 53 | 41 | 40 | 45 | 53 | 48 | 57 | 74 | 34 | 39 | 584 |
| 医療 | 0 | 11 | 6 | 4 | 7 | 2 | 2 | 7 | 11 | 3 | 7 | 10 | 70 |
| 権利擁護 | 0 | 0 | 3 | 5 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 0 | 6 | 23 |
| 困難事例 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 10 |
| その他集計 | 49 | 62 | 53 | 35 | 46 | 47 | 48 | 50 | 46 | 41 | 58 | 41 | 576 |
| はくさん | 408 | 337 | 338 | 261 | 297 | 263 | 216 | 228 | 134 | 113 | 94 | 118 | 2,807 |
| 各種サービス | 274 | 272 | 242 | 186 | 208 | 195 | 138 | 147 | 76 | 62 | 30 | 52 | 1,882 |
| 医療 | 38 | 12 | 25 | 10 | 25 | 16 | 28 | 33 | 11 | 15 | 16 | 25 | 254 |
| 権利擁護 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | 11 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| その他集計 | 95 | 53 | 67 | 65 | 64 | 52 | 47 | 47 | 46 | 36 | 47 | 38 | 657 |
| ひがしとみず | 42 | 31 | 25 | 34 | 27 | 25 | 22 | 15 | 18 | 27 | 22 | 18 | 306 |
| 各種サービス | 33 | 21 | 15 | 25 | 20 | 19 | 17 | 10 | 13 | 21 | 11 | 14 | 219 |
| 医療 | 2 | 1 | 3 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 11 |
| 権利擁護 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 10 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他集計 | 7 | 8 | 6 | 8 | 4 | 3 | 4 | 4 | 5 | 6 | 8 | 3 | 66 |
| とみず | 37 | 33 | 22 | 21 | 28 | 24 | 21 | 24 | 15 | 30 | 20 | 20 | 295 |
| 各種サービス | 28 | 25 | 15 | 17 | 19 | 16 | 16 | 18 | 7 | 22 | 15 | 15 | 213 |
| 医療 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 1 | 14 |
| 権利擁護 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他集計 | 6 | 7 | 7 | 3 | 8 | 7 | 4 | 4 | 5 | 5 | 3 | 4 | 63 |
| さくらい | 38 | 25 | 34 | 34 | 31 | 26 | 32 | 20 | 47 | 39 | 30 | 40 | 396 |
| 各種サービス | 23 | 21 | 28 | 24 | 23 | 21 | 24 | 14 | 36 | 28 | 24 | 27 | 293 |
| 医療 | 4 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 5 | 28 |
| 権利擁護 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 困難事例 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| その他集計 | 8 | 1 | 3 | 7 | 5 | 4 | 8 | 4 | 8 | 8 | 5 | 8 | 69 |
| さかわこやわた・ふじみ | 260 | 242 | 271 | 232 | 264 | 211 | 201 | 213 | 209 | 149 | 114 | 59 | 2,425 |
| 各種サービス | 180 | 188 | 221 | 179 | 191 | 156 | 167 | 165 | 154 | 120 | 92 | 51 | 1,864 |
| 医療 | 49 | 27 | 35 | 29 | 42 | 29 | 20 | 28 | 30 | 11 | 7 | 2 | 309 |
| 権利擁護 | 7 | 9 | 2 | 6 | 4 | 5 | 2 | 5 | 1 | 0 | 3 | 0 | 44 |
| 困難事例 | 5 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 3 | 0 | 2 | 0 | 17 |
| その他集計 | 19 | 18 | 13 | 16 | 24 | 20 | 12 | 14 | 21 | 18 | 10 | 6 | 191 |
| しもふなか | 59 | 49 | 58 | 40 | 38 | 33 | 32 | 21 | 35 | 45 | 32 | 29 | 471 |
| 各種サービス | 38 | 27 | 28 | 21 | 22 | 26 | 15 | 12 | 21 | 22 | 14 | 22 | 268 |
| 医療 | 11 | 6 | 4 | 3 | 5 | 1 | 3 | 1 | 0 | 7 | 0 | 4 | 45 |
| 権利擁護 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 1 | 0 | 7 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| その他集計 | 9 | 15 | 25 | 16 | 11 | 6 | 13 | 8 | 11 | 16 | 17 | 3 | 150 |
| とよかわ・かみふなか | 38 | 43 | 42 | 29 | 52 | 21 | 18 | 25 | 30 | 23 | 29 | 24 | 374 |
| 各種サービス | 22 | 18 | 23 | 14 | 33 | 14 | 13 | 19 | 27 | 19 | 19 | 22 | 243 |
| 医療 | 2 | 7 | 1 | 0 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 1 | 4 | 1 | 26 |
| 権利擁護 | 4 | 1 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 16 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他集計 | 10 | 17 | 15 | 11 | 15 | 4 | 2 | 3 | 3 | 3 | 5 | 1 | 89 |
| そが・しもそが・こうづ | 89 | 90 | 61 | 49 | 52 | 39 | 50 | 28 | 20 | 35 | 33 | 34 | 580 |
| 各種サービス | 59 | 48 | 30 | 35 | 32 | 24 | 30 | 16 | 10 | 26 | 23 | 16 | 349 |
| 医療 | 8 | 9 | 6 | 6 | 5 | 2 | 10 | 4 | 3 | 2 | 0 | 5 | 60 |
| 権利擁護 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 困難事例 | 2 | 4 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| その他集計 | 19 | 27 | 23 | 7 | 15 | 12 | 9 | 7 | 6 | 7 | 10 | 13 | 155 |
| たちばな | 141 | 126 | 120 | 116 | 130 | 105 | 122 | 129 | 113 | 128 | 135 | 116 | 1,481 |
| 各種サービス | 56 | 60 | 47 | 59 | 68 | 53 | 71 | 73 | 60 | 58 | 68 | 59 | 732 |
| 医療 | 5 | 7 | 6 | 5 | 6 | 6 | 3 | 8 | 6 | 5 | 10 | 10 | 77 |
| 権利擁護 | 1 | 1 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 1 | 1 | 3 | 15 |
| 困難事例 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| その他集計 | 79 | 58 | 61 | 50 | 56 | 46 | 48 | 43 | 47 | 64 | 56 | 44 | 652 |
| 合計件数 | 1363 | 1275 | 1249 | 1055 | 1141 | 1030 | 961 | 961 | 873 | 825 | 763 | 685 | 12,181 |
| 各種サービス | 840 | 818 | 783 | 696 | 732 | 656 | 605 | 601 | 526 | 500 | 400 | 402 | 7,559 |
| 医療 | 154 | 105 | 109 | 84 | 116 | 95 | 102 | 101 | 93 | 77 | 80 | 75 | 1,191 |
| 権利擁護 | 21 | 20 | 16 | 24 | 9 | 13 | 15 | 19 | 15 | 10 | 11 | 16 | 189 |
| 困難事例 | 15 | 5 | 13 | 3 | 6 | 9 | 7 | 5 | 5 | 2 | 5 | 3 | 78 |
| その他集計 | 333 | 327 | 328 | 248 | 278 | 257 | 232 | 235 | 234 | 236 | 267 | 189 | 3,164 |

【参考】継続支援業務(ケース対応)の状況

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| しろやま | 本人・家族等への訪問 | 65 | 38 | 37 | 49 | 45 | 42 | 52 | 59 | 44 | 32 | 42 | 70 | 575 |
| | 本人・家族等への連絡 | 94 | 34 | 48 | 51 | 42 | 65 | 31 | 59 | 37 | 48 | 50 | 49 | 608 |
| | 関係機関等への訪問 | 20 | 8 | 13 | 26 | 16 | 16 | 24 | 29 | 28 | 16 | 23 | 22 | 241 |
| | 関係機関等への連絡 | 222 | 134 | 167 | 180 | 128 | 166 | 116 | 154 | 103 | 98 | 130 | 158 | 1756 |
| はくおう | 本人・家族等への訪問 | 43 | 54 | 47 | 49 | 43 | 42 | 69 | 59 | 69 | 39 | 38 | 55 | 607 |
| | 本人・家族等への連絡 | 56 | 48 | 51 | 54 | 58 | 47 | 74 | 62 | 45 | 73 | 55 | 72 | 695 |
| | 関係機関等への訪問 | 15 | 19 | 9 | 8 | 23 | 14 | 11 | 10 | 21 | 9 | 22 | 16 | 177 |
| | 関係機関等への連絡 | 109 | 142 | 119 | 126 | 179 | 131 | 174 | 142 | 150 | 157 | 186 | 95 | 1710 |
| じょうなん | 本人・家族等への訪問 | 39 | 45 | 42 | 46 | 54 | 30 | 41 | 38 | 39 | 45 | 38 | 55 | 512 |
| | 本人・家族等への連絡 | 47 | 64 | 40 | 40 | 41 | 59 | 69 | 51 | 74 | 68 | 67 | 59 | 679 |
| | 関係機関等への訪問 | 8 | 8 | 9 | 11 | 9 | 8 | 8 | 2 | 10 | 4 | 3 | 6 | 86 |
| | 関係機関等への連絡 | 83 | 105 | 109 | 58 | 85 | 77 | 93 | 69 | 87 | 87 | 93 | 98 | 1044 |
| はくさん | 本人・家族等への訪問 | 13 | 13 | 17 | 22 | 28 | 36 | 18 | 15 | 48 | 18 | 26 | 40 | 294 |
| | 本人・家族等への連絡 | 15 | 5 | 20 | 28 | 45 | 55 | 43 | 33 | 73 | 31 | 32 | 66 | 446 |
| | 関係機関等への訪問 | 18 | 18 | 9 | 20 | 6 | 3 | 14 | 10 | 8 | 6 | 12 | 5 | 129 |
| | 関係機関等への連絡 | 63 | 34 | 64 | 54 | 90 | 96 | 89 | 88 | 112 | 82 | 59 | 113 | 944 |
| ひがしとみず | 本人・家族等への訪問 | 37 | 36 | 28 | 16 | 31 | 27 | 14 | 35 | 34 | 40 | 52 | 35 | 385 |
| | 本人・家族等への連絡 | 81 | 59 | 65 | 41 | 60 | 77 | 54 | 68 | 74 | 100 | 33 | 66 | 778 |
| | 関係機関等への訪問 | 11 | 8 | 6 | 4 | 5 | 7 | 3 | 14 | 9 | 6 | 8 | 8 | 89 |
| | 関係機関等への連絡 | 164 | 115 | 125 | 55 | 99 | 138 | 57 | 112 | 143 | 139 | 82 | 124 | 1353 |
| とみず | 本人・家族等への訪問 | 30 | 18 | 40 | 25 | 33 | 32 | 30 | 37 | 48 | 48 | 39 | 52 | 432 |
| | 本人・家族等への連絡 | 27 | 32 | 37 | 26 | 33 | 41 | 34 | 31 | 41 | 26 | 55 | 49 | 432 |
| | 関係機関等への訪問 | 10 | 5 | 8 | 9 | 19 | 3 | 21 | 9 | 8 | 5 | 10 | 3 | 110 |
| | 関係機関等への連絡 | 48 | 56 | 70 | 66 | 49 | 52 | 36 | 47 | 36 | 70 | 59 | 72 | 661 |
| さくらい | 本人・家族等への訪問 | 17 | 9 | 16 | 12 | 22 | 18 | 23 | 23 | 34 | 24 | 21 | 21 | 240 |
| | 本人・家族等への連絡 | 30 | 25 | 31 | 27 | 24 | 37 | 38 | 36 | 44 | 31 | 24 | 27 | 374 |
| | 関係機関等への訪問 | 6 | 0 | 1 | 1 | 3 | 5 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 0 | 23 |
| | 関係機関等への連絡 | 50 | 40 | 20 | 38 | 43 | 46 | 68 | 58 | 110 | 41 | 29 | 46 | 589 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 本人・家族等への訪問 | 67 | 63 | 78 | 47 | 54 | 52 | 53 | 55 | 38 | 39 | 26 | 49 | 621 |
| | 本人・家族等への連絡 | 54 | 55 | 64 | 41 | 58 | 48 | 41 | 41 | 50 | 22 | 22 | 15 | 511 |
| | 関係機関等への訪問 | 4 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 2 | 7 | 9 | 5 | 4 | 4 | 47 |
| | 関係機関等への連絡 | 78 | 73 | 79 | 64 | 71 | 67 | 66 | 2 | 58 | 55 | 32 | 33 | 678 |
| しもふなか | 本人・家族等への訪問 | 25 | 23 | 31 | 31 | 32 | 28 | 26 | 24 | 22 | 22 | 29 | 29 | 322 |
| | 本人・家族等への連絡 | 37 | 44 | 66 | 49 | 68 | 49 | 80 | 54 | 51 | 65 | 80 | 73 | 716 |
| | 関係機関等への訪問 | 1 | 6 | 3 | 1 | 4 | 5 | 4 | 2 | 3 | 0 | 3 | 15 | 47 |
| | 関係機関等への連絡 | 54 | 75 | 100 | 106 | 102 | 93 | 135 | 122 | 93 | 97 | 114 | 120 | 1211 |
| とよかわ・かみふなか | 本人・家族等への訪問 | 23 | 20 | 27 | 11 | 30 | 17 | 35 | 43 | 28 | 40 | 27 | 50 | 351 |
| | 本人・家族等への連絡 | 18 | 17 | 32 | 14 | 40 | 34 | 39 | 41 | 46 | 62 | 65 | 71 | 479 |
| | 関係機関等への訪問 | 4 | 0 | 2 | 8 | 6 | 4 | 4 | 7 | 2 | 6 | 3 | 5 | 51 |
| | 関係機関等への連絡 | 38 | 38 | 30 | 30 | 47 | 27 | 65 | 69 | 60 | 76 | 70 | 77 | 627 |
| そが・しもそが・こうづ | 本人・家族等への訪問 | 31 | 35 | 58 | 51 | 37 | 35 | 35 | 28 | 20 | 36 | 28 | 43 | 437 |
| | 本人・家族等への連絡 | 82 | 87 | 103 | 121 | 89 | 86 | 77 | 88 | 80 | 78 | 64 | 105 | 1060 |
| | 関係機関等への訪問 | 5 | 4 | 3 | 15 | 4 | 7 | 6 | 0 | 2 | 3 | 1 | 5 | 55 |
| | 関係機関等への連絡 | 142 | 280 | 248 | 253 | 270 | 208 | 188 | 223 | 148 | 209 | 134 | 243 | 2546 |
| たちばな | 本人・家族等への訪問 | 16 | 19 | 21 | 10 | 7 | 18 | 24 | 16 | 25 | 16 | 12 | 23 | 207 |
| | 本人・家族等への連絡 | 13 | 13 | 11 | 8 | 13 | 11 | 20 | 44 | 24 | 38 | 26 | 27 | 248 |
| | 関係機関等への訪問 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 | 1 | 3 | 14 |
| | 関係機関等への連絡 | 37 | 23 | 25 | 23 | 29 | 18 | 20 | 37 | 41 | 42 | 50 | 34 | 379 |
| 小計 | 本人・家族等への訪問 | 406 | 373 | 442 | 369 | 416 | 377 | 420 | 432 | 449 | 399 | 378 | 522 | 4983 |
| | 本人・家族等への連絡 | 554 | 483 | 568 | 500 | 571 | 609 | 600 | 608 | 639 | 642 | 573 | 679 | 7026 |
| | 関係機関等への訪問 | 104 | 80 | 66 | 107 | 98 | 73 | 97 | 92 | 105 | 65 | 90 | 92 | 1069 |
| | 関係機関等への連絡 | 1088 | 1115 | 1156 | 1053 | 1192 | 1119 | 1107 | 1123 | 1141 | 1153 | 1038 | 1213 | 13498 |

4 高齢者虐待の対応状況

| | (A) R3 年度から 継続して 対応した 件数 | (B) R4年度新規通報・相談件数 | | | | | | | | | | | (C) R4 年度中に 終了した 件数 | (D) R5 年度に 引き続き 対応する 件数 | |
|--------------|---|-------------------|-------|----------|-----|-----------|----|----|----|----|-----|---|---------------------------------|--|----|
| | | (B')うち虐待と判断された事例 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 届出(通報)者 | | | | 虐待の種別(延べ) | | | | | | | | | |
| | | 本人 | 家族・親族 | 職務上知り得た者 | その他 | 身体 | 放棄 | 心理 | 性的 | 経済 | その他 | | | | |
| しろやま | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | 1 | 3 | |
| はくおう | 1 | 7 | 7 | 1 | 5 | 1 | 6 | | | | | 1 | 4 | 4 | |
| じょうなん | 0 | 1 | 1 | | 1 | | 1 | | | | | | 1 | 0 | |
| はくさん | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | | 2 | | | | | | 3 | 1 | |
| ひがしとみず | 5 | 2 | 2 | | 2 | | 2 | | | | | | 6 | 1 | |
| とみず | 0 | 3 | 3 | | 3 | | 1 | 1 | 2 | | 1 | | 1 | 2 | |
| さくらい | 3 | 0 | 0 | | | | | | | | | | 1 | 2 | |
| さかわ こやわた・ふじみ | 3 | 4 | 4 | | 4 | | 3 | 1 | | | | | 6 | 1 | |
| しもふなか | 1 | 4 | 3 | 1 | 3 | | 3 | | | | | | 0 | 4 | |
| とよかわ・かみふなか | 3 | 9 | 6 | 1 | 1 | 7 | 6 | | 1 | | | | 4 | 5 | |
| そが・しもそが・こうづ | 2 | 3 | 3 | | 3 | | 3 | | | | | | 2 | 3 | |
| たちばな | 0 | 2 | 2 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 0 | 2 | |
| 合計 | 22 | 39 | 35 | 4 | 2 | 32 | 1 | 28 | 4 | 4 | 0 | 1 | 1 | 29 | 28 |

- ※ (A) 「R3年度から継続して対応した件数」は、R4年度以前に通報・相談を受けたケースで、継続して対応している件数
- ※ (B) 「R4年度新規通報・相談件数」は、R4年度に新たに受けた件数
- ※ (C) 「R4年度中に終了した件数」は、(A) 「R3年度から継続して対応した件数」と (B) 「R4年度新規通報・相談件数」のうち、終了した件数
- ※ (A) + (B') - (C) = (D) 「R5年度に継続して対応する件数」
- ※ 届出者のうち、「職務上知り得た者」とは、ケアマネジャー、サービス提供事業者、医療機関、民生委員、訪問調査員等。

5 介護予防ケアマネジメント（要支援認定者分）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| しろやま | 介護予防サービス計画原案作成 | 15 | 7 | 13 | 12 | 12 | 5 | 7 | 14 | 12 | 15 | 12 | 9 | 133 |
| | うち再委託 | 0 | 3 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 2 | 2 | 17 |
| | サービス担当者会議 | 14 | 8 | 14 | 12 | 12 | 4 | 7 | 15 | 15 | 15 | 11 | 9 | 136 |
| はくおう | 介護予防サービス計画原案作成 | 19 | 11 | 20 | 34 | 15 | 11 | 16 | 16 | 24 | 11 | 14 | 23 | 214 |
| | うち再委託 | 10 | 0 | 3 | 8 | 4 | 0 | 4 | 1 | 4 | 2 | 3 | 4 | 43 |
| | サービス担当者会議 | 17 | 11 | 15 | 23 | 13 | 7 | 11 | 16 | 19 | 8 | 14 | 15 | 169 |
| じょうなん | 介護予防サービス計画原案作成 | 15 | 12 | 10 | 18 | 9 | 9 | 7 | 13 | 3 | 10 | 8 | 9 | 123 |
| | うち再委託 | 5 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 4 | 0 | 20 |
| | サービス担当者会議 | 9 | 5 | 8 | 15 | 5 | 2 | 6 | 6 | 1 | 7 | 6 | 4 | 74 |
| はくさん | 介護予防サービス計画原案作成 | 9 | 9 | 5 | 12 | 13 | 6 | 8 | 3 | 6 | 11 | 13 | 8 | 103 |
| | うち再委託 | 6 | 1 | 3 | 4 | 9 | 3 | 4 | 1 | 1 | 5 | 7 | 5 | 49 |
| | サービス担当者会議 | 5 | 8 | 4 | 7 | 4 | 4 | 4 | 2 | 7 | 7 | 9 | 7 | 68 |
| ひがしとみず | 介護予防サービス計画原案作成 | 8 | 14 | 10 | 15 | 15 | 18 | 10 | 11 | 7 | 15 | 7 | 12 | 142 |
| | うち再委託 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 6 |
| | サービス担当者会議 | 4 | 10 | 9 | 13 | 11 | 12 | 10 | 6 | 6 | 10 | 9 | 13 | 113 |
| とみず | 介護予防サービス計画原案作成 | 3 | 6 | 7 | 7 | 4 | 4 | 3 | 11 | 2 | 2 | 8 | 7 | 64 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 4 |
| | サービス担当者会議 | 5 | 6 | 7 | 5 | 5 | 3 | 4 | 9 | 2 | 2 | 4 | 5 | 57 |
| さくらい | 介護予防サービス計画原案作成 | 12 | 8 | 9 | 10 | 4 | 14 | 6 | 8 | 8 | 7 | 9 | 17 | 112 |
| | うち再委託 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 4 | 1 | 2 | 4 | 2 | 1 | 0 | 19 |
| | サービス担当者会議 | 8 | 4 | 11 | 5 | 2 | 10 | 5 | 6 | 5 | 4 | 7 | 16 | 83 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 介護予防サービス計画原案作成 | 12 | 16 | 13 | 13 | 10 | 12 | 8 | 10 | 10 | 9 | 8 | 13 | 134 |
| | うち再委託 | 3 | 3 | 2 | 1 | 3 | 3 | 3 | 3 | 2 | 2 | 2 | 0 | 27 |
| | サービス担当者会議 | 6 | 8 | 9 | 9 | 10 | 2 | 4 | 5 | 5 | 6 | 9 | 11 | 84 |
| しもふなか | 介護予防サービス計画原案作成 | 25 | 12 | 10 | 7 | 8 | 18 | 7 | 14 | 4 | 9 | 16 | 13 | 143 |
| | うち再委託 | 5 | 3 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 18 |
| | サービス担当者会議 | 24 | 12 | 10 | 7 | 8 | 18 | 7 | 14 | 4 | 9 | 15 | 13 | 141 |
| とよかわ・かみふなか | 介護予防サービス計画原案作成 | 12 | 10 | 4 | 8 | 0 | 9 | 8 | 4 | 5 | 5 | 9 | 5 | 79 |
| | うち再委託 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 7 |
| | サービス担当者会議 | 12 | 10 | 4 | 8 | 3 | 9 | 9 | 5 | 5 | 4 | 6 | 8 | 83 |
| そが・しもそが・こうづ | 介護予防サービス計画原案作成 | 13 | 10 | 7 | 12 | 8 | 11 | 11 | 13 | 4 | 11 | 7 | 14 | 121 |
| | うち再委託 | 2 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 4 | 0 | 7 | 20 |
| | サービス担当者会議 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 8 | 8 | 8 | 6 | 3 | 3 | 8 | 74 |
| たちばな | 介護予防サービス計画原案作成 | 6 | 9 | 10 | 1 | 2 | 4 | 3 | 5 | 4 | 7 | 1 | 8 | 60 |
| | うち再委託 | 1 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 16 |
| | サービス担当者会議 | 6 | 6 | 10 | 1 | 4 | 4 | 3 | 5 | 4 | 7 | 4 | 8 | 62 |
| 合計 | 介護予防サービス計画原案作成 | 149 | 124 | 118 | 149 | 100 | 121 | 94 | 122 | 89 | 112 | 112 | 138 | 1,428 |
| | うち再委託 | 32 | 20 | 14 | 21 | 25 | 16 | 16 | 16 | 18 | 20 | 24 | 24 | 246 |
| | サービス担当者会議 | 118 | 95 | 107 | 110 | 81 | 83 | 78 | 97 | 79 | 82 | 97 | 117 | 1,144 |

6 介護予防ケアマネジメント（総合事業対象者分）

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-----------|------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| しろやま | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 8 | 2 | 7 | 2 | 8 | 4 | 11 | 4 | 1 | 12 | 4 | 16 | 79 |
| | うちA | 8 | 1 | 7 | 2 | 8 | 4 | 10 | 4 | 1 | 12 | 4 | 14 | 75 |
| | うち再委託 | 6 | 0 | 2 | 0 | 2 | 3 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 21 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うちB | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 3 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 9 | 1 | 6 | 2 | 7 | 3 | 10 | 4 | 1 | 13 | 4 | 12 | 72 | |
| はくおう | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 7 | 10 | 10 | 17 | 6 | 7 | 8 | 6 | 11 | 12 | 15 | 7 | 116 |
| | うちA | 7 | 7 | 7 | 16 | 6 | 7 | 8 | 6 | 10 | 11 | 15 | 7 | 107 |
| | うち再委託 | 3 | 2 | 4 | 8 | 4 | 0 | 4 | 2 | 9 | 3 | 9 | 0 | 48 |
| | うちCL対象者 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 1 | 11 |
| | うちB | 0 | 3 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 9 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 4 | 6 | 7 | 9 | 3 | 4 | 4 | 6 | 2 | 10 | 9 | 5 | 69 | |
| じょうなん | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 7 | 8 | 5 | 9 | 9 | 8 | 4 | 21 | 5 | 10 | 5 | 4 | 95 |
| | うちA | 7 | 8 | 5 | 9 | 9 | 8 | 4 | 13 | 4 | 10 | 5 | 4 | 86 |
| | うち再委託 | 3 | 1 | 1 | 4 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3 | 1 | 0 | 21 |
| | うちCL対象者 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うちB | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 6 | 3 | 7 | 2 | 6 | 6 | 6 | 6 | 0 | 3 | 2 | 5 | 52 | |
| はくさん | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 6 | 5 | 5 | 3 | 5 | 2 | 5 | 9 | 3 | 1 | 3 | 2 | 49 |
| | うちA | 6 | 5 | 5 | 3 | 5 | 2 | 4 | 8 | 3 | 1 | 3 | 2 | 47 |
| | うち再委託 | 2 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 0 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 14 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | うちB | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 2 | 7 | 5 | 3 | 3 | 4 | 2 | 5 | 1 | 2 | 2 | 0 | 36 | |
| ひがしとみず | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 6 | 7 | 11 | 12 | 5 | 6 | 7 | 7 | 8 | 6 | 4 | 4 | 83 |
| | うちA | 6 | 5 | 8 | 12 | 5 | 6 | 6 | 6 | 7 | 6 | 4 | 4 | 75 |
| | うち再委託 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 7 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | うちB | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 5 | 9 | 11 | 12 | 3 | 6 | 6 | 4 | 3 | 5 | 2 | 2 | 68 | |
| とみず | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 8 | 5 | 3 | 2 | 8 | 5 | 6 | 9 | 7 | 2 | 4 | 3 | 62 |
| | うちA | 7 | 5 | 2 | 2 | 6 | 4 | 4 | 6 | 4 | 2 | 3 | 3 | 48 |
| | うち再委託 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちB | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 2 | 3 | 3 | 0 | 1 | 0 | 14 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 7 | 5 | 4 | 2 | 4 | 3 | 4 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 35 | |
| さくらい | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 1 | 6 | 7 | 6 | 3 | 7 | 4 | 2 | 7 | 0 | 7 | 9 | 59 |
| | うちA | 0 | 6 | 5 | 5 | 3 | 7 | 4 | 2 | 7 | 0 | 7 | 9 | 55 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 7 | 0 | 13 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | うちB | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 1 | 5 | 6 | 8 | 2 | 7 | 4 | 2 | 5 | 0 | 5 | 7 | 52 | |

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|--------------|------------------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| さかわ こやわた・ふじみ | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 9 | 15 | 16 | 7 | 5 | 9 | 10 | 7 | 5 | 12 | 7 | 4 | 106 |
| | うちA | 7 | 10 | 16 | 7 | 5 | 9 | 10 | 7 | 5 | 12 | 7 | 4 | 99 |
| | うち再委託 | 3 | 3 | 3 | 6 | 0 | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 | 28 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うちB | 2 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 7 | 5 | 9 | 8 | 8 | 7 | 9 | 5 | 3 | 6 | 6 | 5 | 78 | |
| しもふなか | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 19 | 8 | 12 | 7 | 12 | 11 | 4 | 4 | 10 | 7 | 6 | 11 | 111 |
| | うちA | 18 | 8 | 12 | 7 | 12 | 11 | 4 | 4 | 10 | 7 | 6 | 11 | 110 |
| | うち再委託 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 9 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちB | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 17 | 8 | 12 | 7 | 12 | 11 | 4 | 4 | 10 | 7 | 6 | 11 | 109 | |
| とよかわ・かみふなか | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 9 | 2 | 7 | 4 | 2 | 6 | 9 | 1 | 6 | 4 | 4 | 9 | 63 |
| | うちA | 8 | 2 | 4 | 4 | 0 | 6 | 7 | 1 | 4 | 4 | 4 | 8 | 52 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちB | 1 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 11 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 9 | 2 | 7 | 2 | 4 | 6 | 7 | 1 | 6 | 3 | 3 | 8 | 58 | |
| そが・しもそが・こうづ | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 6 | 10 | 6 | 5 | 4 | 3 | 7 | 7 | 7 | 5 | 6 | 6 | 72 |
| | うちA | 6 | 10 | 6 | 2 | 4 | 3 | 7 | 7 | 7 | 5 | 6 | 4 | 67 |
| | うち再委託 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 1 | 13 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 4 |
| | うちB | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 6 | 5 | 4 | 1 | 7 | 2 | 4 | 6 | 7 | 4 | 5 | 3 | 54 | |
| たちばな | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 3 | 5 | 5 | 4 | 2 | 5 | 2 | 6 | 6 | 4 | 2 | 4 | 48 |
| | うちA | 3 | 5 | 5 | 4 | 2 | 5 | 2 | 6 | 3 | 4 | 2 | 4 | 45 |
| | うち再委託 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 0 | 6 | 0 | 4 | 0 | 1 | 17 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | うちB | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 2 | 2 | 7 | 3 | 1 | 4 | 2 | 6 | 3 | 3 | 2 | 4 | 39 | |
| 合計 | 介護予防ケアマネジメント原案作成 | 89 | 83 | 94 | 78 | 69 | 73 | 77 | 83 | 76 | 67 | 79 | 943 | |
| | うちA | 83 | 72 | 82 | 73 | 65 | 72 | 70 | 70 | 65 | 74 | 66 | 74 | 866 |
| | うち再委託 | 21 | 13 | 19 | 24 | 16 | 14 | 10 | 17 | 18 | 20 | 21 | 5 | 198 |
| | うちCL対象者 | 0 | 2 | 1 | 3 | 3 | 1 | 2 | 2 | 0 | 3 | 6 | 2 | 25 |
| | うちB | 6 | 11 | 12 | 5 | 4 | 1 | 6 | 13 | 11 | 1 | 1 | 5 | 76 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 5 | 3 | 0 | 0 | 2 | 3 | 4 | 0 | 0 | 1 | 18 |
| | うちC | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | うち再委託 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うちCL対象者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| サービス担当者会議 | 75 | 58 | 85 | 59 | 60 | 63 | 62 | 51 | 41 | 57 | 47 | 64 | 722 | |

7 包括的・継続的ケアマネジメントの取組状況

(1) 関係機関との連携体制づくり

| | |
|--------------|---|
| しろやま | 自治会、民児協の集会には参加を行い、地域での相談がしやすい関係性を保てるようにしている。ケアマネジャーとの交流会を本年度は2回開催し、ケース対応による随時の相談についても迅速な対応を心掛けている。 |
| はくおう | 民生委員とは個別ケース相談の他、地域ケア会議、包括センターとの定例会、包括センター職員の地域サロンへの参加を活用して連携している。再委託先のケアマネジャーとも個別ケースについての相談だけでなく茶つと会（ケアマネジャー交流会）を開催して連携体制を構築している。 |
| じょうなん | 前期、後期それぞれに民児協定例会に参加し、情報提供や意見交換などを行った。2月に4地区の民生委員合同の勉強会を開催し、顔の見える関係づくりを図った。ケアマネジャーとは年3回の交流会を開催し、情報共有や意見交換を行った。ケース等の相談には積極的に支援を行い、日頃からの連携体制づくりに努めた。 |
| はくさん | <ul style="list-style-type: none"> ・ 居宅介護支援事業所及びサービス事業所の支援、連携、情報提供。 ・ 地域密着型事業所等の連携、運営推進会議参加（書面含） ・ 必要に応じた各種機関との連携、情報提供。 （障がい福祉、生活支援、社協、保健福祉事務所、派出所等） |
| ひがしとみず | 毎月の民児協の会合へ出席し情報共有や包括センター主催のイベントの案内などを行った。また、圏域のケアマネジャーや民生委員対象の研修を年3回実施し、お互い顔の見える関係づくりや包括との連携体制づくりを行った。 |
| とみず | 法人内の他の包括センターと協働し、ケアマネジャー向け研修会（「高齢者のこころの支援」、「高齢者の栄養」）やケアマネジャーと民生委員を対象とした交流会を開催した。民児協とは意見交換の機会や地域住民についての情報交換は適宜できている。 |
| さくらい | 同法人の他包括センターと共に「かりがわ道場」を年3回開催。高齢者のかかりやすい病気や栄養に関する研修や事例検討会を通し、民生委員やケアマネジャーとの交流を促した。 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 民生委員との茶話会の開催。ケアマネジャー支援の茶つと会の開催。個別ケースを通じて連携体制づくりが出来ている。 |
| しもふなか | 民生委員の評価を基に、包括センターとしての業務内容の説明を行い、相互協力の体制づくりを行った。その後連携の機会が増え地域に向けた活動が充実し始めた。「むらカフェ」（ケアマネジャー交流会）を再開することができた。圏域内外に関わらずケアマネジャーとの連携は以前のように行っている。 |
| とよかわ・かみふなか | ケアマネジャーや警察官等と必要時に連絡を取り、情報共有を行っている。 |
| そが・しもそが・こうづ | 地区社協や民児協の定例会・研修会に出席し、包括センターの役割について説明。また、圏域内居宅介護支援事業所と小多機ケアマネジャーを対象に勉強会・意見交換会（さぼ・さぼ）を開催。顔が見える関係づくりに努めた。 |
| たちばな | 橋北、前羽地区民生委員と、圏域内及び包括センターたちばなが委託を依頼しているケアマネジャーとの交流と研修会を年1回開催。R4年度は「急速なデジタル化と高齢者の生活」をテーマに行った。新任民生委員に包括センターの周知を行い、実態把握ケースを共有し、協働している。 |

(2) 医療機関との連携体制づくり

| | |
|--------------|---|
| しろやま | 対目でのカンファレンスの回数も多くなり、入院退院時の連携や、介護保険申請等の代行など、適宜対応している。独居高齢者等の連絡や連携についても、出来る範囲で対応し連絡を密に取り合えるようにしている。 |
| はくおう | 在宅生活についての情報提供や入退院支援、認知症専門医療機関へのつなぎ等、個別ケースの対応で日常的に連携体制が構築できている。また多職種共同研修会などを通して新たな連携を構築できるようにしている。 |
| じょうなん | 小田原医師会等が主催する研修には積極的に参加している。退院に関するケース等については、電話連絡の他に病院を訪問してカンファレンスに参加するなど連携に努めた。 |
| はくさん | <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修等を通じた連携、情報提供（ZOOM、書面含） ・ ケア会議などの参加を通じた連携。 ・ 三師会、三師会連携室との連携、情報提供。講話等 |
| ひがしとみず | 入退院時の情報提供・カンファレンスへ参加し利用者がスムーズに入院や在宅復帰が可能となるように連携を図った。また、クリニック等へは受診時の同行など双方向に連絡を取り合える関係が構築できている。また圏域ケア会議にも三師会から参加してもらっている。 |
| とみず | 新型コロナウイルス感染症対策のため、病院訪問の機会は減少した。個別の相談対応を積み上げる過程を通じて、連携は維持できている。 |
| さくらい | 医療機関からの新規相談30件。医療機関とのカンファレンス等もコロナ禍で中止していたものが再開されはじめている。退院時の支援など、病院の対応にも合わせて密に連絡とりながら柔軟に対応している。 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 個別のケースを通じて様々な医療機関との連携と圏域ケア会議に医師の参加もあり相談協力体制が出来ている。 |
| しもふなか | 入退院時の連携として情報を密に共有するために在宅サマリーの提出、看護サマリーの受け取り、電話等での連絡を行った。介護保険申請や医療系サービス導入時の相談などを行った。 |
| とよかわ・かみふなか | クリニックや歯科、薬局などに挨拶回りを行ない、包括センターのチラシを置いた。地域ケア会議へも参加している。 |
| そが・しもそが・こうづ | 圏域ケア会議と個別ケア会議に医療機関も多数出席して頂き、課題についての検討と情報共有を行うと共に、医療機関と地域住民や行政等、関連機関との橋渡しを行うことができた。 |
| たちばな | 橋北地区の内科医院の突然の閉院で、三宮町、中井町の医院との連携が増えた。認知症診断を専門医へつなく件数も増加傾向である。体調悪化時の受診調整を個人医院、病院等と、家族の依頼で行う件数が増えている。 |

(3) 地域のインフォーマルサービスとの連携づくり

| | |
|--------------|--|
| しろやま | インフォーマルサービスの内容を把握すると共に、地域の公民館巡りを行うなど、地域住民のニーズに合った内容について検討し、新規開拓に向けての取り組みを行っている。 |
| はくおう | ケース相談や個別ケア会議を通して連携を図っている。またパンフレットや包括センターだよりを配布してセンターのアピールを続けている。またR4年度は「注文をまちがえるあつまあるカフェ」の開催協力をを行い、地域で活動している多機関と連携を図った。 |
| じょうなん | かざまつりいきいきクラブにおいては年2回の講座を開催し、三の丸ホール見学に同行するなど運営の協力を行った。はやか輪くわくサロンおちゃのまに参加し、ポッチャの体験を通じて交流を図った。早川まちづくり委員会主催のラジオ体操に参加し、地域住民との交流に努めた。早川地区の見守りボランティア「きずなチーム」の研修に参加して連携に努めた。 |
| はくさん | <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員との定期的な交流会実施（1回/月）。 ・自治会の回覧板に「はくさんだより」を通じて情報提供。 ・生活支援サービス「久野ひまわりの会」「二川ちゅうりっぷの会」との連携、情報共有等。 |
| ひがしとみず | ささえあいセンター東富水への依頼や利用者情報の提供等により連携をとっている。自治会の会合時に「私のまちの保健室」のチラシ配布を依頼している。 |
| とみず | 委員を務めるまちづくり委員会健康福祉分科会にて、地域住民に向けての働きかけを提案し、具体化したものがある。 |
| さくらい | 地区社協役員会やサロン活動等の地域活動に積極的に参加している。交流スペースも開放し話し合いの場として活用されている。交流スペースの貸し出しや印刷物等の後方支援を包括で行い、「音読の会」を月2回開催するようになった。 |
| さかわ こやわた・ふじみ | 地域住民による生活支援サービス活動や地区社協やサロン活動を通じて連携体制を構築中である。 |
| しもふなか | 「しもふなかコンパス」としての活動、各地区のサロンへの参加、配食サービスや移動販売の紹介等を行った。圏域ケア会議では地域でできること、連携について話し合った。 |
| とよかわ・かみふなか | サロンや運営推進会議、まちづくり委員会等に参加し地域の方や民生委員と関係性の構築に努めた。地域の行事に合わせて包括センター相談会を開催し連携作りを行った。 |
| そが・しもそが・こうづ | サロンこうづや、再開された国府津ふれんどりに参加し介護予防体操等を実施。民児協の定例会や研修会に出席し、包括センターの役割を説明。地域住民や民生員にとっても高齢者のよろず相談所として相談しやすい場所になるように努めた。 |
| たちばな | 橘北地区、前羽地区の「まちづくり委員会」の委員として、各分科会で地域の人々のフレイル予防の協力を呼びかけ「公園deラジオ体操は8か所、包括たちばな主催の「たちばなカフェ・健康体操教室」が月1回定期開催されている。住民主体のサロン、2か所で定期的に介護予防を行っている。 |

8 会議等の開催・出席状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
|-----------------|-----------------|--------|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| しるやま | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 4 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 45 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 8 |
| | 処遇検討会 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 6 |
| | 運営推進会議 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | その他の会議・研修等 | 8 | 11 | 21 | 22 | 21 | 25 | 28 | 28 | 23 | 19 | 9 | 18 | 233 |
| | はくおう | 個別ケア会議 | 1 | 0 | 3 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| うち医療職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 圏域ケア会議 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| うち医療職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自立支援ケア会議 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 13 |
| うち事例提出件数 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 認知症サポーター養成講座 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 上記以外の認知症普及啓発講座等 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 従事者連絡会議・職種別部会等 | | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 44 |
| 高齢者虐待コアメンバー会議等 | | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 9 |
| 処遇検討会 | | 1 | 2 | 5 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 15 |
| 運営推進会議 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 |
| その他の会議・研修等 | 4 | 12 | 20 | 16 | 8 | 12 | 12 | 11 | 12 | 11 | 11 | 18 | 147 | |
| じょうなん | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 47 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 処遇検討会 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| | 運営推進会議 | 0 | 3 | 0 | 3 | 0 | 2 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 | 2 | 16 |
| その他の会議・研修等 | 5 | 9 | 8 | 23 | 13 | 9 | 10 | 14 | 19 | 16 | 11 | 13 | 150 | |
| はくさん | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 46 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| | 処遇検討会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 運営推進会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| その他の会議・研修等 | 6 | 8 | 5 | 10 | 6 | 9 | 7 | 4 | 12 | 7 | 7 | 14 | 95 | |
| ひがしとみず | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 17 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 5 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 47 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 11 |
| | 処遇検討会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 運営推進会議 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 10 |
| その他の会議・研修等 | 6 | 13 | 15 | 16 | 12 | 13 | 13 | 16 | 13 | 18 | 18 | 17 | 170 | |
| とみず | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 1 | 12 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 |
| | 処遇検討会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 運営推進会議 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| その他の会議・研修等 | 3 | 5 | 4 | 5 | 3 | 3 | 4 | 7 | 3 | 6 | 6 | 9 | 58 | |
| さくらい | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 2 | 2 | 17 |
| | うち事例提出件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 4 |
| | 処遇検討会 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 運営推進会議 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 1 | 1 | 1 | 11 |
| その他の会議・研修等 | 5 | 4 | 7 | 12 | 7 | 9 | 6 | 12 | 16 | 17 | 16 | 14 | 125 | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|----|
| さかわ こやわた・ふじみ | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 11 | |
| | うち事例提出件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 3 | |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 8 | |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 47 |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 9 | |
| | 処遇検討会 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | |
| | 運営推進会議 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 3 | |
| | その他の会議・研修等 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 3 | 3 | 17 | |
| | しもふなか | 個別ケア会議 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 圏域ケア会議 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| うち医療職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 自立支援ケア会議 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 16 | |
| うち事例提出件数 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | |
| 認知症サポーター養成講座 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 上記以外の認知症普及啓発講座等 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | |
| 従事者連絡会議・職種別部会等 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 | |
| 高齢者虐待コアメンバー会議等 | | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 6 | |
| 処遇検討会 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | |
| 運営推進会議 | | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 0 | 3 | 14 | |
| その他の会議・研修等 | | 11 | 7 | 13 | 17 | 9 | 10 | 19 | 17 | 17 | 15 | 19 | 20 | 174 | |
| とよかわ・かみふなか | | 個別ケア会議 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 6 | |
| | うち事例提出件数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 | 4 | 47 | |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 | 16 | |
| | 処遇検討会 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 | |
| | 運営推進会議 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| | その他の会議・研修等 | 6 | 8 | 5 | 11 | 7 | 8 | 6 | 9 | 8 | 7 | 12 | 6 | 93 | |
| | そが・しもそが・こうづ | 個別ケア会議 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 圏域ケア会議 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| うち医療職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 自立支援ケア会議 | | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 15 | |
| うち事例提出件数 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 認知症サポーター養成講座 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 上記以外の認知症普及啓発講座等 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 従事者連絡会議・職種別部会等 | | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 | |
| 高齢者虐待コアメンバー会議等 | | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 7 | |
| 処遇検討会 | | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 0 | 11 | |
| 運営推進会議 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他の会議・研修等 | | 4 | 4 | 2 | 10 | 3 | 2 | 6 | 1 | 3 | 9 | 8 | 6 | 58 | |
| たちばな | | 個別ケア会議 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 圏域ケア会議 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | うち法律専門職が出席するもの | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 自立支援ケア会議 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 2 | 14 | |
| | うち事例提出件数 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 認知症サポーター養成講座 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| | 上記以外の認知症普及啓発講座等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | |
| | 従事者連絡会議・職種別部会等 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 48 | |
| | 高齢者虐待コアメンバー会議等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | |
| | 処遇検討会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 | |
| | 運営推進会議 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 9 | |
| | その他の会議・研修等 | 26 | 24 | 12 | 24 | 16 | 29 | 29 | 33 | 39 | 15 | 32 | 37 | 316 | |
| | 小計 | 個別ケア会議 | 2 | 2 | 6 | 4 | 1 | 2 | 5 | 4 | 1 | 0 | 3 | 3 | 33 |
| | | うち医療職が出席するもの | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 6 | 6 |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | |
| 圏域ケア会議 | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 0 | 3 | 10 | |
| うち医療職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 2 | 11 | |
| うち法律専門職が出席するもの | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | |
| 自立支援ケア会議 | | 12 | 22 | 12 | 21 | 12 | 19 | 9 | 0 | 11 | 22 | 13 | 16 | 169 | |
| うち事例提出件数 | | 2 | 4 | 0 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 2 | 3 | 3 | 22 | |
| 認知症サポーター養成講座 | | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 1 | 20 | |
| 上記以外の認知症普及啓発講座等 | | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 0 | 0 | 3 | 3 | 17 | |
| 従事者連絡会議・職種別部会等 | | 48 | 47 | 48 | 47 | 47 | 45 | 47 | 46 | 47 | 47 | 48 | 46 | 563 | |
| 高齢者虐待コアメンバー会議等 | | 6 | 4 | 8 | 3 | 5 | 7 | 12 | 8 | 16 | 1 | 6 | 13 | 89 | |
| 処遇検討会 | | 5 | 7 | 10 | 4 | 3 | 2 | 8 | 4 | 2 | 5 | 7 | 3 | 60 | |
| 運営推進会議 | | 5 | 7 | 4 | 7 | 3 | 9 | 8 | 7 | 5 | 8 | 5 | 11 | 79 | |
| その他の会議・研修等 | | 84 | 107 | 114 | 166 | 105 | 131 | 141 | 154 | 166 | 141 | 152 | 175 | 1636 | |

地域包括支援センター事業に係る経理状況
令和4年度収支決算の概要

【しろやま】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 分 | 金 額 | 区 分 | 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 22,000,000 | 人件 専門職等分 | 25,735,043 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,393,958 | 費 その他分 | 1,553,367 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,381,886 | 事務 事務所費 | 1,180,535 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 9,372 | 費 その他分 | 1,662,801 |
| うち食のアセスメント業務 | 2,700 | ケアプラン作成再委託費 | 4,549,351 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 6,192,786 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,930,128 |
| | | うち介護予防支援 | 2,619,223 |
| その他の収入 | 22,146 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 32,608,890 | 事業支出 | 34,681,097 |
| 受託法人からの繰入金 | 2,072,207 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 34,681,097 | 計 | 34,681,097 |

【はくおう】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 分 | 金 額 | 区 分 | 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 22,000,000 | 人件 専門職等分 | 21,553,752 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,878,386 | 費 その他分 | 4,040,731 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,878,386 | 事務 事務所費 | 1,330,908 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 4,977,026 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 3,583,029 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 5,435,460 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,683,515 |
| | | うち介護予防支援 | 1,899,514 |
| その他の収入 | 12,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 32,325,846 | 事業支出 | 35,485,446 |
| 受託法人からの繰入金 | 3,159,600 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 35,485,446 | 計 | 35,485,446 |

【じょうなん】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 分 | 金 額 | 区 分 | 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,000,000 | 人件 専門職等分 | 25,339,556 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,131,240 | 費 その他分 | 115,671 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,131,240 | 事務 事務所費 | 1,065,896 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 1,278,921 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 2,403,760 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 4,233,594 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,379,425 |
| | | うち介護予防支援 | 1,024,335 |
| その他の収入 | 13,069,675 | その他の支出 | 12,230,705 |
| 事業収入 | 42,434,509 | 事業支出 | 42,434,509 |
| 受託法人からの繰入金 | | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 42,434,509 | 計 | 42,434,509 |

【はくさん】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 22,000,000 | 人件 専門職等分 | 20,186,093 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,212,378 | 費 その他分 | 3,909,361 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,212,378 | 事務 事務所費 | 2,290,908 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 5,097,155 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 2,906,911 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 5,060,508 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,042,065 |
| | | うち介護予防支援 | 1,864,846 |
| その他の収入 | 2,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 31,274,886 | 事業支出 | 34,390,428 |
| 受託法人からの繰入金 | 3,115,542 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 34,390,428 | 計 | 34,390,428 |

【ひがしとみず】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 22,000,000 | 人件 専門職等分 | 24,719,668 |
| 市委託料 付帯業務費 | 3,627,724 | 費 その他分 | 2,256,625 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 3,622,324 | 事務 事務所費 | 2,522,212 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 1,534,134 |
| うち食のアセスメント業務 | 5,400 | ケアプラン作成再委託費 | 1,730,198 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 5,379,414 | うち介護予防ケアマネジメント | 570,057 |
| | | うち介護予防支援 | 1,160,141 |
| その他の収入 | 14,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 31,021,138 | 事業支出 | 32,762,837 |
| 受託法人からの繰入金 | 1,741,699 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 32,762,837 | 計 | 32,762,837 |

【とみず】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,501,600 | 人件 専門職等分 | 21,457,022 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,944,208 | 費 その他分 | 1,806,482 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,939,522 | 事務 事務所費 | 1,308,347 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 4,686 | 費 その他分 | 4,227,960 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 1,365,679 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 3,685,518 | うち介護予防ケアマネジメント | 760,621 |
| | | うち介護予防支援 | 605,058 |
| その他の収入 | 6,000 | その他の支出 | |
| 事業収入 | 30,137,326 | 事業支出 | 30,165,490 |
| 受託法人からの繰入金 | 28,164 | 受託法人への繰出金 | |
| 計 | 30,165,490 | 計 | 30,165,490 |

【さくらい】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分金 額 | 区 | 分金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 20,200,000 | 人件 専門職等分 | 15,556,828 |
| 市委託料 付帯業務費 | 2,656,876 | 費 その他分 | 2,162,630 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 2,654,176 | 事務 事務所費 | 2,176,987 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 5,649,095 |
| うち食のアセスメント業務 | 2,700 | ケアプラン作成再委託費 | 1,843,365 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 4,411,662 | うち介護予防ケアマネジメント | 687,837 |
| | | うち介護予防支援 | 1,155,528 |
| その他の収入 | 2,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 27,270,538 | 事業支出 | 27,388,905 |
| 受託法人からの繰入金 | 118,367 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 27,388,905 | 計 | 27,388,905 |

【さかわ こやわた・ふじみ】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分金 額 | 区 | 分金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,100,000 | 人件 専門職等分 | 19,974,885 |
| 市委託料 付帯業務費 | 4,621,278 | 費 その他分 | 4,076,069 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 4,621,278 | 事務 事務所費 | 1,641,928 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 4,900,473 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 2,623,347 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 6,877,272 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,006,139 |
| | | うち介護予防支援 | 1,617,208 |
| その他の収入 | 10,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 32,608,550 | 事業支出 | 33,216,702 |
| 受託法人からの繰入金 | 608,152 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 33,216,702 | 計 | 33,216,702 |

【しもふなか】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分金 額 | 区 | 分金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,000,000 | 人件 専門職等分 | 21,452,709 |
| 市委託料 付帯業務費 | 3,799,716 | 費 その他分 | 0 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 3,799,716 | 事務 事務所費 | 1,436,929 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 4,183,549 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 2,436,331 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 4,703,598 | うち介護予防ケアマネジメント | 854,723 |
| | | うち介護予防支援 | 1,581,608 |
| その他の収入 | 0 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 29,503,314 | 事業支出 | 29,509,518 |
| 受託法人からの繰入金 | 6,204 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 29,509,518 | 計 | 29,509,518 |

【とよかわ・かみふなか】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,700,000 | 人件 専門職等分 | 18,944,845 |
| 市委託料 付帯業務費 | 3,368,980 | 費 その他分 | 3,675,040 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 3,358,180 | 事務 事務所費 | 1,036,368 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 4,937,777 |
| うち食のアセスメント業務 | 10,800 | ケアプラン作成再委託費 | 1,078,690 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 4,321,338 | うち介護予防ケアマネジメント | 291,206 |
| | | うち介護予防支援 | 787,484 |
| その他の収入 | 10,000 | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 29,400,318 | 事業支出 | 29,672,720 |
| 受託法人からの繰入金 | 272,402 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 29,672,720 | 計 | 29,672,720 |

【そが・しもそが・こうづ】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,000,000 | 人件 専門職等分 | 23,024,007 |
| 市委託料 付帯業務費 | 3,058,772 | 費 その他分 | 1,800,000 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 3,049,400 | 事務 事務所費 | 0 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 9,372 | 費 その他分 | 3,679,629 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 2,513,635 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 5,184,336 | うち介護予防ケアマネジメント | 974,826 |
| | | うち介護予防支援 | 1,538,809 |
| その他の収入 | 14,004,532 | その他の支出 | 12,230,369 |
| 事業収入 | 43,247,640 | 事業支出 | 43,247,640 |
| 受託法人からの繰入金 | 0 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 43,247,640 | 計 | 43,247,640 |

【たちばな】

| 収 入 | | 支 出 | |
|--------------------|------------|----------------|------------|
| 区 | 分 金 額 | 区 | 分 金 額 |
| 市委託料 運營業務費 | 21,000,000 | 人件 専門職等分 | 20,779,232 |
| 市委託料 付帯業務費 | 3,192,498 | 費 その他分 | 0 |
| うち介護予防ケアマネジメント事業業務 | 3,192,498 | 事務 事務所費 | 1,584,366 |
| うち認知症初期集中支援事業業務 | 0 | 費 その他分 | 3,438,065 |
| うち食のアセスメント業務 | 0 | ケアプラン作成再委託費 | 3,304,940 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | 3,993,318 | うち介護予防ケアマネジメント | 1,173,724 |
| | | うち介護予防支援 | 2,131,216 |
| その他の収入 | | その他の支出 | 0 |
| 事業収入 | 28,185,816 | 事業支出 | 29,106,603 |
| 受託法人からの繰入金 | 920,787 | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 計 | 29,106,603 | 計 | 29,106,603 |

令和4年度 介護報酬(支援分)及び再委託費 内訳明細

<しろやま>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,274 | 5,969,964 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 24 | 189,504 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 3 | 33,318 |
| 計 | | 1,301 | 6,192,786 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 614 | 2,589,238 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 3 | 29,985 |
| 計 | | 617 | 2,619,223 |

<はくおう>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,086 | 5,088,996 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 27 | 213,192 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 12 | 133,272 |
| 計 | | 1,125 | 5,435,460 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 422 | 1,779,574 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 12 | 119,940 |
| 計 | | 434 | 1,899,514 |

<じょうなん>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 841 | 3,940,926 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 23 | 181,608 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 10 | 111,060 |
| 計 | | 874 | 4,233,594 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 226 | 953,042 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 3 | 21,318 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 5 | 49,975 |
| 計 | | 234 | 1,024,335 |

<はくさん>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,032 | 4,835,952 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 20 | 157,920 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 6 | 66,636 |
| 計 | | 1,058 | 5,060,508 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 428 | 1,804,876 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 6 | 59,970 |
| 計 | | 434 | 1,864,846 |

<ひがしとみず>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,092 | 5,117,112 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 29 | 228,984 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 3 | 33,318 |
| 計 | | 1,124 | 5,379,414 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 268 | 1,130,156 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 3 | 29,985 |
| 計 | | 271 | 1,160,141 |

<とみず>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 745 | 3,491,070 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 19 | 150,024 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 4 | 44,424 |
| 計 | | 768 | 3,685,518 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 134 | 565,078 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 4 | 39,980 |
| 計 | | 138 | 605,058 |

<さくらい>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 875 | 4,100,250 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 24 | 189,504 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 7 | 55,272 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 6 | 66,636 |
| 計 | | 912 | 4,411,662 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 248 | 1,045,816 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 7 | 49,742 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 6 | 59,970 |
| 計 | | 261 | 1,155,528 |

<さかわこやわた・ふじみ>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,391 | 6,518,226 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 25 | 197,400 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 5 | 39,480 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 11 | 122,166 |
| 計 | | 1,432 | 6,877,272 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 349 | 1,471,733 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 5 | 35,530 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 11 | 109,945 |
| 計 | | 365 | 1,617,208 |

<しもふなか>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 965 | 4,521,990 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 23 | 181,608 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 0 | 0 |
| 計 | | 988 | 4,703,598 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 370 | 1,560,290 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 3 | 21,318 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 0 | 0 |
| 計 | | 373 | 1,581,608 |

<とよかわ・かみふなか>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 875 | 4,100,250 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 28 | 221,088 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 0 | 0 |
| 計 | | 903 | 4,321,338 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 180 | 759,060 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 4 | 28,424 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 0 | 0 |
| 計 | | 184 | 787,484 |

<そが・しもそが・こうづ>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 1,048 | 4,910,928 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 27 | 213,192 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 2 | 15,792 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 4 | 44,424 |
| 計 | | 1,081 | 5,184,336 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 347 | 1,463,299 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 3 | 21,318 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 2 | 14,212 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 4 | 39,980 |
| 計 | | 356 | 1,538,809 |

<たちばな>

介護報酬(支援分)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|--------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,686 | 813 | 3,809,718 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,896 | 11 | 86,856 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,896 | 1 | 7,896 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 11,106 | 8 | 88,848 |
| 計 | | 833 | 3,993,318 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|--------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防支援 | 4,217 | 478 | 2,015,726 |
| 介護予防支援+初回加算 | 7,106 | 4 | 28,424 |
| 介護予防支援+委託連携加算 | 7,106 | 1 | 7,106 |
| 介護予防支援+初回加算+委託連携加算 | 9,995 | 8 | 79,960 |
| 計 | | 491 | 2,131,216 |

令和4年度 付帯業務費 介護予防ケアマネジメント業務(総合事業分)及び再委託費 内訳明細

<しろやま>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 880 | 4,123,680 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 16 | 126,336 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 10 | 111,060 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 4 | 14,080 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 1 | 6,730 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 911 | 4,381,886 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 434 | 1,830,178 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 10 | 99,950 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 444 | 1,930,128 |

<はくおう>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-------|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 943 | 4,418,898 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 17 | 134,232 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 6 | 66,636 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 62 | 218,240 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 6 | 40,380 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 1,034 | 4,878,386 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 385 | 1,623,545 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 6 | 59,970 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 391 | 1,683,515 |

<じょうなん>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 819 | 3,837,834 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 22 | 173,712 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 4 | 44,424 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 8 | 28,160 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 7 | 47,110 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 860 | 4,131,240 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 319 | 1,345,223 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 2 | 14,212 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 2 | 19,990 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | | 0 |
| 小計 | | 323 | 1,379,425 |

<はくさん>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 826 | 3,870,636 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 19 | 150,024 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 3 | 33,318 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 45 | 158,400 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 893 | 4,212,378 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 240 | 1,012,080 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 3 | 29,985 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 243 | 1,042,065 |

<ひがしとみず>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 665 | 3,116,190 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 10 | 78,960 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 4 | 44,424 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 103 | 362,560 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 3 | 20,190 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 785 | 3,622,324 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 115 | 484,955 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 1 | 7,106 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 4 | 39,980 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 12 | 38,016 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 132 | 570,057 |

<とみず>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 695 | 3,256,770 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 17 | 134,232 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 1 | 11,106 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 6 | 21,120 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 226 | 1,520,980 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 945 | 4,944,208 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 178 | 750,626 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 1 | 9,995 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 179 | 760,621 |

<さくらい>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 493 | 2,310,198 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 23 | 181,608 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 4 | 31,584 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 1 | 11,106 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 34 | 119,680 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 555 | 2,654,176 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 154 | 649,418 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 4 | 28,424 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 1 | 9,995 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 159 | 687,837 |

<さかわ こやわた・ふじみ>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 927 | 4,343,922 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 20 | 157,920 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 5 | 39,480 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 1 | 11,106 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 10 | 35,200 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 5 | 33,650 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 968 | 4,621,278 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 216 | 910,872 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 7 | 49,742 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 5 | 35,530 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 1 | 9,995 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 229 | 1,006,139 |

<しもふなか>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 762 | 3,570,732 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 29 | 228,984 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 791 | 3,799,716 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 201 | 847,617 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 1 | 7,106 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 202 | 854,723 |

<とよかわ・かみふな>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 589 | 2,760,054 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 31 | 244,776 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 87 | 306,240 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 7 | 47,110 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 714 | 3,358,180 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 64 | 269,888 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 3 | 21,318 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 67 | 291,206 |

<そが・しもそが・こうづ>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 558 | 2,614,788 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 34 | 268,464 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 3 | 33,318 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 32 | 112,640 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 3 | 20,190 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 0 | 0 |
| 小計 | | 630 | 3,049,400 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|---------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 219 | 923,523 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 3 | 21,318 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 3 | 29,985 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 225 | 974,826 |

<たちばな>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

| 区 分 | 単価 | 件数 | 報酬額 |
|------------------------------|--------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,686 | 622 | 2,914,692 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,896 | 18 | 142,128 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,896 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 11,106 | 8 | 88,848 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,520 | 7 | 24,640 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,730 | 3 | 20,190 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,730 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 9,940 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 2,000 | 1 | 2,000 |
| 小計 | | 659 | 3,192,498 |

再委託費

| 区 分 | 単価 | 件数 | 委託料 |
|------------------------------|-------|-----|-----------|
| 介護予防ケアマネジメントA | 4,217 | 256 | 1,079,552 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算 | 7,106 | 2 | 14,212 |
| 介護予防ケアマネジメント A+委託連携加算 | 7,106 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント A+初回加算+委託連携 | 9,995 | 8 | 79,960 |
| 介護予防ケアマネジメントB | 3,168 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+委託連携加算 | 6,057 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント B+初回加算+委託連携加 | 8,946 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメントC | 1,800 | 0 | 0 |
| 小計 | | 266 | 1,173,724 |

**地域包括支援センター事業に係る経理状況
令和5年度収支予算の概要**

【しろやま】

| 収 入 | | 入 額 | 支 出 | | 出 額 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 25,800,000 |
| | 付帯業務費 | 4,518,862 | | その他分 | 1,560,000 |
| | その他業務 | 4,000 | 事務費 | 事務所費 | 1,180,000 |
| | | その他分 | | 1,660,000 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 6,227,580 | ケアプラン作成再委託費 | | 4,594,643 |
| その他の収入 | | 20,146 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 32,770,588 | 事業支出 | | 34,794,643 |
| 受託法人からの繰入金 | | 2,024,055 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 34,794,643 | 計 | | 34,794,643 |

【はくおう】

| 収 入 | | 入 額 | 支 出 | | 出 額 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 22,000,000 |
| | 付帯業務費 | 6,400,000 | | その他分 | 4,050,000 |
| | その他業務 | 20,000 | 事務費 | 事務所費 | 1,340,000 |
| | | その他分 | | 4,980,000 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 7,540,000 | ケアプラン作成再委託費 | | 3,590,000 |
| その他の収入 | | 0 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 35,960,000 | 事業支出 | | 35,960,000 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 35,960,000 | 計 | | 35,960,000 |

【じょうなん】

| 収 入 | | 入 額 | 支 出 | | 出 額 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 21,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 25,339,556 |
| | 付帯業務費 | 4,131,240 | | その他分 | 115,671 |
| | その他業務 | 18,000 | 事務費 | 事務所費 | 1,065,896 |
| | | その他分 | | 1,278,921 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,233,594 | ケアプラン作成再委託費 | | 2,403,760 |
| その他の収入 | | 13,051,675 | その他の支出 | | 12,230,705 |
| 事業収入 | | 42,434,509 | 事業支出 | | 42,434,509 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 42,434,509 | 計 | | 42,434,509 |

【はくさん】

| 収 入 | | 入 額 | 支 出 | | 出 額 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 21,000,000 |
| | 付帯業務費 | 6,040,000 | | その他分 | 3,950,000 |
| | その他業務 | 10,000 | 事務費 | 事務所費 | 2,300,000 |
| | | その他分 | | 5,100,000 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 0 | ケアプラン作成再委託費 | | 3,000,000 |
| その他の収入 | | 7,300,000 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 35,350,000 | 事業支出 | | 35,350,000 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 35,350,000 | 計 | | 35,350,000 |

【ひがしとみず】

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|---------------|-------|------------|-----|-------------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 23,500,000 |
| | 付帯業務費 | 3,610,086 | | その他分 | 2,250,000 |
| | その他業務 | 6,000 | 事務費 | 事務所費 | 2,400,000 |
| | | その他分 | | 1,300,000 | |
| | | | | ケアプラン作成再委託費 | 3,120,000 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 5,600,000 | | その他の支出 | 0 |
| その他の収入 | | 0 | | 事業支出 | 32,570,000 |
| 事業収入 | | 31,216,086 | | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 受託法人からの繰入金 | | 1,353,914 | | 計 | 32,570,000 |
| 計 | | 32,570,000 | | | |

【とみず】

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|---------------|-------|------------|-----|-------------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 23,660,000 |
| | 付帯業務費 | 4,002,700 | | その他分 | 1,900,000 |
| | その他業務 | 0 | 事務費 | 事務所費 | 1,200,000 |
| | | その他分 | | 3,355,000 | |
| | | | | ケアプラン作成再委託費 | 1,440,000 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 2,000,000 | | その他の支出 | 0 |
| その他の収入 | | 3,552,300 | | 事業支出 | 31,555,000 |
| 事業収入 | | 31,555,000 | | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | | 計 | 31,555,000 |
| 計 | | 31,555,000 | | | |

【さくらい】

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|---------------|-------|------------|-----|-------------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 20,200,000 | 人件費 | 専門職等分 | 15,556,828 |
| | 付帯業務費 | 2,656,876 | | その他分 | 2,162,630 |
| | その他業務 | 0 | 事務費 | 事務所費 | 2,176,987 |
| | | その他分 | | 5,649,095 | |
| | | | | ケアプラン作成再委託費 | 1,843,365 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,411,662 | | その他の支出 | 0 |
| その他の収入 | | 2,000 | | 事業支出 | 27,388,905 |
| 事業収入 | | 27,270,538 | | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 受託法人からの繰入金 | | 118,367 | | 計 | 27,388,905 |
| 計 | | 27,388,905 | | | |

【さかわ こやわた・ふじみ】

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|---------------|-------|------------|-----|-------------|------------|
| 区 | 分 金 | 額 | 区 | 分 金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 22,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 21,000,000 |
| | 付帯業務費 | 5,000,000 | | その他分 | 4,100,000 |
| | その他業務 | 20,000 | 事務費 | 事務所費 | 1,680,000 |
| | | その他分 | | 4,910,000 | |
| | | | | ケアプラン作成再委託費 | 2,750,000 |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 7,420,000 | | その他の支出 | 0 |
| その他の収入 | | 0 | | 事業支出 | 34,440,000 |
| 事業収入 | | 34,440,000 | | 受託法人への繰出金 | 0 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | | 計 | 34,440,000 |
| 計 | | 34,440,000 | | | |

【しもふなか】

| 収 | | 入 | 支 | | 出 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分金 | 額 | 区 | 分金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 21,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 21,452,709 |
| | 付帯業務費 | 3,799,716 | | その他分 | 0 |
| | その他業務 | 0 | 事務費 | 事務所費 | 1,436,929 |
| | | その他分 | | 4,183,549 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,703,598 | ケアプラン作成再委託費 | | 2,436,331 |
| その他の収入 | | 0 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 29,503,314 | 事業支出 | | 29,509,518 |
| 受託法人からの繰入金 | | 6,204 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 29,509,518 | 計 | | 29,509,518 |

【とよかわ・かみふなか】

| 収 | | 入 | 支 | | 出 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分金 | 額 | 区 | 分金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 21,700,000 | 人件費 | 専門職等分 | 18,944,845 |
| | 付帯業務費 | 3,368,980 | | その他分 | 3,675,040 |
| | その他業務 | 10,000 | 事務費 | 事務所費 | 1,036,368 |
| | | その他分 | | 4,937,777 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,321,338 | ケアプラン作成再委託費 | | 1,078,690 |
| その他の収入 | | 0 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 29,400,318 | 事業支出 | | 29,672,720 |
| 受託法人からの繰入金 | | 272,402 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 29,672,720 | 計 | | 29,672,720 |

【そが・しもそが・こうづ】

| 収 | | 入 | 支 | | 出 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分金 | 額 | 区 | 分金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 21,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 22,541,547 |
| | 付帯業務費 | 4,264,776 | | その他分 | 1,800,000 |
| | その他業務 | 0 | 事務費 | 事務所費 | 0 |
| | | その他分 | | 3,254,757 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,899,216 | ケアプラン作成再委託費 | | 2,530,200 |
| その他の収入 | | 12,230,369 | その他の支出 | | 12,267,857 |
| 事業収入 | | 42,394,361 | 事業支出 | | 42,394,361 |
| 受託法人からの繰入金 | | 0 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 42,394,361 | 計 | | 42,394,361 |

【たちばな】

| 収 | | 入 | 支 | | 出 |
|---------------|-------|------------|-------------|-----------|------------|
| 区 | 分金 | 額 | 区 | 分金 | 額 |
| 市委託料 | 運營業務費 | 21,000,000 | 人件費 | 専門職等分 | 21,000,000 |
| | 付帯業務費 | 3,200,000 | | その他分 | 0 |
| | その他業務 | 0 | 事務費 | 事務所費 | 1,600,000 |
| | | その他分 | | 3,500,000 | |
| 介護報酬（介護予防支援分） | | 4,200,000 | ケアプラン作成再委託費 | | 3,450,000 |
| その他の収入 | | 0 | その他の支出 | | 0 |
| 事業収入 | | 28,400,000 | 事業支出 | | 29,550,000 |
| 受託法人からの繰入金 | | 1,150,000 | 受託法人への繰出金 | | 0 |
| 計 | | 29,550,000 | 計 | | 29,550,000 |

地域包括支援センター運営評価
(令和4年度)

小田原市福祉健康部高齢介護課

地域包括支援センター運営事業の評価表 [令和4年度実績]

1 地域包括支援センターの運営体制

| ○経験年数の浅い職員への支援体制の整備や管理者業務の円滑化のための取組を進めるとともに、包括センター間の更なる連携強化を図る。 | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|-------|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 | |
| 人員体制の確保 | 1 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 10 | |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） | | | | | | | | | | | | | (平均) | |
| | ア 保健師・看護師 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1.6 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 人 1.1 |
| | イ 社会福祉士 | 2 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 人 1.5 |
| | ウ 主任介護支援専門員 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 人 1 |
| | エ 介護支援専門員 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 人 0.5 |
| オ その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 人 0 | |
| | ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | 6.79 | 5 | 13.5 | 4.8 | 4 | 5.4 | 5.3 | 3 | 4 | 1.7 | 6 | 4.2 | 年 5.4 | |
| 24時間体制の確保 | 2 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| 職員の資質向上 | 4 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 5 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| | 6 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| | 7 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 5 | |
| | 数字を入力 研修参加回数 | 67 | 36 | 26 | 26 | 98 | 3 | 35 | 21 | 58 | 15 | 21 | 38 | 回 37 | |
| 個人情報保護 | 8 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 9 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 10 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 11 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 13 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 14 ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 15 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 10 | |
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| | 17 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| | 18 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 19 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 20 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 21 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 22 センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |

【凡例】 ①しろやま ②はくおう ③じょうなん ④はくさん ⑤ひがしとみず ⑥とみず ⑦さくらい ⑧さかわ こやわた・ふじみ ⑨しもふなか ⑩とよかわ・かみふなか ⑪そが・しもそが・こうづ ⑫たちばな

2 総合相談支援業務

| ○高齢者の実態把握・支援体制を維持するとともに、個別ケア会議等による相談内容や地域課題の体系的整理のための環境整備を進める。 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 |
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 24 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 25 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 26 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 27 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 28 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数 | | 350 359 | 390 837 | 269 1197 | 265 2498 | 297 1179 | 267 311 | 259 819 | 215 2073 | 243 433 | 248 328 | 411 602 | 290 1464 |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 30 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 31 パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |

3 権利擁護業務

| ○成年後見制度に関わる相談やニーズを踏まえ、法律専門職との連携により地域や関係機関に対する情報発信を更に深めることが必要。 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 |
| 権利擁護全体 | 32 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 33 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 6 |
| | 数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 0 | 0 0 | 0 1 | 0 0 | 0 0 | 0 0 | 1 0 | 1 0 | 0 1 | 0 0 | 1 0 | 2 0 |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 35 本人や親族が申立てを行えない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 36 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 7 |
| 数字を入力 成年後見にかかわる相談件数 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | 7 2 | 18 1 | 4 0 | 4 0 | 5 0 | 1 0 | 1 0 | 14 1 | 2 1 | 8 0 | 2 1 | 7 0 | (平均) 6.1 0.5 |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 38 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | 1 | 17 | 1 | 2 | 3 | 3 | 2 | 20 | 4 | 8 | 3 | 4 |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 40 消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | 1 1 | 2 2 | 0 0 | 2 5 | 1 1 | 0 0 | 0 0 | 2 2 | 1 0 | 0 0 | 0 0 | 4 0 |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| ○介護支援専門員に対する相談支援にも資するよう、社会資源の積極的活用を推進。また、地域ケア会議の開催の円滑化のための環境を整備。 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------|---------------------------------------|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 | |
| 生活環境変化等への対応 | 41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 11 | |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | 4 | 10 | 4 | 2 | 7 | 3 | 3 | 8 | 2 | 5 | 7 | 0 | 件 | (平均) 4.6 |
| 介護支援専門員の支援 | 42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 10 | |
| | 44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | 2 24 | 2 28 | 3 18 | 2 26 | 3 50 | 3 0 | 3 30 | 2 14 | 2 12 | 2 30 | 1 3 | 1 15 | 回 人 | (平均) 2.2 20.9 |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 47 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 | |
| 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 11 | 4 | 14 | 4 | 9 | 6 | 11 | 2 | 14 | 6 | 23 | 7 | 回 | (平均) 9.3 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 10 | |
| | 50 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 52 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 | |
| | 53 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 9 | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 2 4 2 0 0 | 1 8 2 2 1 | 3 2 0 1 1 | 2 0 0 1 1 | 2 2 0 0 0 | 2 2 0 0 0 | 2 2 0 0 0 | 3 4 3 1 1 | 2 2 1 2 1 | 0 2 1 1 1 | 2 2 1 1 1 | 2 2 0 1 1 | 件 回 回 回 回 | (平均) 2 2.7 0.9 0.9 0.8 |

5 認知症総合支援事業

| ○認知症初期集中支援事業が積極的に活用されるよう見直しを行い、高齢者及び家族に対する組織的かつ専門的な支援の円滑化を進める。 | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 |
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 55 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | 2 | 0 | 1 | 1 | 5 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 回 |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 57 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 58 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 3 |
| | 数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 件 |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| ○介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの居宅支援事業所への再委託の促進に向け、環境整備・体制強化を引き続き実施。 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 項目 | 評価の目安 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | 達成数 |
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 11 |
| | 60 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 62 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 64 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 65 総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 12 |
| | 66 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 数字を入力 介護予防サービス計画件数 うち再委託件数 介護予防ケアマネジメント件数 うち再委託件数 | 133 | 214 | 114 | 104 | 142 | 62 | 112 | 126 | 143 | 71 | 141 | 61 | 件 | (平均) 118.6 |
| | 17 | 43 | 20 | 50 | 6 | 4 | 19 | 25 | 18 | 7 | 20 | 17 | 件 | 20.5 |
| | 77 | 116 | 91 | 49 | 85 | 61 | 69 | 99 | 111 | 63 | 72 | 50 | 件 | 78.6 |
| | 21 | 41 | 21 | 13 | 7 | 4 | 7 | 26 | 9 | 2 | 10 | 9 | 件 | 14.2 |

【凡例】 ①しろやま ②はくおう ③じょうなん ④はくさん ⑤ひがしとみず ⑥とみず ⑦さくらい ⑧さかわ こやわた・ふじみ ⑨しもふなか ⑩とよかわ・かみふなか ⑪そが・しもそが・こうづ ⑫たばな

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：令和5年 4月 7日)

地域包括支援センター名：しろやま

記入者名：府川 祐子

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | | | | | | | | | |
|---------------|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|--|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇職員の変動なく、維持できている。 ◆ | | | | | | | | | | |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 イ 社会福祉士 ウ 主任介護支援専門員 エ 介護支援専門員 オ その他 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | <table border="1"> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>2</td><td>人</td></tr> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td></td><td>人</td></tr> <tr><td></td><td>人</td></tr> <tr><td>6.79</td><td>年</td></tr> </table> | | 1 | 人 | 2 | 人 | 1 | 人 | | 人 | | 人 |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 人 | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | | | |
| | 人 | | | | | | | | | | | | | |
| | 人 | | | | | | | | | | | | | |
| 6.79 | 年 | | | | | | | | | | | | | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇各自に携帯電話を支給し、夜間休日の対応は、法人施設が連絡を受け、担当職員への連絡が行える体制が継続されている。 ◆ | | | | | | | | | | |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇災害時のBCP作成を行い、今後も必要箇所を追記しながら修正していく。感染症の対策については、法人のマニュアルを活用し対応している。 ◆感染症のBCPについては、次年度完成を目指し作成する。災害時のBCPについては、職員へマニュアルに基づいた伝達訓練を行い、随時見直しを行っている。 | | | | | | | | | | |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(4)4月1日 神奈川県介護支援専門員協会主催 ファシリテーター実践者フォローアップ研修 1名参加 4月11日・6月13日・9月22日 クリニーコくぼくら主催 医療と介護の勉強会 毎回1名参加 5月23日 ケアネットOHMY主催 ハッと気が付く事例検討会 2名参加 6月13日 7月25日 8月22日 法安寺主催 災害対策についての研修 毎回3名出席 7月2日・3日 鉄道弘済会主催 社会福祉における「参加」を問い直す 各回1名参加 7月7日 国際医療福祉大学主催 手足の「しびれ」と上手に付き合おう | | | | | | | | | | |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | | | |

数字を入力

1名参加
7月12日 7月26日 小田原市主催 多職種協同研修 「自助から始める防災対策」 3名参加
7月15日 小田原市 県西地区ソーシャルワーカー実務研修協議会 ケアネットOHMY共催 「コロナ禍のMSWとケアマネジャーの連携～入退院調整の現状と今後～」 2名参加
7月19日 足柄上地区権利擁護ネットワーク連絡会主催 「がんばれ！あいがランナーズ」 2名参加
8月17日 神奈川県健康医療局保険医療部健康推進課主催 フレイル普及オンラインセミナー 1名参加
8月18日 小田原市基幹相談支援センター主催 まるごと相談研修 1名参加
8月25日 神奈川県介護支援専門員協会主催 ファシリテーターフォローアップ研修 1名参加
8月26日 ケアネットOHMY主催 事業所内で主マネを中心にケブラン点検が行えるようになるために 1名参加
9月2日 小田原市医師会主催 1名参加
9月4日 日本社会福祉士会 後見ガイドライン研修 1名参加
9月15日 社会資源研修 1名参加
9月22日 小田原市・ケアネットOHMY共催 「疾患別ケアマネジメントの基本 ケア・誤嚥性肺炎がある方のケアマネジメントについて」 2名参加
9月22日 小田原市地域包括支援センター主マネ・ケアマネ部会主催 「介護予防・日常生活支援総合事業と社会資源開発」 4名参加
9月28日 小田原市地域包括支援センター保健師看護師部会主催 「よりよいフレイル予防に関する地域活動への取り組みを目指して」 1名参加
10月3日 認知症研修「川崎幸クリニック認知症の理解と援助」 1名参加
10月13日 実践者から学ぶ～エンディングサポート編～ 3名参加
10月17日 認知症の生活体験とその理解⑥ 1名参加
10月18日 効果的な事例検討会のあり方について学ぼう 4名参加
10月27日 南海トラフ等地震を想定した研修 (Zoom) 4名参加
10月27日 疾患別ケアマネジメント研修 2名
11月9日 虐待防止・身体拘束防止・事故防止研修 4名参加
11月11日 人生の最終段階に向き合う医療と介護～アドバンス・ケア・プランニング)
11月16日 防災講座(地震・富士山噴火等) 1名
11月17日 共に安心して暮らせるまちをつくるために～認知症サポーターに何ができるのか～ 1名参加
11月25日 ハット気が付く事例検討会 1名参加
12月1日 多職種共同研修 3名参加
12月5日 成年後見制度の仕組みと今後の展望 2名参加
12月10日 市町村会議予防事業 支援の為に人材育成事業 1名参加
12月12日 認知症の生活体験とその理解 1名参加
12月12日 令和4年度きずなチーム研修会 2名参加
12月13日 多職種協同組合 1名参加
12月14日 大規模災害時における意思決定支援の重要性 1名参加

研修参加回数

67 回

12月20日 社会資源開発研修 4名参加
12月20日 令和4年度高齢者虐待防止研修～改めて考えよう～身体拘束 1名参加
12月22日 令和4年度共生社会づくり研修 1名参加
12月22日 リスクマネジメント研修 1名参加
12月23日 ひきこもり支援研修会 1名参加
1月11日 包括支援センター職員等養成研修 「障がい者支援から学ぶ権利擁護支援」1名参加
1月11日 包括支援センター職員等養成研修 「利用者・相談者からのハラスメントについて」 1名参加
1月11日 災害リスクケアマネジメント研修 土砂災害編 1名参加
1月12日 令和4年度地域包括支援センター職員研修 コミュニケーションを紡ぐ 3名参加
1月19日 災害リスクマネジメント研修 感染症編 1名参加
1月20日 コミュニケーション技術研修「初めての相手にも伝わる、響くコミュニケーション」3名参加
2月3日 若年性認知症研修 (Zoom) 1名参加
2月7日 コグニサイズミーティング (Zoom) 1名参加
2月24日 脳卒中カンファレンス (Zoom) 1名参加
3月7日 居住支援活動を取りまく周辺環境整備講座 1名参加
3月10日 作ろうBCP研修 1名参加
3月14日 認知症初期集中支援チーム 1名参加
3月16日 「適切なケアマネジメント手法」普及推進セミナー WEB 1名参加
3月17日 ハッと気が付く事例検討会 1名参加
3月20日 在宅サマリー研修会 3名参加
3月23日 地域障がい者自立支援協議会 1名参加
3月29日 主マネ向けスーパービジョン研修 1名参加

(5) 法人主催の職員会議内で新型コロナウイルス感染予防の研修を受ける
1名参加

(6) 研修資料は閲覧し、資料を保管している。必要時には1回/Wカンファレンス時に共有している。

| | | | | |
|-----------------------------|----|--|-------------------------------------|--|
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(8) (9) (10) (11) 法人のマニュアルに基づき対応している。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(12) (13) (14) ケースについては担当制をとっており、1回/Wのカンファレンスを継続的に行い、情報共有を行っている。専門職の意見を聞く事や、同行が必要なケースについては、管理者が中心となって話し合い、判断している。 (15) 従事者会での情報共有により、同等のサービス提供が行えるように努めている。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(16) 市への報告書は提出期日までに完了している。 (17) (18) 各職員が日常業務について記録しているので、管理者が把握し相談やアドバイスを行っている。 (20) (21) 包括への要望や苦情等について、職員が共有できる報告書の体制が整っている。 (22) 職員全員で共有し、策定を行っている。 ◆ |

| | | | |
|----|--|-------------------------------------|--|
| 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-----------------|--|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | ◇(23)民生委員や地域住民との活動も再開傾向にあり、積極的な活動を行っている。 (24)(25)(26)(27)相談内容に応じて適切な機関等との連携や継続的な状況確認など、包括内で共有し対応している。 (28)専門職や多職種の見解を導き入れることができるように、必要時には個別ケア会議の開催を行っている。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | |
| | 数字を入力 新規相談件数 | | |
| 相談延べ件数 | | 359 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | ◇(29)(30)各自治会のまちづくり委員会、民児協へ、担当職員が参加し、地域のサロン活動も再開している。 (31)パンフレット、リーフレットの配布や設置は継続的に行っている。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|--|-----|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(32)首長申し立てにて選任された成年後見人（弁護士、司法書士、行政書士）らに、継続的に連絡を取り合う事で、次の新規相談に対応できる人脈づくりを行っている。 ◆(33)ケア会議への参加要請にまでは至っていないため、（個別の場合当事者でない）と参加要請しにくい、圏域の場合地区専門職が多数おり依頼が難しい）どう解決していくかが課題 | |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | | | 0 回 |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | | 0 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(34)(35)直接相談の際には、親族申し立ての支援及び専門職の紹介を、親族で申し立て不能の際は速やかに高齢介護課と連携し、首長申し立て依頼を行っている。 (36)地区サロンにて「おひとりさまものがたり」を紹介するなどの活動が行っている。 ◆ | |
| | 35 | 本人や親族が申し立てを行えない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申し立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | | | 7 件 | | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | | 2 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(37)(38)サービス事業所、居宅、医療機関などや、民生委員などの地域との情報連携を密にし、疑いの段階で高齢介護課と協議し対応するなど、連携は取れている。 ◆ | |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | | 1 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(39)地区サロンで事例の紹介など、消費者被害防止啓蒙活動を行っている。 (40)内容によって消費生活センターに報告相談したり、その時の事業者によっての対応アドバイスなど随時受ける事が出来ている。 ◆ | |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | | | | 1 件 |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | | 1 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | 今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------|--|--|-------------------------------------|---|-----------------------|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇院内への訪問ができない状況が、一部の病院でまだ続いているため、書面や電話でのやり取りもあったが、昨年よりはカンファレンス開催が行える状況となっている。MSWとの交流会等で、連携についての要望や意向などを伝え、改善できる部分もあった。 ◆ | |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 4 | | 件 |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(42)(44) 8月2日Zoomにて事例検討を行い、情報交換の場を設け、12月16日対面にて、ケアマネジャーの心身のリフレッシュとケアマネ同士の情報共有や交流を深めるためにケアマネ交流会を開催した。 ◆(43) 年度当初の計画に沿って実施できるように、コロナ感染の状況の変化にも対応できる方法も検討していく。 | |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 2 24 | | 回 人 |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(46) 民生委員や地域住民が参加するサロンや、民児協の会議への参加が再開でき、情報交換は行えている。研修の開催は地域の意向を確認しながら、希望があった芦子地区では研修を行った。 (47) 小田原医師会開催の研修や多職種協同研修へ参加し、連携強化を継続している。 | |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 11 | | 回 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(48)(49) 地域のサロン活動への参加を行い、地域でのボランティア活動等の状況について把握し、情報提供を行っている。 ◆11月23日法安寺で開催する「注文をまちがえるあつまあるかふえ」の開催が無事に行え、今後は11月23日に定期的な開催が行えるように次年度に向けて、引き続き連携を継続している。 | |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(51)(52) ケアマネジャーからの相談により、迅速な対応を行い、自立に向けた支援の為に、個別ケア会議を開催した。 (53) 圏域ケア会議の本年度の開催は行えなかった。 ◆個別ケア会議を重ねて開催できるように努め、計画的に圏域ケア会議の開催を予定できるように取り組む。 | |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 2 4 2 0 0 | | 件 回 回 回 回 |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | 評価 | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------|------------------|--|-------------------------------------|----|--|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(54)(55)認知症サポーター養成講座開催、銀行やコンビニなどからの問い合わせも多く、その都度認知症ケアパス等の利用を行い、啓発に努めている。芦子地区民児協、老人会などでミニ講座を行い普及啓発活動を行った。 ◆認知症サポーター養成講座や認知症講座等の開催を、包括が中心に進めて行く。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 2 | 回 | |
| | | 認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く) | 2 | 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇担当圏域には、認知症専門医も多く、早期の受診や家族への支援は行いやすい環境にあり、実際に受診に繋がる事が多い。また、家族への支援として、家族会のパンフレットを紹介するなど、周知も行っている。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | | 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | 2 | 件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | 評価 | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|----|--|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(59)(60)サロン活動の中で、運動の指導や、認知症予防、食事摂取についての講話など、ツールを使用し普及啓発を行っている。 ◆ |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール(リーフレットや動画等)を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | | 情報発信・講座等の実施回数 | 4 | 回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(61)(62)総合事業について、職員十分に理解し対応している。サロン等への参加時に、民生委員や住民への介護予防についての話は行っている。 ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(63)(64)(66)自立支援型ケアマネジメント実現に向けて、個々の特性に合ったケアプラン作成を行っている。再委託については、引き受けてもらえる事業所を選べる状況にはなく、新規委託できていない。 ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 65 | 総合事業(短期集中通所型サービス)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 数字を入力 | | | | | |
| | | 介護予防サービス計画件数 | 133 | 件 | |
| | | うち再委託件数 | 17 | 件 | |
| | | 介護予防ケアマネジメント件数 | 77 | 件 | |
| | | うち再委託件数 | 21 | 件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日： 2023 年 4 月 1 日)

地域包括支援センター名：はくおう

記入者名： 関根 健志

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|--|---|--|--|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | ◇ |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） | | ◆ |
| ア 保健師・看護師 | 2 人 | | |
| イ 社会福祉士 | 1 人 | | |
| ウ 主任介護支援専門員 | 1 人 | | |
| エ 介護支援専門員 | 0 人 | | |
| オ その他 | 0 人 | | |
| ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | 5 年 | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | ◇ ◆ ・自然災害BCP作成済み。 ・感染症BCPの策定 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | ◇ (外部研修) |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | 7/5, 6 包括職員初任者研修 |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | 7/12, 27 他職種共同研修 7/15 介護従事者医療連携研修 |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | 8/17 フレイル普及オンラインセミナー 9/2 小田原医師会在宅医療研究会 9/22, 2/2 疾患別ケアマネジメント研修会 9/28 クロスメンター研修 10/13 エンディングサポート研修会 |

| | | | | | |
|-----------------------------|--------|--|-------------------------------------|---|---|
| | 数字を入力 | | | | 10/18 包括職員全体研修 I 10/27,12/9 OHMY 11/11 認知症疾患医療センター研修会 11/17 認知症サポーターフォロー研修 12/1 第2回他職種共同研修 12/5 おだわら成年後見センター講演会 12/8 介護従事者医療連携研修 12/20 高齢者虐待防止研修 12/22 地域共生社会づくり研修会 12/23 ひきこもり支援研修会 1/12 包括職員全体研修 II 2/3 若年性認知症支援コーディネーター研修 2/4 認知症初期集中支援チーム員研修 2/20 ケアプラン点検研修(動画) 3/20 在宅サマリー研修会 (法人内) 4/12 アースサポート定期研修 5/26 アースサポート新人研修 7/21 居宅介護支援・地域包括支援センターマニュアル勉強会 7/29 アースサポート居宅事例検討会 10/21,1/19,3/24 中日本居宅グループ会 2/16 社内包括ナレッジ共有研修 2/21 ターミナルケア自主勉強会 ◆ |
| | 研修参加回数 | | 36 | 回 | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ (9) 個人情報持ち出し管理簿は作成していないが、スケジュール管理表で把握している。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ ・毎朝朝礼や月1回包括センターミーティングでケースの情報の共有や対応についての検討を行っている。 ・月間ミーティングの中で事例検討を実施し、困難事例だけでなく終結事例などを見直すことで職員の対応力の向上を図っている。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|---|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (19) (21) 苦情については社内マニュアルに沿って対応する体制ができてい る。要望、クレームに対して法人スーパーバイザーを交えて振り返りを行い、 改善に向けて検討している。 (20) 上記で検討した内容、対応について市へ報告、協議している。 (22) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認す る体制となっている。 ◆ ・関係機関との個人情報についての共有に当たっては本人の了承の下であって も、共有する内容に配慮していく。 ・利用者基本情報、支援経過記録等は開示することを前提に作成することを職 員が理解、実践できるようにする。R5.1勉強会開催。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営 に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市へ の報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で 協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|--------------------------|-----------------|--|-------------------------------------|--|
| 高齢者の実態把握及び支 援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努 めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (23) コロナウィルス感染拡大の影響で中止になっている地域活動が多いが、 いきいき健康教室、よってこ新玉などの活動に参加し情報収集に努めている。 (25) 何らかのリスクがあるが支援につながっていない高齢者については月間 ミーティングで必要性を検討し、定期モニタリングなどの対応を実施してい る。サービスの利用のない要支援認定者に対して介護認定の更新月に実態把握 を行っている。 (26) 要介護認定を受けて包括の担当を離れた人、施設入所した人について適 宜後追いの実態把握を行っている。 (27) 総合相談について毎日の朝礼の中で医療、権利擁護、介護サービスへの つなぎ、ケアマネ支援などの見立てを行い、センター内で共有している。 (28) 個別ケア会議8件開催。 ◆ |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、 要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会 議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 新規相談件数 | | 390 件 | |
| 相談延べ件数 | | 837 件 | | |
| 支援を要する高齢者の早 期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (29) 7/25, 1/24 ケアマネ交流会(茶つと会) (30) 5, 7, 9, 11, 1月 山王地区民生委員との定期連絡会 1/16, 3/16足柄地区民児協定例会 (31) 包括だよりを作成し包括の取り組みなどの情報提供をしている。 3/2 Cブロック民生委員研修会にて包括の役割の説明 (6, 10月発行)。圏域内の病院、薬局、事業所、自治会、民生委員、山王地区 全世帯への回覧などへセンターのパンフレットや包括だよりを配布している。 ◆ |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------------|--------------------------------|---|-------------------------------------|---|---|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ | |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 0 回 | | ◆ |
| | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (36) 3/13 Aブロック民生委員研修会にて権利擁護講話実施 ◆ | |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 成年後見にかかわる相談件数 | | 18 件 | | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | 1 回 | | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (37) 3/28 地域障害者自立支援協議会 権利擁護部会に参加 ◆ | |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | 17 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (39) 3/13 Aブロック民生委員研修会にて消費者被害講話実施 3/29 ふらっと寿にて消費者被害講話開催 ◆ | |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数 | | 2 件 | | |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | 2 回 | | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携を図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 10 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ ・同法人の4包括センター合同で再委託居宅介護支援事業所との「茶っと会（談話会）」について年度当初に居宅介護支援事業所に年間予定を通知。第1回目を7/25、第2回目を1/24に開催。 |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 2 回 28 人 | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (46) 5, 7, 9, 11, 1月 山王地区民生委員との定期連絡会 1/16, 3/16 足柄地区民児協定例会 9/29, 11/24, 2/15 グループホームローズハウス運営推進会議 2/20 なかさんち運営推進会議 ◆ |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 4 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (48) (49) 地域活動の活動状況を把握して「おたすけ帳」の更新作業中だが、活動を休止していることが多いため難航している。 ・「はくおう包括だより」を民生委員、自治会など関係機関に配布し包括センターの周知と連携を図った(6, 10月発行)。 ・地域の自主サロン活動へ参加し体操教室、健康教室を実施。 ・コロナ禍でも高齢者が社会との関わりを持ち続けられるように、民生委員と共にしるやま包括のサロンにZOOMで参加(6/2) (50) 34区公民館を利用したサロン活動の開発を検討中 ◆ |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|-------------------------|-----------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (52) 個別ケア会議とは別にケース会議を実施(2件) (53) 3/30 足柄地区圏域ケア会議開催 ◆ |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 自立支援ケア会議 事例提出件数 | 1 | 件 | |
| | 個別ケア会議 実施回数 | 8 | 回 | |
| | うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 2 | 回 | |
| | 圏域ケア会議 実施回数 | 1 | 回 | |
| | うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 1 | 回 | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (54) 認知症を認知しよう会の動画紹介を包括だよりに掲載。 11/23 小田原市グループホーム小規模多機能連絡会主催の「注文をまちがえるあつまあるカフェ」を社会福祉協議会、宝安寺社会事業部、しろやま包括と協力して開催。(後援 高齢介護課) (57) 家族会に参加し内容を把握。地域への周知を行っている。 (58) 地域の医療機関との連携体制が構築できており早期に受診につなげることができているため、認知症初期集中支援事業に該当するケースがない。 ◆ ・地域に認知症サポーター養成講座を開催する場所がない、コロナにより地域活動も滞っているため開催の機会を得るのが難しい。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | 0 | 回 | |
| | 認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く) | 0 | 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇認知症が疑われる相談については必要に応じて病院受診に同行し、スムーズに支援につなげるようにしている。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | 0 | 件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|---|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (59) 10/3 山王松原いきいき健康教室で体操教室を実施。 10/13 よってこ新玉で体操教室を実施。 1/27 足柄地区いきいき健康教室で認知症予防体操を実施。 2/22 山王網一色地区いきいき健康事業で体操教室を実施 3/29 ふらっと寿で体操教室を実施 ◆ |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 | | 5 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ 予防プラン再委託先が見つけれず、直営プランの件数が全体の7割を超えており業務の大きな負担になっている。 |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護予防サービス計画件数 うち再委託件数 介護予防ケアマネジメント件数 うち再委託件数 | | 214 43 116 41 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・ ・ ・ | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：R5年3月31日)

地域包括支援センター名：

記入者名： 加藤 大

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | 評価の目安 | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|---------------|--|--|-------------------------------------|---|--|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(1) 年度中の職員交代はなく、配置基準を満たしている。 ◆次年度に職員1名の交代を予定。新職員を迎えて、新たな体制で業務に取り組んでいく。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 イ 社会福祉士 ウ 主任介護支援専門員 エ 介護支援専門員 オ その他 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | | 1 人 1 人 2 人 0 人 0 人 13.5 年 | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(2) 時間外については当施設の宿直者が相談を受け付け、必要時は管理者に連絡し、管理者が対応することになっている。 ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input type="checkbox"/> | | ◇(3) 自然災害の業務継続計画は、ワーキングチームによる原案をもとに作成している。今年度の見直しは行っていない。 ◆計画の見直しは、当法人などと連携しながら行っていく予定。 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(4・6) 6月19日R4年度終活講座、7月6日早川ぎずなチーム研修会、7月8日中核機関市町村成年後見担当職員研修会、7月12日・7月26日多職種共同研修、8月18日社会福祉協議会事例検討会、8月31日報徳食品支援センター食糧支援を知る会、9月15日主マネケアマネ部会主催研修会、9月16日はやか輪みんなでささえ隊全体会、9月28日クロスメンターフォローアップ研修、10月13日エンディング諸制度講座、10月18日包括職員研修Ⅰ、神奈川県地域相談連絡協議会研修、11月11日認知症疾患医療センター研修、11月17日認知症サポーターフォロー研修、11月25日法テラス神奈川地方協議会、12月1日・13日多職種共同研修、介護従事者医療連携研修、12月5日成年後見制度講演会、12月12日ぎずなチーム研修会、12月20日高齢者虐待防止研修、包括職員向け研修、12月21日共生社会づくり研修、1月12日包括職員研修Ⅱ、1月15日法人後見研修、1月21日多機関向け職員研修、第3回介護従事者医療連携研修、2月ケアプラン点検研修、3月7日介護従事者のためのBCP作成セミナー ◆次年度においても、資質向上に資する研修に積極的に参加していく。研修に参加した職員からの報告や情報共有に努めていく。 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 研修参加回数 | | | 26 | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(8・9・10) 個人情報保護についてはマニュアルを遵守し、鍵付きキャビネットに保管している。持ち出しの際は記録簿に記入している。(11) 介護予防支援の個人情報の使用については、利用者の同意を得たうえで取り扱っている。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |

| | | | | |
|-----------------------------|----|--|-------------------------------------|---|
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(12・13・14) 毎朝ミーティングを行い、各職員の1日の動きやケースについての情報共有をしている。月1回センター会議を行い、各部会の状況や事業計画の状況、困難ケースの進捗状況などについて情報共有している。 ◆次年度は新職員を迎えて体制が変化するので、これまで以上に情報共有等に留意し、チームアプローチの姿勢を大切にしていこう。 |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(16) 市役所へ提出が必要な書類は、全て期日までに提出している。 ◆ |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-------|--|-------------------------------------|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (23) はやか輪みんなでささえ隊、早川認知症カフェ、早川きずなチーム、かざまつりいきいきクラブに参加し、実態把握に努めている。5月11日かざまつりいきいきクラブの活動として三の丸ホールを見学した際に参加した。10月から早川まちづくり委員会主催で「公園・広場deラジオ体操」が月2回のペースで開催されるようになり、包括も協力している。11月9日はやか輪くわくサロンおちゃのまに参加し、ポッチャを体験した。2月16日かざまつりいきいきクラブにおいてポッチャの体験会を開催した。3月16日かざまつりいきいきクラブ次年度打ち合わせに参加 ◆可能な範囲で地域活動に参加し、運営の協力や高齢者とその家族の実態把握に努めていく。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | | 数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数 | 269 件 1197 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (29・30) 十字・大窪・早川・片浦の4地区の民児協定例会に参加し、情報収集をした。12月の民生委員の改選後に各地区の定例会に参加し、挨拶とともにセンターの周知を行った。早川まちづくり委員会に委員として参加している。地域に向けた活動として10月からラジオ体操を行っている。(5月13日・7月8日・8月29日・9月26日・12月15日・3月7日) ◆早川まちづくり委員会に引き続き委員として参加し、地域に向けた活動に協力していく。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|--|--|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(32) 個別ケースにおいて法律専門職の関与が必要な場合は連絡を取り、一緒にケースに取り組んでいる。(33) 11月24日圏域ケア会議を開催し、法律専門職に参加してもらっている。 ◆法律専門職との連携を広げ、多岐にわたる問題に幅広く対応していく必要がある。 |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要な応じて法律専門職が参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 0 | 回 | | |
| | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 1 | 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(34) 個別ケースの状況に応じて、市と連携を図りながら任意後見・法定後見を見極めて制度につなげるように対応している。 ◆地域の高齢者や関係機関に対して、成年後見制度の啓発を行えるように積極的に取り組んでいく必要がある。 |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 成年後見にかかわる相談件数 | 4 | 件 | | |
| | 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | 0 | 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇(37) 介護負担が想定される実態調査を8ケースについて行った。包括が把握しているケースが多かったが、介護負担を感じているケースも把握できた。 ◆重層の支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、各種支援機関との連携を重視しながら支援を行っていく。 |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 高齢者虐待にかかわる相談件数 | 1 | 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | ◇(39・40) 消費者被害に関する相談がなかったため、関係機関と連携する機会はなかった。 ◆地域の高齢者や関係機関に対して、消費者被害防止に向けた啓発を行えるように積極的に取り組んでいく必要がある。 |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | 0 | 件 | | |
| | 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | 0 | 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | コメント |
|-------------------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 ◇(41) コロナの影響で病院でのカンファレンスは少ないが、必要時は病院へ向いてカンファレンス等に参加している。退院の調整に当たってはMSWやケアマネ、サービス事業所等と連携して支援を行っている。 ◆コロナの影響による支援の対応方法の変化に応じたアセスメント調整のスキルを上げていく必要がある。 |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 4 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(42・43) 年3回の圏域居宅ケアマネジャーとの交流会を開催。(7月21日・11月16日・2月15日) 3回目は認知症カフェの会場を使用して、ケアマネに雰囲気などを伝えることが出来た。(44) 困難ケースについては市と連携を持ち、ケアマネとの同行訪問やカンファレンスなどを行っている。 ◆ケアマネの相談に丁寧に対応することで関係性の構築に努め、迅速な問題解決が図れるようにする。地域の活動やボランティア等を周知し、ケアマネジメントに活かしてもらえるようにする。 |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 3 18 | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(46) 十字・大窪・早川・片浦の4地区の民児協定例会に参加し、情報交換を行った。12月の民生委員改選後に定例会に参加し、関係づくりを図った。(再掲) 2月17日4地区の民生委員と社協、行政を招いて認知症の理解についての勉強会を開催した。グループワークを取り入れて、顔の見える関係づくりに努めた。(47) 関係機関が開催する研修は動画が主だが、可能な範囲で参加している。 |
| | 47 | 関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 14 | 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(48・50) 今年度開始した早川地区の認知症カフェ(じょうなんカフェ刻めきチトセヤ)の運営協力をしている。(6月8日・9月14日・11月9日・3月8日に開催) 早川まちづくり委員会の健康福祉分科会が主催して、高齢者などの地域住民向けにラジオ体操を行う活動を開始した。(11回開催)(再掲) 高齢者が住みやすいまちづくりを考えていくための取り組みの一つとして、地域の企業にアンケートを行った。(16か所) 新たな社会資源の候補場所については、現地を見に行くようにしている。10月10日アドバイザーや県・市・社協・包括等の関係機関で片浦地区の地区踏査を行い、地域の実態把握に努めた。10月16日長寿会50周年記念式典に参加した。 ◆ |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(52・53) 個別ケア会議の開催は1回だが、検討が必要なケースについては関係機関と連携して適宜行っている。圏域ケア会議については11月24日、4地区合同で開催した。事例の積み重ねの中から課題を導き出すことは出来なかったが、4地区に共通する課題について意見交換し、連携の大切さを再認識することが出来た。 ◆必要時には個別ケア会議を開催し、事例の積み重ねの中から地域課題が見いだせるように努めていく。 |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 3 2 0 1 1 | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | |
|------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|--|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(54) 6月16日認知症サポーター養成講座を開催した。4地区の民生委員等に対して認知症の理解についての勉強会を開催した。(再掲) ◆市民や企業などに対して、認知症サポーター養成講座やその他の啓発活動を積極的に取り組んでいく必要があり、若い世代への啓発が重要である。 | |
| | 55 | 認知症ケアバスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 1 | | 回 |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く) | | 0 | 回 | | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(56) 認知症が疑われるケースについては、専門医につなげるように支援を行っている。一人暮らしの場合は、支援に対して必要性を確認できず拒否が多いが、頻回に訪問することで関係性を構築しながら支援につなげている。 (57) おだわら・はこね家族会の周知を行うとともに会に参加して、当事者の声を聞くようにしている。 | |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0 | 件 | | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|--|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(59) 8月18日かざまつりいきいきクラブにて、ライフデザインノートを用いて、これからの自分の生活を考える取り組みを行った。2月26日石橋地区住民に対して包括の業務や自立した生活の重要性などの講話を行った。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール(リーフレットや動画等)を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 情報発信・講座等の実施回数 | | 2 | 回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(61) 総合事業についての理解をした上で業務を行っている。 ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(63・64) 自立支援ケア会議・ケアプラン点検等のアドバイスを活かしながら、自立支援に資する計画を立てるように努めている。(66) 予防プランについて再委託を実施するように努めているが、委託率は低調で、直接プランニングが増えている。 ◆再委託を増やせるようなケアマネとの関係構築を行っていく必要がある。 |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業(短期集中通所型サービス)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 | | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | | 114 | 件 | |
| うち再委託件数 | | 20 | 件 | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 91 | 件 | |
| うち再委託件数 | | 21 | 件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日: 2023年 4月 1日)

地域包括支援センター名: はくさん

記入者名: 管理者 青木薫子

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-----------------------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数 (非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数) ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="1"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value="0"/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数 (12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入) <input type="text" value="4.8"/> 年 | | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター (以下「包括センター」という。) の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇【社内勉強会】7/21「新居宅介護支援・地域包括支援センターマニュアル」 9/13「ファシリテーターのスキルアップ研修」 10/21「虐待について」 12/13「リーダーチャート (自己分析) の活用について」 1/19「支援経過の記録について」 2/16「社内の活動共有」 3/24「アサーション」 【行政・外部研修】7/12.26「多職種共同研修 (市)」 7/16「MSWとの連携について (市)」 8/17「フレイル活動の普及 (東京大学)」 8/22「医療と介護の勉強会 (クリニックくぼくら)」 9/22「ケアマネジメントの質の向上 (市)」 10/18「地域包括支援センター職員研修 効果的な事例検討について (市)」 11/11「若年認知症ユース・イネー設置事業研修 (曾我病院)」 12/1.13「多職種共同研修 認知症患者の意思決定支援 (1市3町 OHMY)」 12/20「身体拘束研修 (市)」 12/22「地域共生社会づくり研修会 重層的支援について (市 OHMY)」 12/23「ひきこもり支援について (市基幹相談)」 12/12「医療と介護の勉強会 (クリニックくぼくら)」 1/12「地域包括支援センター職員研修 コミュニケーションとケアプラン (市)」 2/2「疾患別研修 退院前カンファレンス (市 OHMY)」 2/3「若年性認知症ユース・イネー研修 (曾我病院)」 2/13「医療と介護の勉強会 (クリニックくぼくら)」 3/23地域障害者自立支援協議会 3/29スーパービジョン (OHMY) 3/20「新サマリー説明会」 (市 OHMY) ◆参加者による研修の内容や今後にむけての取組の報告 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="26"/> 回 | | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇最低限の持ち出しとし 持ち出し時には管理簿は使用していないがメンバー同士で声をかけあって持ち出しと持ち帰りを確認。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ケースによっては主担当、副担当をきめる。 MTGや朝礼以外でも緊急性のある事例については、全職種で意見交換をして支援方針を検討する。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|------------|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-------|--|-------------------------------------|--|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ 相談業務は電話、来訪、訪問が中心。 2021年5月からはアウトリーチとして大型マンションに包括が月1回訪問を実施。8月にはアンケート実施（37%回収）。 ◆支援内容によっては多職種と積極的に連携をし、重層的支援を行う。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 新規相談件数 | | 265 | 件 | |
| 相談延べ件数 | | 2498 | 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇地域に対して 広報紙などを利用して地域包括支援センターの周知をおこなっている（全回覧板に配布している）。 ◆地域の社会資源などについても積極的に広報する。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|---|---|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ ◆ |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 0 | 回 | |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 | 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇昨年度末から支援している「市長申し立て」のケースなどは市役所と連携をして書類作成や調整を支援を行っている。 ◆ |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | | 4 | 件 | | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | 0 | 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ ◆ |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | 2 | 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇民生委員のお茶会時に、情報提供、資料配布等を行っている。(消費者センター冊子配布など) ◆ |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 消費者被害にかかわる相談件数 | | 2 | 件 | | |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | 5 | 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇コロナ禍において書面や電話でMSWと連携をとることが多くなったためカンファレンス開催は減少。 ◆少しづつある開催が開始されてきたため必要時には参加。 |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 2 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇市内同法人の4包括で介護支援専門員を対象にした交流会「茶っと会」をリアルで開催した。第1回 7/25 「施設紹介センターによる施設入所のポイントについて」10名参加 第2回 1/24「障害制度について学ぼう」16名参加 ◆介護支援専門員同士の交流の場の促進にもなるように支援を継続。 現場の介護支援専門員の多い困りごとなどをテーマにした研修を継続する。 |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 2 回 26 人 | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇感染予防をしながら、毎月の民生委員との交流会「お茶会」は継続実施。6/20は2圏域の民生委員と勉強会を開催（認知症とは。認知症の方への接し方） 12/16は2圏域の新着任の民生児童委員と交流会をおこなった。 3/24は2圏域の民生委員と介護保険制度についての勉強会を行う予定。 運営推進会議は書面上のみの開催だった。 ◆ |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 4 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇事例提出 5/26 1/26 訪問介護利用一定以上のアドバイザーとして参加 8/18 2022.9/22 久野圏域ケア会議開催 今年度は個別ケア会議開催にいたるケースはなかった。 ◆ |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 2 件 0 回 0 回 1 回 1 回 | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|--|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇認知症の相談に関して 小田原市作成のケアパスなど利用。 8/2認知症サポーター養成講座9名参加 6/20は2圏域の民生委員と勉強会を開催（認知症とは。認知症の方への接し方） ◆ |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | 1 | 回 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | | 1 | 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0 | 件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|--|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇民生委員の交流会（隔月）と講話活動（7/8おだわら学友会」出前口座） ◆ |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 情報発信・講座等の実施回数 | | 9 | 回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇相談者、ケアマネジャーの相談内容に対して多面からのアセスメントを行い必要に応じた介護保険や社会資源、インフォーマルサービスの利用を提案するようになっている。 再委託に関しては本人や支援者の希望などがある場合は、再委託をお願いしている。 ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | 104 | 件 | | |
| うち再委託件数 | 50 | 件 | | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | 49 | 件 | | |
| うち再委託件数 | 13 | 件 | | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日： 2023年 3月 31日)

地域包括支援センター名：ひがしとみず

記入者名： 奥津 美恵

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | コメント |
|--|----------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 ◇人員については、現状は確保できているが、法人内での異動などもあるため今後も安定的に人員確保できるように法人事務局と連携を図っていく。 ◆3月末で看護師が異動となるが、4月より保健師が配置となる。地域包括の経験がないため今後教育指導が必要である。専門職の安定的な雇用については、継続して法人と連携し取り組む。 |
| | 数字を入力 | | | |
| | 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） | | | |
| | ア 保健師・看護師 | 1 | 人 | |
| | イ 社会福祉士 | 2 | 人 | |
| | ウ 主任介護支援専門員 | 1 | 人 | |
| エ 介護支援専門員 | 1 | 人 | | |
| オ その他 | 0 | 人 | | |
| ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | 4 | 年 | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇職員各自に会社携帯を貸与しており、緊急対応が必要な場合には連絡がとれる体制を整えている。また、アプリを活用し事業所内の情報共有できるようになっている。 ◆次年度以降も同様の対応を行う。 |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇自然災害時のBCPについては作成できている。感染症については今後作成予定である。 ◆次年度の前期で感染症についてのBCPを法人作成のBCPと照らし合わせて作成する予定である。 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇外部研修については、職員全員が積極的に参加している。また、各職種に必要な研修についても管理者判断で参加するよう提示している。外部研修の内容で多職種も共有が必要なものについては回覧している。法人内の研修については、年次ごとに必要な研修が組まれている。法人内相談職を対象として毎月事例検討会を開催し全員が参加できるようにしている。 ◆研修参加への意欲があるため、次年度も職員個々に必要なスキル獲得の為研修への参加は奨励したいと考えている。また、法人として参加してもらいたい研修についても職員の意向を確認しながら調整を行う。 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 研修参加回数 | | 98 | 回 | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇個人情報取り扱いの規定については法人で作成したものを周知している。個人情報についてはキャビネットに保管し、持ち出す際には管理台帳に記載し最小限にとどめるようになっている。個人情報の取り扱いについては、利用者及び家族の同意を得たうえで他機関への提供を行っている。 ◆今年度同様の対応を次年度も実施する。 |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|-----------------------------|----|--|-------------------------------------|---|
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ケースの内容に応じて、専門職が対応をしている。困難事例や虐待ケースなどは職員二人体制で対応するようにしている。朝のミーティングでは1日の職員個々の行動予定や緊急で共有したい内容を伝えている。その他週1回各自が担当しているケースの近々の状況報告（特に総合相談に関わる事）をし職員間での共有を図っている。 ◆週1回のミーティングは、今年度から開始したことであるが、情報共有に有効であるため次年度以降も継続とする。 |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇報告書等については、期限前までには提出するよう心掛けている。業務内容については、朝のミーティングと週1回の担当ケース共有の為にミーティングで把握するよう努め、必要なアドバイスを行っている。また月1回各職員から提出される管理台帳により介護予防支援等の担当ケース数についても把握している。関係団体等からの要望・意見があった場合には、内容を検討し対応できるよう努めている。また、要望等があった場合には市へ報告する予定である。苦情等については報告するスキームがあるためそれに従って報告を行っている。 ◆提出書類については、期限前の提出を心掛けているので次年度以降もそのように対応する。今年度民児協からの評価内容は職員で共有し不足と感じている民生委員の方も一部いられることを真摯に受け止め次年度以降の活動に活かしたいと思う。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|---------------------------|---|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | ◇コロナ禍で自治会のサロン等の開催が中止となり難しい状況であるが、民児協の会合には毎月参加し高齢者等の情報収集に努めている。相談内容に応じて、適切なサービスや機関への紹介など実施できている。週1回のミーティングでセンター内の共有はできている。個別ケア会議は開催していないが、必要時にミニカンファレンスをセンター内でを行い、対応方法など協議している。 ◆下半期に、個別ケア会議を2回開催できた。多職種が参加してのカンファレンスを個別ケア会議に位置づけられれば回数的には増えると思うが、書類等の準備に割く時間的問題もあり、この回数に留まってしまった。服部先生の研修を受け、個別ケア会議への意識変化もあり次年度は期待できるのではないと考えている。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | |
| | 数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数 | <input type="text" value="297"/> 件 <input type="text" value="1179"/> 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | ◇三師会が開催する研修への参加や受診同行などにより主治医との連携など積極的に関係機関とネットワークが構築できるように取り組んでいる。 ◆圏域ケア会議への参加依頼やケース対応の中で、三師会とのネットワーク構築は現在もできていると感じている。必要時には三師会の連携室に相談もできている。次年度も同様の対応を心掛ける。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|-----------------------|---|---|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <p>◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等</p> <p>◇成年後見制度についての相談や法的判断が必要な相談があった場合には、司法書士や地区担当の行政書士の方に相談し対応している。今年度はケース対応で、3件専門職に相談し対応を行った。</p> <p>◆今年度は法律専門職が参加してのケア会議実施には至らなかった為圏域ケア会議も含め次年度の課題としたい。</p> |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | |
| | 数字を入力 | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 0 回 | |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 0 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <p>◇認知症等により判断能力が低下したことにより生活に破綻をきたしているようなケースの場合には、必要に応じて成年後見制度等を提案している。本人や親族申し立ての場合には、手続きの方法を指導し後方支援体制を整えている。また市長申し立てが必要と思われるケースについては市へ報告し市担当者との協議し対応している。</p> <p>啓発活動については、11月に開催予定の「私のまちの保健室」で社会福祉士への終活等の相談受付を行う予定である。今後は、成年後見制度についても講話も予定していたが、実施できなかった。</p> <p>◆成年後見制度の利用対象は、年々増加傾向にある。社会福祉士が2名体制であるため増加する事に対しては十分に対応できていると考えている。今年度予定していた地域住民への普及啓発については、次年度に「私のまちの保健室」で実施する。</p> |
| | 35 | 本人や親族が申し立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申し立につなげられるよう支援体制を整えている。 | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | 5 件 | | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | 0 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <p>◇運営推進会議への参加や包括主催の研修等を通じて圏域内の事業所等とのネットワーク構築をすすめ、虐待についての相談がしやすい関係構築を目指している。また、虐待の相談があった場合には、マニュアルに沿って適切な対応をする体制は整備されている。</p> <p>◆虐待対応については、主に2名の社会福祉士を中心に対応を予定しているが、新人の職員でも対応可能なように必要な研修へ参加し一定レベルの知識習得を目指す。</p> |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | 3 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <p>◇”かりがわだより”の発行を年4回予定しており、春号に消費者被害防止についての内容を掲載し自治会を通じて周知した。</p> <p>下半期には、詐欺被害の報告や消費者被害につながる可能性がある相談を受理した。その際には、相談者に対して消費生活相談センター等の情報提供を行った。</p> <p>◆次年度は、”かりがわだより”への掲載と「私のまちの保健室」の中での広報活動も実施したい。</p> |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| 消費者被害にかかわる相談件数 | 1 件 | | |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | 1 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------------|------------------------------------|--|--|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | 3 回 |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 50 人 | ◇年度初めに包括主催の研修の年間計画を作成している。(年3回を予定) 介護支援専門員や民生委員を対象とした研修を企画し圏域外の居宅にも案内を出している。上半期は「高齢者の心の支援」という内容での研修を開催した。下半期には「事例検討会」と法人内包括の保健師等が企画する栄養に関する研修を実施できた。 ◆次年度も今年度同様に法人内包括と連携し年3回の研修を計画する予定である。ズームでの開催ではなくハイブリッド又は会場など参加者の顔の見える関係づくりを意識しての開催を企画したい。 |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 47 | 関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 9 回 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 2 件 |
| 個別ケア会議 実施回数 | | 2 回 | |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 0 回 | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 回 | ◇自立支援ケア会議への事例提出及び傍聴することで、自身のケースへ水平展開し自立に向けた支援につながるよう努力している。 個別ケア会議については、下半期に2回開催できた。その他にも多職種参加のカンファレンスもあり個別ケア会議として開催できれば良かったと振り返っている。 ◆自立支援ケア会議については例年通りの参加である。個別ケア会議は、今年度の反省点を踏まえて地域課題の抽出も考えながら開催数は増やしていきたい。圏域ケア会議は3/9にズームで開催した。計画では年2回を予定していたが、難しかった。次年度は、年1回にしても年度末の忙しい時期を外しての開催を計画したい。 |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | |
|------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|---|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇上半期は認知症サポーター養成講座を2回実施した。内1回はオンラインで行った。下半期は、サポーター養成講座は計3回内2回がオンライン。また、コロナ禍で休止することもあったが月1回”オレンジカフェこうちなか”の開催協力している。 ◆次年度は小学生向けの認知症サポーター養成講座も実施したいと考えている。今年度実施した小学生向けの高齢者体験も継続的に実施できたらと考えている。また、「私のまちの保健室」でもミニ認知症サポーター養成講座の開催も予定している。 | |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 5 | | 回 |
| | 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | | 0 | | 回 |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇認知症が疑われるような方について相談を受けた場合には、適切な医療機関を紹介し早期に受診できるよう支援している。必要な場合には受診同行も行っている。また、介護者へは、家族会やオレンジカフェの案内をしている。 ◆認知症が疑われる方や周辺症状で困っている介助者への支援は今後もタイムリーに実施していきたい。その上で認知症初期集中支援事業に相談すべきケースがあった場合にはチーム員会議に乗せていきたいと考えている。 | |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0 | | 件 |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------|------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇地域のサロン活動が休止の状態であるが、包括主催で”私のまちの保健室”を開催し介護予防についての普及啓発活動を実施した。今年度は6回実施できた。 ◆次年度も月1回の開催を予定している。同じ内容で3回をワンクールとして4クール。健康づくり課や市社協の協力を仰ぎながら内容の充実を図りたい。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 | | 7 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇総合事業への移行時に配属されていた職員がほぼいない状況であった為理解という点では不十分であったと思われるが、主マネ部会主催の服部先生の講義を受けたことで理解が深まったと思われる。 地域住民へ周知する機会が現状ではないが、今後、”私のまちの保健室”で周知・説明する機会を作りたい。 ◆今年度の主マネ部会主催の研修を経て、職員に総合事業について概ね理解できたと思われるので、次年度は、民児協や各サロン活動の中で周知をしていきたい。 |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇アセスメントを行い、デマンドではなく専門職として捉えたニーズを達成するために必要なサービスにつなげるようにしている。プランには、意識的にインフォーマルサービスを位置づけるようにしている。 短期集中通所型サービスについては、今年度は3名の方が利用につながった。再委託については、厳しい状況ではあるが公平・中立な観点から実施している。 ◆適切なケアマネジメント手法を取り入れ、アセスメント力・ケアマネジメント力の向上を図り、適切なサービスにつなげ、利用者のQOL向上を目指したい。 |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護予防サービス計画件数 | | 142 | |
| うち再委託件数 | | 6 | 件 | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 85 | 件 | |
| うち再委託件数 | | 7 | 件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|-------------------------------------|--|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・”かりがわだより”の年4回の発行 ・”わたしのまちの保健室”の開催 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇”かりがわだより”については、今年度年4回発行した。高齢者への情報提供を中心にしている。また介護予防と包括紹介を年間企画として全4回掲載している。自治会を通じて回覧、高齢介護課窓口に配架をしている。 今年度初めて法人所有の足湯を活用し”私のまちの保健室”を7月に開催した。その後コロナまん延で開催を見送っていたが、11月から月1回定期的な開催が実施できた。内容は、介護予防など高齢者が知ってためになるものを中心に企画し健康づくり課と連携して開催することができた。 ◆次年度も”かりがわだより”は年4回の発行を予定。”私のまちの保健室”も月1回第三水曜日の午後、地域ごとに分けて3回をワンクールとして年4クール実施予定としたい。 |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：令和5年3月31日)

地域包括支援センター名：地域包括支援センターとみず

記入者名： 若松 麗葉

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|--|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇保健師・看護師の勤務時間変更を実行。 ◆事業所移転を実行した直後でもあり、ご利用者や地域関係者との紐帯を維持するためにも、可能なかぎり体制変更は小さく済むよう配慮すべき時期。この点を法人と共有しながら、人的な体制整備を検討してゆきたい。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） | | | |
| | ア 保健師・看護師 | 1.6 人 | | |
| | イ 社会福祉士 | 1 人 | | |
| | ウ 主任介護支援専門員 | 1 人 | | |
| | エ 介護支援専門員 | 1 人 | | |
| | オ その他 | 0 人 | | |
| | ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | 5.4 年 | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇自然災害版BCPを策定。所内共有は行った。訓練は未実施に終わってしまった。 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇従事者連絡会議での情報提供が不十分だった。今年度は主任介護支援専門員・介護支援専門員の更新研修対象者が多く、いわゆる学習のための研修受講が手薄になってしまったが、必要に応じて受講調整を図った。 ◆ |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 | | 3 回 | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇年度途中からであるが、これまでの所内カンファレンス（月1回）に加えて、週1回ペースでミニカンファレンスを開催し、新規受理ケースを中心にケース対応の内容について共有、支援方針の協議を行っている。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|------------|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-----------------|--|-------------------------------------|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇まちづくり委員会健康福祉分科会が企画するラジオ体操に参画（ラジカセとCDを職員が持って参加、チラシの作成と印刷など）し始めた。包括独自企画はまだない。 ◆ |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 新規相談件数 | | 267 | |
| 相談延べ件数 | | 311 | 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇かりがわだよりを地区回覧板で地域住民に閲覧してもらえるよう働きかけている。 ◆ |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|--------------------------------|---|-------------------------------------|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要な応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="0"/> 回 |
| | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="0"/> 回 |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input type="checkbox"/> |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 成年後見にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="1"/> 件 |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="0"/> 回 | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="3"/> 件 |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="0"/> 件 |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="0"/> 回 | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|--------------------------------------|--|--|-------------------------------------|--|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携を図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇入退院時の情報共有の場が思うように設定できず、支援開始に不安定さが伴った。 ◆ |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 3 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇かりがわ道場開催（8月19日「高齢者の心の支援」実施、11月10日「独居高齢者を地域で支えるために」、2月27日「高齢者の低栄養を予防するために」） ◆ |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 3 回 人 | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ワーカー懇談会（9月9日開催）。年1回程度集合し、懇談の場を持ちながら、有機的な動きに発展させてゆきたい。 ◆ |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 6 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇まちづくり委員会健康福祉分科会への参加。お茶会ブロックでのラジオ体操開催を働きかけている。（飯田岡・若宮地区、穴部ブロック、新屋自治会で開催） ◆ |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆圏域ケア会議の開催 |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 2 件 | |
| | 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 2 回 0 回 | |
| 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 回 0 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------|------------------|--|-------------------------------------|--------------------------|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | <input type="text" value="1"/> 回 | |
| | | 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | <input type="text" value="0"/> 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇事例提出（9月20日） |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | | 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | <input type="text" value="1"/> 件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|--------------------------|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | | 情報発信・講座等の実施回数 | <input type="text" value="4"/> 回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 | | | | |
| | | 介護予防サービス計画件数 | <input type="text" value="62"/> 件 | |
| | | うち再委託件数 | <input type="text" value="4"/> 件 | |
| | | 介護予防ケアマネジメント件数 | <input type="text" value="61"/> 件 | |
| | | うち再委託件数 | <input type="text" value="4"/> 件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日： 2023 年 3 月 31 日)

地域包括支援センター名：地域包括支援センターさくらい

記入者名： 栗原 千恵

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|--|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆10月から主任介護支援専門員不在。職員募集、資格取得に向けて研修参加等している。4/1から非常勤だが主任介護支援専門員配置予定。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="2"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value=""/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value=""/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="5.3"/> 年 | | | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(4) オンライン研修も含め、積極的に参加している。 (6) 朝のミーティングや回覧を利用し、職員間での情報共有を図っている。 ◆ |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="35"/> 回 | | | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(15) 健康づくり課との共催活動について、情報提供をした。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|--|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(19) 地域の集いの場として、健康づくり課や連合自治会長と話し合いをしている。地域の方の要望もあり「音読の会」を月2回開催できるよう、場所の貸し出しや印刷物、広報などの開催支援を行っている。 ◆ |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|----------------------|-------|--|-------------------------------------|--|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(23) サロンや地域の見回り活動に参加し、実態把握に努めている。 (24) 各事業所のパンフレット等を手に取りやすいよう陳列、必要時に渡せるようにしている。 (28) 必要に応じ地域住民にも声をかけケース会議を行っている。 ◆実態把握について、土曜・祝日の開所や夜間・休日の電話対応等で相談を受けられることがあるが、行政や関係機関が休んでいると介入ができないジレンマがある。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 新規相談件数 | | 259 件 | | |
| 相談延べ件数 | | 819 件 | | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(29) 居宅介護支援事業所や民生委員を対象とした「かりがわ道場」を、他包括と共に主催した。 (30) 地区社協役員会やサロンへの参加等、地域への集まりに積極的に参加している。包括に交流スペースもあるため、気楽に立ち寄り相談できるよう工夫している。 ◆突然の来訪者も多いため、職員が常に事務所にいるよう職員配置をしたいが、訪問や会議等が重なりできないこともある。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|---|-----|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇社会福祉協議会の成年後見制度中核機関等も活用し、相談体制を整えている。 ◆ | |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要に応じて法律専門職が参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | | | 1 回 |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | | 0 回 | |
| | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(36) 今年度は包括主権はなかったが、中核機関の研修を周知・申し込み支援をする等して共に学んだ ◆コロナ禍で中止されていたサロン等も再開ははじめているため、主催者と連携をはかりながら、普及啓発活動を行ってきたい。 | |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | | | 1 件 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | | 0 回 | |
| | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ | |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | | 2 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(39) (40) 地域の見回り活動時に消費生活相談センターで作成した普及啓発物品を配布した。 ◆ | |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | | | | 0 件 |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | | 0 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------|--|--|-------------------------------------|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 3 件 |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input type="checkbox"/> |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 3 回 30 人 |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 11 回 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 2 件 2 回 0 回 0 回 0 回 |

◆今まで困難ケースを中心に個別ケア会議を開催していたが、迅速な対応が求められることや、コロナ禍でたくさんの方が集まることへの抵抗感があることでケース会議とすることが多かった。個別ケア会議開催が少ないことで圏域ケア会議にもつながっていかない。ケア会議のあり方を見直し、計画的に開催できるようにしていく。

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------|------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 2回 | |
| | | 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | 0回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇（57）おだわら・はこね家族会の周知は行っていないが、圏域内に家族会開催があるため、そこへの周知や参加を行っている。 （58）事例提出にまでは至っていないが、相談ケースを2件あげ、支援方法を検討・対応している。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | | 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | 0件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|---------------|--|-------------------------------------|--|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇（59）1月から、月1回保健師より介護予防のレクチャーを開催。「かりがわだより」を作成し、包括や介護予防に関する情報提供をしている。 （60）健康づくり課、自治会と共に「伸ばそう！健康寿命!!」を開催。栄養バランス7日間チェックシートを活用した。 ◆サロン主催者も内容に悩んでいることもあり、来年度は健康づくり課とのマッチングも行いながら、介護予防に向けた働きかけをより積極的に行っていく。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 情報発信・講座等の実施回数 | | 5回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 | | | | |
| | | 介護予防サービス計画件数 | 112件 | |
| | | うち再委託件数 | 19件 | |
| | | 介護予防ケアマネジメント件数 | 69件 | |
| | | うち再委託件数 | 7件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|-------------------------------------|--|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・包括の交流スペースが立ち寄る場、集いの場となるよう工夫する。 ・ ・ | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇「さくらい本箱」を不特定多数の方が利用されるようになっている。書道教室を開催したことで、場所の周知や交流スペースについても広報することができ、音読の会開催につなげることができた。その他、各地域団体の会議開催等も行われている。 ◆地域活動が少しずつ再開されはじめている。交流スペースもより活用できるよう地域団体とも連携を図りながらイベント開催や趣味活動支援等を行っていききたい。 |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：令和5年 4月 11日)

地域包括支援センター名：地域包括支援センターさかわこやわた・ふじみ

記入者名： 石原 辰治

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input type="checkbox"/> | ◇令和4年12月末にて保健師退職 ◆保健師・看護師を配置する。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 <input type="text" value="0"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="1"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="3"/> 年 | | | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (4) 6/21 COPDに関する研修 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="21"/> 回 | | | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (10) 個人情報持ち出し管理簿は使用していないが、スケジュール管理表で把握している。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (12～14) 毎朝の朝礼、月に1度の包括ミーティングを実施し新規ケース、困難ケースの相談、報告、支援方針の共有、主担当の決定を行っている。専門性を活かしたケース対応ができるようケース検討しチームアプローチが行える体制を取っている。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|---|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(17) (18) 朝礼やミーティングにて課題の確認、支援の方向性を確認しアドバイスしている。 (21) 苦情は社内マニュアルに沿って対応する体制が整っている。 (22) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認する体制となっている。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|--|--|-------------------------------------|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(23) 民生委員や市役所からの情報提供をもとに個別訪問は必要性がある高齢者には行っている。酒匂・小八幡地区ではコロナ禍で高齢者の地域活動は自粛されていた。富士見地区では7月からサロン活動が再開されたため参加し実態把握に努めている。 (25) (26) 継続的な支援が必要なケースについては、定期的な状況確認を行っている。 (28) 必要性がある際は個別ケア会議を専門家に参加してもらい実施している。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 新規相談件数 <input type="text" value="215"/> 件 相談延べ件数 <input type="text" value="2073"/> 件 | | | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(29) (30) 状況に応じて民生委員、自治会長会議に参加している。 (31) 定期的に包括だよりを作成して周知している。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|--------------------------------|---|---|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="1"/> 回 |
| | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="0"/> 回 |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 成年後見にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="14"/> 件 |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="1"/> 回 | ◆ |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="20"/> 件 |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> |
| | 数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="2"/> 件 |
| | 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="2"/> 回 |
| | | | ◆ |
| | | | ◇ (32) 必要時に相談している。 ◇ (33) 個別ケア会議に行政書士に参加してもらい意見をもらう。 |
| | | | ◇ (36) 9/22、2/21のサロン活動の中で成年後見制度についての講話を行った。 |
| | | | ◇ (37) 民生委員、ケアマネジャー、介護サービス事業所とのコミュニケーションを図り、虐待の早期発見に努めている。 |
| | | | ◇ (39) 9/22のサロン活動の中、11/9まるみカフェにて消費者被害防止についての講話を行った。 ◇ (40) 8/16の富士見サロンにて警察官に来ていただき消費者被害の説明をしていただき、連携して対応していくことになる。 |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | |
|----------------------------|------------------------------------|--|---|-----|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | ◇ (41) 状況に応じて病院を訪問するなど連携を図り、状態の確認や今後の生活の支援方法の検討、調整を行っている。 ◆ | |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | | 8 件 |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | ◇ (42) (43) 市内同法人包括合同での、介護支援専門員を対象にした交流会「茶っと会」を7/25、1/24に開催。年度当初に開催計画を立て、介護支援専門員に周知している。 (44) 困難ケースは相談や同行訪問などを行い継続的な支援を行うようにしている。状況によっては個別ケア会議開催している。 ◆ | |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | | 2 回 |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 14 人 | | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | ◇ (46) 4/12、12/13富士見地区、4/13、12/14に酒匂・小八幡地区の民生委員の会議に参加し情報交換を行う。 ◆ | |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | | 2 回 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | ◇ (48) (50) 自治会長会議、民生委員会等に参加し情報の共有を図っている。又高齢者の居場所作りを行う準備をしている。 ◆ | |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | ◇ (52) 6/13、8/12、9/30に個別ケア会議実施。 (53) 11/22富士見地区圏域ケア会議実施 ◆ (53) 酒匂・小八幡地区での圏域ケア会議未実施。来年度に予定している。 | |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | | 3 件 |
| | 個別ケア会議 実施回数 | | | 4 回 |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 3 回 | | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(54) 包括だよりに認知症についての内容を記載し市民に配布した。認知症カフェで認知症についての講話を行った。12/1, 3/2に認知症サポーター養成講座行う。 (55) 相談時に家族や相談者に配布し受診を促している。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 2回 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く) | | 0回 | ◆ | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0件 | | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇サロン「たまるん」や富士見サロンにて介護予防の体操や介護予防についての講話を行っている。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール(リーフレットや動画等)を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 情報発信・講座等の実施回数 | | 2回 | ◆ | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ |
| | 65 | 総合事業(短期集中通所型サービス)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | | 126件 | | |
| うち再委託件数 | | 25件 | | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 99件 | | |
| うち再委託件数 | | 26件 | | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日： R5年 4月 6日) 3月末評価

地域包括支援センター名：しもふなか

記入者名： 室田 美幸

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | 評価 | コメント |
|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 ◇包括業務の運営マニュアルを作成している。 ◆新人職員の採用と教育について検証し定着率を上げる。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="2"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="4"/> 年 | | | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇当番を決め漏れのないように努めている。 ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇BCPを作成したので折を見て内容を更新し再検討する。 ◆感染症のBCPを作成し自然災害用とともに内容を精査していく。 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (5) 法人主催の倫理及び法令遵守、個人情報保護の研修に参加（参加者2名） R4.12～包括センター内の勉強会を行っている。 (6) 研修の資料などに不備がないようにする事、研修内容の目的を説明している。 (7) 研修ではないが有益情報として、包括代表で出席している健康増進計画委員会の情報を提供した。 ◆ (7) 有益な情報がある時は従事者連絡会で情報共有をする。 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="58"/> 回 | | | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (11) 未認定の方のアセスメントをする際、暫定となるが契約を交わし個人情報を慎重に扱っている。また包括センターの職員の個人情報を守るよう指導をしている。 ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (12) 各職種間で情報共有を図り、専門性を活かしたケース対応をしている。 (13) 毎朝のミーティングで担当しているケースの内容を報告している。 (14) ケース内容により担当者とのスタッフとの訪問を実施している。 (15) 各包括センターのサービスについて情報交換をしている。 ◆ (12) (14) 包括センター内で月に1回の勉強会を継続していく。 |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|-------------------------------------|--|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (17) (18) 包括センター内の対応の標準化を図り課題の明確化、助言を行っている。 (19) (20) (21) 管理者業務として情報を取りまとめ関係機関と連携を図り対応している。 (全て) 業務改善に向けて包括センター内で月に1回の勉強会をしている。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-------|--|-------------------------------------|--|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (全て) サービスの利用有無にかかわらず、高齢者の把握を積極的に行っている。 コンパスたいむやサロン等の情報を伝え外出を促している。 ◆ (全て) 事例ごとの検討は引き続き行っていく。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 新規相談件数 | | 243 | 件 | |
| 相談延べ件数 | | 433 | 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (全て) 「しもふなかコンパス」の活動により大いに地域への発信を行いネットワークを構築している。 (30) 民生委員の定例会に参加する事となった。 (31) しもふなかコンパスVOL4の発行、配布を行っている。 ◆ (全て) 民生委員との交流を深めていく。サロン等に参加し地域の方に包括センターの周知を図っていく。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|---|--|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="0"/> | 回 | |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | <input type="text" value="1"/> | 回 | ◇ (32) 任意後見の契約をしている専門職と情報交換を行い協力体制を築いている。 (33) 圏域ケア会議は12/8・3/23に実施した。 ◆ (33) 法律専門職との連携を深めていく。 おだわら成年後見支援センターとの連携を図れるようにしていく。 | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="2"/> | 件 | ◇ (34) (35) ケアマネジャーからの制度利用についての相談を受け説明を行っている。 (36) サロンにて成年後見制度の講話を行った。 ◆ (36) サロン等で成年後見制度の啓発活動を行っていく。 | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="1"/> | 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="4"/> | 件 | ◇ (37) 日頃から関係機関とのネットワークがある事で虐待の早期発見ができている。 (38) 包括内研修で虐待の初期対応を学んだ。 ◆ (37) (38) 虐待の適切な初期対応が行えるようにしていく。 | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | | <input type="text" value="1"/> | 件 | ◇ (39) サロンで悪質商法、詐欺についての講話を行った。 ◆ (40) 消費者被害防止に関する対応についてマニュアルを作成し体制を整えていく。 |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | <input type="text" value="0"/> | 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇担当をしている方が入院をした際には速やかに在宅サマリーを提供し、関係者間で情報の共有を図っている。 ◆ |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 2 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(42) (43) 包括センター圏域内でのケアマネ交流会「むらカフェ」を再開した。 (44) ケアマネジャー支援として相談に対し助言をしている。 ◆(44) 個別ケア会議の開催等、ケアマネジャーに対し包括センターからの働きかけを強化していく。 |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | 2 回 | |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 12 人 | | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(46) 民生委員と同行訪問をしたり、情報提供をしている。また、しもふなかコンパスでの交流があるので相互に協力体制ができています。 (47) 研修には積極的に参加している。 ◆ |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 14 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(全て) 「しもふなかコンパス」の活動が、包括センターとしての活動につながっている。 ◆(全て) 社会資源開発のために個別ケア会議を有効的に開催していく。 |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(51) 自立に向けた視点を学んでいるので日頃の支援に役立っている。 (53) 圏域ケア会議は12/8・3/23に実施した。 ◆(52) 個別ケア会議の開催について、困難事例に限らず事例に見合った内容での開催をしていく。 |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 2 件 | |
| | 個別ケア会議 実施回数 | | 2 回 | |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 2 回 | | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 2 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (54) 市民向けの養成講座を実施した。その際に認知症ケアパスの周知を行った。 ◆ (54) 認知症の正しい知識と普及に関し積極的に行っていく。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 1 回 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数 (認知症サポーター養成講座を除く) | | 3 回 | | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | (56) 認知症の早期診断のために専門医につながる支援を行っている。 (57) おだわら・はこね家族会の周知を図るとともに参加をするようにしている。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0 件 | | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (59) (60) 4月認知症啓発の寸劇、7月口腔ケアに関連した介護予防の話、脱水症の話などを行った。2月コグニサイズを含めた運動を実施した。コンパスたいむやサロン等の情報を伝え外出を促している。(再掲) ◆ (59) (60) リーフレットを用い介護予防の情報を発信させていく。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール (リーフレットや動画等) を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 情報発信・講座等の実施回数 | | 1 回 | | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (61) 主マネ部会の研修を包括センター全体の研修として受けた事で総合事業の理解が進んだ。 ◆ (62) 地域住民に総合事業を周知していく機会を増やしていく。 |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (全て) 適切なサービスにつなげていくように支援をしている。 (全て) 包括内研修でケアマネジメントの基礎を学んだ。 ◆ (64) インフォーマルサービスの活用など幅広いケアマネジメントを展開していく。 |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業 (短期集中通所型サービス) の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 | | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | | 143 件 | | |
| うち再委託件数 | | 18 件 | | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 111 件 | | |
| うち再委託件数 | | 9 件 | | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日： 令和 5年 4月 1日)

地域包括支援センター名：とよかわ・かみふなか

記入者名：池田 純一

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ 1/7社会福祉士1名退職。3/1介護支援専門員入職。 | | | | | | | | |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 イ 社会福祉士 ウ 主任介護支援専門員 エ 介護支援専門員 オ その他 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | <table border="1"> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>1</td><td>人</td></tr> <tr><td>1.7</td><td>年</td></tr> </table> | | 1 | 人 | 1 | 人 | 1 | 人 | 1 | 人 |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | |
| 1 | 人 | | | | | | | | | | | |
| 1.7 | 年 | | | | | | | | | | | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ | | | | | | | | |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◆ | | | | | | | | |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (4) 5/6 包括職員初任者研修 (1名) 5/28 法人後見担当者基礎研修 (1名) 6/19 終活講座 (1名) 8/18 精神障害のある方の支援拒否 生活困窮 (1名) 8/31 地域包括職員養成研修 (1名) 8/31 報徳食品支援センター 食料支援を知る (1名) 12/1 多職種共同研修 (1名) 12/22 地域共生社会づくり (1名) 1/12 包括職員研修 (1名) (5) 法人主催研修 5/31 アセスメント研修 (1名) 7/21 マニュアル研修 (3名) 10/21 高齢者虐待研修 (3名) 1/19 支援経過記録研修 (3名) 2/16 包括職員の活動等ナレッジ共有の研修 (2名) 3/24 コミュニケーションスキル研修 (3名) (6) 毎月の包括ミーティングや朝礼で研修の報告をし、情報共有を行なっている。 | | | | | | | | |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 数字を入力 研修参加回数 | | 15 | | 回 | | | | | | | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (10) 個人情報持ち出し管理簿は使用していないが、スケジュール管理表で把握している。 ◆ | | | | | | | | |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (12)～(14) 毎朝の朝礼時に新規相談の報告を行いセンター内で情報を共有し、ケースの見立て、主な担当を決定している。必要時法人スーパーバイザーが朝礼に出席し事例検討を行なっている。月1回包括ミーティングを開催し、チームアプローチが行える体制を取っている。 ◆ | | | | | | | | |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | | | | | | | | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | | | | | | | | |

| | | | | |
|------------------|----|--|---|---|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | ✓ | ◇ (16) 適宜、期日までに必要な書類の提出および報告を行っている。 (17) (18) 朝礼やミーティングにて課題の確認、支援の方向性を確認しアドバイスしている。 (21) 苦情は社内マニュアルに沿って対応する体制が整っている。 (22) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認する体制となっている。 ◆ |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスをを行っている。 | ✓ | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | ✓ | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | ✓ | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | ✓ | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | ✓ | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | ✓ | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-----------------|--|-------|---|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | ✓ | ◇ (23) ~ (26) 民生委員、住民、病院等からの情報提供に対し、状況に応じた連携や支援を積極的に行っている。 個別相談や実態把握において電話対応だけでなく自宅に訪問することで生活全体を視野にいれたアセスメントを行い、状況に応じた連携や支援を行っている。 (27) (28) 包括内でケースの相談や情報を共有し、専門職を含めた個別ケア会議の開催を行なった。 ◆ |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | ✓ | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | ✓ | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。 | ✓ | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | ✓ | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | ✓ | |
| | 数字を入力 新規相談件数 | | | |
| 相談延べ件数 | | | 328 件 | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | ✓ | ◇ (29) (31) コロナ禍ではあるが感染防止に努め、ケアマネ交流会（茶つと会）、個別ケア会議、圏域ケア会議などを通して、他職種との連携の場を持つようになっている。包括だよりに包括の取り組みなどの情報提供を盛り込み、1回発行した。豊川地区・上府中地区への全戸回覧も行った（1回）。出張相談の際に、包括紹介パネルやパンフレット掲示を行う。 (30) サロンやまちづくり委員会、豊川コミュニティ運営協議会等に参加し民生委員などから、情報を収集している。 ◆ (31) 包括だよりの回覧頻度を増やすなど積極的に周知活動を行なっていく。出張相談の際の包括紹介とパンフレットの掲示を継続していく。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | ✓ | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | ✓ | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 | | |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|--|--|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (32) ケースに応じて法律専門職に随時相談ができる体制になっている。 | |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 0 | 回 | | |
| | 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 0 | 回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (35) 5月、2月にケアマネジャーから相談あり情報提供を行う。また包括から市のケースワーカーに相談し、同行訪問など対応した。 ◆ (36) 地域住民に対して、成年後見制度の内容を具体的にわかりやすく周知していく。 | |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 成年後見にかかわる相談件数 | 8 | 件 | | |
| | 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | 0 | 回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (37) 日頃から駐在所、ケアマネジャーとのコミュニケーションを図り、虐待の早期発見に努めている。 ◆ (37) 継続して、地域の方や駐在所、ケアマネジャーとの関係を築いていく。 | |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 高齢者虐待にかかわる相談件数 | 8 | 件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (39) サロンにて地域の高齢者対象に啓発活動実施。 ◆ (39) 消費者被害について「たより」等で情報発信していく。 | |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 | | | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | 0 | 件 | | |
| | 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | 0 | 回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|--|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携を図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ 必要時は病院を訪問するなど連携を図り、利用者の状況や、今後の在宅での生活支援方法等の調整を行なっている。 ◆ |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 5 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (42) (43) 市内同法人包括合同での、介護支援専門員を対象とした交流会「茶つと会」を7/25.1/24に開催した。 (44) 困難ケースは同行訪問を行ない、訪問後も定期的にケアマネと連絡を取り情報共有を行っている。 ◆ (44) 地区の主任介護支援専門員に圏域ケア会議に出席いただき、地域とのネットワークづくりを行う。 |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | 2 回 | |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 30 人 | | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ サロンや運営推進会議、まちづくり委員会等に参加し地域の方や民生委員と関係性の構築に努めた。 ◆ (47) 関係機関が開催する勉強会や研修会などに積極的に参加し、顔の見える関係づくりを行なっていく。 |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 6 回 | | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (48) (50) 地域の運営推進会議、まちづくり委員会へ参加し、社会資源の情報を把握している。事業所内（3職種）で地区診断を行ない、地域資源や地域課題などを包括内で共有し、圏域ケア会議等で地域住民と共有している。 |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (51) 自立支援ケア会議を通じて「自立支援」の視点にたったケアマネジメントを常に意識するように心がけている。 (53) 7/28千代公民館にて上府中地区圏域ケア会議を開催。 ◆ (53) 豊川、上府中地域で各一回ずつ圏域ケア会議で開催する。 |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 0 件 | |
| 個別ケア会議 実施回数 | | 2 回 | | |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|--|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (54) 2/8梅の里センターにて認知症サポーター養成講座実施。 (55) 認知症についての相談の際、ケアパスを用いて説明と配布をした。 ◆ (54) 圏域内での認知症サポーター養成講座のには積極的に参加していく。地域のサロンやたよりで啓発活動する。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 1回 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | | 0回 | | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (57) 居宅介護事業所のケアマネジャーにおだわら家族会や認知症カフェの情報を伝えたところ、認知症カフェの参加に繋がった。認知症カフェロバのあしに毎月参加し、当事者や介護者との交流、情報共有の場としている。 ◆認知症フォーラムなど認知症にんちしよう会のイベントに参加しながら地域の方々に認知症に関心を持ってもらえるように周知する。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0件 | | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|---------------|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ サロンやロバのあし（毎月第一火曜日開催。地域の高齢者や認知症当事者及びその家族等が参加して地域と一緒に散歩する）に参加し、自立支援・重度化防止に向けた意識向上のための取り組み、情報共有を行っている。 ◆次年度も積極的にサロンや認知症カフェに参加し、介護予防・自立支援についての普及啓発活動を継続して行っていく。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 情報発信・講座等の実施回数 | | 3回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (61) (62) 研修に参加するなど包括内で制度理解に努めている。個別ケア会議、圏域ケア会議、サロンの時などに、地域包括システムについて説明している。 ◆ (62) 総合事業実施の背景や地域の支え合い体制の必要性などを圏域ケア会議やサロンで説明していく。 |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (63) (64) (66) 利用者・家族の意向を確認しながらアセスメントを行なっている。 サービス紹介時に事業所を複数紹介することで公平・中立の立場で実施している。また、必要に応じてインフォーマルサービスを紹介している。 ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 数字を入力 | | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | | 71件 | | |
| うち再委託件数 | | 7件 | | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 63件 | | |
| うち再委託件数 | | 2件 | | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|--|--------------------------|--------------------------|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) . . . | <input type="checkbox"/> | ◇ ◆ |

令和4年度 地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：R5年 4月 17日)

地域包括支援センター名：地域包括支援センターそが・しもそが・こうづ

記入者名： 相原 正博

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|---------------|---|--|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | ◇ |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="1"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="6"/> 年 | | ◆ |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | ◇ ◆ |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | ◇ (4) ・10/13社会福祉士部会主催エンディングサポート研修出席（出席者3人） ・10/18高齢介護課主催包括職員全体研修出席（出席者4人） ・11/17小田原市主催認知症サポーターフォロー研修出席（出席者1人） ・12/13医師会主催第2回多職種共同研修出席（出席者1人） ・12/22高齢介護課主催地域共生社会づくり研修出席（出席者1人） ・12/23神奈川県高齢福祉課主催地域包括ケア「見える化」システム基本操作研修（出席者1人） |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | ・1/12高齢介護課主催包括全体研修Ⅱ出席（出席者4人） ・1/16神奈川県社協主催法人後見・担当者現任研修出席（出席者1人） ・1/19高齢介護課主催介護従事者医療連携研修出席（出席者1人） ・2/4神奈川県主催市町村介護予防事業支援のための人材育成講座出席（出席者1人） |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | ・12/5, 2/6小田原市保健福祉事務所主催オールフレイル健口推進委員育成研修出席（出席者1人） ・2/10高齢介護課主催ケアプラン点検研修会出席（出席者4人） ・3/20OHMY・高齢介護課共済在宅サマリー研修会出席（出席者2人） |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | (5) 3/3に包括センター内ケアプラン点検研修を実施（全員出席） 圏域内ケアマネ向けの勉強会を企画・開催することで、同時に包括職員の資質向上を図る。 |
| | 数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="21"/> 回 | | |

| | | | | |
|-----------------------------|----|--|---|---|
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | ✓ | ◇ (10) 個人情報持ち出し記録で確認・把握している。 |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | ✓ | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | ✓ | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | ✓ | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | ✓ | ◇ (12) (13) 毎朝のミーティング時と必要に応じて相談と情報共有を行っている。また、PCの伝言板を活用し、新規相談や支援内容の情報共有を行っている。 ◆ (14) 主担当を決めて担当しているが、困難ケースは複数で対応している。また、都度情報共有と相談を行っている。 |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | ✓ | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | ✓ | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | ✓ | |
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | ✓ | ◇ (22) 毎月実施している業務ミーティングで、活動計画の進捗状況の報告と、今後の進行について相談している。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | ✓ | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | ✓ | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | ✓ | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | ✓ | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | ✓ | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | ✓ | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|-------|--|---|--|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | ✓ | ◇ (23) サロンこうづのおでかけサロンに出席し、包括出張相談窓口を開設し、総合相談が可能な体制を整えている。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | ✓ | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | ✓ | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | ✓ | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | ✓ | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | ✓ | |
| | 数字を入力 | | | |
| 新規相談件数 | | 411 件 | | |
| 相談延べ件数 | | 602 件 | | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | ✓ | ◇ (29) 10/21曾我地区圏域ケア会議を開催。会議を通じて自治会長、民児協会長、医療・福祉従事者、市社協、行政職員とのネットワーク構築を行った。 (31) 圏域内の医療機関や薬局、居宅介護支援事業所、金融機関等にパンフレットと広報誌の配下を継続。また、包括センター広報誌を回覧板で周知し、サロン利用者には配布している。地域福祉コーディネーターを通して個別配布を実施している。 ◆ |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | ✓ | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | ✓ | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------------|---|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (32) 成年後見が必要な個別ケースについて司法書士に相談し、自宅へ同行訪問し家族と本人に説明してもらい後見制度利用に向け連携した。 ◆ |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 1 | 回 | |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 0 | 回 | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (34) 社会福祉士が主となり、司法書士やケアマネと同行訪問し、親族に後見制度の説明と、制度利用に向けた申請の支援を行った。 3/10包括センター圏域内の居宅介護支援事業所と小規模事業所のケアマネを対象とした勉強会（さぼさぼ）を開催。社会福祉士より成年後見制度の説明と金銭管理についての情報提供と意見交換を行った。 ◆ |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | | 2 | 件 | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | | 1 | 回 | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ (37) 次年度の各地区の民児協定例会に出席し、圏域内の虐待状況を包括センター内で作成した「圏域内虐待集計・分析表」をもとに説明予定。 |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | | 3 | 件 | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (39) 1/14国府津民児協定例会、2/20民児協E7研修会にて、民生委員に包括の役割と機能。権利擁護・消費者被害防止に関する説明を行なった。ふらっと下曾我に警察からの消費者被害防止の資料を配布した。 ◆ |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 消費者被害にかかわる相談件数 | | 0 | 件 | |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | | 0 | 回 | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------------|-------|--|-------------------------------------|---|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (41) 多職種連携シートを活用し、連携と情報共有に努めている。3/20在宅サマリー研修会に出席し、包括内で情報共有を実施予定。 ◆ |
| | 数字を入力 | | | |
| 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 7 | 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ (42) (43) 3/10包括センター圏域内の居宅介護支援事業所と小規模事業所のケアマネを対象とした勉強会（さぼさぼ）を開催。社会福祉士より成年後見制度の説明と金銭管理についての情報共有と意見交換を行った。 ◆ |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | 1 | 回 | |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 3 | 人 | |

| | | | | | |
|-------------------------|--------------------------|--|-------------------------------------|--|---|
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(46) 10/21曾我地区圏域ケア会議を開催。会議を通じて自治会長、民児協会長、医療・福祉従事者、市社協、行政職員とのネットワーク構築を行った。 1/14国府津民児協定例会、2/20民児協Eブロック研修会に出席し、包括センターの役割や介護保険制度の概要、実際にあった相談事例を説明し、質疑応答等を含めた意見交換を行った。 2/1曾我地区市民と市長との地域活動懇談会に出席。 運営推進会議はコロナウイルス感染拡大防止の為、書面会議となっている。 | |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 23 | | 回 |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(48) こうづふれんどりい、サロンこうづ、ふらっと下曾我への参加。曾我地区市営住宅の移動販売（とくし丸）に関する検討会に参加。 (50) オレンジカフェ開催準備に着手。（打合せ4回、視察2回実施） | |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(53) 10/21に曾我地区圏域ケア会議を開催。市営住宅の自治会長、曾我地区民児協会長、医療・福祉職、小田原市社会福祉協議会職員、市役所職員（地域政策課・建築課・高齢介護課）が計26名出席。 ◆(53) 曾我地区圏域ケア会議によって分析した課題を次年度どのようなかたちで活かしていくか。 | |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 2 | | 件 |
| | 個別ケア会議 実施回数 | | 2 | | 回 |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 1 | 回 | | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 1 | 回 | | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 1 | 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------------------------|-----------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(54) 12/6に積善会看護専門学校で看護学生向けに認知症サポーター養成講座開催。 ◆ |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 2 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | | 0 | 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇(57) 認知症疾患医療センターと協力し、次年度4月から開催するオレンジカフェ「ふぁみいゆ」の企画や準備を行った。（打合せ4回、視察2回） ◆(57) ふぁみいゆが認知症に関わる方たちの気軽なつどいの場になり、継続することができるようにしていきたい。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら・はこね家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 1 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|---|--|-------------------------------------|-----------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ (59) サロンこうづのお出かけサロンやこうづふれんどりに出席し、介護予防体操やセルフケア、インフォーマルサービスに関する情報提供を行った。 ◆ |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 | | | 5 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ (62) サロン活動に参加した際に、包括の講話として説明している。 ◆ |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇ ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 65 | 総合事業（短期集中通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | |
| | 数字を入力 介護予防サービス計画件数 うち再委託件数 介護予防ケアマネジメント件数 うち再委託件数 | | | 141 20 72 10 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|---|-------------------------------------|--|---|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・年4回広報誌を発行し、「権利擁護」「認知症総合支援事業」「把握した社会資源の情報」などの情報発信・啓発を行う。 関係機関への配架を継続し、地域包括支援センターの周知に努めるとともに地域住民の活動などを発信し、地域資源の発掘や発展、活用の促進につなげる。 | <input checked="" type="checkbox"/> | | ◇現在夏と秋に広報誌を発行しており、「終活」「水害対策」「スマホ教室」「認知症」「短期集中通所型サービス」について、冬号では地域ケア会議や移動販売などの社会資源について取り上げている。春号ではオレンジカフェや地域支援への取り組みを発行予定。 ◆ |

地域包括支援センター運営事業の評価表

(記入日：令和5年 4月 1日)

地域包括支援センター名： たちばな

記入者名： 柳沢 博美

1 地域包括支援センターの運営体制

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|---|
| 人員体制の確保 | 1 | 職員の配置基準を満たしている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆社会福祉士1名、R5 4月から7月 育児休暇予定。介護支援専門員1名 4月から入職予定。 |
| | 数字を入力 在籍する職員の人数（非常勤の職員がいる場合は、常勤換算後の人数） | | | |
| | ア 保健師・看護師 | 1 人 | | |
| | イ 社会福祉士 | 2 人 | | |
| | ウ 主任介護支援専門員 | 1 人 | | |
| | エ 介護支援専門員 | 人 | | |
| | オ その他 | 人 | | |
| | ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） | | 4.2 年 | |
| 24時間体制の確保 | 2 | 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| 大規模災害・感染症への対応 | 3 | 自然災害や感染症が発生した際の対応方針や業務継続計画を定め、定期的な確認、シミュレーションや見直しを行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇BCPワーキンググループに参加し、自然災害の業務継続計画を策定し、法人と共有をして市に提出済。感染症に関するBCPは包括内で共有。 |
| 職員の資質向上 | 4 | 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇No4 オンライン研修に積極的に参加し、情報共有をしている。 No.5災害時包括対応手順の確認は包括内ミーティングで3度実施した。緊急対応時の身体介護技術（誤嚥・ハイムリック方等）を包括内部研修で行った。 ◆災害時包括対応手順を月1回全員で確認を継続する。 |
| | 5 | 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 6 | 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 7 | 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 研修参加回数 | | 38 回 | |
| 個人情報の保護 | 8 | 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 9 | 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 10 | 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 11 | 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化 | 12 | 包括センターで各職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇毎朝のミーティングで相談ケースの報告を行うことを含め業務内で随時、各専門職の知識の共有と意見交換を行っている。 ・緊急対応を実行したケースの対応の適性を包括全員で評価している。 ◆ |
| | 13 | 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 14 | ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 15 | 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |

| | | | | |
|------------------|----|--|---|--|
| 運営状況の評価と業務改善への取組 | 16 | 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。 | ☑ | ◇民生委員の独居高齢者訪問に同行・橘北地区で2件、前羽地区2件。 No19 前羽地区町づくり委員会、今年度発足の高齢化対策分科会でフレイル予防として（公園deラジオ体操）の普及に協力し、自治会主催でヶ所公園で立ち上がった。 ◆民生委員の独居高齢者訪問時に包括職員が同行し、現状把握に努める（継続）。次年度初旬に、新民生委員に協力依頼を民児協で行う予定。 |
| | 17 | 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。 | ☑ | |
| | 18 | 日常の業務における課題や反省点を把握している。 | ☑ | |
| | 19 | 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。 | ☑ | |
| | 20 | 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。 | ☑ | |
| | 21 | 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。 | ☑ | |
| | 22 | センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。 | ☑ | |

2 総合相談支援業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------|--|--|---|--|
| 高齢者の実態把握及び支援 | 23 | 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。 | ☑ | ◇・認知症カフェ（ロバのみみ）に毎回包括職員が参加し、ご本人、ご家族、地域の方々との交流に努め、必要な方へ送迎を行っている。 ・8か所の「公園deラジオ体操」に参加し、地域の方と交流しながら、相談に応じ必要な支援に繋げている。 ・毎月一回、たちばな地区の包括相談窓口と同時開催の「たちばなカフェ・体操編」で地域の方と交流し、情報提供に努めている。 ・No25 実態把握者リストを作成し、定期的に連絡をしている。 |
| | 24 | 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。 | ☑ | |
| | 25 | 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。また、要支援認定者について、定期的な実態把握を行っている。 | ☑ | |
| | 26 | 適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。 | ☑ | |
| | 27 | 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。 | ☑ | |
| | 28 | 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。 | ☑ | |
| | 数字を入力 新規相談件数 290 件 相談延べ件数 1464 件 | | | |
| 支援を要する高齢者の早期発見に関する取組 | 29 | 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。 | ☑ | ◇No.29「橘北地区の行方不明時の連絡体制」を包括が事務局となり整えている。新しい自治会役員等へ引継ぎとフローチャートの更新を行った。 ◆R4 10月から社会福祉士1名が変更となったため、包括たちばなの周知は「たちばないきいき福祉マップ」を作成し、内容に掲載し配布予定。 |
| | 30 | 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。 | ☑ | |
| | 31 | パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。 | ☑ | |

3 権利擁護業務

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------------|-----------------------|---|--|
| 権利擁護全体 | 32 | 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。 | ◇行政書士の方1名、パートナー神奈川の方1名と後見制度利用の相談で連携が良好に行われている。 ◆R4 2月に行政書士の包括担当者が選任されたことで、個別、圏域ケア会議参加の声掛けがしやすくなっているため、積極的な参加をお願いする。 |
| | 33 | 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。 | |
| | 数字を入力 | | |
| | 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 | 2回 | |
| 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | 0回 | | |
| 成年後見制度の利用支援と普及 | 34 | 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。 | ◇ ◆今年度は、包括主催の後見制度等の講話会は行っていないが、次年度に社会福祉士部会作成の「おひとり様物語」を用いて、「たちばなカフェ・講話教室」で講話会を企画予定。 |
| | 35 | 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。 | |
| | 36 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| 成年後見にかかわる相談件数 | 7件 | | |
| 成年後見にかかわる講座等の実施回数 | 0回 | | |
| 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応 | 37 | 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。 | ◇ ◆ |
| | 38 | 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| 高齢者虐待にかかわる相談件数 | 4件 | | |
| 消費者被害の防止に関する対応 | 39 | 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。 | ◇（公園deラジオ体操）時、地域のサロン（共助会、ひまわり会等）で消費者被害現状を伝えている。 ◆ |
| | 40 | 包括センターが受けた相談内容について、消費生活相談センターや警察等の関係機関と連携し、被害防止に向け対応する体制を整えている。 | |
| | 数字を入力 | | |
| | 消費者被害にかかわる相談件数 | 4件 | |
| 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数 | 0回 | | |

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 生活環境変化等への対応 | 41 | 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。 | <input type="checkbox"/> | ◇カンファレンスは行っていないが、必要に応じて退院支援などを行っている。 ◆ |
| | 数字を入力 医療機関とのカンファレンスの件数 | | 0 件 | |
| 介護支援専門員の支援 | 42 | 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇民生委員と介護支援専門員の交流会「なないろの会」で、デジタル化に対応する高齢者の今後の生活についての講演会を、株式会社【カエル】の講師により行った。 ◆ |
| | 43 | 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 44 | 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 45 | 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 | | 1 回 | |
| 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 | | 15 人 | | |
| 関係機関相互の連携体制の構築 | 46 | 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 47 | 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 運営推進会議への出席回数 | | 7 回 | |
| 社会資源の把握・活用・開発 | 48 | 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇橋北、前羽町づくり委員会のメンバーとして地域の情報を共有している。圏域内のフレイル予防となる体操と交流の場を増やしている。 ◆（たちばないきいき福祉マップ）作成中。次年度に民生委員、居宅介護支援事業所、自治会、老人会等の関係機関と住民へ提供予定。 |
| | 49 | 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 50 | 新たな社会資源の開発に努めている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用 | 51 | 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇No53 橋北地区圏域ケア会議をフレイル予防をテーマに7月に実施した。 ◆前羽地区の圏域ケア会議はコロナ感染予防の観点から開催を延期した。コロナ感染状況を見ながら前羽地区の圏域ケア会議を次年度に予定。次年度は要援護者支援の防災マップ作成をテーマに圏域ケア会議を開催予定。 |
| | 52 | 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 53 | 圏域ケア会議を計画的に開催している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 | | 2 件 | |
| | 個別ケア会議 実施回数 | | 2 回 | |
| うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 | | 0 回 | | |
| 圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |
| うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 | | 1 回 | | |

5 認知症総合支援事業

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|------------------------------------|------------------|--|-------------------------------------|---|
| 認知症の正しい知識の普及と啓発 | 54 | 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇「たちばなカフェ・講話教室」で認知症講話会を6回（4、7、9、11、2、3月）公民館やカフェで行った。前羽小学校の「お話ポケット」を小学1年生にR5.7月に実施。 ◆前羽小学校での「お話ポケット」継続と、橘北地区の下中小学校全学年で認知症お話を実施予定。 |
| | 55 | 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| | 認知症サポーター養成講座開催回数 | | 2 | |
| 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く） | | 6 | 回 | |
| 認知症の人とその家族に対する支援 | 56 | 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇認知症カフェ「ロバのみみ」開催時は、包括センターで情報を得た認知症の方と家族に声掛けを行い、主催者と共に認知症の方とご家族の交流支援を行っている。 |
| | 57 | 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 58 | 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。 | <input type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 | | 0 | 件 | |

6 介護予防ケアマネジメント業務

| 項目 | 評価の目安 | | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|-------------------------------|-------|--|-------------------------------------|---|
| 介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発 | 59 | 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇地域のサロン等で介護予防体操と重度化防止の意識向上を図っている。「小田原市健康づくり講座」のYoutube動画を活用し、R4.5月より毎月、橘北相談窓口と併設して「たちばなカフェ」で体操教室を開催している。 ◆No60 圏域ではラジオ体操の普及でフレイル予防を行い、多くの住民が参加していることから、今後も継続支援予定としている。 |
| | 60 | 市から示された介護予防のためのツール（リーフレットや動画等）を活用して、高齢者のセルフマネジメントを推進している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 情報発信・講座等の実施回数 | | 23 | 回 | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明 | 61 | 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 62 | 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| 適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成 | 63 | 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | ◇ ◆ |
| | 64 | 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 65 | 総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 66 | 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。 | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | 数字を入力 | | | |
| 介護予防サービス計画件数 | | 61 | 件 | |
| うち再委託件数 | | 17 | 件 | |
| 介護予防ケアマネジメント件数 | | 50 | 件 | |
| うち再委託件数 | | 9 | 件 | |

7 その他

| 項目 | 評価の目安 | | ◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 |
|----|-------|---|--|
| — | — | (活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・地域の方のフレイル予防に力を入れる。 ①橋北地区で月1回「たちばなカフェ・体操教室」を下中老人憩の家で、包括相談窓口と同時開催、健康づくり課作成の動画を用いた体操と交流会を持つ。②現在6カ所の「公園deラジオ体操」を8カ所とする③「橋北地区、認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制」の事務局として、フローチャートの更新を行う。 | <input checked="" type="checkbox"/> ◇①R4 5月より「たちばなカフェ・体操編」を開催し、毎回10名程の参加があり、今後参加人数が増えると予想している。②「公園deラジオ体操」は8カ所となった。新規立ちは橋北地区1小船自治会、前羽向原自治会 ③「橋北地区、認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制」はR4 9月に自治会連合会、民児協、地区社協の新役員に内容説明と引継ぎを行い、フローチャートを更新を行った。 ◆①次年度は、前羽地区での「たちばなカフェ・体操教室」を、相談窓口と併用し、毎月開催を予定。②前羽西自治会が「公園deラジオ体操」立ち上げを検討中。 |

地域包括支援センターの活動計画
(令和5年度)

令和5年度 地域包括支援センターしろやま活動計画

2 総合相談支援業務

- ・自治会、民児協定例会や地域のサロン活動での情報収集を行い、地域の実態把握を行う。連携が行えている地域についてはより連携を深め、連携がうまく図れていない地域に関しては、地域性を踏まえた上で働きかけを行っていく
- ・担当圏域の中に様々な社会資源がある地域性を活かし、今までも行っていた連携を深める事で重層的支援体制の強化を行っていく。

3 権利擁護業務

- ・地域的な特徴から後見等の相談が多いエリアでもあるので、サロンや自治会の活動時に権利擁護の講話や「おひとりさまものがたり」を活用し、権利擁護の認識を深めていく。(地域で共に活動してもらえる業態を開拓する)

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・ケアマネジャーのニーズに応じて開催方法や内容を熟考し、参加しやすい方法により3回/年のケアマネジャー交流会を開催する。
- ・包括センターの活動を周知するために2回/年の機関紙を地域住民や関連事業所等に発行する。

5 認知症総合支援事業

- ・昨年開催した「注文をまちがえるあつまあるかふえ」を定例化し、圏域ケア会議を重ねる事で地域課題も含め、在宅で生活している認知症の方の参加ができる体制を検討していく。

令和5年度 地域包括支援センターはくおう活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・毎朝朝礼の実施、月1回ミーティングで各自の業務進捗状況を確認し、情報の共有や相談をする。主担当制を取るが、必要に応じ副担当を設けて包括センター内の連携を図り支援を行う。
- ・月間ミーティングの中で事例検討を実施し、困難事例だけでなく終結事例などを見直すことで職員の対応力の向上を図る。
- ・法人内居宅グループで合同勉強会を実施し職員のスキルアップを目指す。
- ・災害発生時、事業継続できるように同法人の市内4包括センターで協力する。

2 総合相談支援業務

- ・自治会、民児協定例会での情報収集及び訪問による実態把握を行う。
- ・地域のサロン活動を訪問し参加者の実態把握を行う。
- ・独居、サービス未利用者、地域から相談が入ったケースなどについては定期訪問を行い、月間ミーティングで共有。支援方針を検討する。

3 権利擁護業務

- ・権利擁護・消費者被害についての講話の機会を増やせるように、新たな講話の場を開拓する。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・地域資源の情報を収集し、「おたすけ帳」の内容を更新し（年度末）、民生委員へ配布する。また、季刊広報誌「はくおう包括だより」を民生委員、自治会など関係機関に配布し包括センターの周知と連携を図る。
- ・同法人の4包括センター合同で再委託居宅介護支援事業所との「茶つと会（談話会）」を開催し、ケアマネジャーの悩みを聞き取ると共に情報共有を図る。（年2回予定）
- ・地域の新たな集いの場を作れるように自治会、民生委員との連携の場を作るなど企画・運営の支援を行う。
- ・体操教室・健康教室などを増やせるように、新たな講話の場を開拓する。

5 認知症総合支援事業

- ・認知症サポーター養成講座など、認知症啓発活動の場を開拓する。

令和5年度 地域包括支援センターじょうなん活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・相談内容が認知症、家族関係、経済、独居などの問題を抱えているケースが増えてきていて、包括センター職員個人では解決できないケースがあるので、包括センター内で情報を共有し、早期に問題解決が出来るためのスキルをあげ、支援を行っていく。また、担当が不在でも対応が出来るように体制を構築していく。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・昨年度、開催した4地区合同で開催した圏域ケア会議を今年度も行っており、地域に住んでいる高齢者に対する見守り体制や圏域内の課題を把握していく。

5 認知症総合支援事業

- ・民生委員、地域の人に対して、認知症についての正しい対応方法や知識を啓発し、理解促進を推進する。近年増えてきている認知症相談の現状を理解してもらい、早めの相談につなげる。

令和5年度 地域包括支援センターはくさん活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・各ケースについての情報を包括センター内で共有をし、3 職種の専門性を活かしたチームアプローチ体制で支援を行う。必要に応じて主、副担当を設置。
- ・ケースによっては、他の分野の支援機関との連携を図り 積極的に重層的支援体制の一機関として支援体制をつくる。
- ・同法人の 4 包括センターや研修・事例検討を通じ、スキルアップを図る。
- ・適切な職員体制を維持し、包括的支援事業の継続的支援体制を確保する。
- ・個人情報管理、利用において個人情報保護に関する法令等を遵守する。

2 総合相談支援業務

- ・包括センターが積極的に地域や集合住宅などにアウトリーチを行い、実態把握や地域課題の発見につとめる。
- ・民生委員、医療機関、介護保険事業所などとネットワークを構築し、支援を要する高齢者の早期発見につとめる。
- ・専門的、継続的、地域包括ケアの視点などが必要な場合は、個別ケア会議の開催を支援し、個別の支援計画を策定する。

3 権利擁護業務

- ・民生委員との「お茶会」や「勉強会」を通じ、情報を行う。
- ・住民対象の講演を企画し、啓発活動を行う。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・広報紙「はくさんだより」に地域資源の情報を掲載し、社会資源の情報提供や把握、促進を図る。
- ・民生委員に社会資源を記載した「おたすけ帳」を交付し情報提供を行う。(1 回/年更新)
- ・同法人の 4 包括センターで市内のケアマネジャーとの交流会「茶々と会」(2 回/年開催予定)を開催し、ケアマネジャーの交流や情報提供の場を設ける。
- ・個別ケア会議や相談業務を通じて把握された地域課題を共有し、課題の整理や共有、地域づくりにむけて圏域ケア会議を開催する。

5 認知症総合支援事業

- ・地域の認知症関係事業所(認知症対応型デイサービス、グループホームが存在)との情報共有や民生委員との勉強会の開催を通じ、地域の認知症高齢者の理解や支援の促進を行う。

令和5年度 地域包括支援センターひがしとみず活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・4月から保健師が入職したため、新人教育に力を入れ、一定程度の相談対応が可能となるように努める。また、多問題ケース等に対応できるように5人体制を維持し、迅速なケース対応を心掛ける。

2 総合相談支援業務

- ・一昨年より継続している毎月の民児協への参加により情報の収集・共有を図ることで高齢者等が抱えている課題の早期発見に努める。
- ・職員それぞれが設定した年間目標達成に向けての研修受講などスキルアップに取り組み、実際の支援に活かせるようにする。

3 権利擁護業務

- ・昨年度実施できなかった成年後見制度の普及啓発活動の一環として地域住民や民生委員に向けて講話を実施する予定である。また、“かりがわだより”においても権利擁護の周知活動を実施する。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・圏域内の事業所や多機関との連携強化・課題の共有、地域共生社会を目的として圏域ケア会議を今年度も開催する。昨年同様に地域の多分野の方々の参加を予定しており、多くの方の参加が可能なようにZOOMのブレイクアウトルームを活用した会議を計画している。
- ・ケアマネジャーや民生委員対象として研修を企画・開催をする。(他包括センターと共催で年2~3回を予定)

5 認知症総合支援事業

- ・認知症カフェ「オレンジカフェこうちなか」の運営継続の為、包括センターとして協力を継続して行う。

7 その他

- ・昨年度後半より月1回開催している“わたしのまちの保健室”を継続開催する。3カ月をワンクールとして地域別に参加者を募集する。内容についても地域高齢者が興味を持ち参加意欲がでるような企画を予定している。
- ・その中でミニ講座的に認知症や成年後見制度などについても行う予定である。
- ・その他、高齢者の居場所作りとして自治会単位で公民館等を活用することも今年度検討する予定である。また、昨年度同様に東富水小学校とのコラボ企画も依頼があった場合には積極的に実施したいと考えている。

令和5年度 地域包括支援センターとみず活動計画

2 総合相談支援業務

- ・令和4年10月に移転したことや包括センターの存在について、知っている人は知っている状況にある。今年度はここから脱皮し、多様な年代の地域住民の方々にセンターの存在や私たちの役割を知ってもらう働きかけを行う。(広報「かりがわだより」の定期発行、前庭活動の展開と継続など)

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・地域に潜在化してしまっている多課題家庭への支援がスムーズに対応できるよう、地域活動に取り組む人や団体との紐帯を保つ。(地域活動に積極的に参加し「顔の見える(見せる)関係」を保持させることや地域住民との懇談の場を設けるなど。)

令和5年度 地域包括支援センターさくらい活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・毎朝のミーティング等により情報を共有し、職員一人で抱え込まず誰もが対応できる体制を整える。法人内外での研修や事例検討会に参加し、対応力向上を図る。

2 総合相談支援業務

- ・地域の方と共に引き続き見守り活動を行い、普及啓発活動、経年的な実態把握に努める。
- ・地域向けの情報紙として「かりがわだより」を発行し、包括センターの周知や情報発信をする。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・ケアマネジャー、民生委員が学びや交流の機会を得られるような研修を主催する。
- ・「伸ばそう！健康寿命!!」を自治会、健康づくり課と共に開催する。健康を意識するきっかけになると共に、サロンの開催支援、サロンがない地域での居場所作りを目指す。

7 その他

- ・「さくらい本箱」という本の貸し出しが定着してきており、様々な年代の方が立ち寄る場となっている。昨年は交流スペースを開放し、地域の方主催による「音読の会」を月2回開催するようになった。コロナ禍で停滞していた地域活動もだんだんと再開され始めているため、包括センターの調理スペースや浴室も活用し、介護予防からの関りや様々な年代の交流が持てる集いの場として包括センターも活用できるよう地域へ働きかける。

令和5年度 地域包括支援センターさかわこやわた・ふじみ活動計画

2 総合相談支援業務

- ・ふじみサロンやサロンちょっとそこまで等、地域サロン参加の際に包括センターの周知活動を行っていく。
- ・圏域内の商店や銀行、病院等に包括センターパンフレットや包括便りの配布。また、団地を中心に掲示板や回覧板を利用させて頂き、包括センターの周知と支援を要する高齢者の早期発見に繋げる。
- ・民生委員と包括センターで茶話会を年10回実施（酒匂 小八幡5回、富士見5回）包括センターの機能の普及啓発を図る。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・民生委員等地域関係者と顔の見える関係性を作る。また、互いの活動内容を理解し合う事で連携の強化に努め、個別ケースの支援、社会資源の活用、開発につなげる。
- ・同法人の4包括センター合同で、ケアマネジャー支援「茶つと会」を年2回実施。

5 認知症総合支援事業

- ・令和4年度に終了した、認知症カフェの再開。
- ・年間で3回の認知症サポーター養成講座の実施。圏域内の企業従事者、住民を対象に認知症サポーター養成講座の開催。

令和5年度 地域包括支援センターしもふなか活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・人員体制の確保に努め、運営が円滑に行えるように業務マニュアルを作成する。

2 総合相談支援業務

- ・対応が困難なケースについては、事例検討を行ったり、担当以外の職員も協力して対応する体制としていく。

3 権利擁護業務

- ・成年後見制度や終活について、高齢者や支援者に対し様々な機会を通じて周知をしていく。
- ・成年後見制度を普及させるためにも、おだわら成年後見支援センターと連携を図り地域への啓発活動を行う。
- ・重層的支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、適正な支援へのつなぎを行う。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・「むらカフェ」の継続開催にてケアマネジャーの支援を行う。
- ・昨年度開催した圏域ケア会議の内容を分析し、地域や行政に向けた発信が行えるよう「しもふなかコンパス」としての活動を充実させていく。
- ・介護予防、自立支援・重度化防止、高齢者の居場所作りを目的に「しもふなかコンパスたいむ」を開催していく。

5 認知症総合支援事業

- ・認知症の人とその家族の支援として「おだわら・はこね家族会」を紹介や「昼のおはなし会」の開催を通じ、認知症の相談、早期受診の促し、認知症の正しい知識の普及、家族の介護負担軽減を図っていく。
- ・認知症初期集中支援チーム員として事業を利用していく。

6 介護予防ケアマネジメント業務

- ・サロン等で介護予防に関する講話を行う。

令和5年度 地域包括支援センターとよかわ・かみふなか活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・毎日の朝礼、月1回包括センターミーティングで各自の業務進捗状況やケースの情報共有や相談を図る。主担当性を取るが必要時に応じ副担当を設け、3職種連携を図り支援を行う。
- ・同法人の4包括センターや法人内外での研修、勉強会で職員のスキルアップを目指す。

2 総合相談支援業務

- ・サロンや民生・自治会などの集会にできる限り参加し、包括センターの機能を普及啓発するとともに、地域での困りごとや包括センターへの要望などを聞き取り、共働しやすい体制を構築していく。
- ・包括便りは年4回、圏域内の自治会加入者に回覧する。包括センターの周知をさらに広げ、支援を要する高齢者の早期発見につなげていく。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・令和3年度、令和4年度の相談票をもとに、各地域で圏域ケア会議を開催する。地域住民や関係機関等と情報共有・地域課題の抽出を行いネットワークの強化を図る。
- ・民生委員、自治会、地域の方などが必要な情報をピックアップし、「おたすけ帳」の作成を行い、民生委員や地域に配布できるようにする。
- ・包括センターから離れた地域での出張相談を継続して実施する。(桑原地区、西大友・東大友地区)
- ・同法人の4包括センター合同で居宅介護支援事業所との「茶つと会」を開催し、情報共有を図る。(年2回予定)

5 認知症総合支援事業

- ・認知症の正しい知識の普及と啓発を目的に、認知症をにんちしよう会・認知症カフェの運営に携わる。
- ・包括たよりや地域サロンでの講話など啓発活動を行う。

令和5年度 地域包括支援センターそが・しもそが・こうづ活動計画

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・包括センター主催の「さぽ・さぽ」（サポートを担う人をサポートする会）を圏域内居宅介護支援事業所や小規模事業所のケアマネジャー、民生委員や自治会向けに開催し、勉強会や意見交換を行うことで顔が見える関係性、互いの協力体制の構築や地域課題の共有を行い、ケアマネジャー支援・地域支援を図る。

5 認知症総合支援事業

- ・オレンジカフェ「ふぁみいゆ」を認知症疾患医療センター曾我病院と共に開催し、地域住民に認知症の正しい理解を広めるとともに、認知症の方やその家族が気軽な集いの場となり、安心して暮らせる地域づくりを目指す。

6 介護予防ケアマネジメント業務

- ・包括センター内でのケアプラン点検の実施を継続し、介護予防・自立支援の重要性やインフォーマルサービスの活用を意識したケアプラン作成の視点を養うとともに引き続き、再委託プランについて適切な評価・マネジメントが行えるよう、包括センター職員の資質向上を図る。

7 その他

- ・年4回広報誌を発行し、「権利擁護」「認知症総合支援事業」「把握した社会資源の情報」などの情報発信・啓発を行う。
- ・関係機関への配架を継続し、包括センターの周知に努めるとともに地域住民の活動などを発信し、地域資源の発掘や発展、活用の促進につなげる。

令和5年度 地域包括支援センターたちばな活動計画

1 地域包括支援センターの運営体制

- ・地域との信頼関係強化を目標に、地域活動を積極的に提案し、実行する。
- ・「たちばないきいき福祉マップ」を作成し、包括センターの仕事やスタッフを紹介予定。健康保持の為、支えあい、残業なし、適切な休養を心がける。

2 総合相談支援業

- ・職員全員でケースを共有し、専門性を生かした知識を互いに学び、適切な支援を行う。困難、虐待ケースは2人体制で、現状把握を速やかに行う。

3 権利擁護業務

- ・高齢者虐待対応の専門的知識習得のために、社会福祉士2名は神奈川県社会福祉士会主催の現任研修に参加予定。
- ・エンディングサポートに関する講話会を「たちばなカフェ・講話教室」で各「公園deラジオ体操」後に公民館等で開催する。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・「実態把握管理表」に基づき、支援に繋がっていないケースの定期的把握、困難ケースのケアマネジャー支援を市や社会福祉協議会と連携を取り行う。

5 認知症総合支援事業

- ・小学校での認知症講話は前羽小学校では昨年全学年で終了、今後は毎年新1年生に行う予定。下中小学校で5月より年度末までに全学年に実施予定。

6 介護予防ケアマネジメント業務

- ・居宅介護支援事業所との信頼関係強化に努め、委託件数を増やす。

7 その他

- ・「たちばないきいき福祉マップ」を作成し、自治会の協力の下、配布予定。
- ・「たちばなカフェ・健康教室」を前羽福社会館で相談窓口と併用して、開催を検討中。橋北地区では相談窓口のある第3土曜日に継続開催。
- ・「公園deラジオ体操」8か所の継続運営支援と、新たな主催者発掘と支援で地域のフレイル予防に力を注ぐ。

在宅介護実態調査の集計結果報告書

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

令和5年5月

<小田原市>

◆調査実施状況

在宅で生活する要支援・要介護者のうち、更新又は区分変更申請に基づき認定調査を受けた人の中から 1,200 人を無作為抽出し、郵送によるアンケート調査を実施しました。（有効回答者数：676 人、対象期間：令和 5 年 3 月 31 日～4 月 21 日）

◆ 5 つの検討テーマ（在宅介護実態調査は、主に以下の 5 つの検討テーマに基づいた集計分析を行っています。）

【要介護者の在宅生活の継続／介護者の就労継続】

| 基本的な視点 | 検討テーマ | 集計・分析の狙い |
|--------------|-------------------------------|--|
| 要介護者の在宅生活の継続 | 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 | ○ 主に「A 票-問 10 施設等の検討状況」の「入所・入居は検討していない」の割合と、「B 票-問 5 介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用のパターンとの関係を分析し、在宅限界点の向上を図るために必要となる取組について検討しました。 |
| 介護者の就労継続 | 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 | ○ 主に「B 票-問 4 介護者の就労継続の可否に係る意識」と「B 票-問 5 介護者が不安になる介護」を指標としながら、サービス利用パターンとの関係を分析し、介護者の就労継続のために必要となる取組について検討しました。 |

【支援・サービスの提供体制の検討】

| 検討テーマ | 集計・分析の狙い |
|------------------------------------|--|
| 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 | ○ 主に「A 票-問 9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、要介護度別のニーズを集計・分析し、整備が必要となる地域資源を検討しました。 |
| 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 | ○ 主に「A 票-問 1 世帯類型」について、世帯類型別・要介護度別のサービス利用のパターンを集計・分析し、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制について検討しました。 |
| 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 | ○ 主に「A 票-問 12 訪問診療の利用の有無」について、訪問診療の利用の有無別のサービス利用のパターンを集計・分析し、医療ニーズのある在宅療養者を支えるための支援・サービスの提供体制について検討しました。 |

◆用語の定義

【サービス利用の分析に用いた用語の定義】

| 用語 | | 定義 |
|-----|--------|---|
| 未利用 | | ・「住宅改修」、「福祉用具貸与・購入」のみを利用している方については、未利用として集計 |
| 訪問系 | | ・訪問介護・訪問型サービス、（介護予防）訪問入浴介護、（介護予防）訪問看護、（介護予防）訪問リハビリテーション、（介護予防）居宅療養管理指導、夜間対応型訪問介護を「訪問系」として集計 |
| 通所系 | | ・通所介護・通所型サービス、（介護予防）通所リハビリテーション、（介護予防）認知症対応型通所介護を「通所系」として集計 |
| 短期系 | | ・（介護予防）短期入所生活介護、（介護予防）短期入所療養介護を「短期系」として集計 |
| その他 | 小規模多機能 | ・（介護予防）小規模多機能型居宅介護を「小規模多機能」として集計 |
| | 看護多機能 | ・看護小規模多機能型居宅介護を「看護多機能」として集計 |
| | 定期巡回 | ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護を「定期巡回」として集計 |

【サービス利用の組み合わせの分析に用いた用語の定義】

| 用語 | | 定義 |
|-----------------|--|--|
| 未利用 | | ・上表に同じ |
| 訪問系のみ | | ・上表の「訪問系」もしくは「定期巡回」のみの利用を集計しています。 |
| 訪問系を含む 組み合わせ | | ・上表の「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「短期系」、「訪問系（もしくは定期巡回）」+「通所系」+「短期系」、「小規模多機能」、「看護多機能」の利用を集計しています。 |
| 通所系・短期系のみ | | ・上表の「通所系」、「短期系」、「通所系」+「短期系」の利用を集計しています。 |

【施設等の検討の状況に係る用語の定義】

- 本集計・分析では、施設等検討の状況について、「入所・入居は検討していない（検討していない）」、「入所・入居を検討している（検討中）」、「すでに入所・入居申し込みをしている（申請済み）」の3つに分類して集計しています。
- なお、ここでの「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指すものであり、介護保険施設には限定していません。

目次

※図表タイトルの「★」は、オプション調査項目であることを示しています。

| | |
|---|---------|
| 1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 1] |
| 1.1 集計・分析の狙い | [P. 1] |
| 1.2 集計結果と着目すべきポイント | [P. 2] |
| (1) 基礎集計 | [P. 2] |
| (2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化 | [P. 4] |
| (3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化 | [P. 9] |
| (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係 | [P. 14] |
| (5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 | [P. 18] |
| (6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係 | [P. 23] |
| (7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 | [P. 27] |
| 1.3 考察 | [P. 40] |
| 2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 41] |
| 2.1 集計・分析の狙い | [P. 41] |
| 2.2 集計結果と着目すべきポイント | [P. 42] |
| (1) 基本集計 | [P. 42] |
| (2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み | [P. 46] |
| (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係 | [P. 51] |
| (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 | [P. 57] |
| (5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況 | [P. 60] |
| (6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 | [P. 65] |
| 2.3 考察 | [P. 71] |
| 3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討 | [P. 72] |
| 3.1 集計・分析の狙い | [P. 72] |
| 3.2 集計結果と着目すべきポイント | [P. 73] |
| (1) 基礎集計 | [P. 73] |
| (2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス | [P. 76] |
| (3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」 | [P. 79] |
| (4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」 | [P. 84] |
| 3.3 考察 | [P. 89] |

| | |
|--|----------|
| 4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 90] |
| 4.1 集計・分析の狙い | [P. 90] |
| 4.2 集計結果と着目すべきポイント | [P. 91] |
| (1) 基礎集計 | [P. 91] |
| (2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」 | [P. 93] |
| (3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」 | [P. 96] |
| (4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」 | [P. 100] |
| 4.3 考察 | [P. 104] |
| 5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討 | [P. 105] |
| 5.1 集計・分析の狙い | [P. 105] |
| 5.2 集計結果と着目すべきポイント | [P. 106] |
| (1) 基礎集計 | [P. 106] |
| (2) 訪問診療の利用割合 | [P. 111] |
| (3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ | [P. 114] |
| (4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無 | [P. 115] |
| 5.3 考察 | [P. 117] |
| 6 その他（サービス未利用の理由など） | [P. 118] |
| 6.1 集計結果（参考） | [P. 118] |
| (1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 | [P. 118] |
| (2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由 | [P. 124] |
| (3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス | [P. 129] |
| (4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢 | [P. 133] |
| (5) 要介護度別の抱えている傷病 | [P. 134] |
| (6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病 | [P. 136] |
| 7 主な介護者用の調査項目（B票） | [P. 138] |
| (1) 主な介護者の勤務形態 | [P. 138] |
| (2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況 | [P. 139] |
| (3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援 | [P. 140] |
| (4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 | [P. 141] |
| (5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 | [P. 141] |
| 8 要介護認定データ（参考） | [P. 142] |
| 9 小田原市独自調査（参考） | [P. 147] |

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

1.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「在宅生活の継続」と「介護者不安の軽減」の2つの視点からの集計を行っています。
- それぞれ、「どのようなサービス利用パターンの場合」に、「在宅生活を継続することができるのか」、もしくは「介護者の不安が軽減されているのか」を分析するために、「サービス利用パターン」とのクロス集計を行っています。
- なお、「サービス利用パターン」は、「サービス利用の組み合わせ」と「サービス利用の回数」の2つからなります。
- また、在宅限界点についての分析を行うという主旨から、多くの集計は要介護3以上、もしくは認知症高齢者の日常生活自立度Ⅲ以上の方に限定して集計をしています。

1.2 集計結果と着目すべきポイント

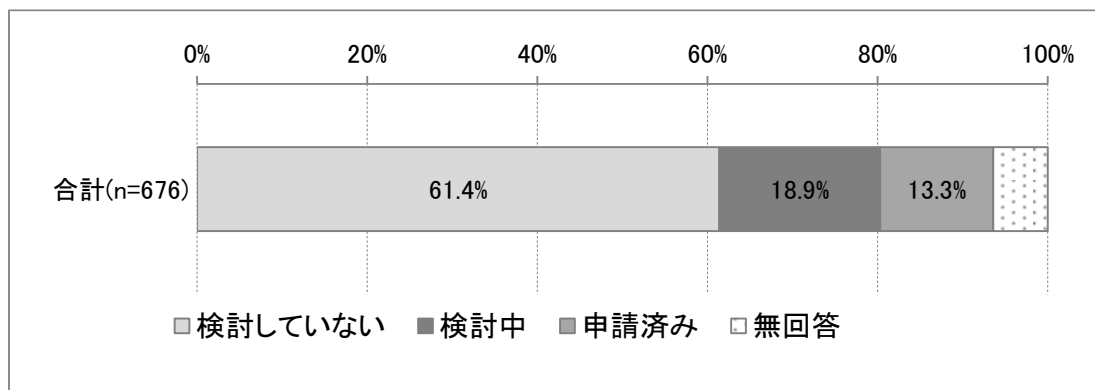
(1) 基礎集計

- 施設等の検討状況に係る、基礎的な集計を行っています（図表 1-1～図表 1-3）。
- 要介護度の重度化に伴う、施設等検討状況の変化や世帯類型ごとの施設等検討状況についてその状況を確認してください。

【施設等検討の状況】

「検討していない」の割合が最も高く 61.4%となっている。次いで、「検討中（18.9）」、「申請済み（13.3%）」となっている。

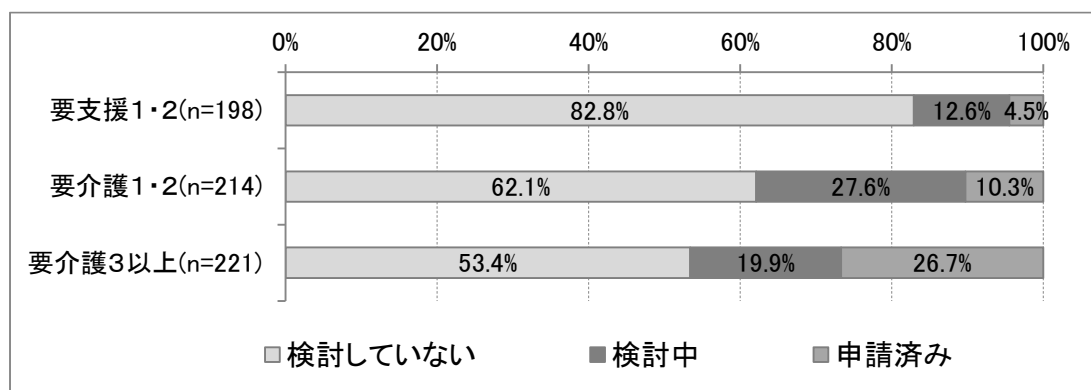
図表 1-1 施設等検討の状況



【要介護度別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が82.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が12.6%、「申請済み」が4.5%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が62.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が27.6%、「申請済み」が10.3%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が53.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が26.7%、「検討中」が19.9%となっている。

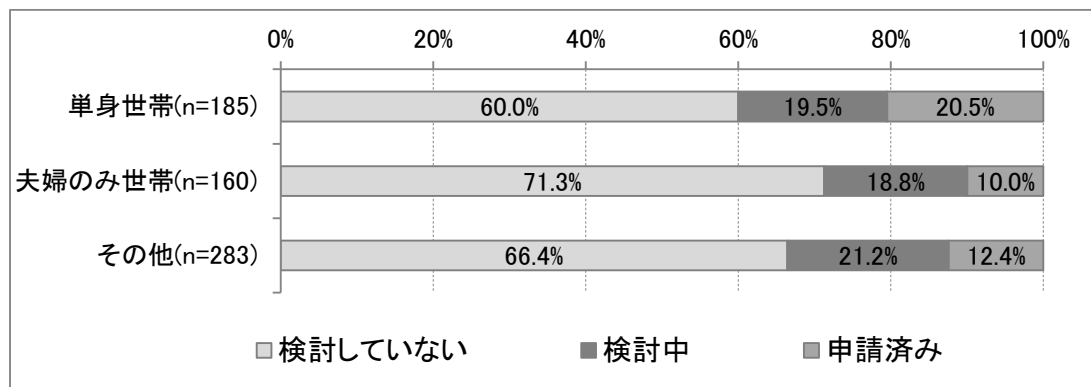
図表 1-2 要介護度別・施設等検討の状況<***>



【世帯類型別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が20.5%、「検討中」が19.5%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が71.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.8%、「申請済み」が10.0%となっている。「その他」では「検討していない」が66.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.2%、「申請済み」が12.4%となっている。

図表 1-3 世帯類型別・施設等検討の状況<*>



(2) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化

【着目すべきポイント】

- 要介護度と認知症自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化について、集計分析をしています（図表 1-4、図表 1-5）。
- ここでの「主な介護者が不安に感じる介護」とは、「現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等」のことです。なお、ここで選択される介護は、現状で行っている介護であるか否かは問われていません。
- ここから、要介護度・認知症自立度別の、主な介護者が不安に感じる介護等を把握することができます。
- また、主な介護者の不安が相対的に大きな介護や、重度化に伴い主な介護者の不安が大きくなる介護等に注目することで、在宅限界点に大きな影響を与えられ「主な介護者が不安に感じる介護」を推測することも可能になります。

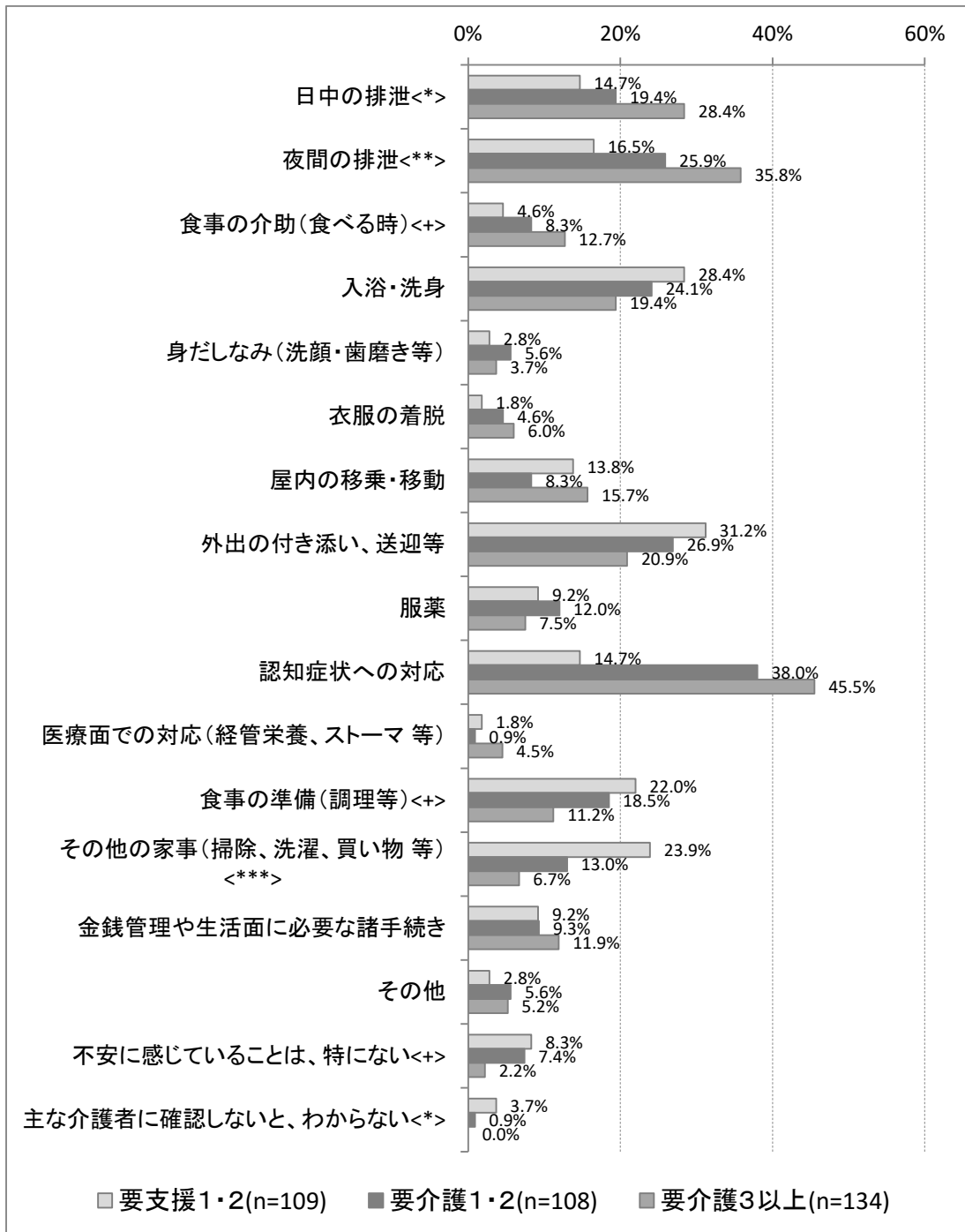
【留意事項】

- なお、「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」については、特に、実際に行われている割合が低い可能性が高いと考えられます。したがって、仮に選択した回答者が少ない場合でも、実際に医療ニーズのある要介護者を介護しているケースでは、主な介護者の不安は大きいことも考えられます。
- そのような観点から、在宅限界点に与える影響が過小評価される項目もあると考えられることから、注意が必要です。

【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が31.2%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が28.4%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が23.9%となっている。「要介護1・2」では「認知症状への対応」が38.0%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.9%、「夜間の排泄」が25.9%となっている。「要介護3以上」では「認知症状への対応」が45.5%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が35.8%、「日中の排泄」が28.4%となっている。

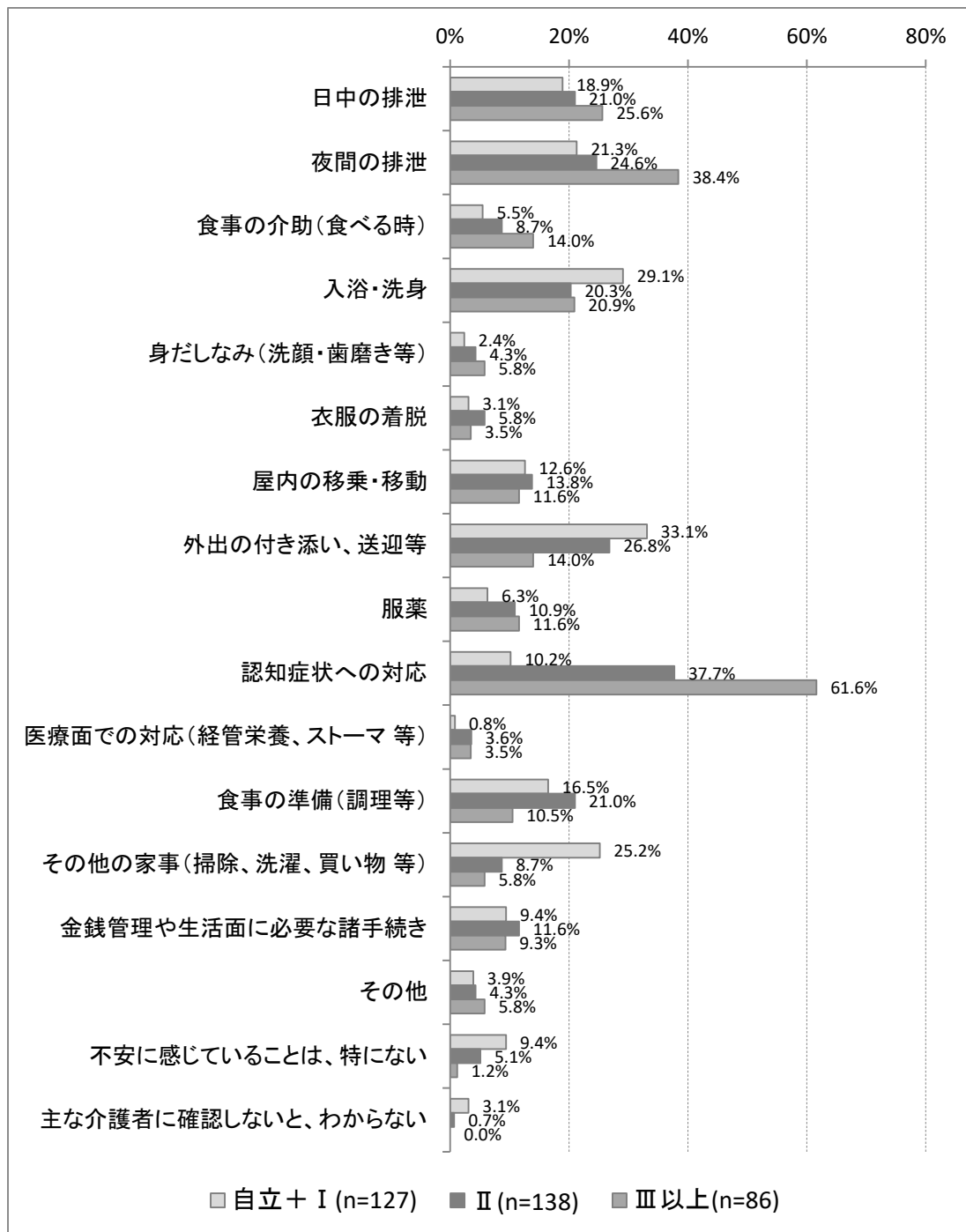
図表 1-4 要介護度別・介護者が不安に感じる介護



【認知症自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立＋Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が33.1%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が29.1%、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が25.2%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が37.7%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が26.8%、「夜間の排泄」が24.6%となっている。「Ⅲ以上」では「認知症状への対応」が61.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が38.4%、「日中の排泄」が25.6%となっている。

図表 1-5 認知症自立度別・介護者が不安を感じる介護



(3) 要介護度・認知症自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 1-6、図表 1-7）。
- 特に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- さらに、例えば今後の中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

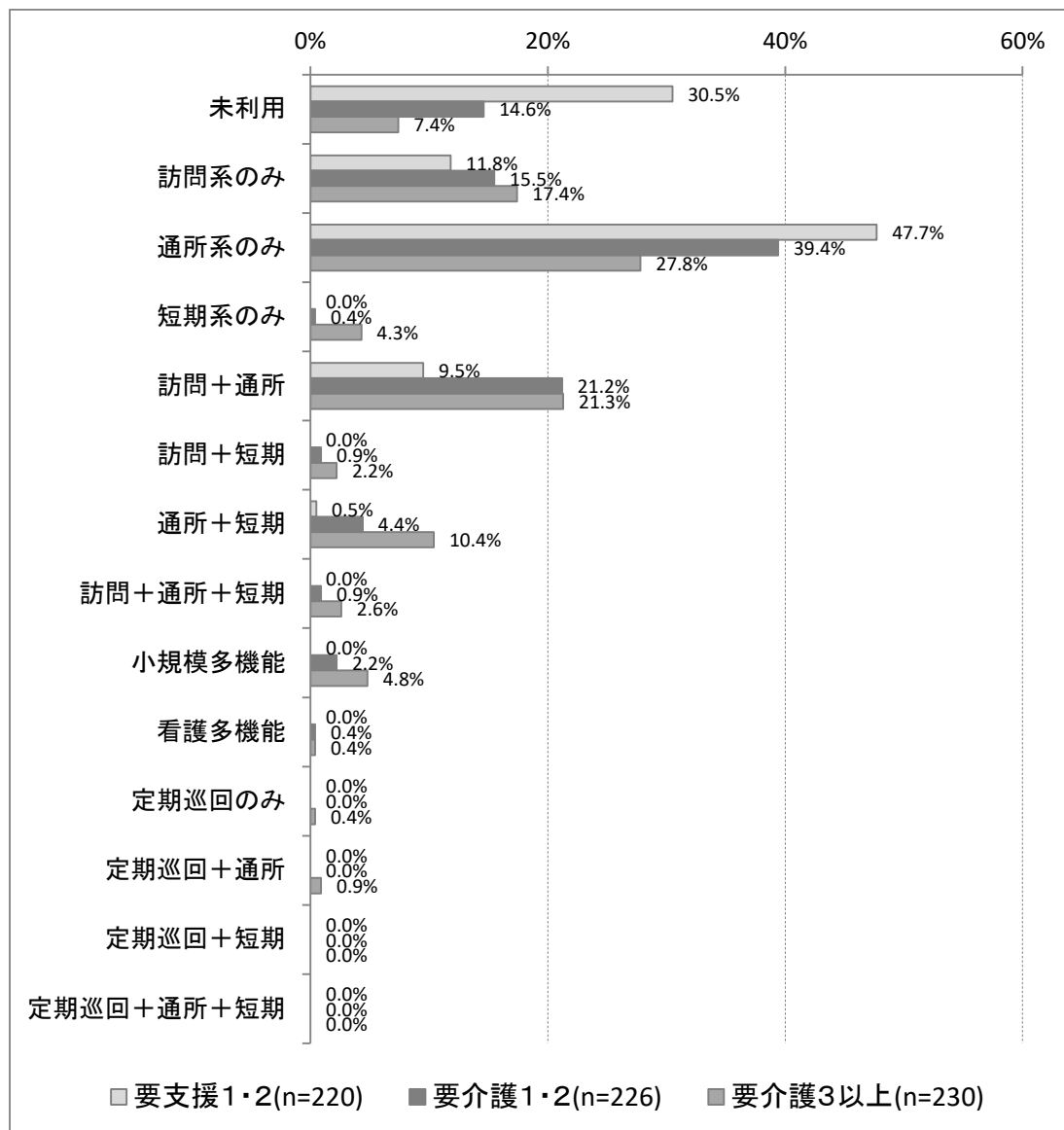
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系のみ」が47.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が30.5%、「訪問系のみ」が11.8%となっている。「要介護1・2」では「通所系のみ」が39.4%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が21.2%、「訪問系のみ」が15.5%となっている。「要介護3以上」では「通所系のみ」が27.8%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が21.3%、「訪問系のみ」が17.4%となっている。

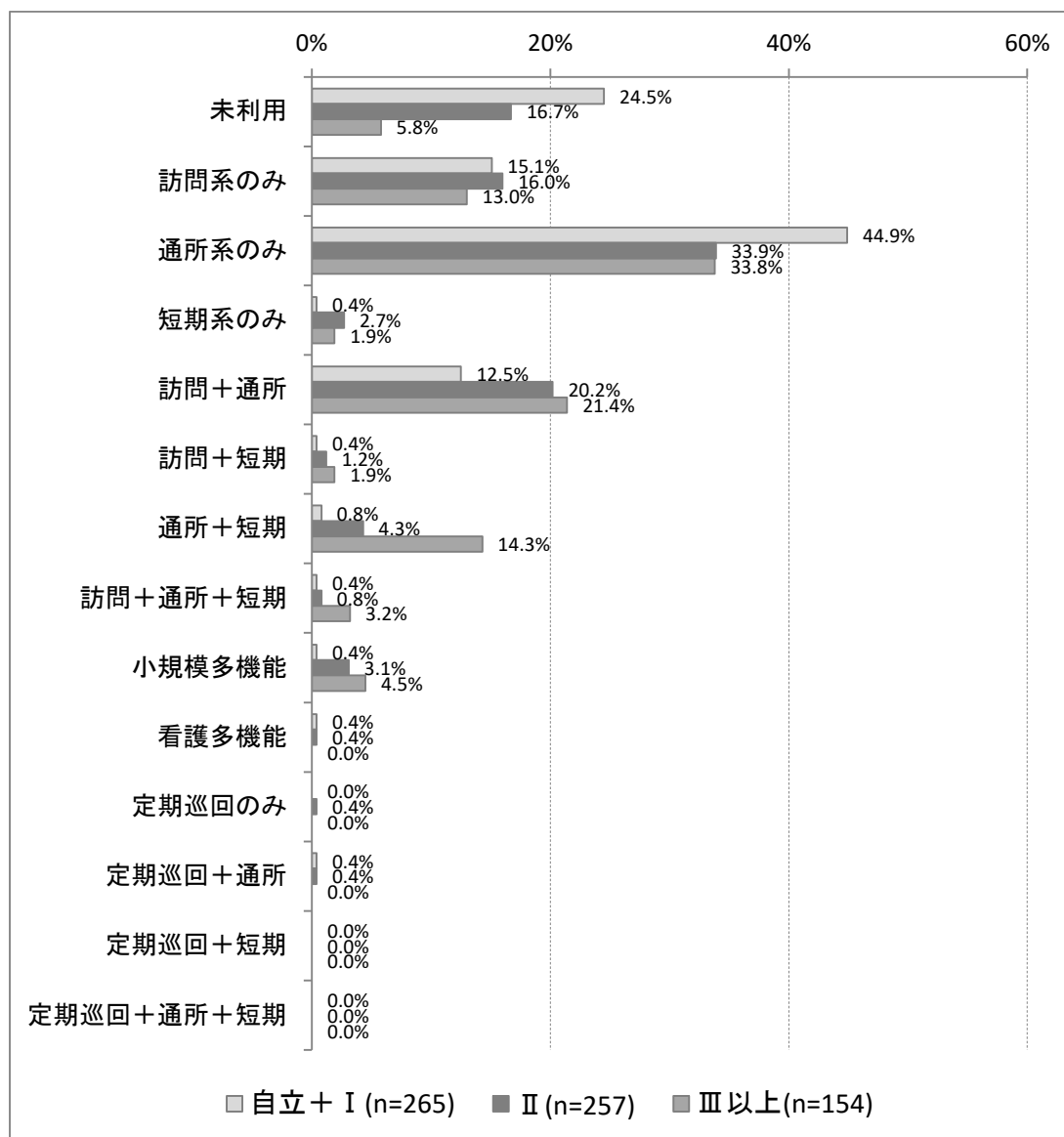
図表 1-6 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系のみ」が44.9%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が24.5%、「訪問系のみ」が15.1%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が33.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問+通所」が20.2%、「未利用」が16.7%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が33.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問+通所」が21.4%、「通所+短期」が14.3%となっている。

図表 1-7 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<***>



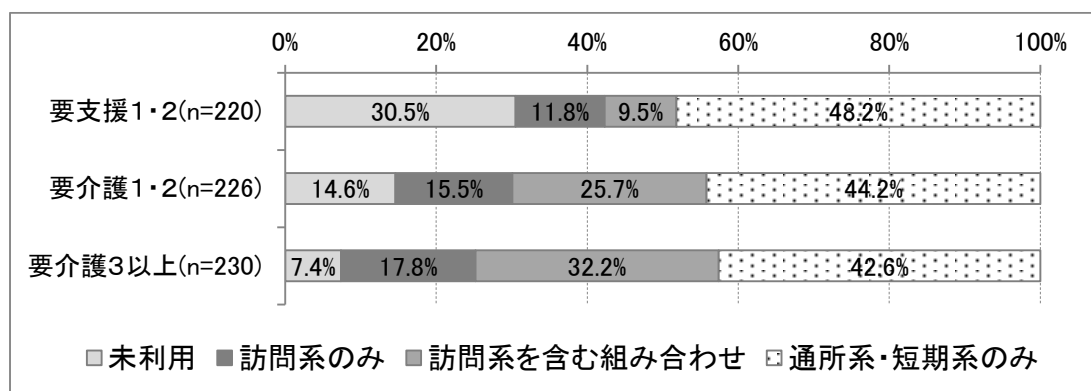
【着目すべきポイント】

- ここでは、要介護度・認知症自立度別の「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化した集計分析をしています（図表 1-8、図表 1-9）。
- 具体的には、サービス利用の組み合わせを、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に分類したものです。
- 組み合わせのパターンが細分化された集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と比較して、上記のような視点から、重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化の傾向等を分かりやすく示すことを目的としたものです。
- 前掲の集計分析（図表 1-6、図表 1-7）と同様に、重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。
- また、中重度の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が48.2%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が30.5%、「訪問系のみ」が11.8%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が44.2%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.7%、「訪問系のみ」が15.5%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が42.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が32.2%、「訪問系のみ」が17.8%となっている。

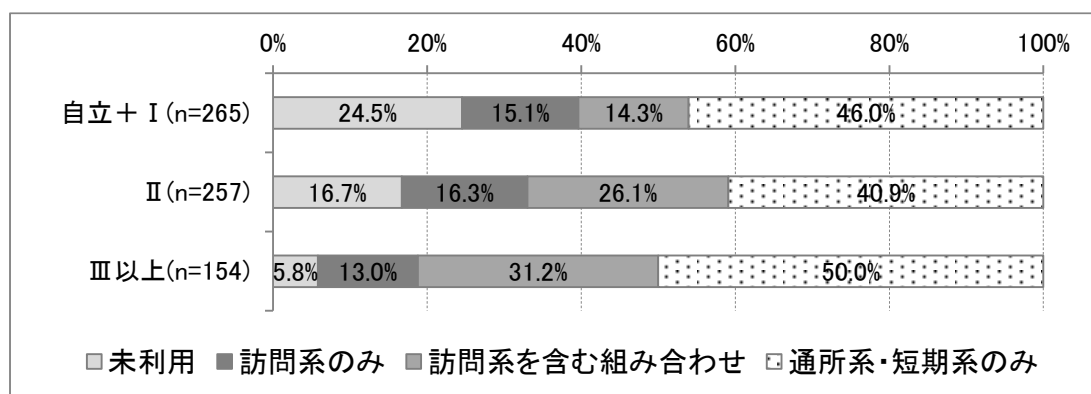
図表 1-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ<***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が46.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が24.5%、「訪問系のみ」が15.1%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が40.9%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.1%、「未利用」が16.7%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が31.2%、「訪問系のみ」が13.0%となっている。

図表 1-9 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ<***>



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係について、集計分析をしています。それぞれ、要介護3以上と要介護4以上、認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることを想定しています。
- 図表 1-10～図表 1-12 は、「サービス利用の組み合わせ」別に「施設等検討の状況」の割合を集計分析したもので、特に「サービス利用の組み合わせ」ごとの「施設等検討の状況」の比較が容易です。
- また、図表 1-13～図表 1-15 は、表側と表頭を逆にして集計したもので、「施設等検討の状況」別の「サービス利用の組み合わせ」をみることができます。これにより、例えば施設等への入所・入居を「検討していない」ケースのような「適切な在宅生活の継続を実現している」と考えられる要介護者について、実際に「どのような組み合わせのサービスを利用しているか」を把握することができます。
- したがって、例えば「検討中」や「申請済み」と比較して、「検討していない」ケースで多くみられるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

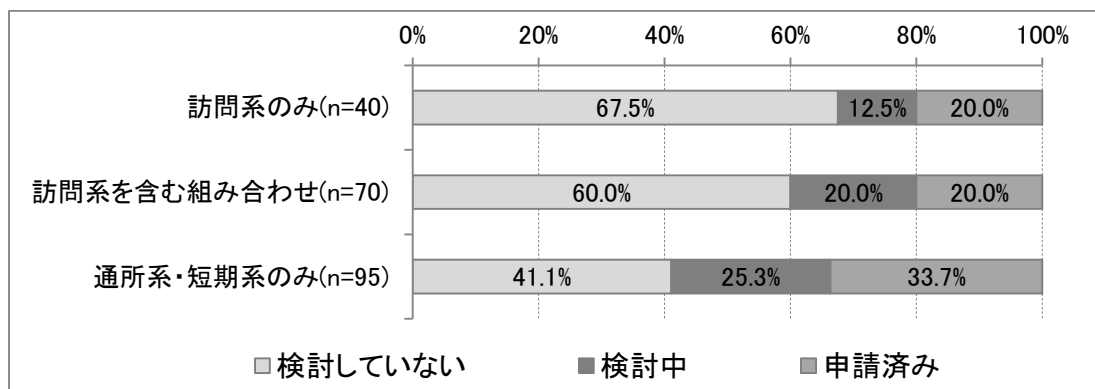
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論を交えながら、地域ごとにその効果等についての考察を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、「検討していない」の割合が高いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が67.5%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が20.0%、「検討中」が12.5%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が20.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が41.1%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.7%、「検討中」が25.3%となっている。

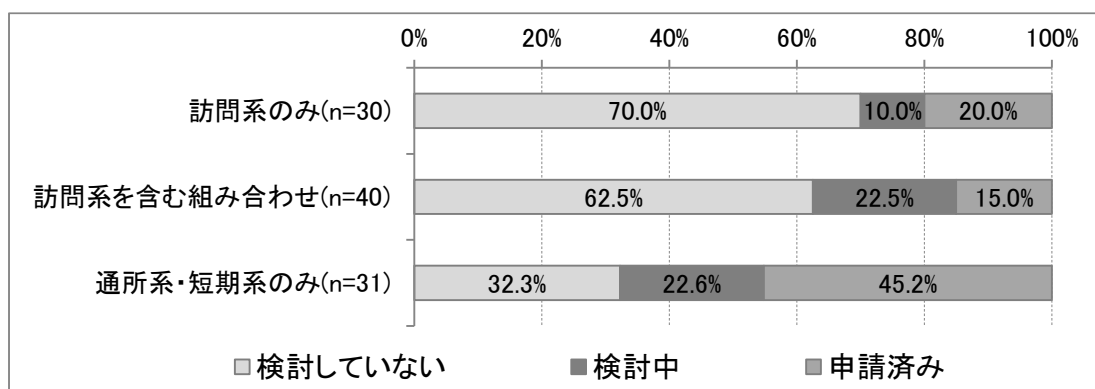
図表 1-10 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護3以上）〈*〉



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が70.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が20.0%、「検討中」が10.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が62.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.5%、「申請済み」が15.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「申請済み」が45.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が32.3%、「検討中」が22.6%となっている。

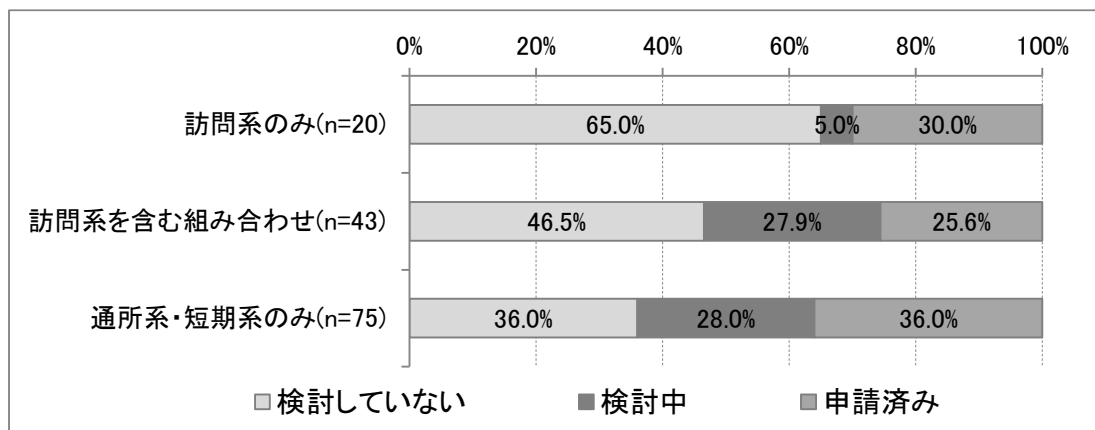
図表 1-11 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（要介護4以上）〈*〉



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が65.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が30.0%、「検討中」が5.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が46.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が27.9%、「申請済み」が25.6%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「申請済み」が36.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が28.0%となっている。

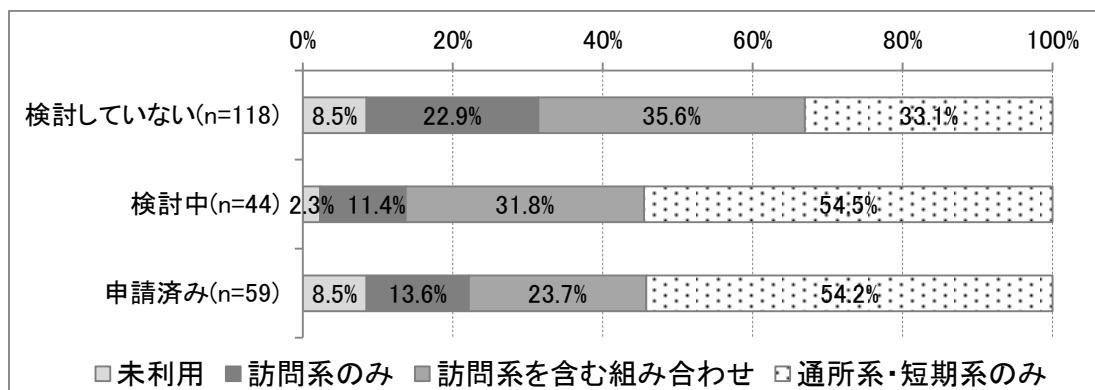
図表 1-12 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況 (認知症Ⅲ以上) <+>



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.6%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.1%、「訪問系のみ」が22.9%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が54.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が31.8%、「訪問系のみ」が11.4%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が54.2%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.7%、「訪問系のみ」が13.6%となっている。

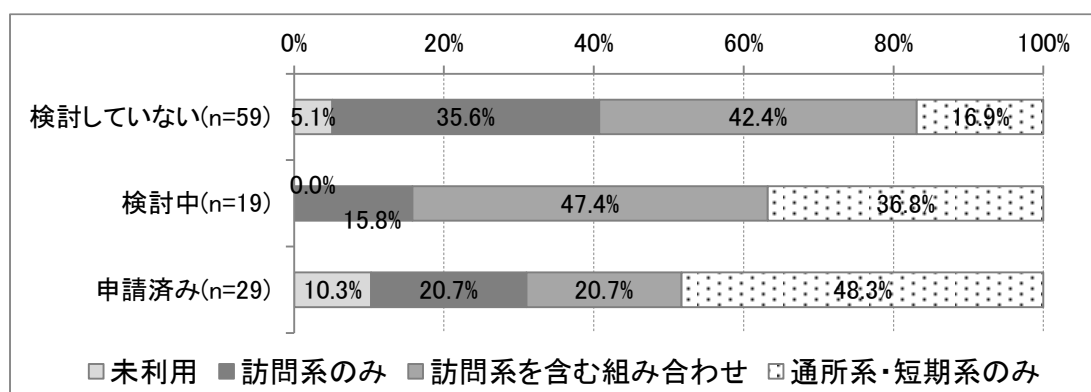
図表 1-13 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況 (要介護3以上) <*>



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.4%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が35.6%、「通所系・短期系のみ」が16.9%となっている。「検討中」では「訪問系を含む組み合わせ」が47.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が36.8%、「訪問系のみ」が15.8%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が48.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が20.7%、「未利用」が10.3%となっている。

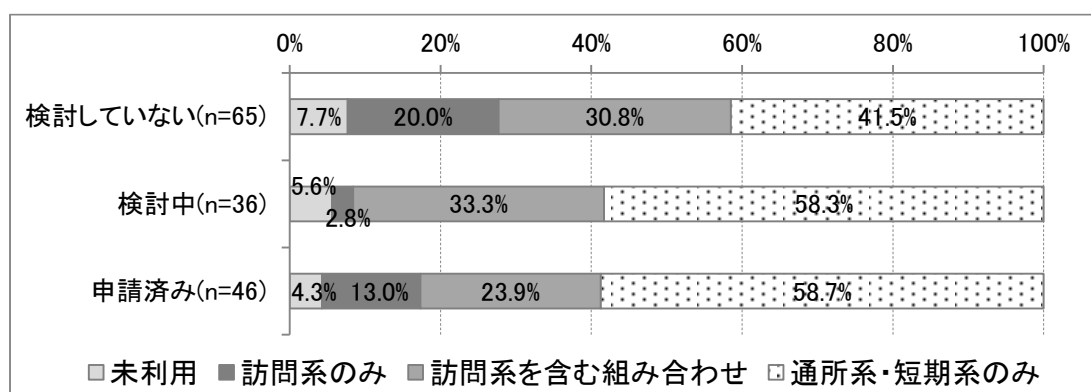
図表 1-14 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況 (要介護4以上) <*>



【サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(認知症Ⅲ以上)】

サービス利用の組み合わせを施設等の検討状況別にみると、「検討していない」では「通所系・短期系のみ」が41.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が30.8%、「訪問系のみ」が20.0%となっている。「検討中」では「通所系・短期系のみ」が58.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.3%、「未利用」が5.6%となっている。「申請済み」では「通所系・短期系のみ」が58.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.9%、「訪問系のみ」が13.0%となっている。

図表 1-15 サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況 (認知症Ⅲ以上)



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係について、集計分析をしています（図表 1-16、図表 1-17）。それぞれ、要介護 3 以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護 等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の 1 つです。
- ここでは「サービス利用の組み合わせ」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることを想定しています。
- したがって、「主な介護者の不安」が比較的小さくなるような「サービス利用の組み合わせ」を推進するようなサービス整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

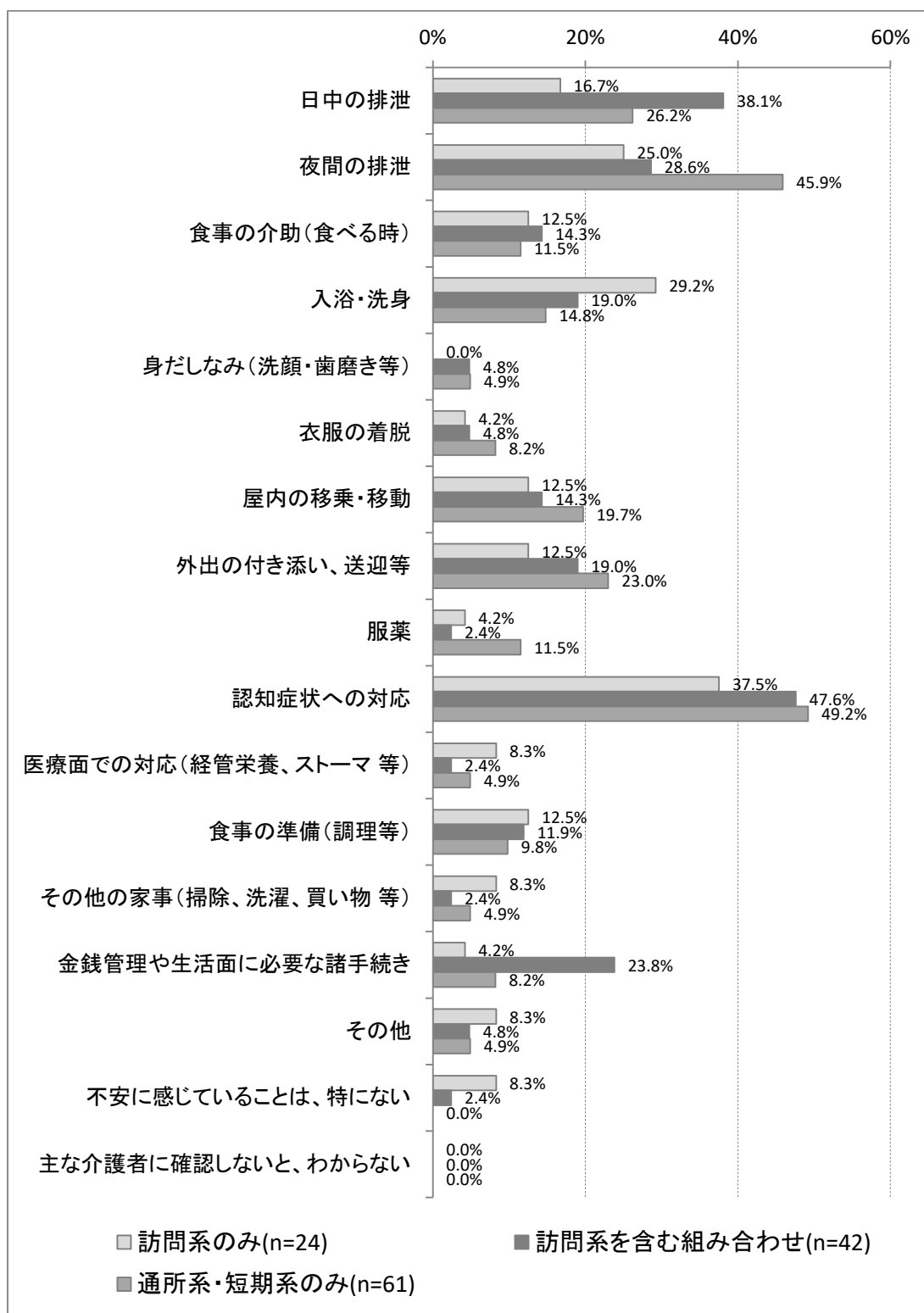
【留意事項】

- ただし、このような「サービス利用の組み合わせ」については、ケアマネジメントに直結する内容でもあることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。
- 例えば、「□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低い」といった傾向がみられたとしても、「何故、□□のサービスを利用しているケースでは、〇〇の介護について「主な介護者が不安に感じる」割合が低いのか」といった解釈には、地域の特性や専門職の知見等を踏まえた個別の議論を行うことが必要になります。

【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「認知症状への対応」が37.5%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が29.2%、「夜間の排泄」が25.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が47.6%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が38.1%、「夜間の排泄」が28.6%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が49.2%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が45.9%、「日中の排泄」が26.2%となっている。

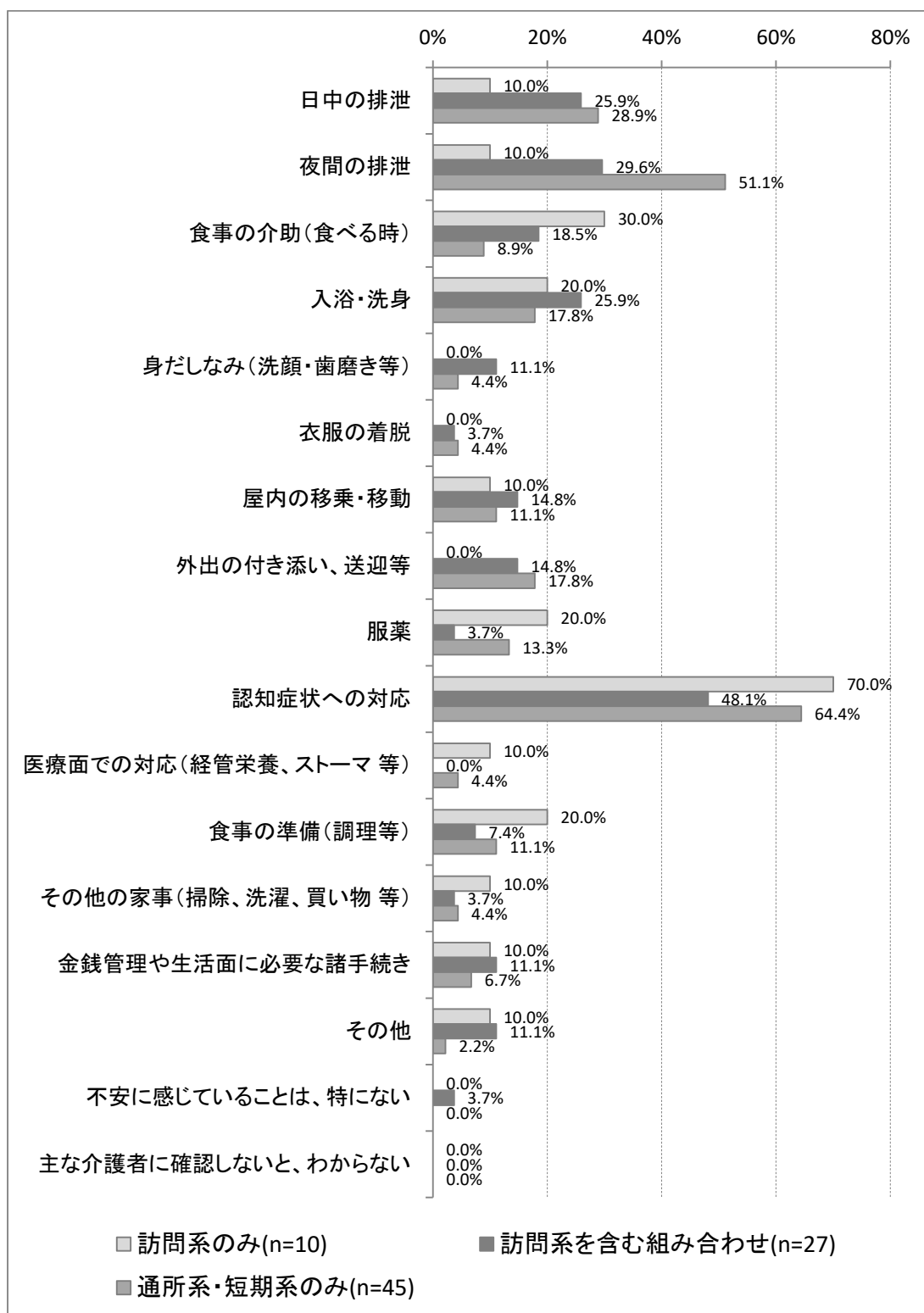
図表 1-16 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（要介護3以上）



【サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「認知症状への対応」が70.0%ともっとも割合が高く、次いで「食事の介助(食べる時)」が30.0%、「入浴・洗身」、「服薬」、「食事の準備(調理等)」が20.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「認知症状への対応」が48.1%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が29.6%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」が25.9%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が64.4%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が51.1%、「日中の排泄」が28.9%となっている。

図表 1-17 サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護（認知症Ⅲ以上）



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

【着目すべきポイント】

- (4)では、「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」について、集計分析を行っています。それぞれ、要介護3以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-18 と図表 1-19 が訪問系、図表 1-20 と図表 1-21 通所系、図表 1-22 と図表 1-23 が短期系について集計分析した結果です。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、施設等への入所・入居を「検討していない」割合が高くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

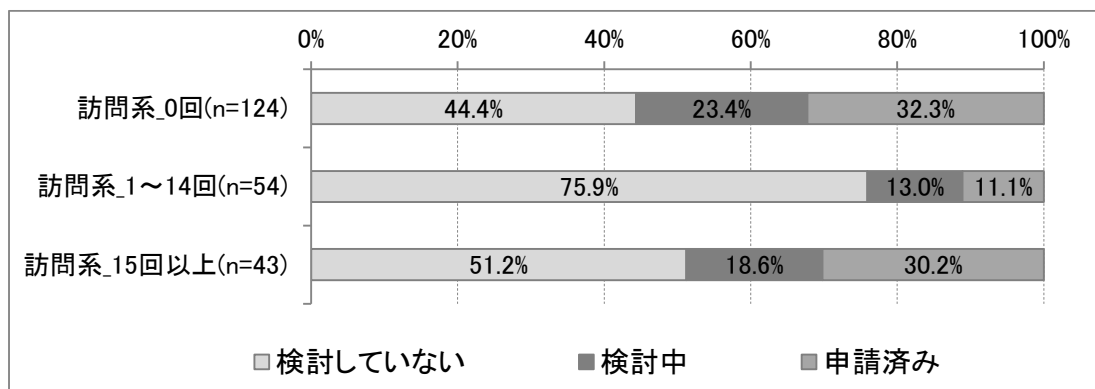
【留意事項】

- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、在宅限界点の向上に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (4)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が44.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が32.3%、「検討中」が23.4%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が75.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.0%、「申請済み」が11.1%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が51.2%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が30.2%、「検討中」が18.6%となっている。

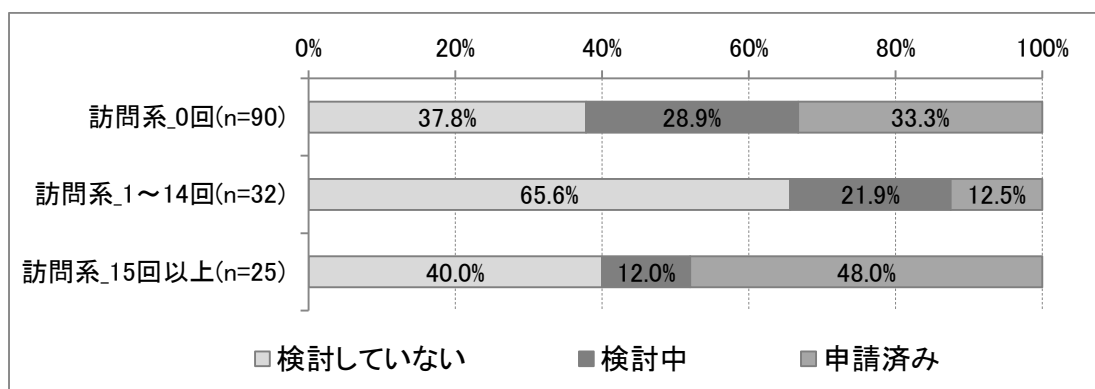
図表 1-18 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、要介護3以上）<**>



【サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が37.8%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討中」が28.9%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が65.6%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.9%、「申請済み」が12.5%となっている。「訪問系_15回以上」では「申請済み」が48.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が40.0%、「検討中」が12.0%となっている。

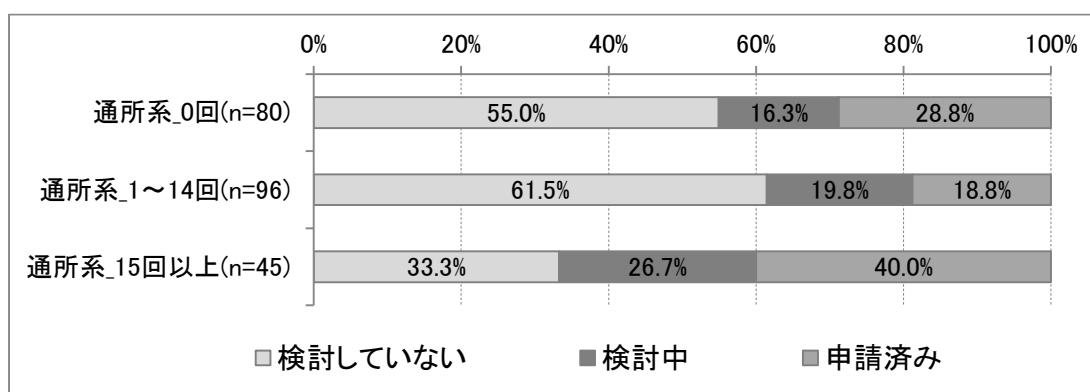
図表 1-19 サービス利用回数と施設等検討の状況（訪問系、認知症Ⅲ以上）<*>



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が55.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が28.8%、「検討中」が16.3%となっている。「通所系_1~14回」では「検討していない」が61.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が19.8%、「申請済み」が18.8%となっている。「通所系_15回以上」では「申請済み」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「検討中」が26.7%となっている。

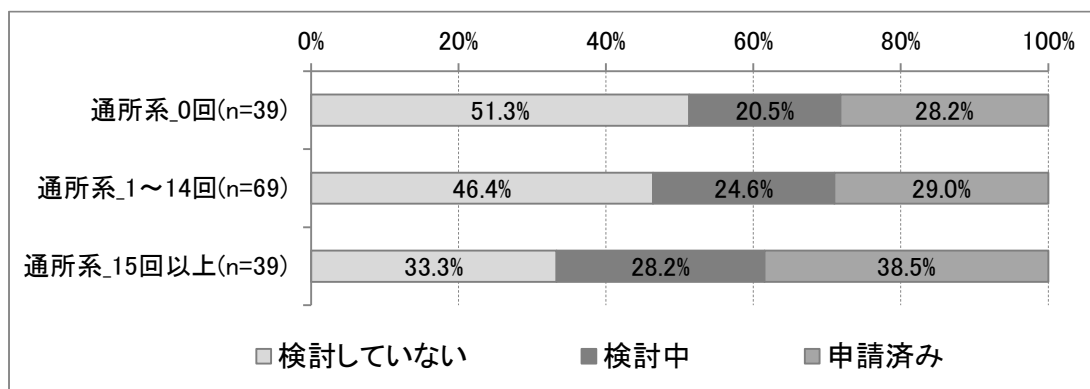
図表 1-20 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、要介護3以上）<*\>



【サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が51.3%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が28.2%、「検討中」が20.5%となっている。「通所系_1~14回」では「検討していない」が46.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が29.0%、「検討中」が24.6%となっている。「通所系_15回以上」では「申請済み」が38.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「検討中」が28.2%となっている。

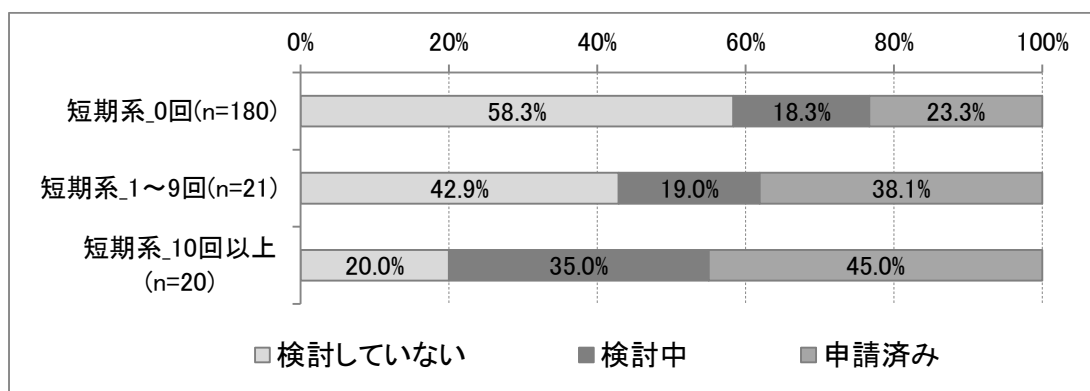
図表 1-21 サービス利用回数と施設等検討の状況（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が58.3%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が23.3%、「検討中」が18.3%となっている。「短期系_1～9回」では「検討していない」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が38.1%、「検討中」が19.0%となっている。「短期系_10回以上」では「申請済み」が45.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が35.0%、「検討していない」が20.0%となっている。

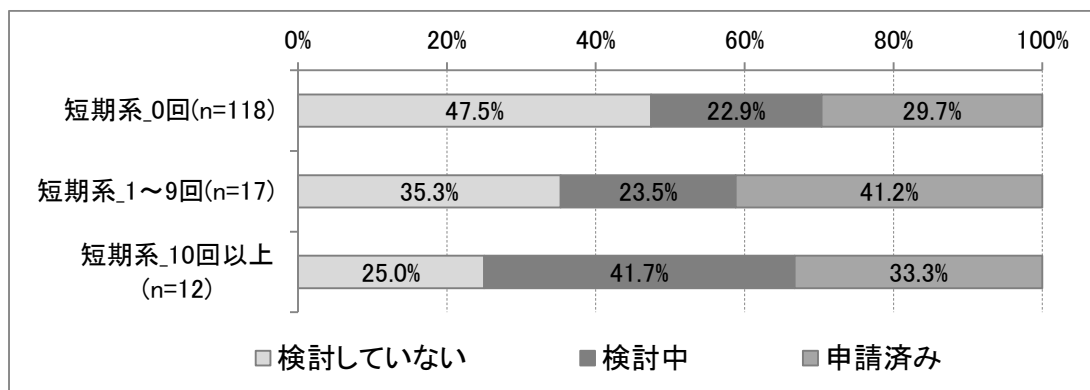
図表 1-22 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、要介護3以上）〈*〉



【サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症Ⅲ以上)】

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が47.5%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が29.7%、「検討中」が22.9%となっている。「短期系_1～9回」では「申請済み」が41.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が35.3%、「検討中」が23.5%となっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が33.3%、「検討していない」が25.0%となっている。

図表 1-23 サービス利用回数と施設等検討の状況（短期系、認知症Ⅲ以上）



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係

【着目すべきポイント】

- (5)では、「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係を分析しましたが、ここでは「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、集計分析を行っています。
- 「在宅生活の継続に向けてポイントとなる介護（主な介護者の不安が大きな介護等）」について、「主な介護者が不安に感じる」割合を下げることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「サービス利用の回数」との関係を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。
- 図表 1-24 と図表 1-25 が訪問系、図表 1-26 と図表 1-27 が通所系、図表 1-28 と図表 1-29 が短期系について集計分析した結果です。それぞれ、要介護 3 以上と認知症自立度Ⅲ以上に分けて集計分析を行っています。
- 「サービス利用の回数」の増加に伴い、「主な介護者が不安に感じる」割合が低くなるような支援・サービスの整備を進めていくことで、在宅限界点の向上につながるなどが期待されます。

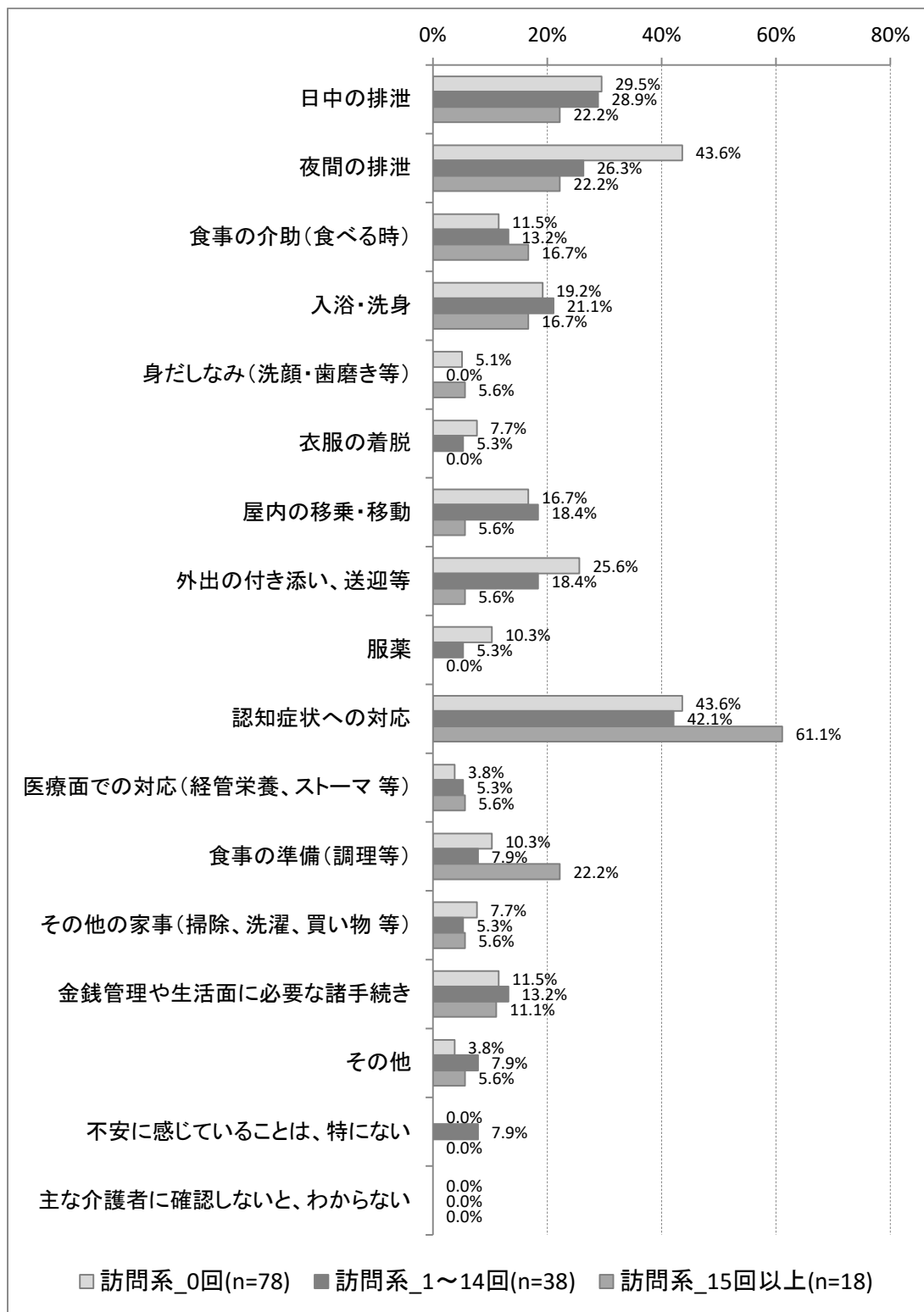
【留意事項】

- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と、ここでの「サービス利用の回数」の2つの分析結果を参考に、介護者不安の軽減に資するサービス整備方針の検討につなげていくことが重要です。
- (5)の「サービス利用の組み合わせ」と同様、ケアマネジメントに直結する内容であることから、ここでの集計分析結果やその解釈については、ケアマネジャー等を含む専門職との議論・考察を交えながら、地域ごとにその効果等についての議論を深めていくことが重要となります。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が43.6%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が29.5%、「外出の付き添い、送迎等」が25.6%となっている。「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が42.1%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が28.9%、「夜間の排泄」が26.3%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が61.1%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の準備(調理等)」が22.2%、「食事の介助(食べる時)」、「入浴・洗身」が16.7%となっている。

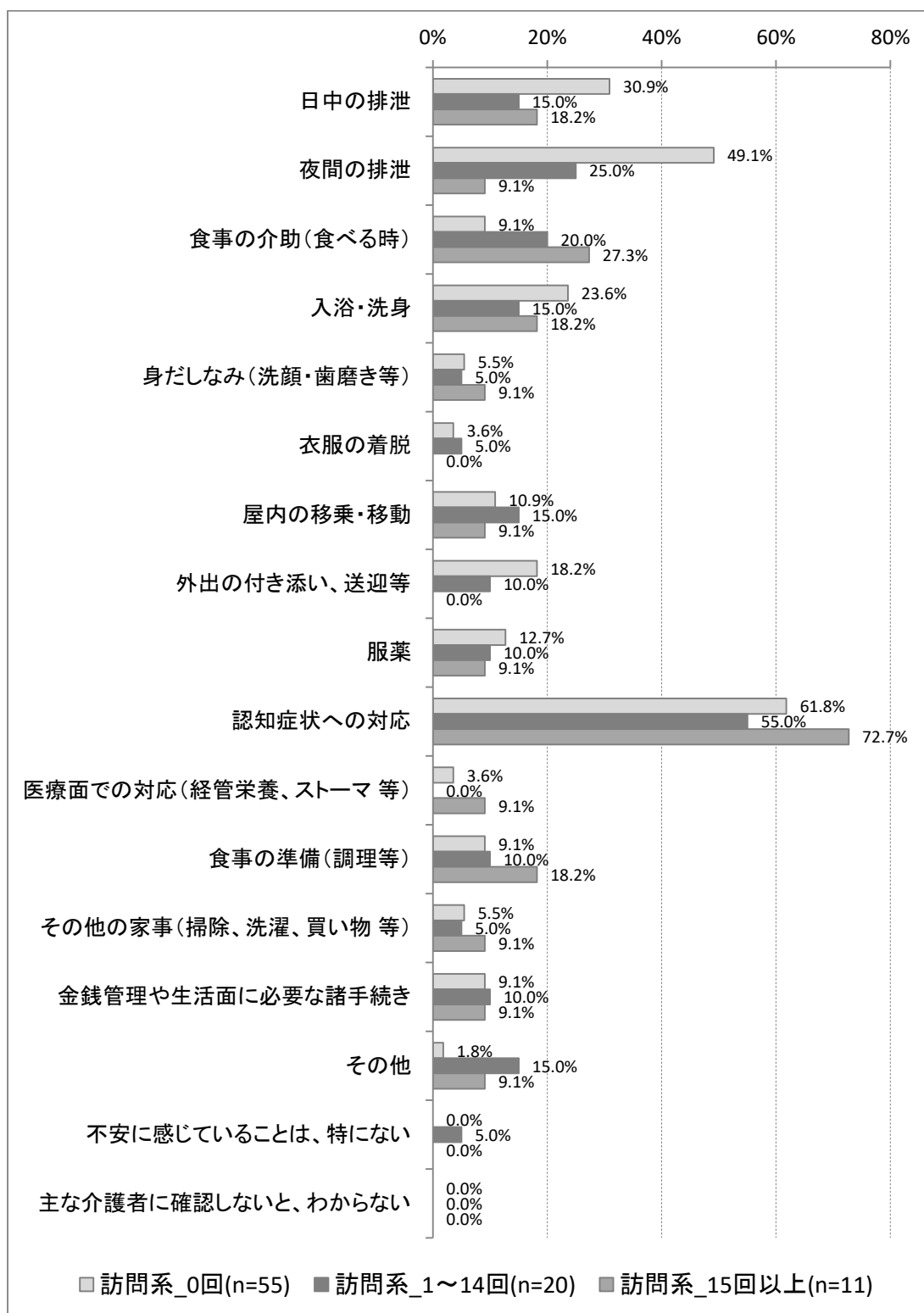
図表 1-24 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が61.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が49.1%、「日中の排泄」が30.9%となっている。「訪問系_1～14回」では「認知症状への対応」が55.0%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が25.0%、「食事の介助(食べる時)」が20.0%となっている。「訪問系_15回以上」では「認知症状への対応」が72.7%ともっとも割合が高く、次いで「食事の介助(食べる時)」が27.3%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「食事の準備(調理等)」が18.2%となっている。

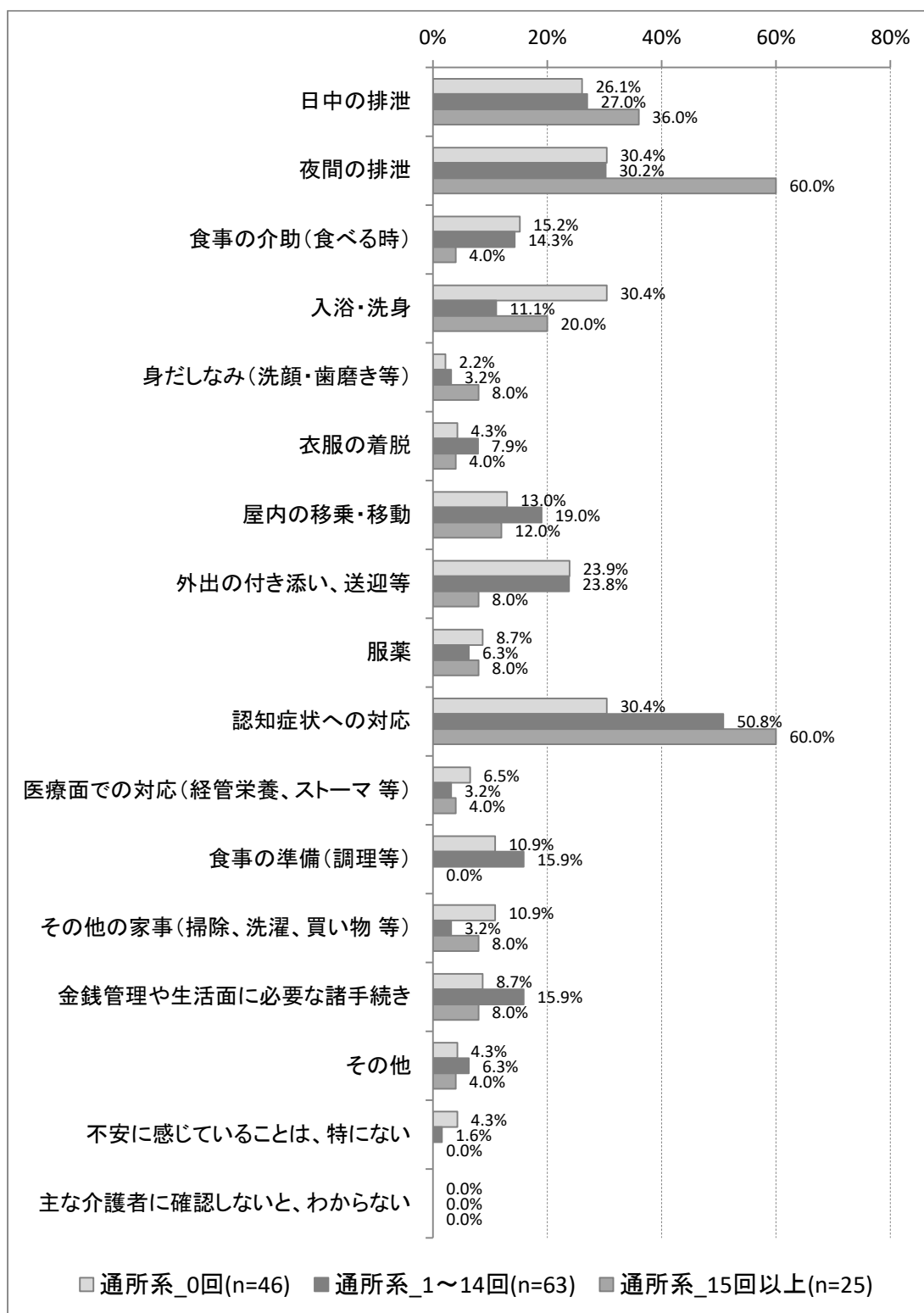
図表 1-25 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が30.4%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が26.1%、「外出の付き添い、送迎等」が23.9%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が50.8%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が30.2%、「日中の排泄」が27.0%となっている。「通所系_15回以上」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が36.0%、「入浴・洗身」が20.0%となっている。

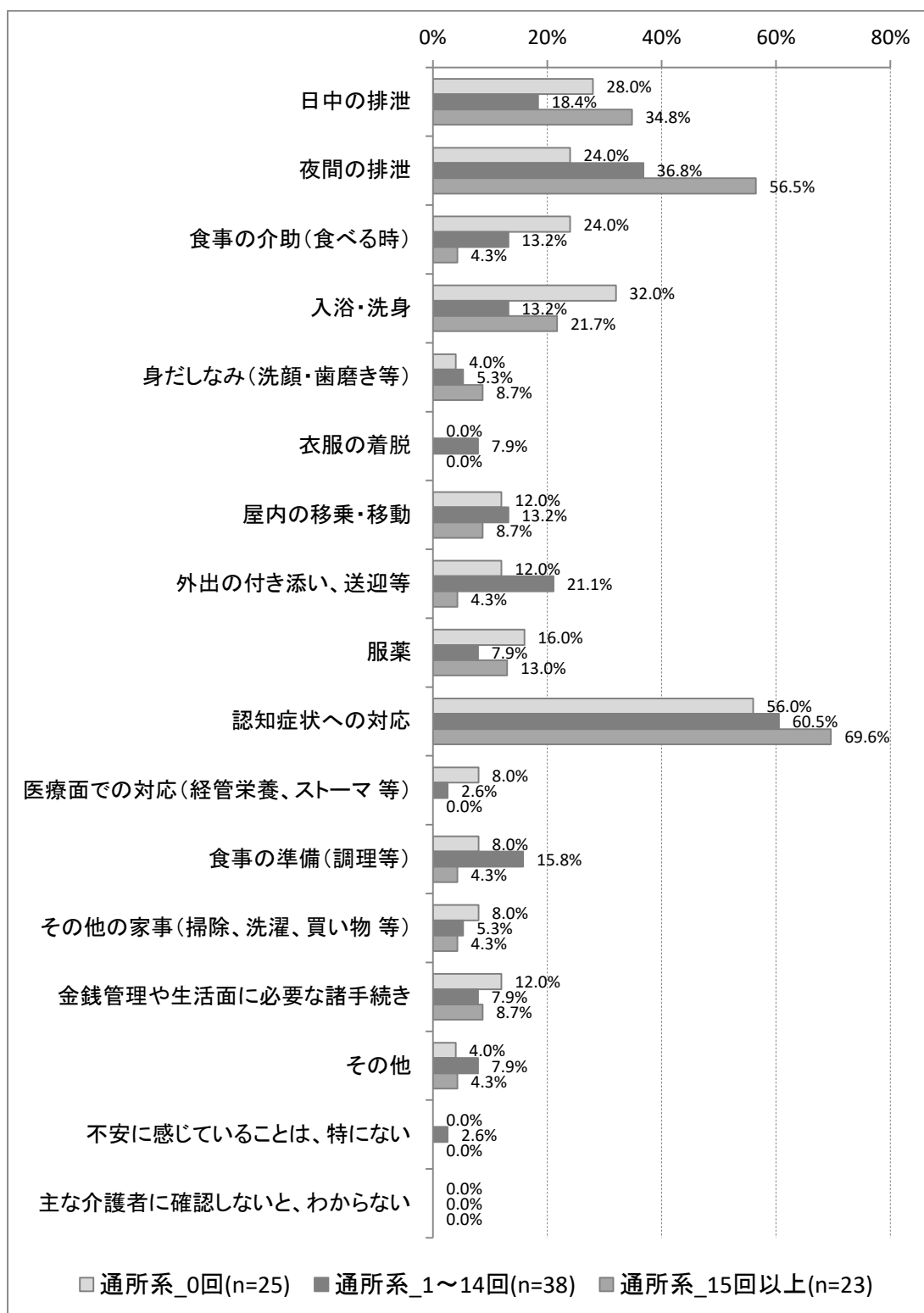
図表 1-26 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「認知症状への対応」が56.0%ともっとも割合が高く、次いで「入浴・洗身」が32.0%、「日中の排泄」が28.0%となっている。「通所系_1～14回」では「認知症状への対応」が60.5%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が36.8%、「外出の付き添い、送迎等」が21.1%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が69.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が56.5%、「日中の排泄」が34.8%となっている。

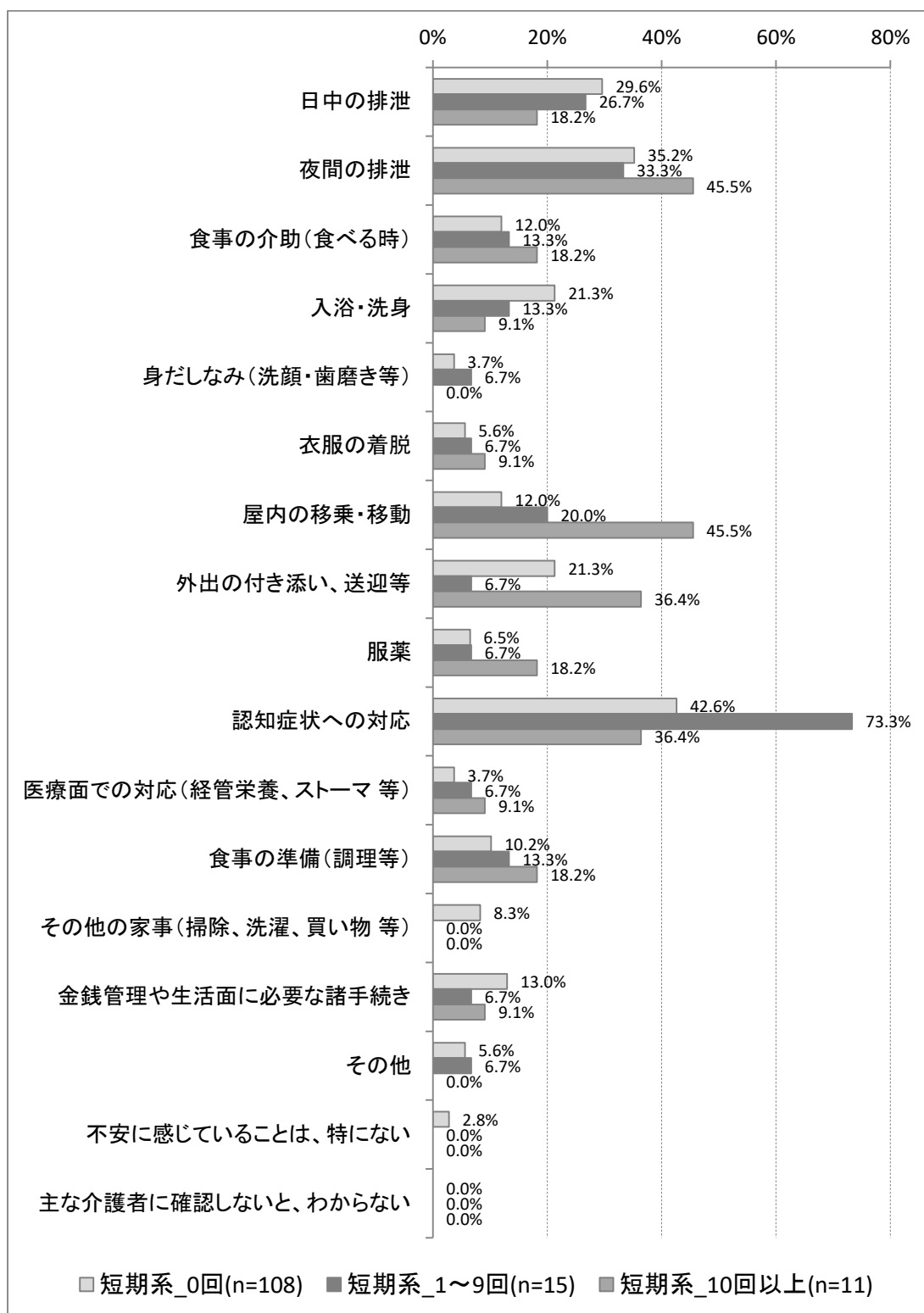
図表 1-27 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が42.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が35.2%、「日中の排泄」が29.6%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が73.3%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が33.3%、「日中の排泄」が26.7%となっている。「短期系_10回以上」では「夜間の排泄」、「屋内の移乗・移動」が45.5%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が36.4%、「日中の排泄」、「食事の介助(食べる時)」、「服薬」、「食事の準備(調理等)」が18.2%となっている。

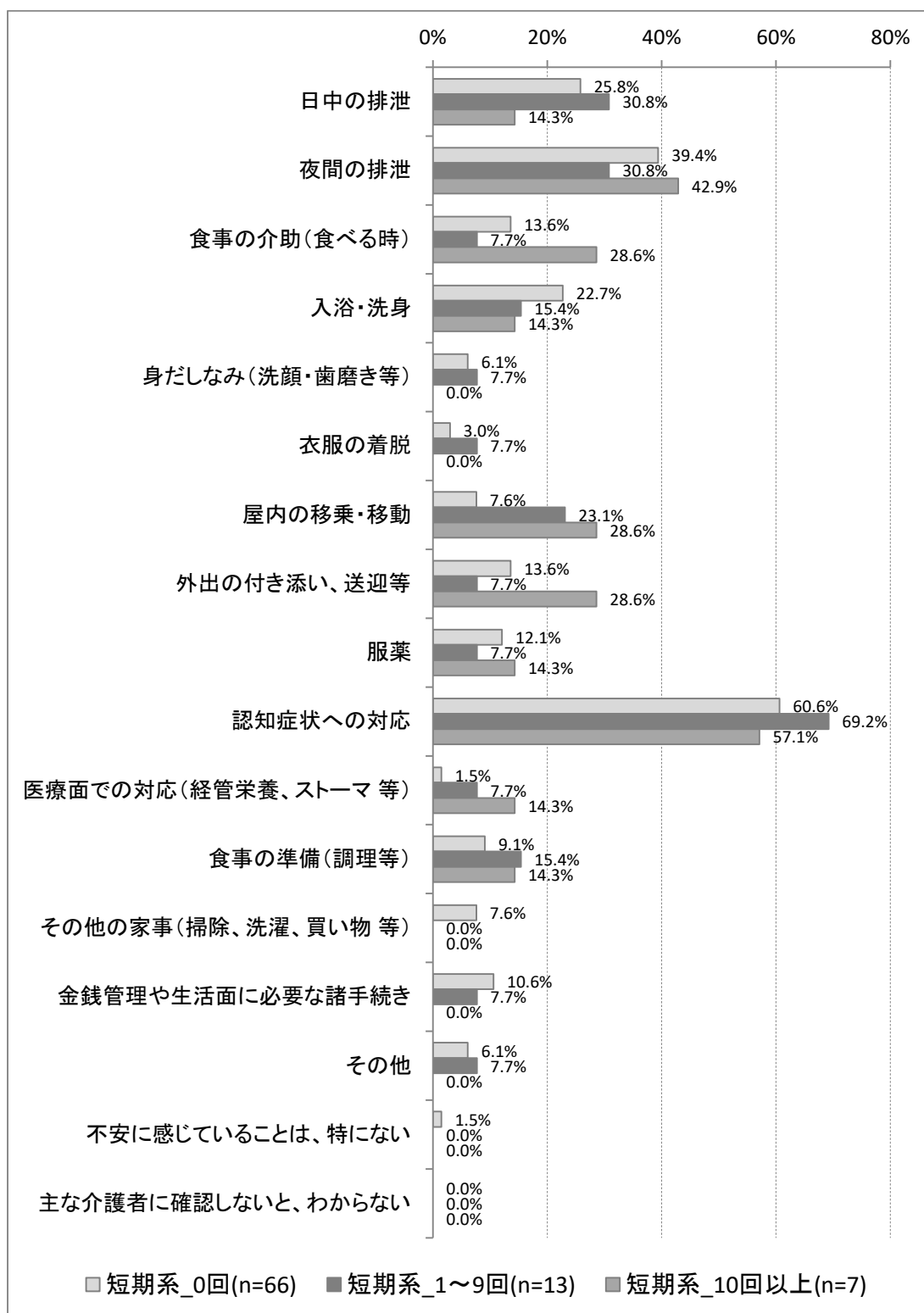
図表 1-28 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）



【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)】

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が60.6%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が39.4%、「日中の排泄」が25.8%となっている。「短期系_1～9回」では「認知症状への対応」が69.2%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」が30.8%、「屋内の移乗・移動」が23.1%となっている。「短期系_10回以上」では「認知症状への対応」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が42.9%、「食事の介助(食べる時)」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」が28.6%となっている。

図表 1-29 サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）



1.3 考察

(1) 「認知症状への対応」、「夜間の排泄」に焦点を当てた対応策の検討

- ・介護者不安の側面からみた場合の、在宅限界点に影響を与える要素としては、「認知症状への対応」と「夜間の排泄」の2つが得られました。(図表 2-5)
- ・介護者の方の「認知症状への対応」と「夜間の排泄」に係る介護不安を如何に軽減していくかが、在宅限界点の向上を図るための重要なポイントになると考えられます。
- ・更に、要介護度別に細分化してみた場合では、要支援1から要介護2までは、「外出の付き添い、送迎等」に係る介護者不安の割合が高くなっています。(図表 1-4)
- ・したがって要介護者の在宅生活の継続の達成に向けては、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」及び「外出支援」に係る介護者不安の軽減を目標として、具体的な取組につなげていくことが1つの方法として考えられます。
- ・具体的な取組としては介護教室や本人・介護者同士の交流会をはじめとする介護者支援事業等により介護者不安の軽減を図ります。また、その達成のために、「地域資源」、「ケアマネジメント」、「各職種に期待される役割」、「多職種連携のあり方」等について、地域ケア会議等を通じて、関係者間で検討を進めていくことが必要です。
- ・単身世帯や高齢者のみ世帯が増える中、認知症の方に対して、本人の意思を尊重しながら、適切なサービス利用や支援をしていくためには、引き続き本人及びご家族の意思決定支援にも取り組む必要があります。

(2) 多頻度の訪問を含む、複数の支援・サービスを組み合わせたサービス提供

- ・サービス利用の組み合わせ別にみると、訪問系のサービスを利用しているケースで「認知症状への対応」や「夜間の排泄」に係る介護者の不安が軽減されるとともに、「施設等検討割合」が低下する傾向がみられました。(図表 1-16、図表 1-10)
- ・また、訪問系サービスを頻回に利用しているケースでも、「夜間の排泄」に係る介護者不安が軽減される傾向がみられました。(図表 1-24、図表 1-25、)
- ・このような多頻度の訪問系サービスの提供を実現するためには、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進を図ることが効果的であると考えられます。
- ・訪問系のサービス利用により、在宅生活の継続に寄与する傾向がみられたことは、在宅での生活に、介護職・看護職等の目が多く入ることで、生活環境の改善や介護者の不安の軽減につながったものと考えられます。
- ・したがって、地域目標の達成に向けては、サービス提供による効果が十分に得られるよう、各専門職が果たすべき役割について、関係者間での意見交換を行っていくことなどが重要であるといえます。

2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

2.1 集計・分析の狙い

- ここでは、介護者の就労継続見込みの向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、「主な介護者の就労状況」と「主な介護者の就労継続見込み」の2つの視点からの集計を行っています。
- 具体的には、「就労している介護者（フルタイム勤務、パートタイム勤務）」と「就労していない介護者」の違いに着目し、就労している介護者の属性や介護状況の特徴別に、必要な支援を集計・分析しています。
- さらに、「どのようなサービス利用」や「働き方の調整・職場の支援」を受けている場合に、「就労を継続することができる」という見込みを持つことができるのかを分析するために、主な介護者の「就労継続見込み」と、「主な介護者が行っている介護」や「介護保険サービスの利用の有無」、「介護のための働き方の調整」などとのクロス集計を行っています。
- 上記の視点からの分析では、要介護度や認知症高齢者の日常生活自立度といった要介護者の状態別の分析も加え、要介護者の自立度が重くなっても、在宅生活や就労を継続できる支援のあり方を検討しています。

2.2 集計結果と着目すべきポイント

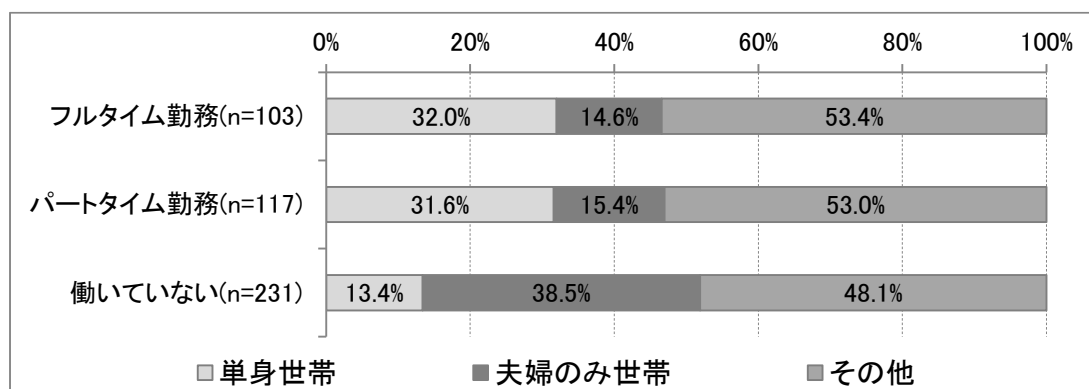
(1) 基本集計

- 主な介護者の就労状況（フルタイム勤務・パートタイム勤務・働いていない）別に、世帯や介護者の特徴などの基礎的な集計を行っています。
- 主な介護者の属性や、要介護者の要介護度・認知症自立度について、就労状況別にその状況を確認してください。

【就労状況別・世帯類型】

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が53.4%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が32.0%、「夫婦のみ世帯」が14.6%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が53.0%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が31.6%、「夫婦のみ世帯」が15.4%となっている。「働いていない」では「その他」が48.1%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が38.5%、「単身世帯」が13.4%となっている。

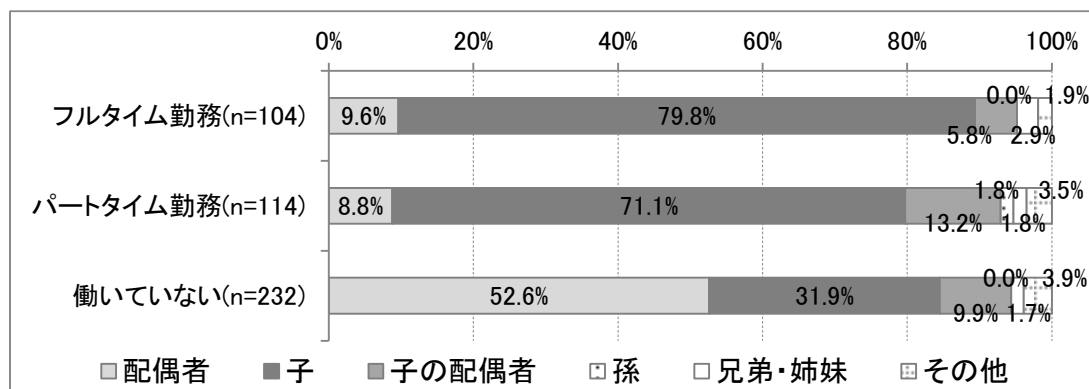
図表 2-1 就労状況別・世帯類型<***>



【就労状況別・★主な介護者の本人との関係】

主な介護者を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「子」が79.8%ともっとも割合が高く、次いで「配偶者」が9.6%、「子の配偶者」が5.8%となっている。「パートタイム勤務」では「子」が71.1%ともっとも割合が高く、次いで「子の配偶者」が13.2%、「配偶者」が8.8%となっている。「働いていない」では「配偶者」が52.6%ともっとも割合が高く、次いで「子」が31.9%、「子の配偶者」が9.9%となっている。

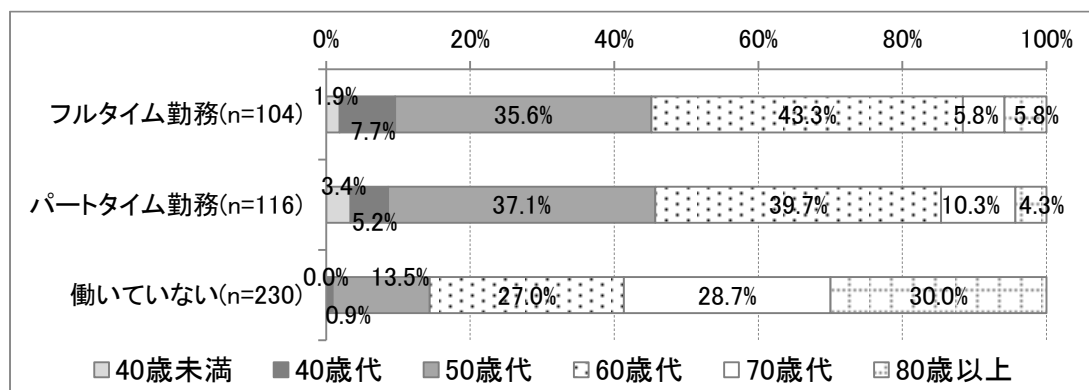
図表 2-2 就労状況別・★主な介護者の本人との関係<***>



【就労状況別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「60歳代」が43.3%ともっとも割合が高く、次いで「50歳代」が35.6%、「40歳代」が7.7%となっている。「パートタイム勤務」では「60歳代」が39.7%ともっとも割合が高く、次いで「50歳代」が37.1%、「70歳代」が10.3%となっている。「働いていない」では「80歳以上」が30.0%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が28.7%、「60歳代」が27.0%となっている。

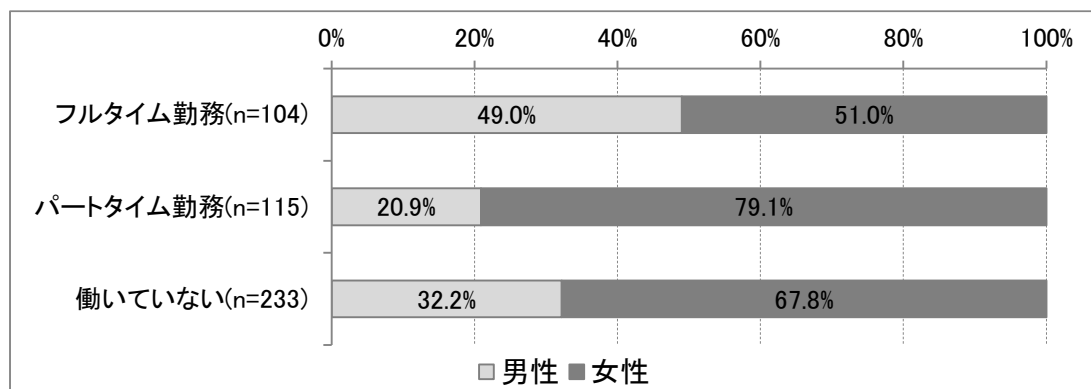
図表 2-3 就労状況別・主な介護者の年齢<***>



【就労状況別・主な介護者の性別】

介護者の性別を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「女性」が51.0%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が49.0%となっている。「パートタイム勤務」では「女性」が79.1%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が20.9%となっている。「働いていない」では「女性」が67.8%ともっとも割合が高く、次いで「男性」が32.2%となっている。

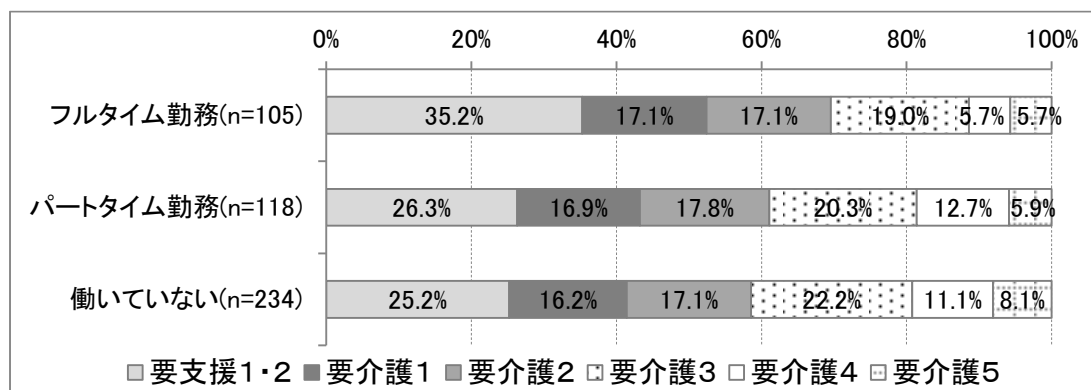
図表 2-4 就労状況別・主な介護者の性別<***>



【就労状況別・要介護度】

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要支援1・2」が35.2%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3」が19.0%、「要介護1」、「要介護2」が17.1%となっている。「パートタイム勤務」では「要支援1・2」が26.3%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3」が20.3%、「要介護2」が17.8%となっている。「働いていない」では「要支援1・2」が25.2%ともっとも割合が高く、次いで「要介護3」が22.2%、「要介護2」が17.1%となっている。

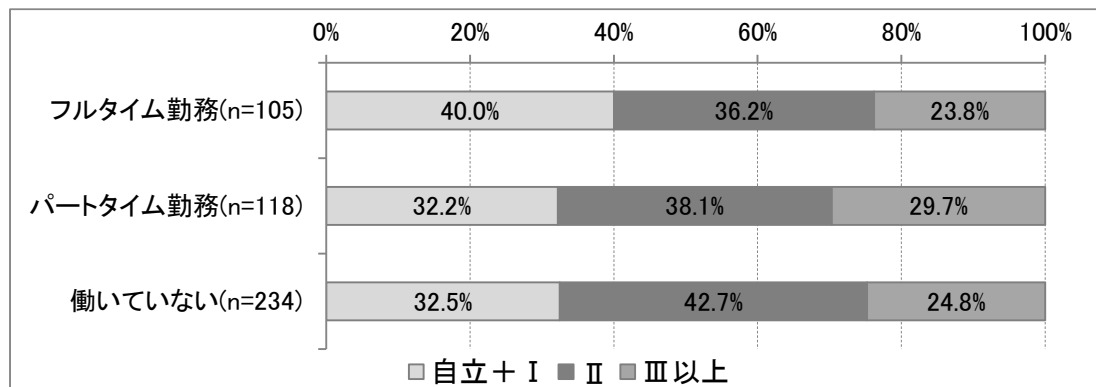
図表 2-5 就労状況別・要介護度



【就労状況別・認知症自立度】

認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+Ⅰ」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「Ⅱ」が36.2%、「Ⅲ以上」が23.8%となっている。「パートタイム勤務」では「Ⅱ」が38.1%ともっとも割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が32.2%、「Ⅲ以上」が29.7%となっている。「働いていない」では「Ⅱ」が42.7%ともっとも割合が高く、次いで「自立+Ⅰ」が32.5%、「Ⅲ以上」が24.8%となっている。

図表 2-6 就労状況別・認知症自立度



(2) 就労状況別の、主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

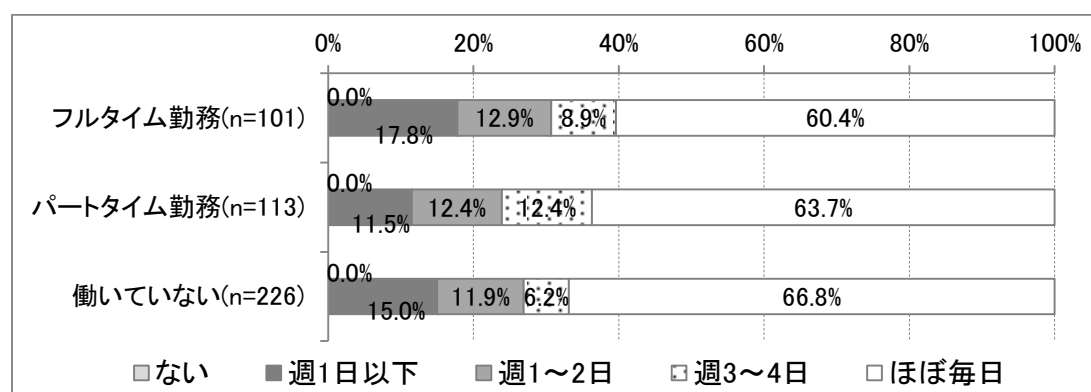
【着目すべきポイント】

- ここでは、「主な介護者が行っている介護」と「今後の就労継続見込み」について、主な介護者の就労状況別に集計分析をしています（図表 2-8、図表 2-9）。
- 「主な介護者が行っている介護」について、例えば、「働いていない」と比較して、「フルタイム勤務」や「パートタイム勤務」で少ない介護は、働いている介護者が、他の介護者や介護サービスの支援を必要としているものと考えられます。
- 「今後の就労継続見込み」については、「就労状況」との関係に加え、「要介護度」や「認知症自立度」別についても、集計分析を行っています。これにより、要介護者の重度化に伴って就労継続見込みを困難と考える人が増加するかどうかを把握することができます。
- なお、就労継続見込みの分析においては、「問題なく、続けていける」の割合と、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」をあわせた「続けていける」と考えている人の割合の2つの指標に着目しています（図表 2-10、図表 2-11）。

【就労状況別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が60.4%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が17.8%、「週1～2日」が12.9%となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が63.7%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」、「週3～4日」が12.4%、「週1日以下」が11.5%となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が66.8%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が15.0%、「週1～2日」が11.9%となっている。

図表 2-7 就労状況別・家族等による介護の頻度

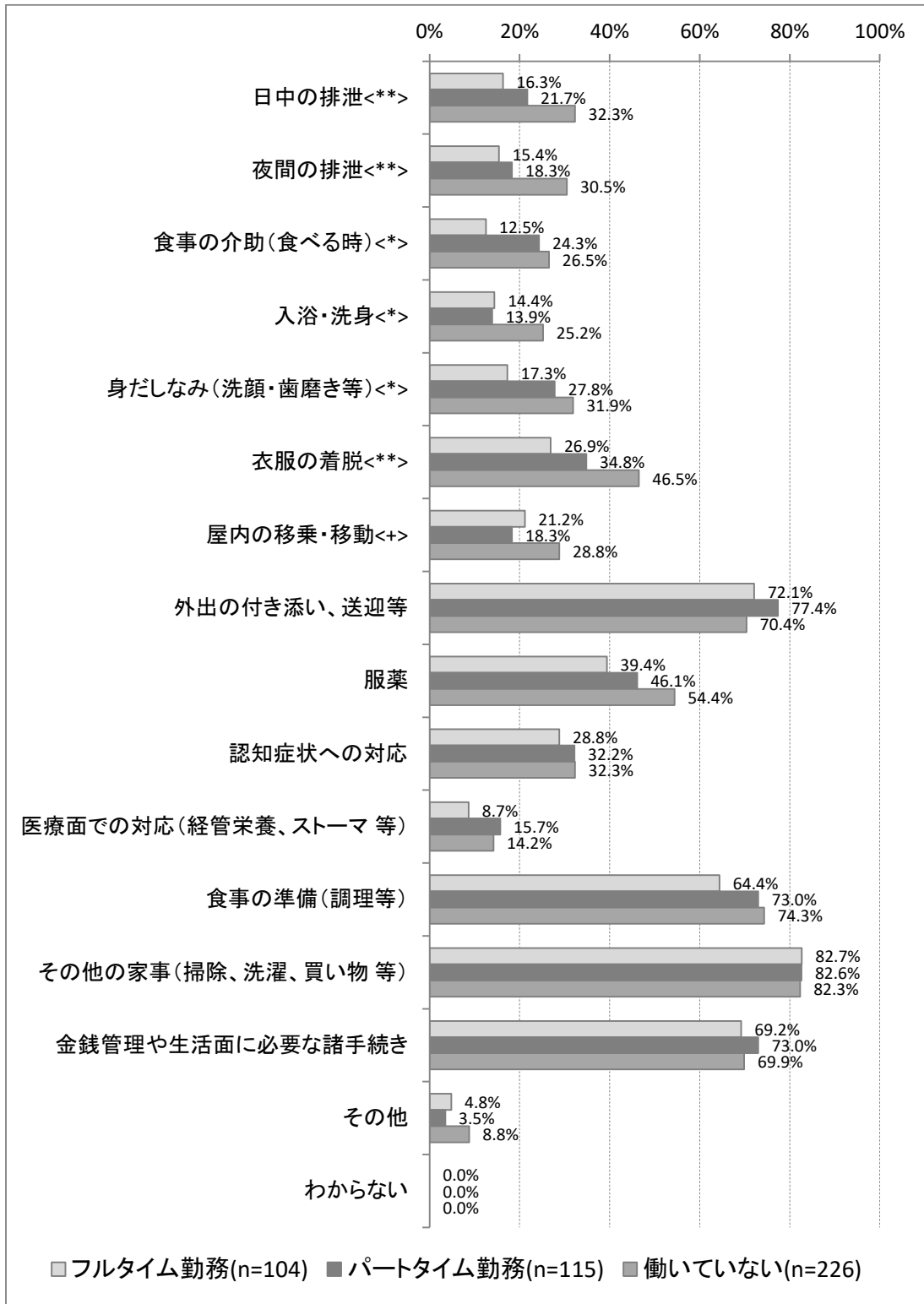


【就労状況別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.7%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が72.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が69.2%となっている。

「パートタイム勤務」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.6%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が77.4%、「食事の準備（調理等）」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.0%となっている。「働いていない」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が82.3%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が74.3%、「外出の付き添い、送迎等」が70.4%となっている。

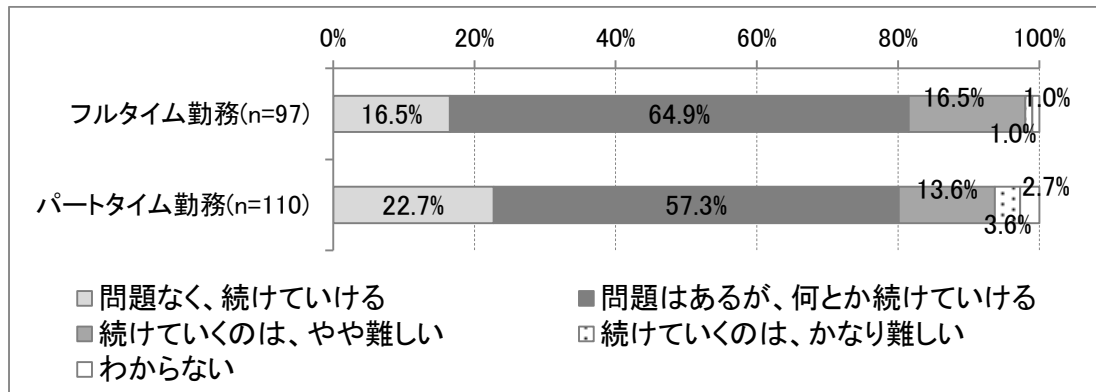
図表 2-8 就労状況別・★主な介護者が行っている介護



【就労状況別・就労継続見込み】

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が64.9%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、やや難しい」が16.5%、「続けていくのは、かなり難しい」、「わからない」が1.0%となっている。「パートタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.3%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が22.7%、「続けていくのは、やや難しい」が13.6%となっている。

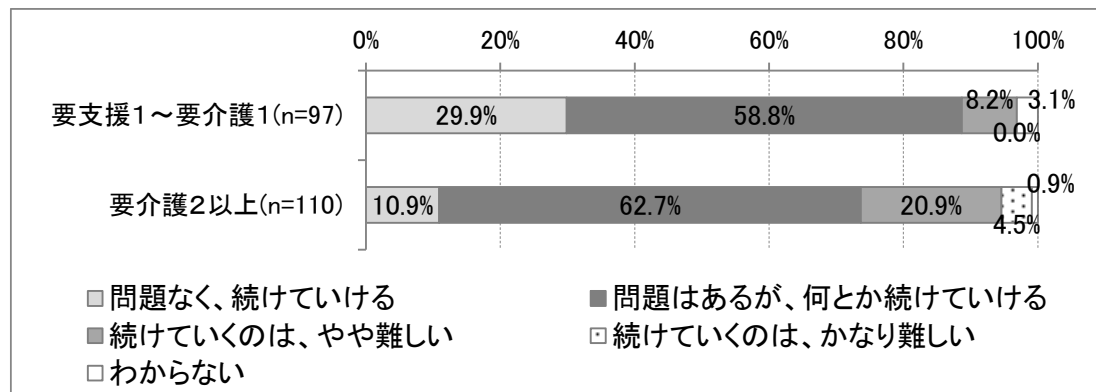
図表 2-9 就労状況別・就労継続見込み



【要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.8%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が29.9%、「続けていくのは、やや難しい」が8.2%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が62.7%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が20.9%、「問題なく、続けていける」が10.9%となっている。

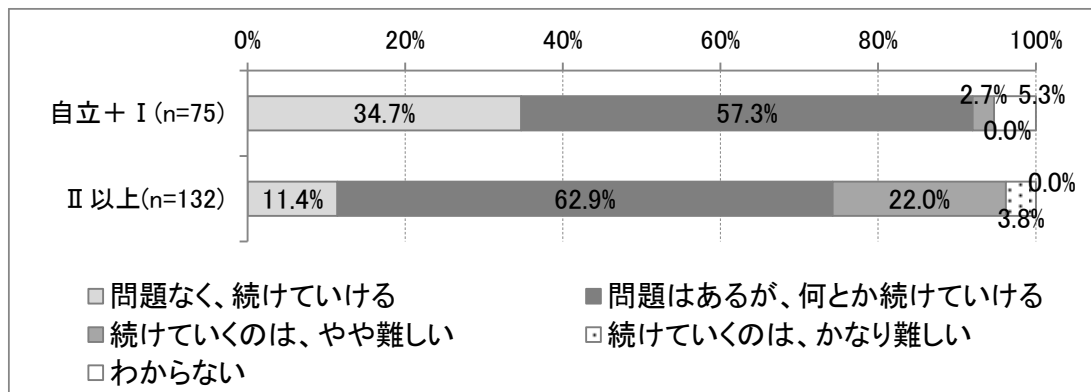
図表 2-10 要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務) <***>



【認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.3%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が34.7%、「わからない」が5.3%となっている。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が62.9%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が22.0%、「問題なく、続けていける」が11.4%となっている。

図表 2-11 認知症自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務) <***>



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

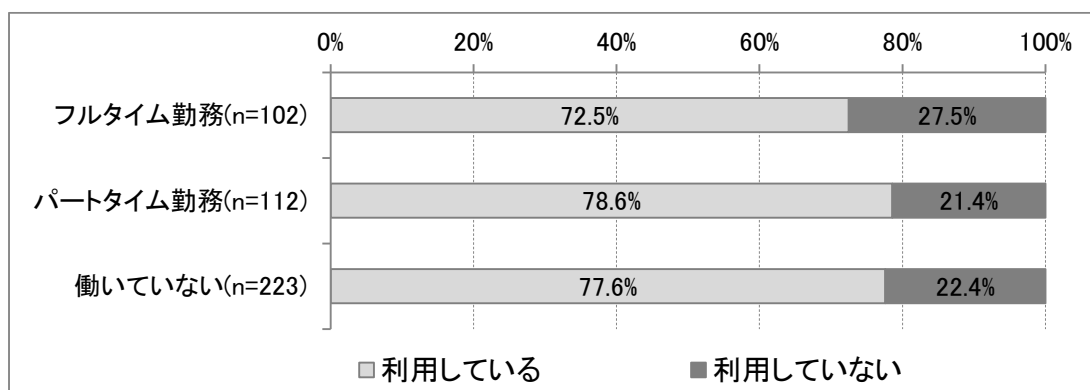
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護保険サービスの利用状況」と「主な介護者が不安に感じる介護」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-12～図表 2-15）。
- 「介護保険サービスの利用状況」と「就労継続見込み」の関係についての集計分析から、サービス利用による就労継続見込みへの影響を把握することができます。さらに、サービスを利用していない人の「サービス未利用の理由」について、就労継続が困難と考える人が、そうでない人と比較して特徴がみられる理由に着目することで、必要なサービス利用がなされているかどうかを推測することができます。
- 例えば、就労継続が困難と考える人において、サービスを「利用していない」割合が高く、かつサービスを利用していない理由として、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が低い割合にとどまっている場合には、サービス利用の必要性が低くないにも関わらず、サービスの利用がなされていないこととなります（図表 2-13、図表 2-14）。
- 「主な介護者が不安に感じる介護」については、就労継続見込みの困難化に伴い、どのような介護等で不安が増加しているかに着目することで、在宅生活を継続しながらの就労継続について、介護者がその可否を判断するポイントとなる可能性がある介護等を把握することができます。

【就労状況別・★介護保険サービス利用の有無】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用している」が72.5%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が27.5%となっている。「パートタイム勤務」では「利用している」が78.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が21.4%となっている。「働いていない」では「利用している」が77.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が22.4%となっている。

図表 2-12 就労状況別・★介護保険サービス利用の有無

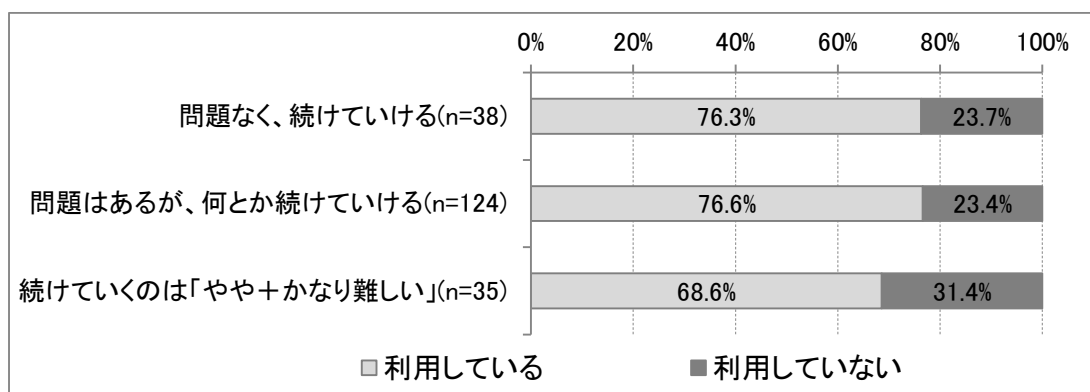


【就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護保険サービスの利用の有無を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「利用している」が76.3%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が23.7%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「利用している」が76.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が23.4%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「利用している」が68.6%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が31.4%となっている。

図表 2-13 就労継続見込み別・★介護保険サービス利用の有無

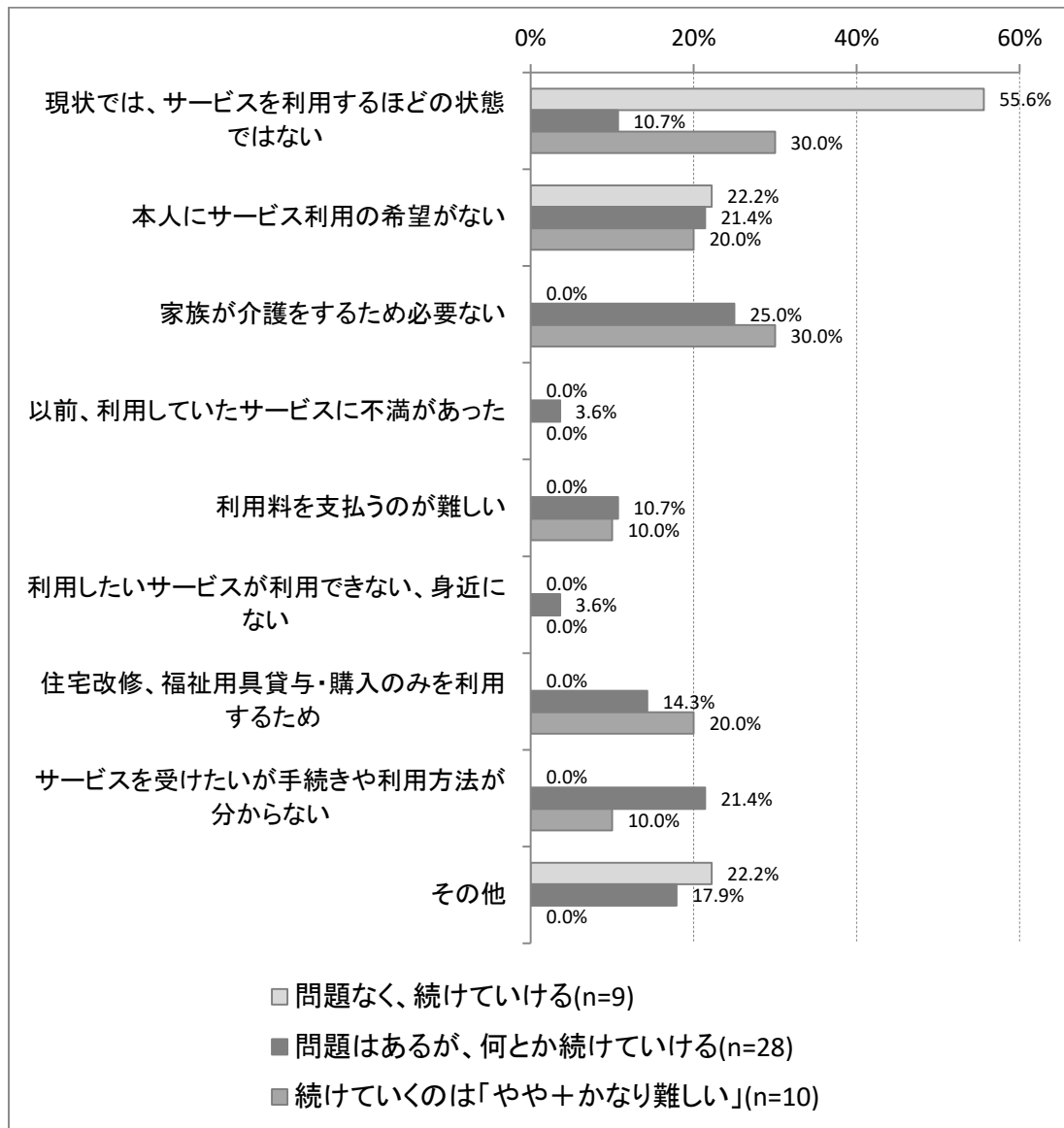
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



【就労継続見込み別・★サービス未利用の理由(フルタイム勤務+パート勤務)】

未利用の理由を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が22.2%、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「家族が介護をするため必要ない」が25.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が21.4%、「その他」が17.9%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」が30.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が20.0%、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が10.0%となっている。

図表 2-14 就労継続見込み別・★サービス未利用の理由（フルタイム勤務+パート勤務）

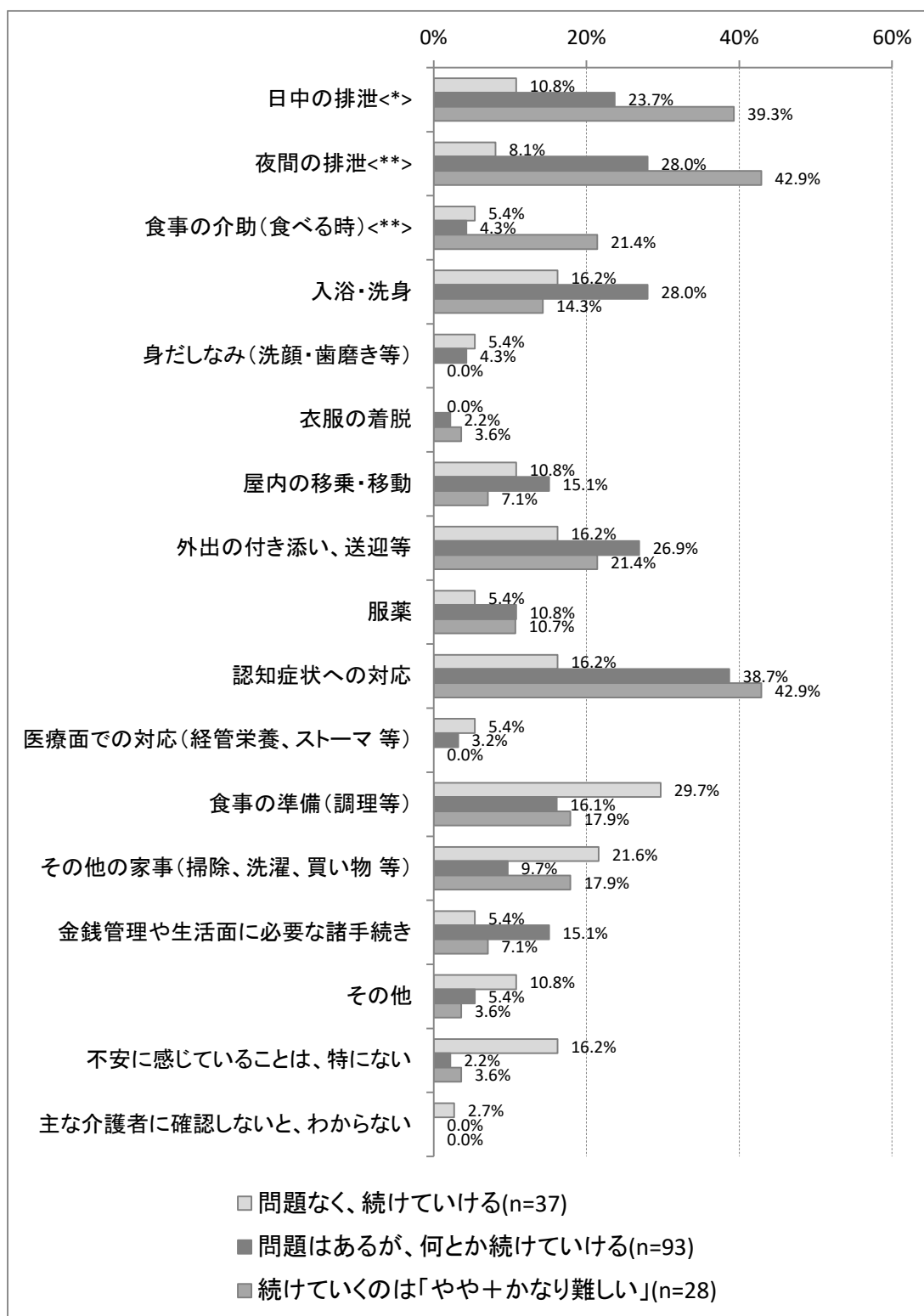


【就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「食事の準備(調理等)」が29.7%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が21.6%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」、「不安に感じていることは、特にない」が16.2%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が38.7%ともっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が28.0%、「外出の付き添い、送迎等」が26.9%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「日中の排泄」が39.3%、「食事の介助(食べる時)」、「外出の付き添い、送迎等」が21.4%となっている。

図表 2-15 就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護

(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

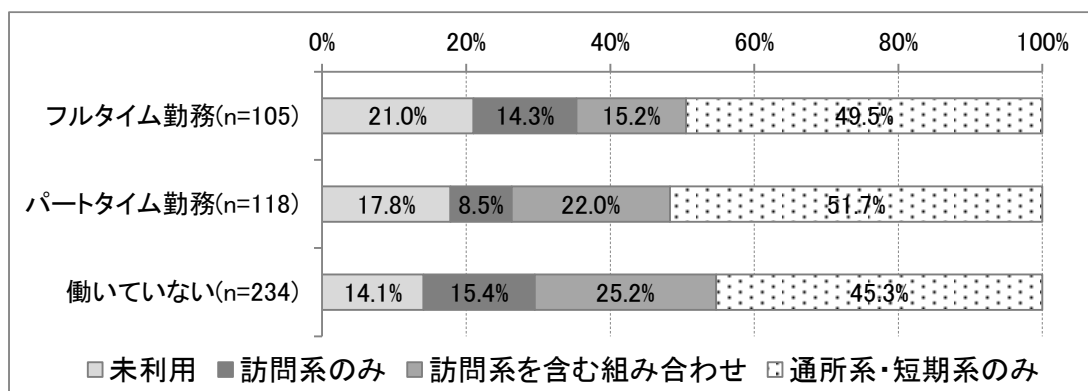
【着目すべきポイント】

- ここでは、「サービス利用の組み合わせ」について、組み合わせのパターンを簡略化し、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています。さらに、訪問系サービスについては、要介護2以上、認知症自立度Ⅱ以上に分けて集計分析を行っています（図表2-16～図表2-18）。
- ここから、主な介護者の就労状況によって、「サービス利用の組み合わせ」に差がみられるかどうかを把握することができます。
- また、「訪問系サービスの利用の有無」と「就労継続見込み」の関係を集計分析することで、訪問系サービスの利用が、就労継続見込みの「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の割合に影響を与えているかどうかを推測することが可能です。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が49.5%と最も割合が高く、次いで「未利用」が21.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.2%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が51.7%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.0%、「未利用」が17.8%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が45.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.2%、「訪問系のみ」が15.4%となっている。

図表 2-16 就労状況別・サービス利用の組み合わせ

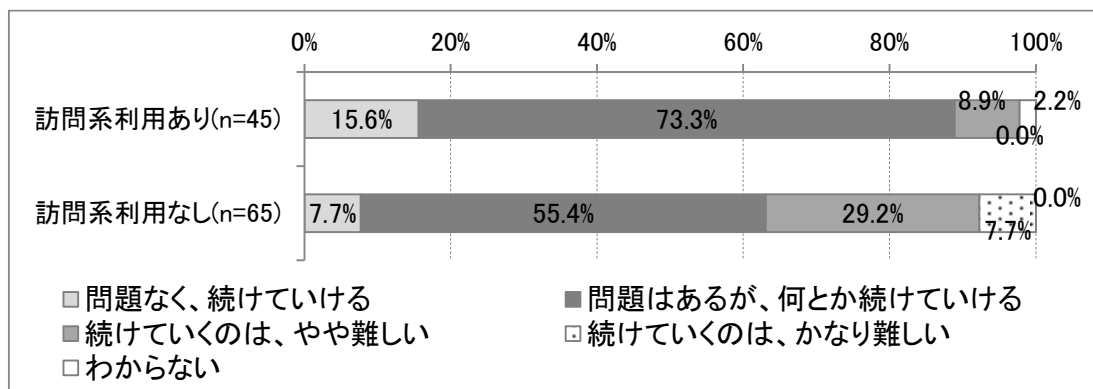


【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が73.3%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が15.6%、「続けていくのは、やや難しい」が8.9%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が55.4%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が29.2%、「問題なく、続けていける」、「続けていくのは、かなり難しい」が7.7%となっている。

図表 2-17 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み

(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務) <*>

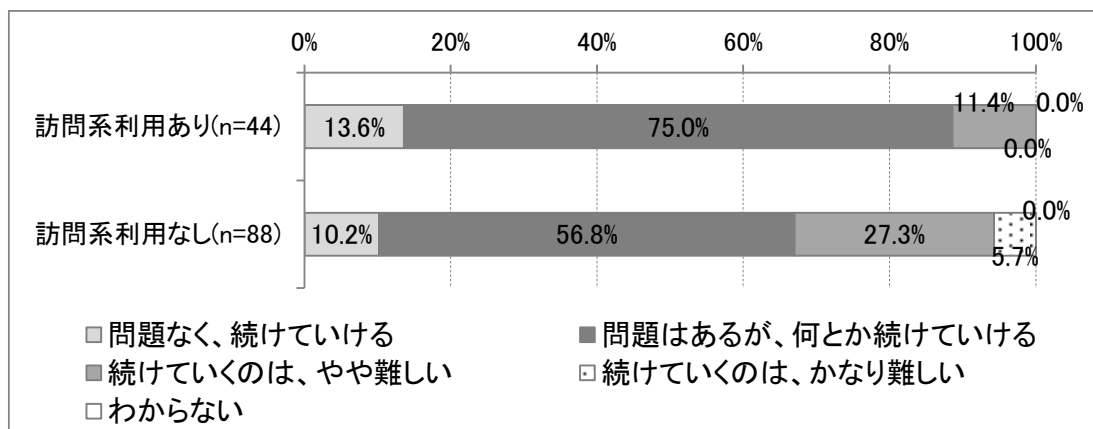


【サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）】

介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が75.0%ともっとも割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が13.6%、「続けていくのは、やや難しい」が11.4%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.8%ともっとも割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が27.3%、「問題なく、続けていける」が10.2%となっている。

図表 2-18 サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み

（認知症自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務＋パートタイム勤務）<+>



(5) 就労状況別の、保険外の支援・サービスの利用状況と、施設等検討の状況

【着目すべきポイント】

- ここでは、「保険外の支援・サービスの利用状況」、「訪問診療の利用の有無」、「施設等検討の状況」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-19～図表 2-22）。
- 「利用している保険外の支援・サービス」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」の差をみることにより、働いている介護者が必要と感じているが、実際には利用されていない生活支援サービスを把握することができます。
- また、「訪問診療の利用の有無」と就労状況との関係を集計分析することで、訪問診療の利用が就労状況により異なるかどうかを把握することができます。
- 「施設等検討の状況」については、働いていない介護者に比べて、働いている介護者では、施設入所を必要と感じているかどうか分析することを目的としています。
- さらに、要介護2以上の中重度者については、就労継続見込みについて「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」と考える人のうち、どの程度の人が施設を検討しているかに着目しています。これにより、在宅での仕事と介護の両立が困難となった場合の対応として、施設対応の必要性と、在宅サービスや働き方の調整による対応の必要性のそれぞれについて、把握することができます。

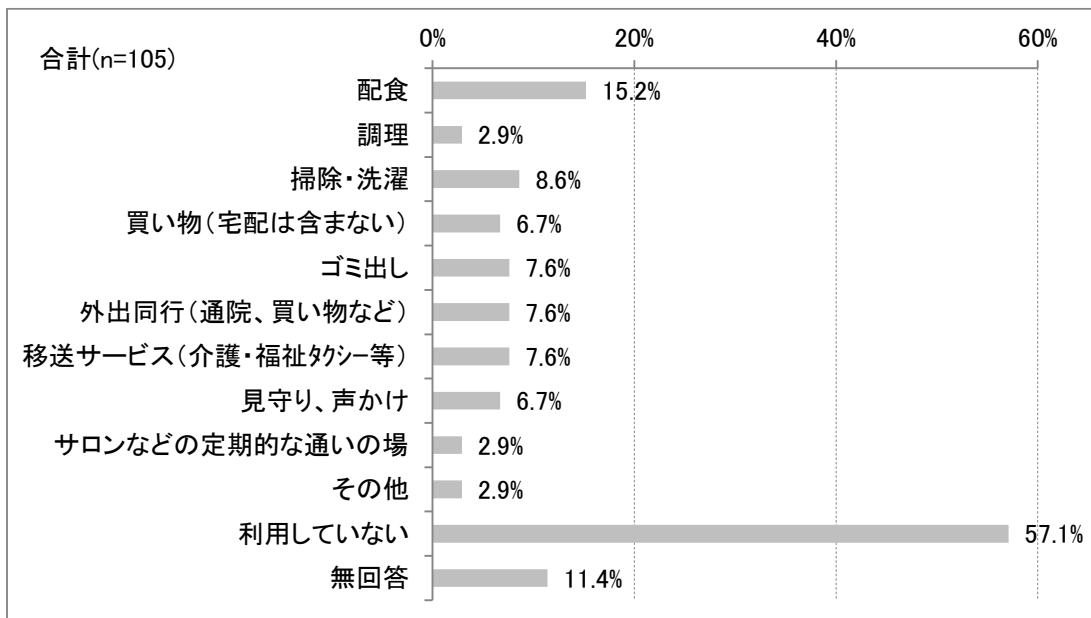
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。
- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。

【★利用している保険外の支援・サービス(フルタイム勤務)】

「利用していない」の割合が最も高く 57.1%となっている。次いで、「配食 (15.2%)」、「掃除・洗濯 (8.6%)」となっている。

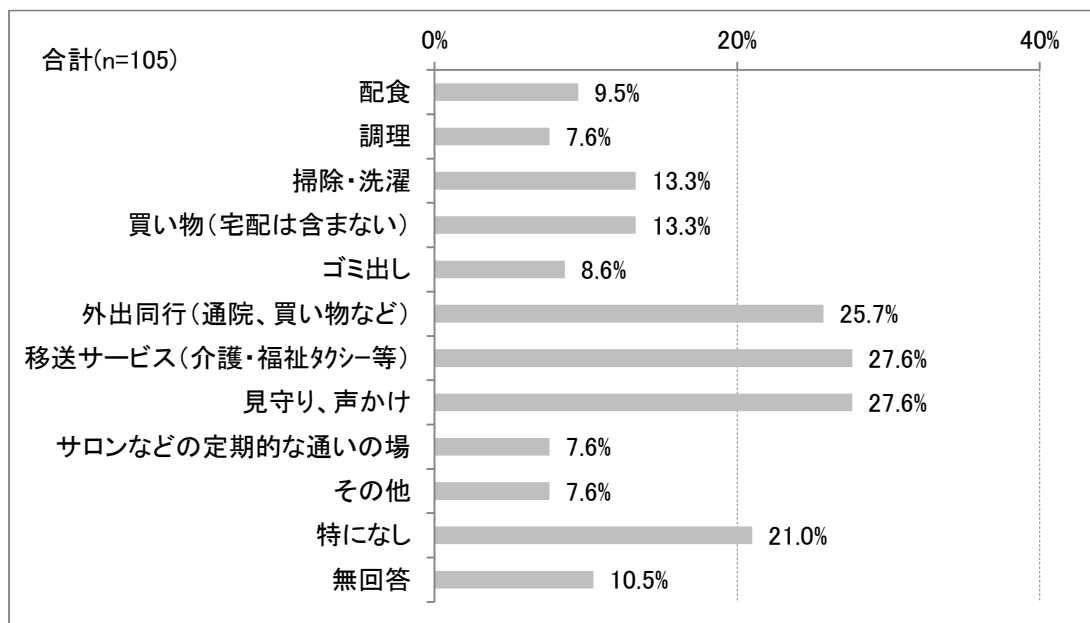
図表 2-19_1 ★利用している保険外の支援・サービス (フルタイム勤務)



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)】

「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」、「見守り、声かけ」の割合が高く、それぞれ27.6%となっている。次いで、「外出同行(通院、買い物など)(25.7%)」、「特になし(21.0%)」となっている。

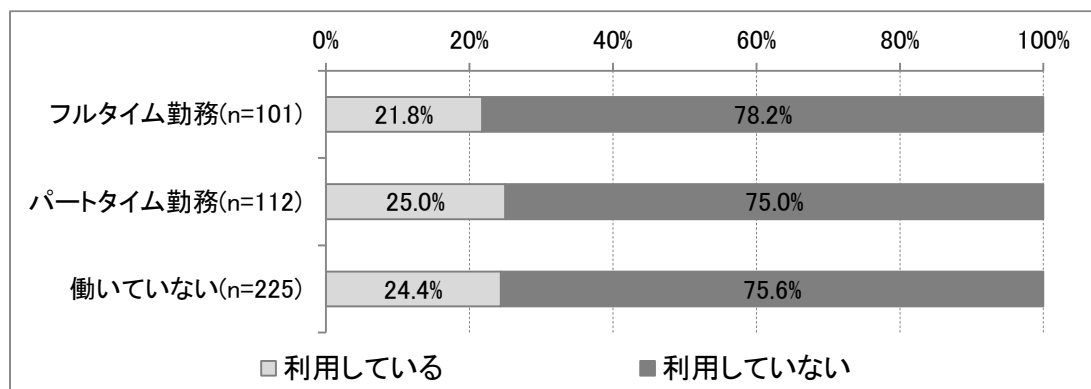
図表 2-19_2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(フルタイム勤務)



【就労状況別・★訪問診療の利用の有無】

訪問診療の利用の有無を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「利用していない」が78.2%と最も割合が高く、次いで「利用している」が21.8%となっている。「パートタイム勤務」では「利用していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「利用している」が25.0%となっている。「働いていない」では「利用していない」が75.6%と最も割合が高く、次いで「利用している」が24.4%となっている。

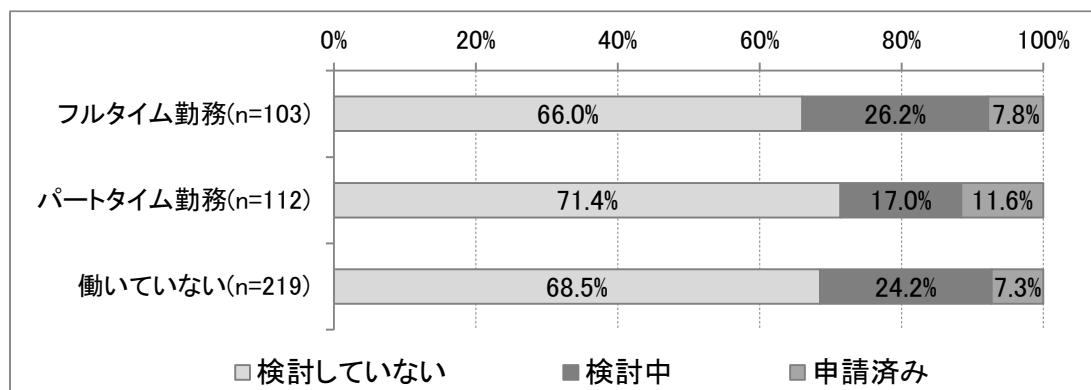
図表 2-20 就労状況別・★訪問診療の利用の有無



【就労状況別・施設等検討の状況】

施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が66.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が26.2%、「申請済み」が7.8%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が17.0%、「申請済み」が11.6%となっている。「働いていない」では「検討していない」が68.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が24.2%、「申請済み」が7.3%となっている。

図表 2-21 就労状況別・施設等検討の状況

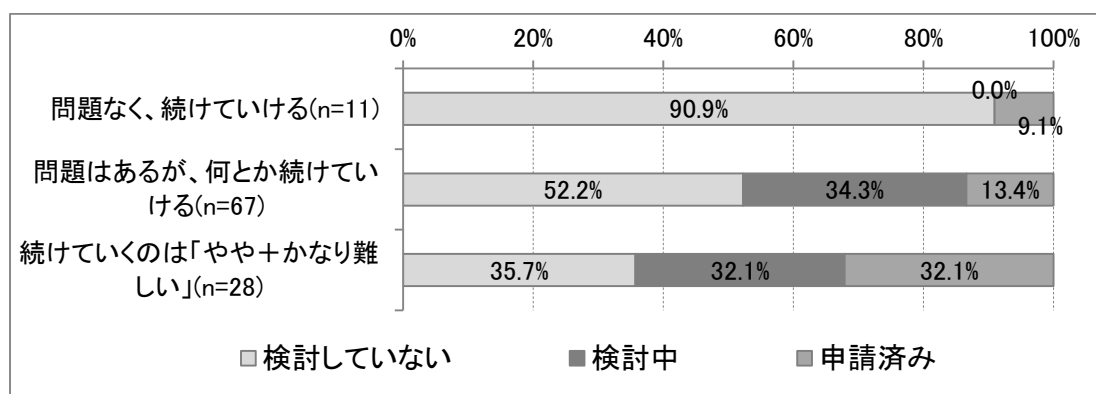


【就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が90.9%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が9.1%、「検討中」が0.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が52.2%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が34.3%、「申請済み」が13.4%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討していない」が35.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」、「申請済み」が32.1%となっている。

図表 2-22 就労継続見込み別・施設等検討の状況

(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務) <*>



(6) 就労状況別の、介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

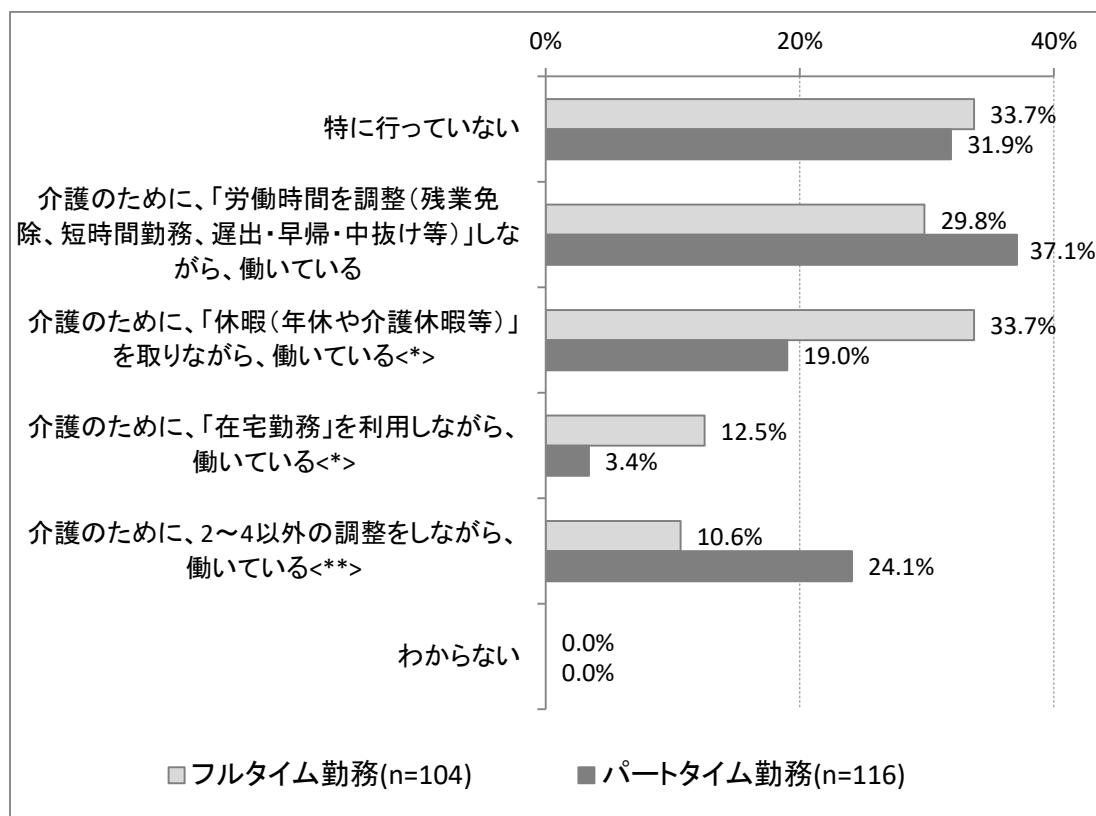
【着目すべきポイント】

- ここでは、「介護のための働き方の調整」と、「効果的な勤め先からの支援」について、主な介護者の就労状況別及び就労継続見込み別に集計分析をしています（図表 2-23～図表 2-26）。
- 就労継続見込みによって、介護のために働き方を調整している割合や、効果的と考える勤め先の支援内容がどのように変化するかに着目して集計分析をしています。
- ただし、「問題なく、続けていける」とする人において、働き方の調整を「特に行っていない」割合、もしくは効果的な勤め先の支援として「特にない」が高いケースは、職場が恒常的な長時間労働や、休暇取得が困難といった状況にはなく、介護のために特段働き方の調整や勤め先からの支援を行わなくても、両立可能な職場であることが考えられます。
- このように、職場の状況や業務の内容によっても、必要な調整や支援の内容が異なることに留意することが必要です。

【就労状況別・介護のための働き方の調整】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が33.7%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が29.8%、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が12.5%となっている。「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が37.1%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が31.9%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が24.1%となっている。

図表 2-23 就労状況別・介護のための働き方の調整

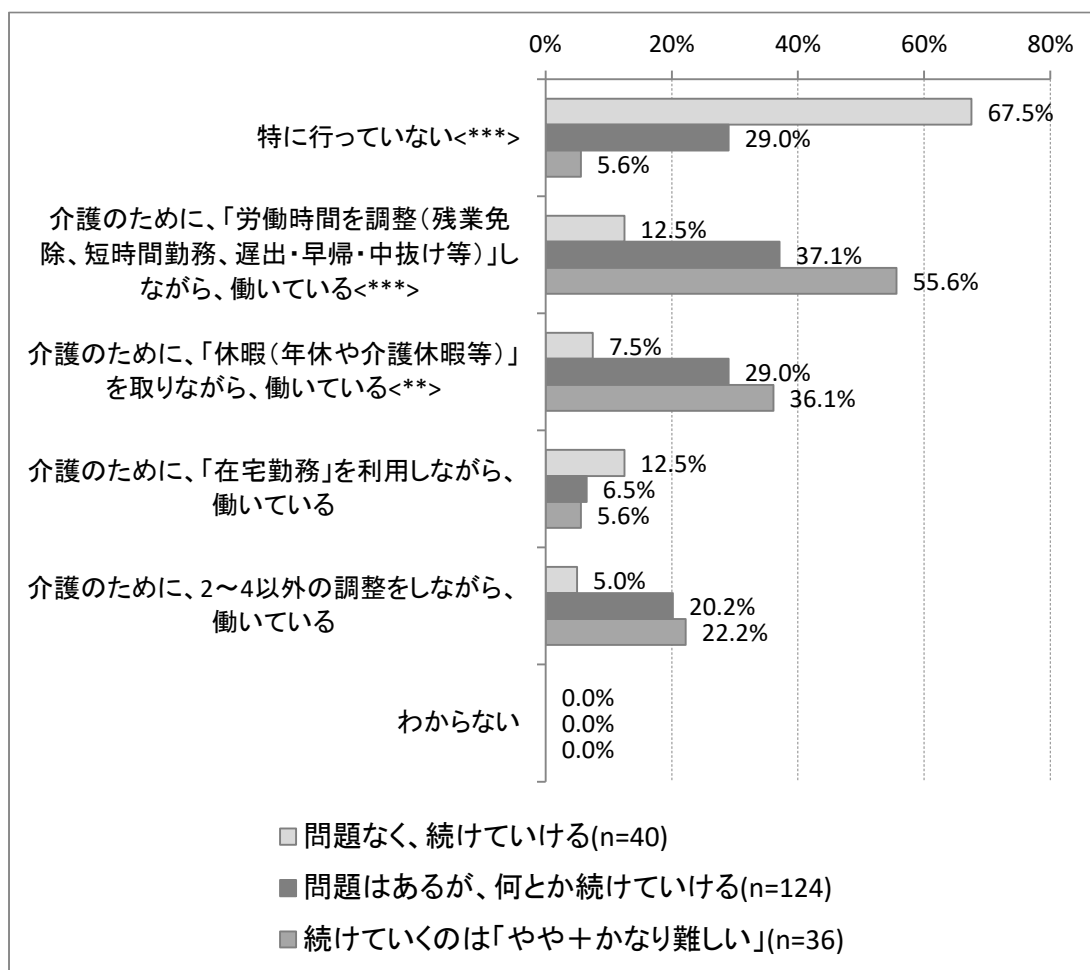


【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が67.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」、「介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている」が12.5%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が7.5%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が37.1%ともっとも割合が高く、次いで「特に行っていない」、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が29.0%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が20.2%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」では「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が36.1%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が22.2%となっている。

図表 2-24 就労継続見込み別・介護のための働き方の調整

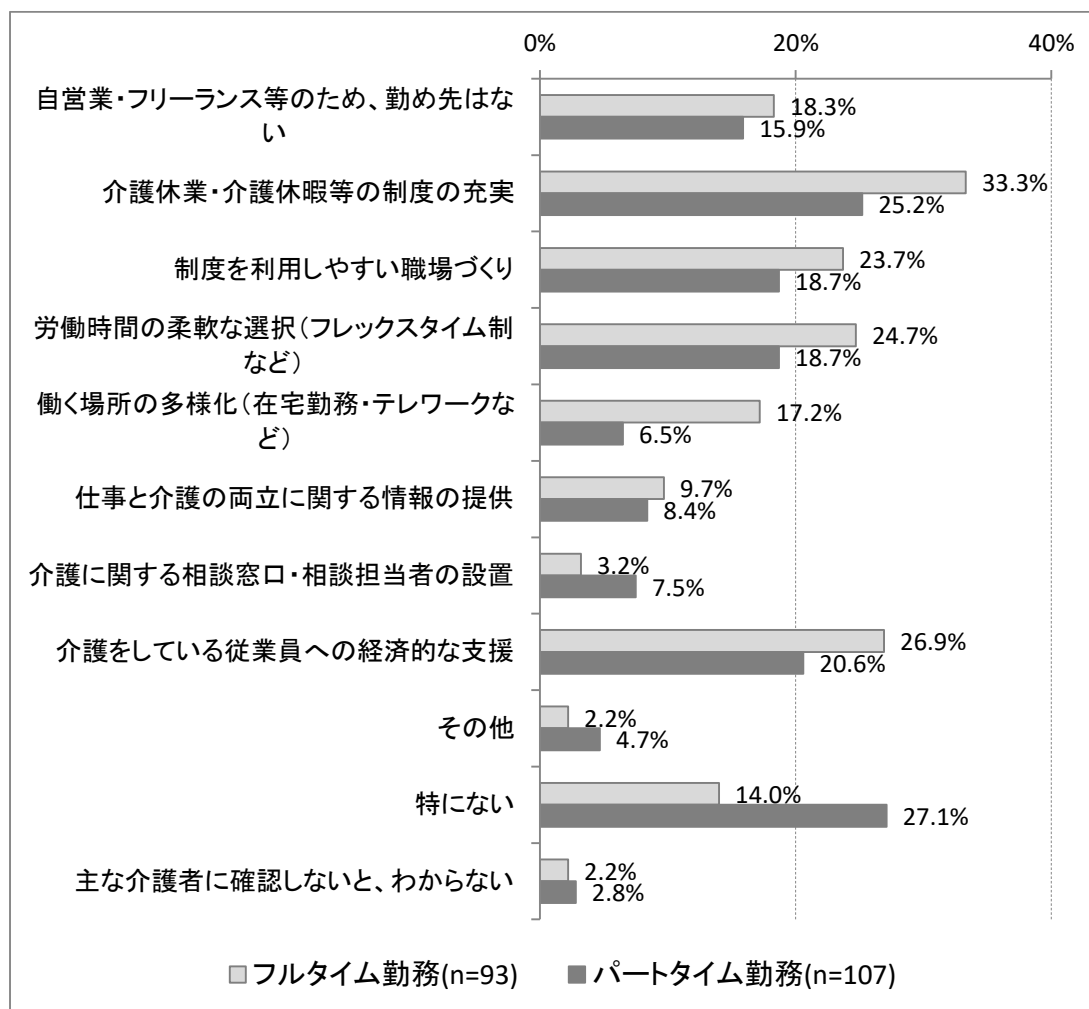
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



【就労状況別・★効果的な勤め先からの支援】

効果的な勤め先からの支援を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が26.9%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.7%となっている。「パートタイム勤務」では「特にない」が27.1%ともっとも割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が25.2%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が20.6%となっている。

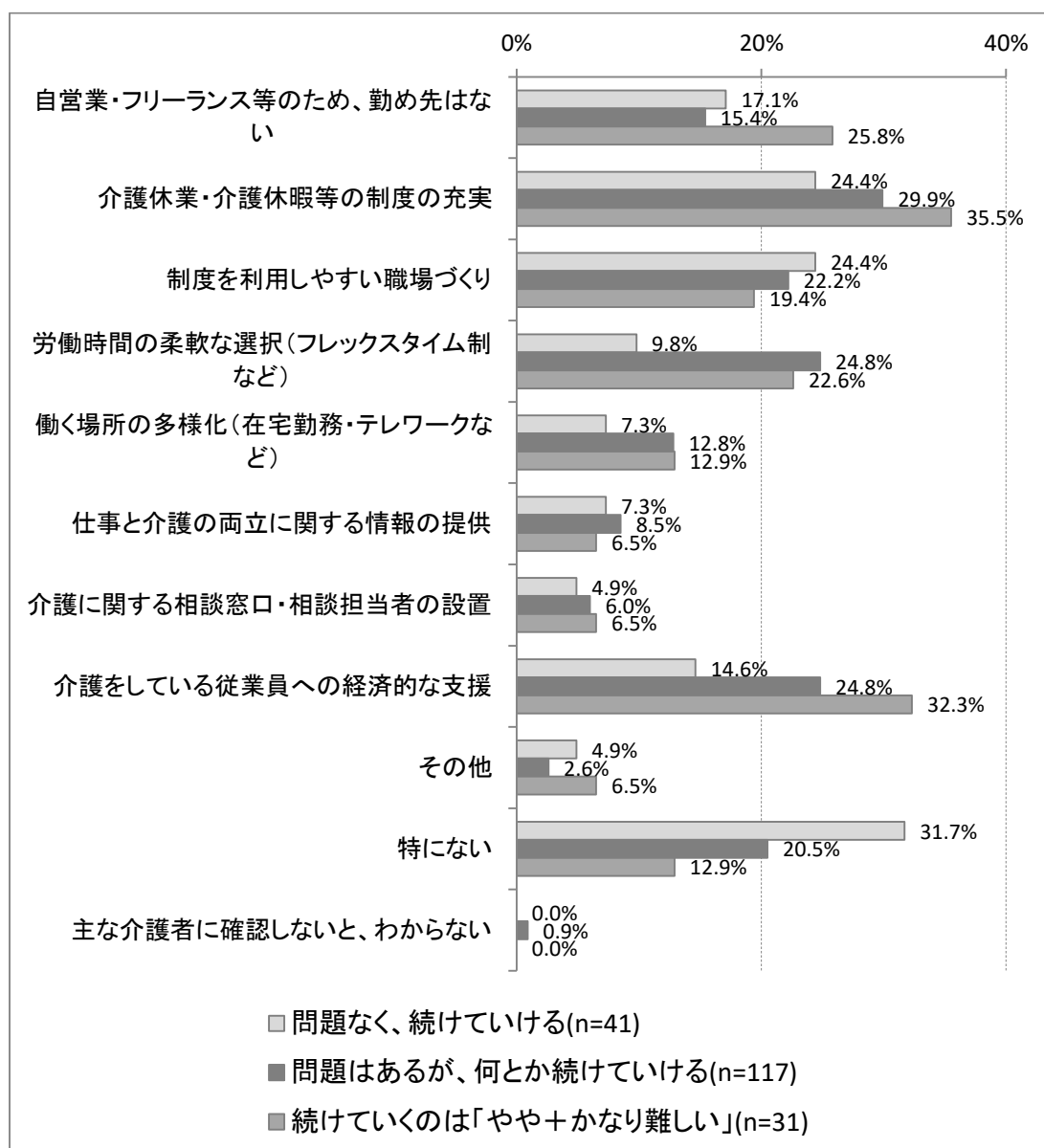
図表 2-25 就労状況別・★効果的な勤め先からの支援



【就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援(フルタイム勤務+パートタイム勤務)】

効果的な勤め先からの支援を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特にない」が31.7%ともっとも割合が高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が24.4%、「制度を利用しやすい職場づくり」が24.4%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が17.1%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.9%ともっとも割合が高く、次いで「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」、「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.8%、「制度を利用しやすい職場づくり」が22.2%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.5%ともっとも割合が高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が32.3%、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」が25.8%となっている。

図表 2-26 就労継続見込み別・★効果的な勤め先からの支援
(フルタイム勤務+パートタイム勤務)



2.3 考察

(1) 介護者の就労継続に向けた、「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」に係る不安の軽減

- ・就業の継続について、より困難と感じている介護者については、特に「認知症状への対応」や「日中・夜間の排泄」の介護について不安が大きい傾向がみられました。(図表 2-15)
- ・これは、これらの介護に係る介護者の不安を軽減することが、「検討テーマ1の在宅限界点の向上」と「検討テーマ2の仕事と介護の両立」のいずれにも効果的である可能性があるといえます。
- ・また、介護者が、より就労を継続できると感じているケースでは、「検討テーマ1の在宅限界点の向上」と同様に、サービス利用の組み合わせに訪問系サービスが含まれている割合や訪問系サービスを多頻度で利用している割合が高い傾向がみられました。(図表 2-17、図表 2-18)
- ・介護者が離職した場合、再就職が困難となる可能性が考えられるなど、就労の継続は介護者の将来設計に大きく影響します。また、介護者が過剰な介護負担を抱え込み、社会から孤立することがないように、サービス利用による就労継続の意識啓発が必要と考えられます。

3 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

3.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上に向けて必要となる支援・サービスを検討するために、特に「保険外の支援・サービス」に焦点を当てた集計を行っています。ここで把握された現状やニーズは、生活支援体制整備事業の推進のために活用していくことなどが考えられます。
- 具体的には、「現在利用している保険外の支援・サービス」と「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）」について、要介護度別や世帯類型別のクロス集計を行い、現在の利用状況の把握と今後さらに充実が必要となる支援・サービスについての分析を行います。
- なお、調査の中では、総合事業に基づく支援・サービスは介護保険サービスに含めるとともに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、介護保険サービスか保険外の支援・サービスであるかは区別していません。

3.2 集計結果と着目すべきポイント

(1) 基礎集計

【着目すべきポイント】

- 「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-1、図表 3-2）。
- 例えば、「保険外の支援・サービスの利用状況」については、現状の把握のみでなく、保険外の支援・サービスの利用促進の取組に係るアウトプットとして、その「利用割合」を設定することで、経年的にその成果をモニタリングしていくことも可能になると考えられます。
- さらに、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」からは、在宅限界点の向上という地域目標の達成に向けて、その地域において特に重要となる支援・サービスの種類を把握することができます。

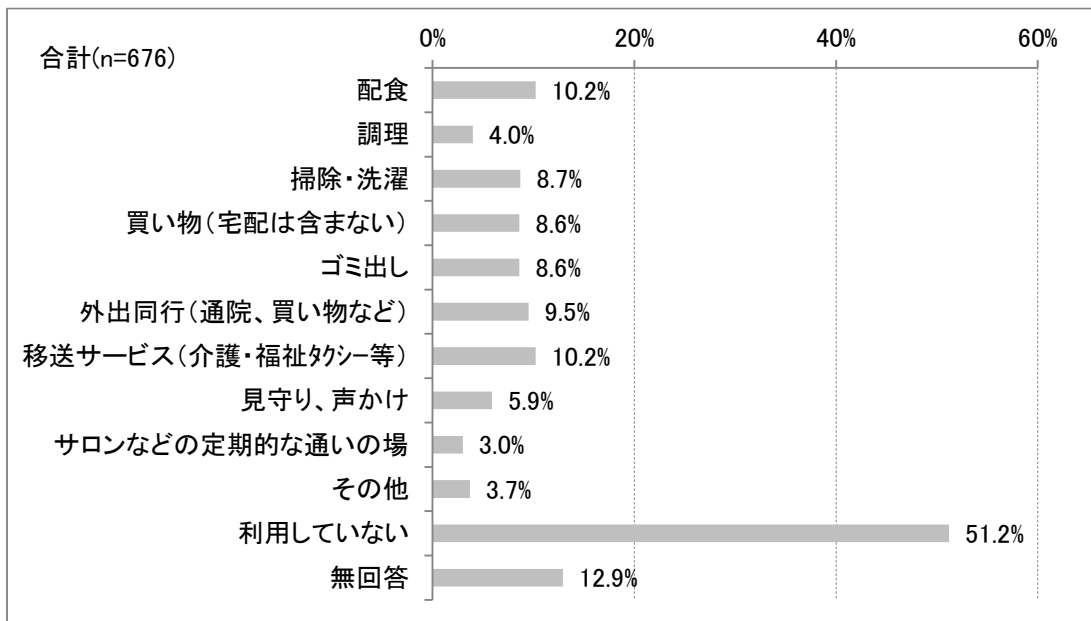
【留意事項】

- ここでの「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」とは、保険外の支援・サービスに限定されるものではありません。必要となる支援・サービスの整備方法については、必ずしも保険外のサービスに限定せず、幅広い視点から検討を進めることが重要です。

【★保険外の支援・サービスの利用状況】

「利用していない」の割合が最も高く 51.2%となっている。次いで、「配食（10.2%）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）（10.2%）」、「外出同行（通院、買い物など）（9.5%）」となっている。

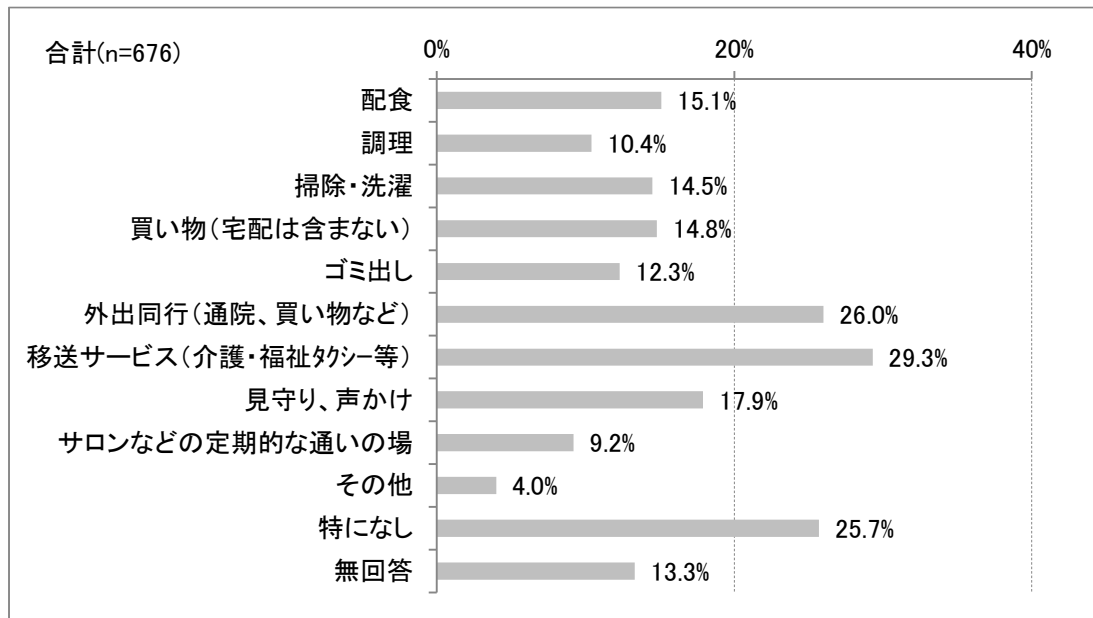
図表 3-1 ★保険外の支援・サービスの利用状況



【★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高く 29.3%となっている。次いで、「外出同行（通院、買い物など）」（26.0%）、「特になし（25.7%）」となっている。

図表 3-2 ★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(2) 世帯類型別の、保険外の支援・サービスの利用状況と必要と感じる支援・サービス

【着目すべきポイント】

- 世帯類型別に「保険外の支援・サービスの利用状況」と、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-3、図表 3-4）。
- 「保険外の支援・サービスの利用割合」については、世帯類型別の割合をアウトプット指標としてモニタリングしていくも考えられます。
- また、「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、世帯類型別に異なる傾向がみられた場合は、世帯類型に応じたアプローチを検討していくことが重要になると考えられます。

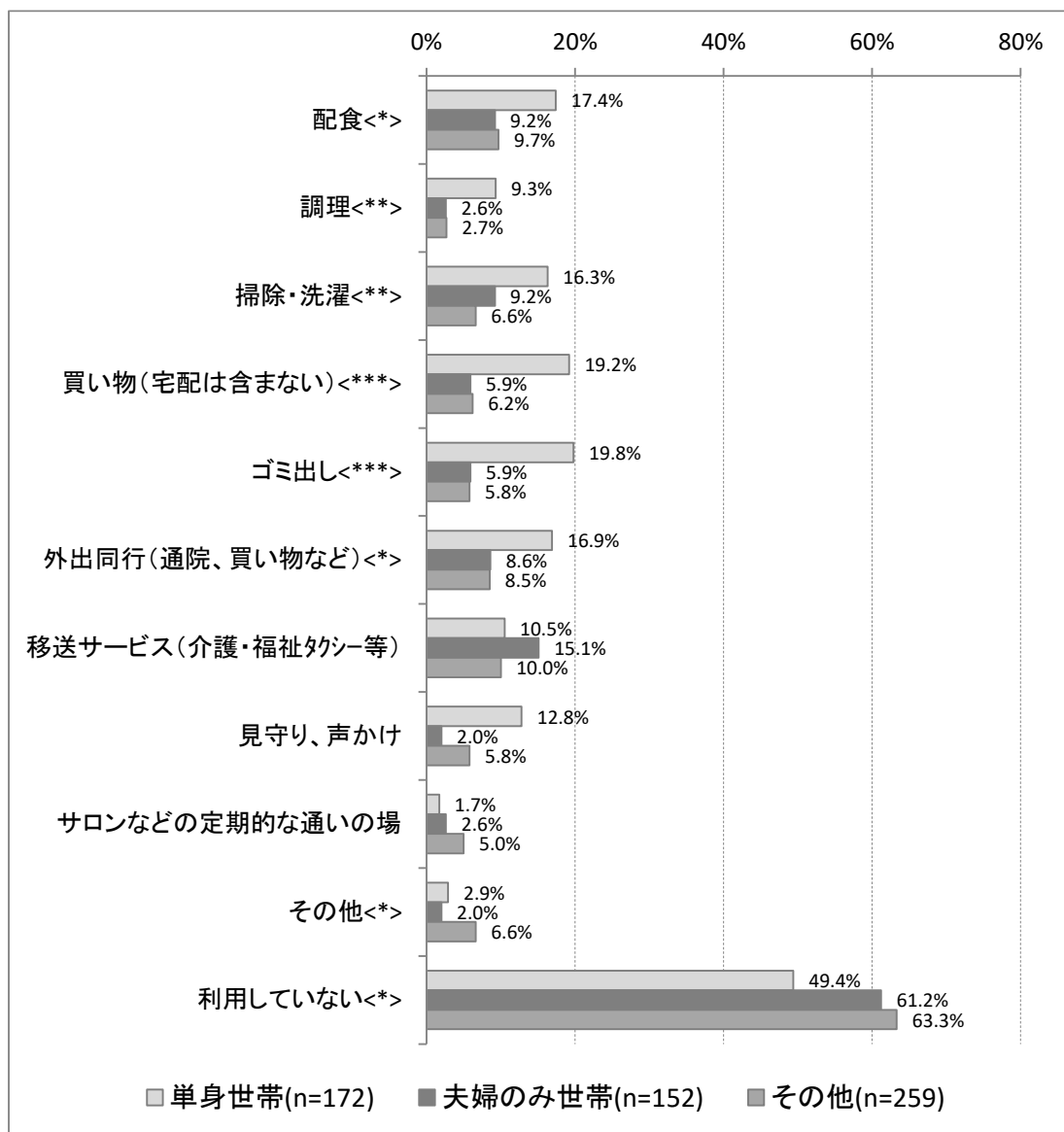
【留意事項】

- アンケート調査の中で「必要な支援・サービス」を回答して頂くと、「無くても大丈夫であるが、無いよりはあった方が良い」といった回答も含まれることが想定されることから、回答結果は実際のニーズよりもやや過大となる可能性があります。
- 「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」については、特に「複数の支援・サービスを比較して、より優先順位の高い支援・サービスを明らかにする」といった視点でみることが重要です。

【世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が49.4%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」が19.8%、「買い物（宅配は含まない）」が19.2%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が61.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.1%、「配食」、「掃除・洗濯」が9.2%となっている。「その他」では「利用していない」が63.3%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が10.0%、「配食」が9.7%となっている。

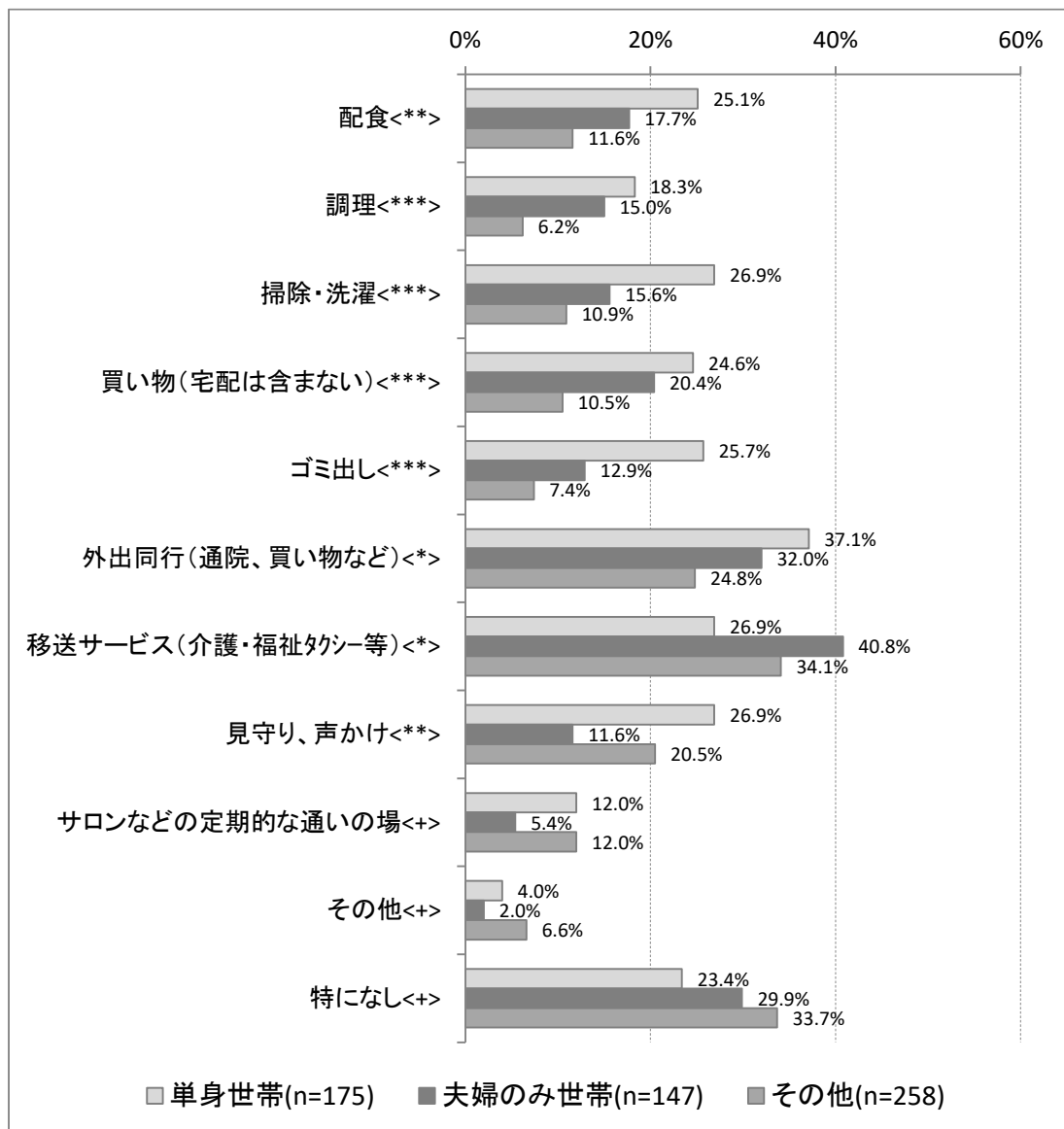
図表 3-3 世帯類型別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「外出同行（通院、買い物など）」が37.1%ともっとも割合が高く、次いで「掃除・洗濯」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」、「見守り、声かけ」が26.9%、「ゴミ出し」が25.7%となっている。「夫婦のみ世帯」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が40.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が32.0%、「特になし」が29.9%となっている。「その他」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.1%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が33.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.8%となっている。

図表 3-4 世帯類型別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



(3) 「世帯類型」×「要介護度」×「保険外の支援・サービスの利用状況」

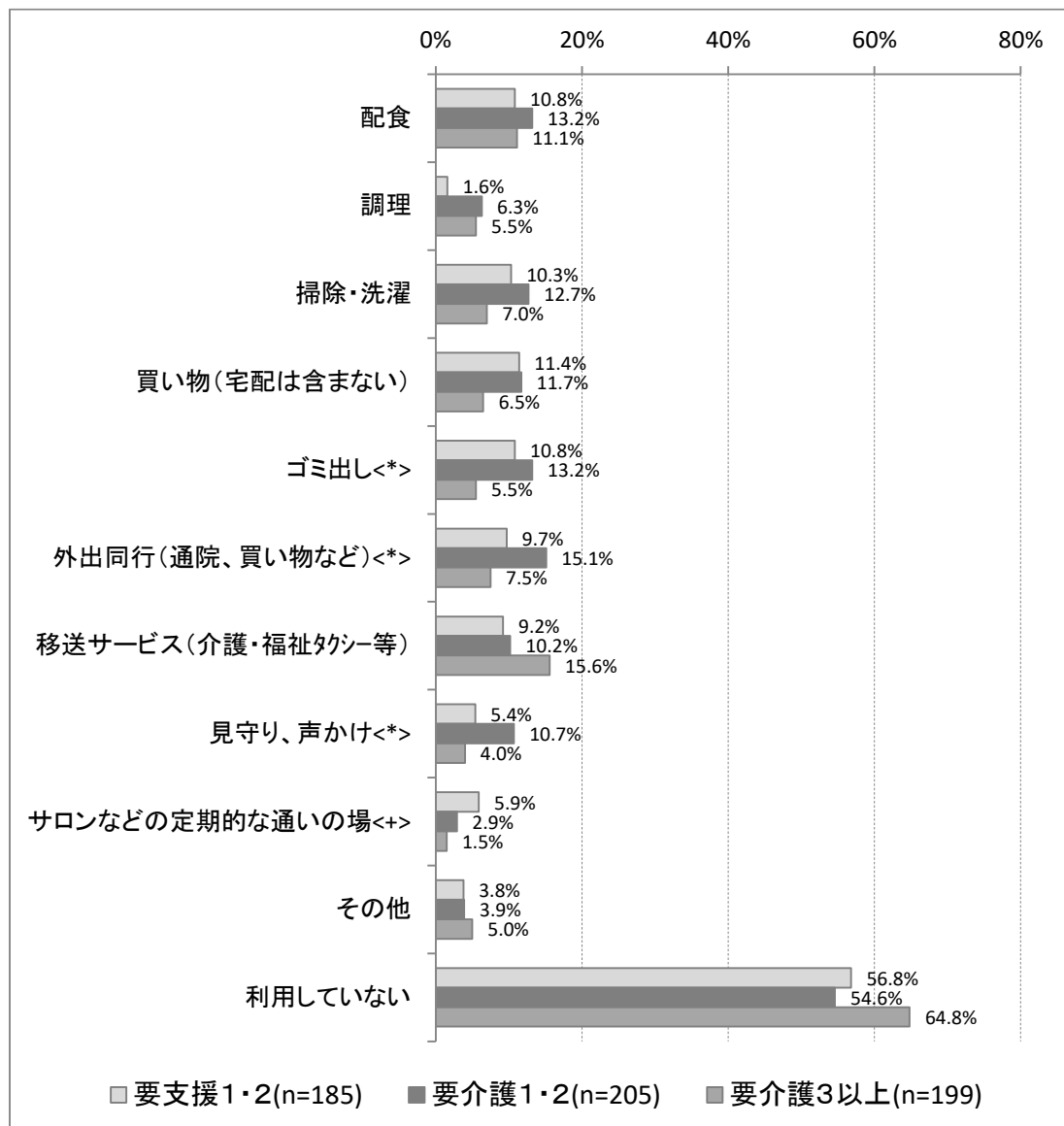
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「保険外の支援・サービスの利用状況」について、集計分析をしています（図表 3-5～図表 3-8）。
- 利用割合の低い世帯類型であっても、要介護度の重度化に伴い利用割合が増加している支援・サービスがあることも考えられます。
- 介護保険サービスと同様、重度化に伴い、どのような支援・サービスの利用割合が増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような支援・サービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを把握することができます。

【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が56.8%ともっとも割合が高く、次いで「買い物（宅配は含まない）」が11.4%、「配食」、「ゴミ出し」が10.8%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が54.6%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が15.1%、「配食」、「ゴミ出し」が13.2%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が64.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が15.6%、「配食」が11.1%となっている。

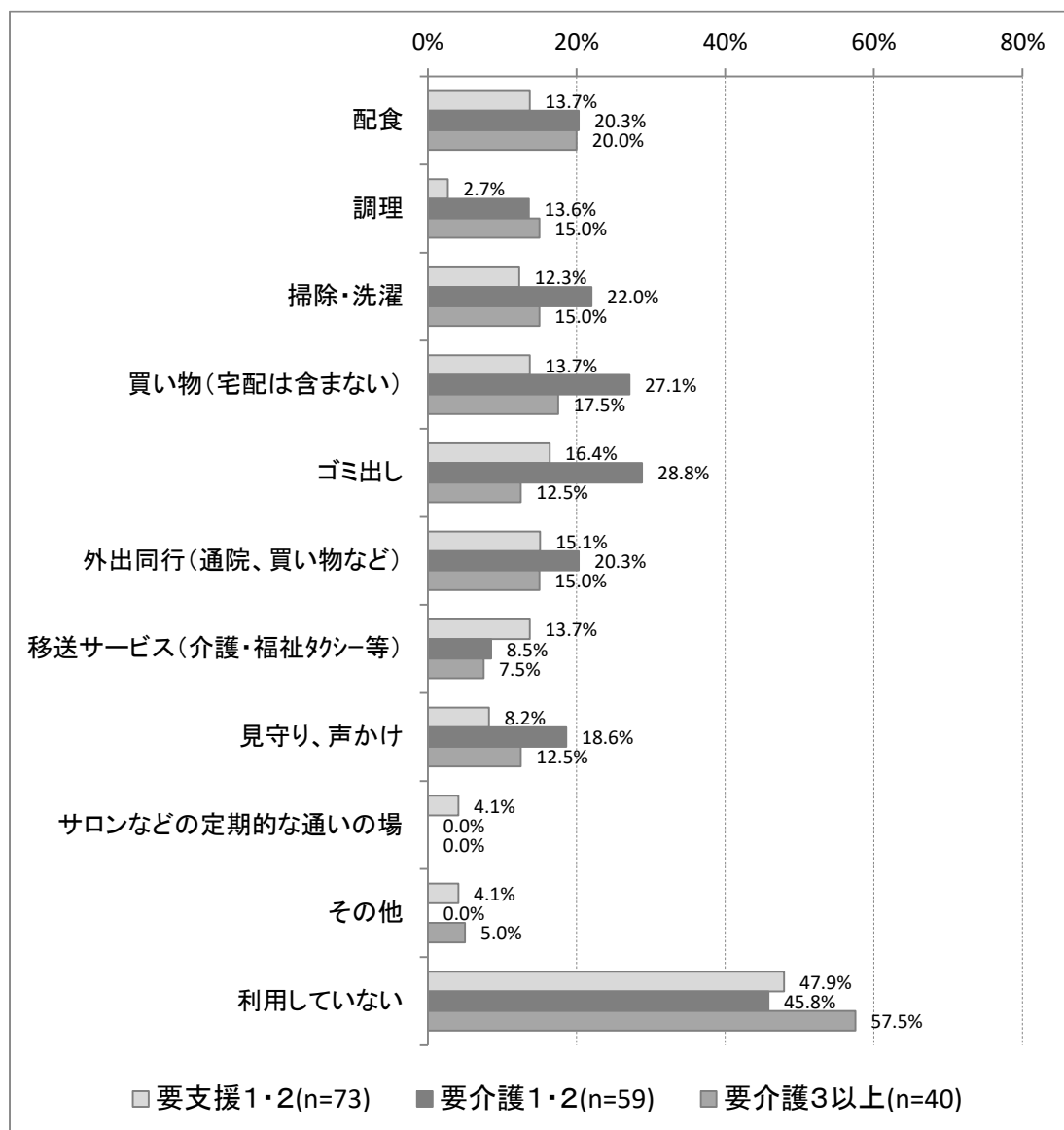
図表 3-5 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が47.9%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」が16.4%、「外出同行(通院、買い物など)」が15.1%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が45.8%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」が28.8%、「買い物(宅配は含まない)」が27.1%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が57.5%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が20.0%、「買い物(宅配は含まない)」が17.5%となっている。

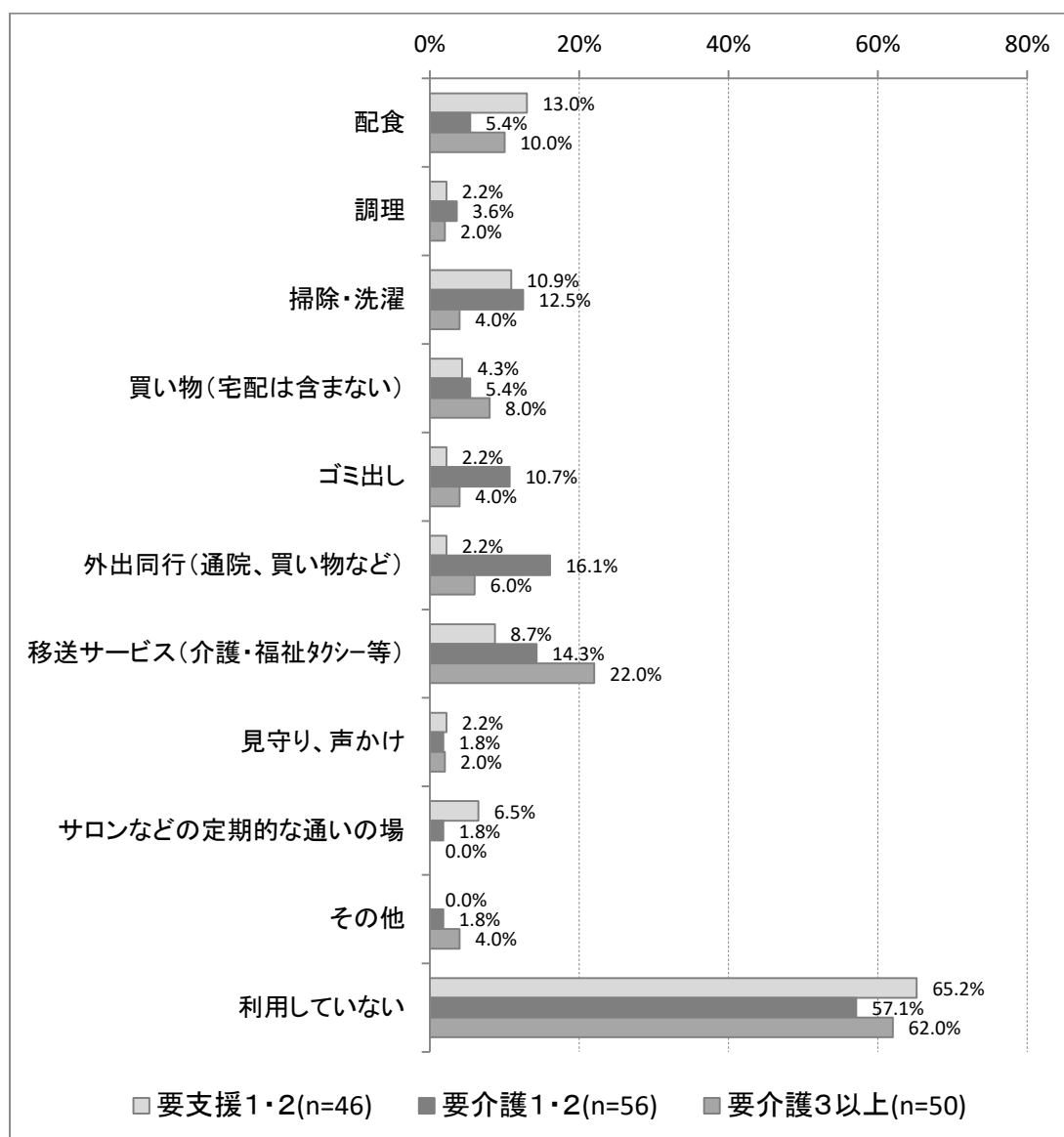
図表 3-6 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(単身世帯)



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が65.2%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が13.0%、「掃除・洗濯」が10.9%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が57.1%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が16.1%、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.3%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が62.0%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が22.0%、「配食」が10.0%となっている。

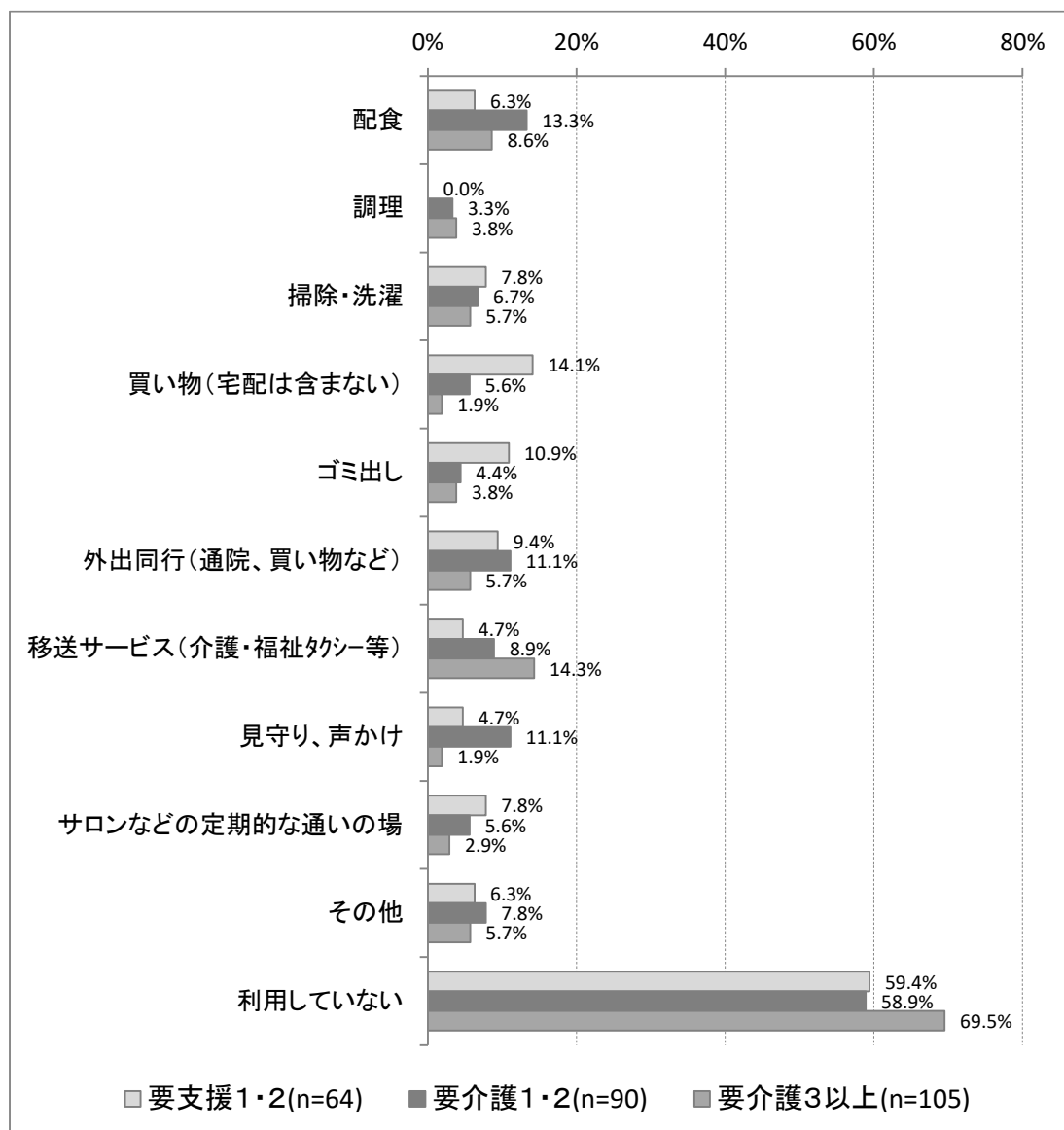
図表 3-7 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(夫婦のみ世帯)



【要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの利用状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「利用していない」が59.4%ともっとも割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」が14.1%、「ゴミ出し」が10.9%となっている。「要介護1・2」では「利用していない」が58.9%ともっとも割合が高く、次いで「配食」が13.3%、「外出同行(通院、買い物など)」、「見守り、声かけ」が11.1%となっている。「要介護3以上」では「利用していない」が69.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が14.3%、「配食」が8.6%となっている。

図表 3-8 要介護度別・★保険外の支援・サービスの利用状況(その他世帯)



(4) 「世帯類型」×「要介護度」×「必要と感じる支援・サービス」

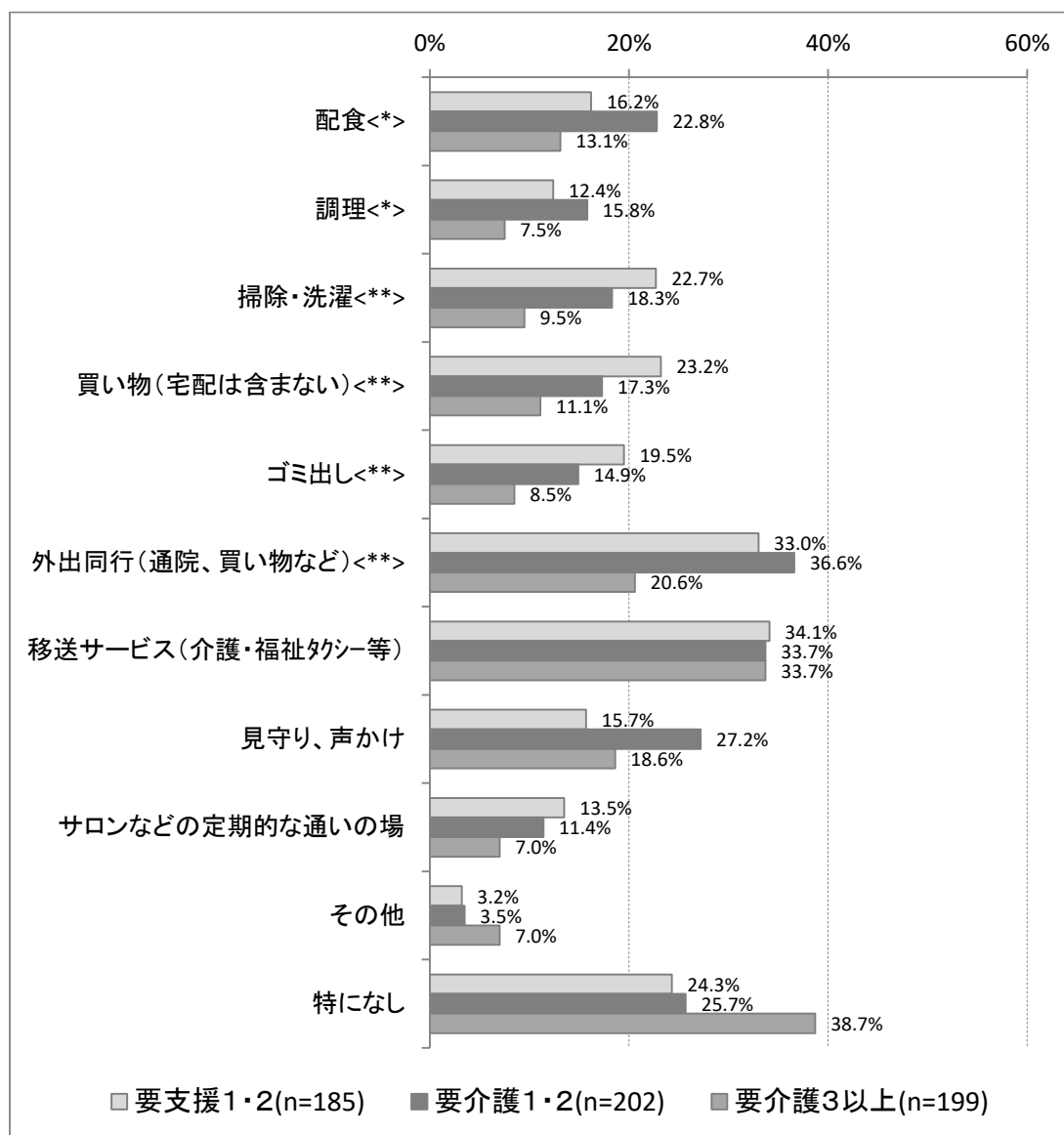
【着目すべきポイント】

- 世帯類型別・要介護度別に「必要と感じる支援・サービス」について、集計分析をしています（図表 3-9～図表 3-12）。
- 特に、各世帯類型の要介護度別のニーズに着目しながら、各地域の実情に応じた取組を推進していく必要があります。

【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が34.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が33.0%、「特になし」が24.3%となっている。「要介護1・2」では「外出同行（通院、買い物など）」が36.6%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%、「見守り、声かけ」が27.2%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が38.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が20.6%となっている。

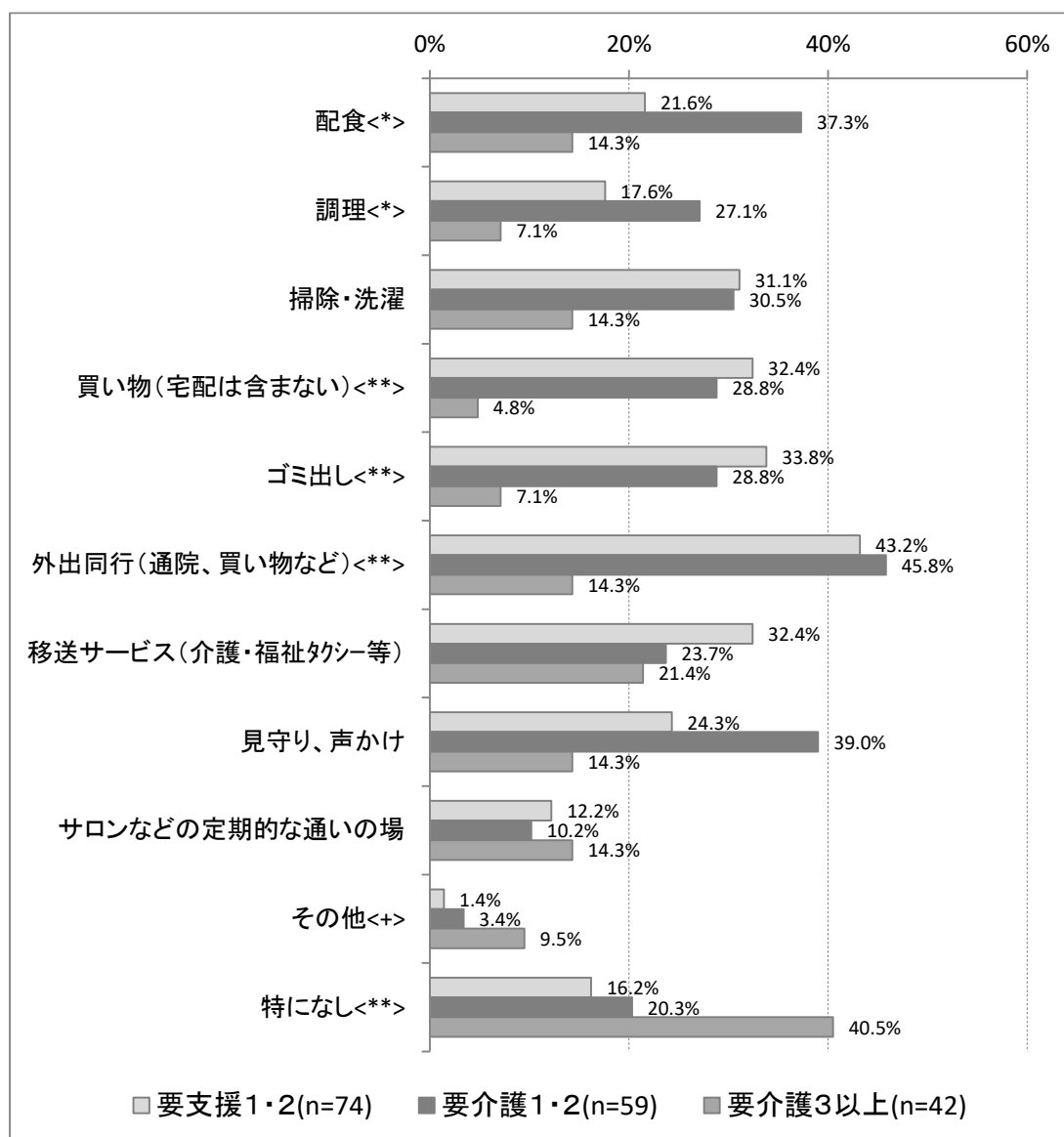
図表 3-9 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出同行(通院、買い物など)」が43.2%ともっとも割合が高く、次いで「ゴミ出し」が33.8%、「買い物(宅配は含まない)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.4%となっている。「要介護1・2」では「外出同行(通院、買い物など)」が45.8%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が39.0%、「配食」が37.3%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が40.5%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が21.4%、「配食」、「掃除・洗濯」、「外出同行(通院、買い物など)」、「見守り、声かけ」、「サロンなどの定期的な通いの場」が14.3%となっている。

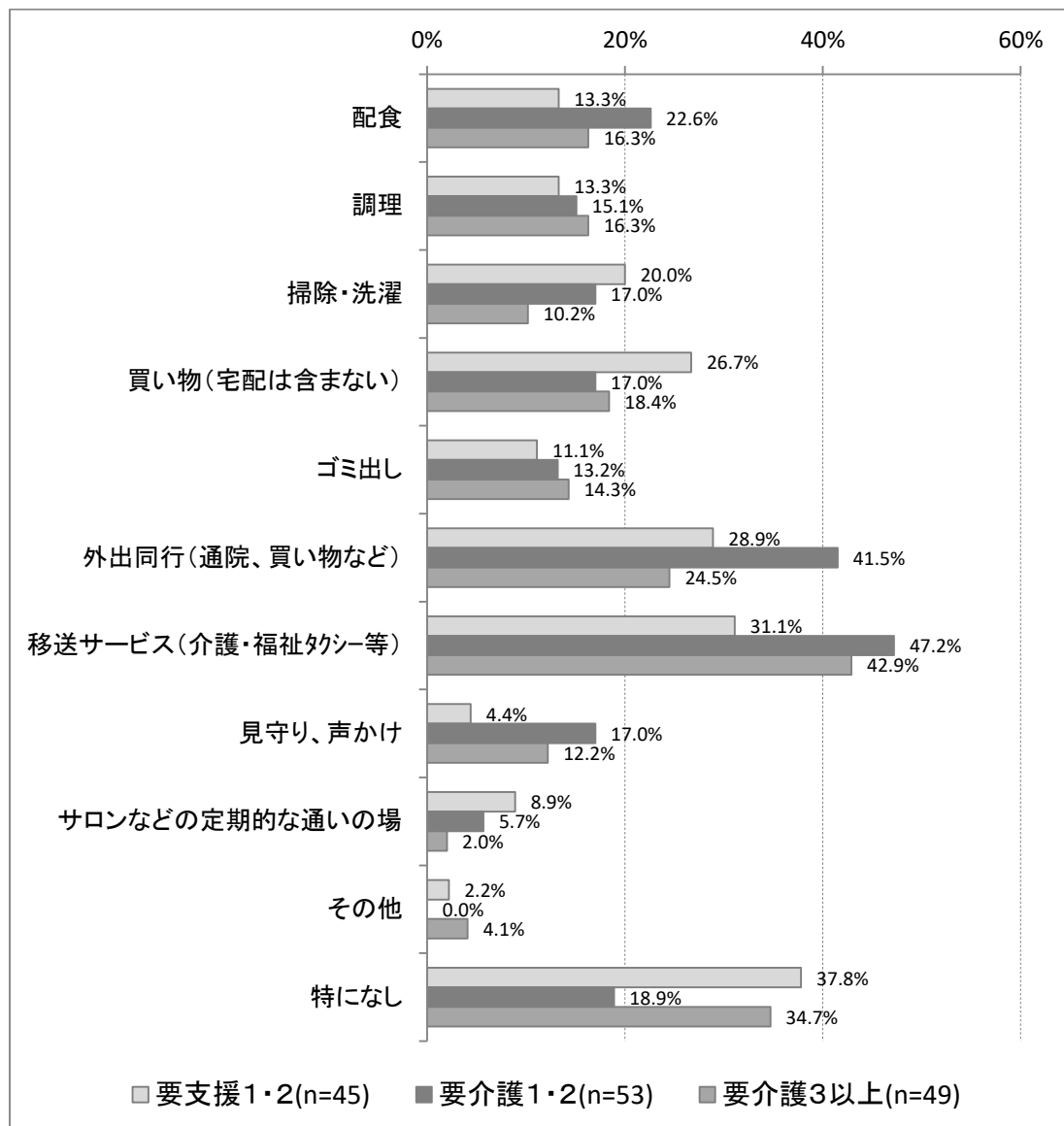
図表 3-10 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「特になし」が37.8%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.1%、「外出同行（通院、買い物など）」が28.9%となっている。「要介護1・2」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が47.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が41.5%、「配食」が22.6%となっている。「要介護3以上」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が34.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が24.5%となっている。

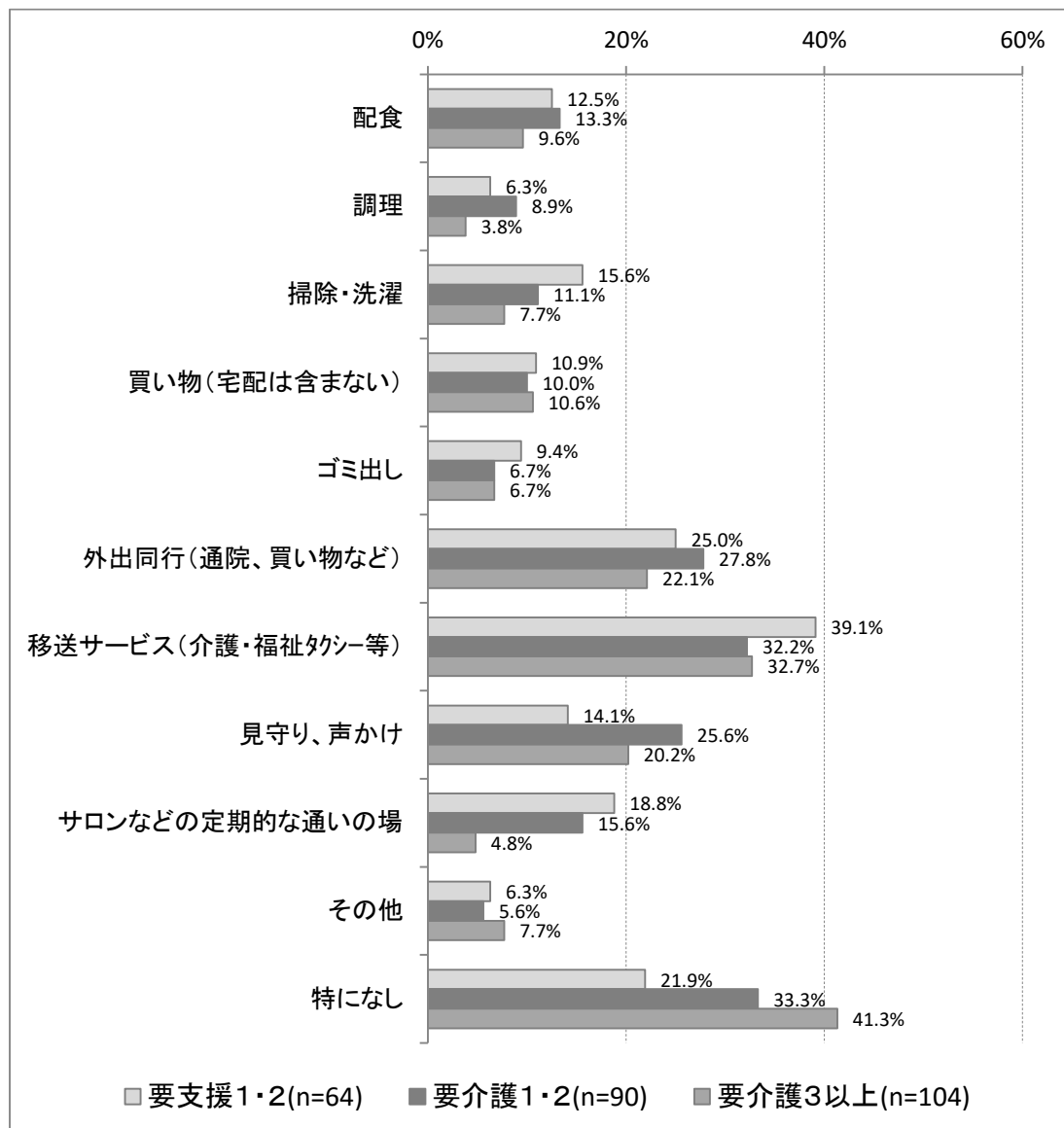
図表 3-11 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（夫婦のみ世帯）



【要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が39.1%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が25.0%、「特になし」が21.9%となっている。「要介護1・2」では「特になし」が33.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.2%、「外出同行(通院、買い物など)」が27.8%となっている。「要介護3以上」では「特になし」が41.3%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.7%、「外出同行(通院、買い物など)」が22.1%となっている。

図表 3-12 要介護度別・★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)



3.3 考察

(1) 中重度の要介護者を対象とした移送サービスの検討

・要介護度別の「在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス」をみると、要支援及び要介護全般において、特に「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」のニーズが高い傾向がみられました。（図表 3-2、図表 3-9）

・また、要介護 1・2 では、「外出同行（通院、買い物など）」のニーズが更に高い傾向がみられるなど、全体的に外出・移送に係る支援のニーズが高いことが分かりました。（図表 3-9）

・特に、このような外出に係る支援・サービスは、「買い物」や「サロンへの参加」など、他の支援・サービスとの関係も深いことから、「外出に係る支援・サービスの充実」は非常に大きな課題であるといえます。

・具体的な取組として、「福祉タクシー利用助成事業」の継続を始め、通所介護の送迎車を有効活用する「福祉ムーバー」や「地域住民同士の支え合いによる移動手段の確保」などを含め、多様な移送手段の導入について関係各課及び団体等と検討を行う必要があります。

4 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

4.1 集計・分析の狙い

- ここでは、在宅限界点の向上のための、将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討につなげるため、特に世帯類型別の「サービス利用の特徴」や「施設等検討の状況」に焦点を当てた集計を行っています。
- 具体的には、世帯類型別の「家族等による介護の頻度」、「サービス利用の組み合わせ」、「施設等検討の状況」などの分析を行います。
- 将来の高齢世帯の世帯類型の構成は、地域ごとに異なりますので、それぞれ地域の実情に応じた支援・サービスの検討につなげていくことが重要となります。

4.2 集計結果と着目すべきポイント

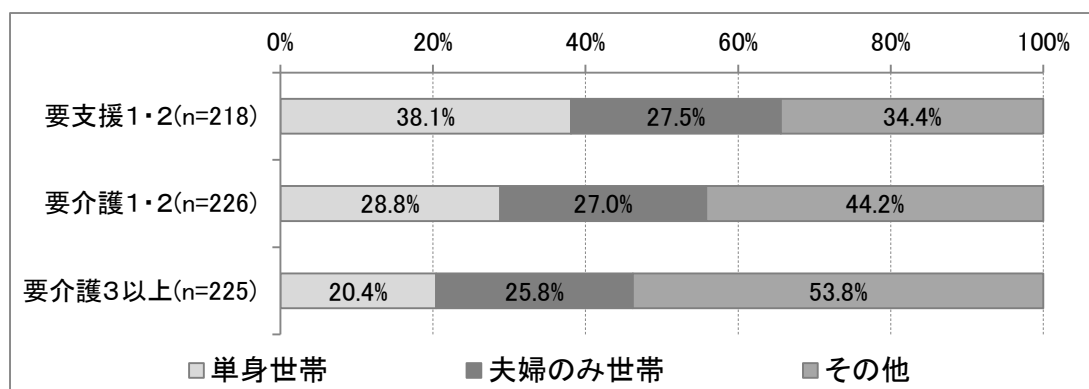
(1) 基礎集計

- 「要介護度別の世帯類型の割合」および「世帯類型別の要介護度の割合」を集計しています(図表 4-1、図表 4-2)。
- 要介護度の重度化に伴う、世帯類型の変化などを確認してください。

【要介護度別・世帯類型】

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「単身世帯」が38.1%ともっとも割合が高く、次いで「その他」が34.4%、「夫婦のみ世帯」が27.5%となっている。「要介護1・2」では「その他」が44.2%ともっとも割合が高く、次いで「単身世帯」が28.8%、「夫婦のみ世帯」が27.0%となっている。「要介護3以上」では「その他」が53.8%ともっとも割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が25.8%、「単身世帯」が20.4%となっている。

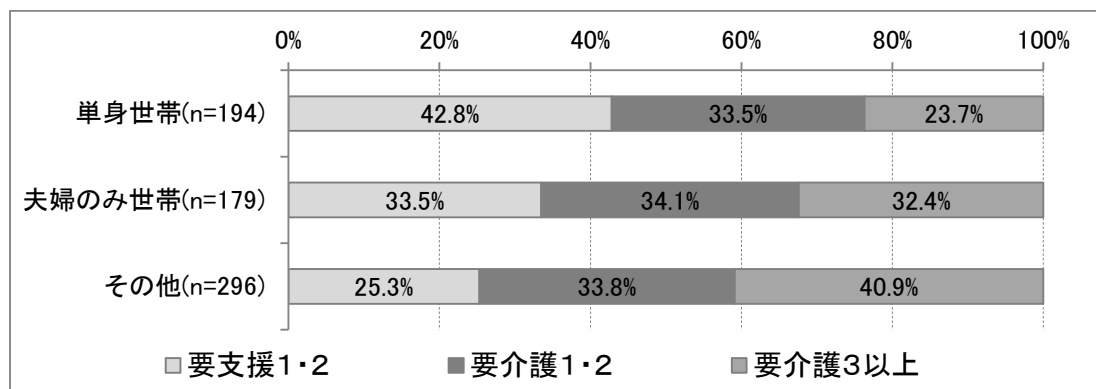
図表 4-1 要介護度別・世帯類型<***>



【世帯類型別・要介護度】

二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要支援1・2」が42.8%ともっとも割合が高く、次いで「要介護1・2」が33.5%、「要介護3以上」が23.7%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が34.1%ともっとも割合が高く、次いで「要支援1・2」が33.5%、「要介護3以上」が32.4%となっている。「その他」では「要介護3以上」が40.9%ともっとも割合が高く、次いで「要介護1・2」が33.8%、「要支援1・2」が25.3%となっている。

図表 4-2 世帯類型別・要介護度<***>



(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

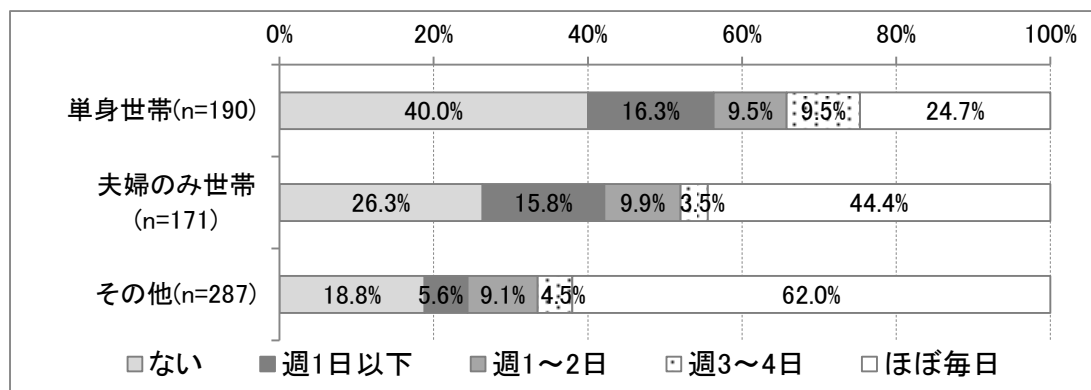
【着目すべきポイント】

- 図表 4-3 では、「世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」の割合を集計しています。また、図表 4-4～図表 4-6 では、世帯類型別に「要介護度別」の「家族等による介護の頻度」を集計しています。
- 「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられます。中重度の単身世帯のうち、家族等の介護がない中で在宅生活を送っているケースがどの程度あるかなど、現状についてご確認ください。

【世帯類型別・家族等による介護の頻度】

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が 40.0%ともっとも割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が 24.7%、「週 1 日以下」が 16.3%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が 44.4%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 26.3%、「週 1 日以下」が 15.8%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が 62.0%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が 18.8%、「週 1～2 日」が 9.1%となっている。

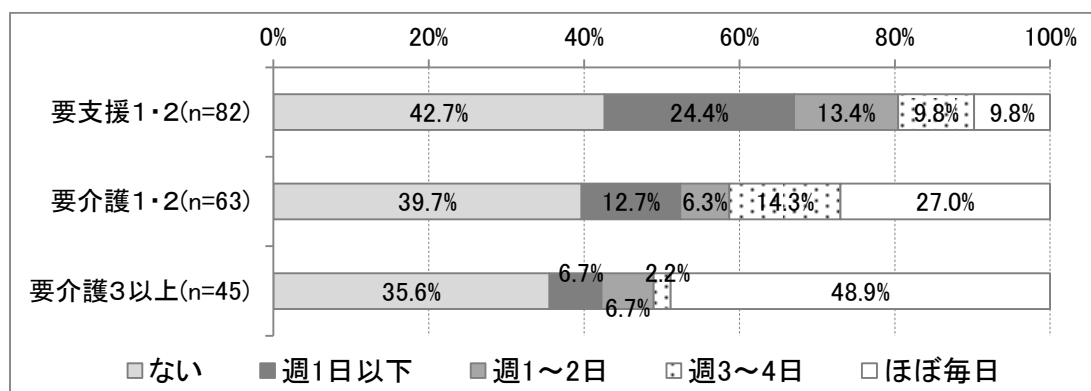
図表 4-3 世帯類型別・家族等による介護の頻度<***>



【要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が42.7%と最も割合が高く、次いで「週1日以下」が24.4%、「週1～2日」が13.4%となっている。「要介護1・2」では「ない」が39.7%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が27.0%、「週3～4日」が14.3%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が48.9%と最も割合が高く、次いで「ない」が35.6%、「週1日以下」、「週1～2日」が6.7%となっている。

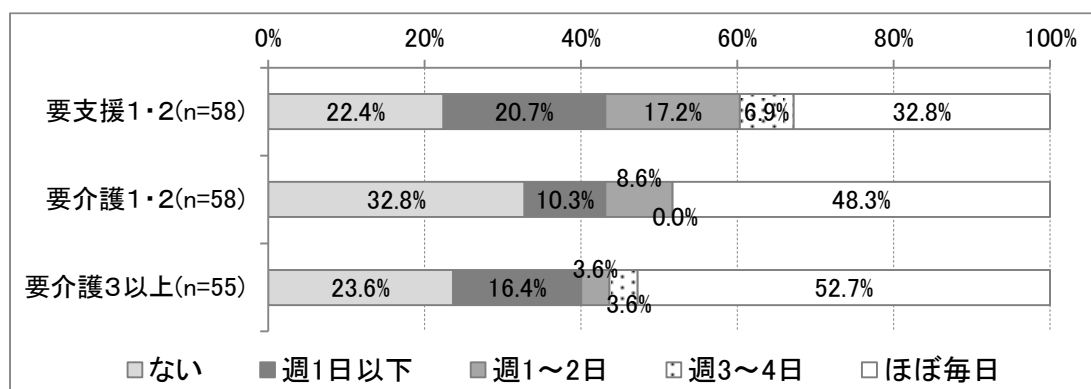
図表 4-4 要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯) <***>



【要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が32.8%と最も割合が高く、次いで「ない」が22.4%、「週1日以下」が20.7%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が48.3%と最も割合が高く、次いで「ない」が32.8%、「週1日以下」が10.3%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が52.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が23.6%、「週1日以下」が16.4%となっている。

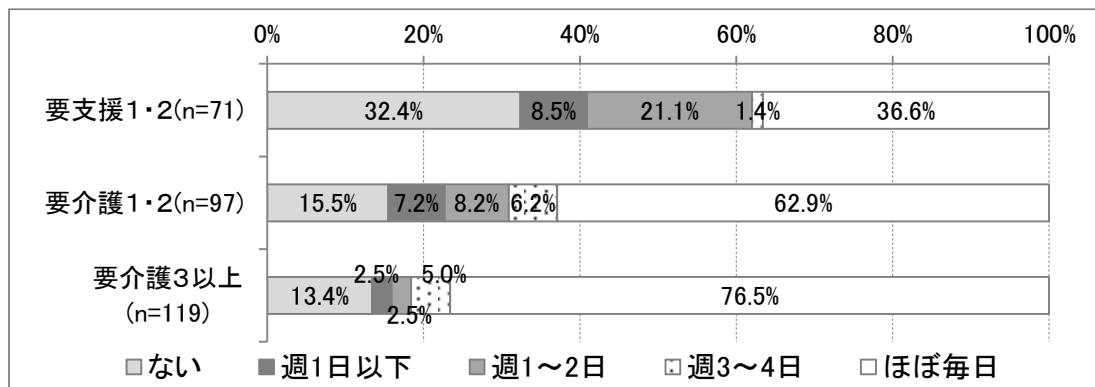
図表 4-5 要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯) <*>



【要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)】

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が36.6%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が32.4%、「週1～2日」が21.1%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が62.9%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が15.5%、「週1～2日」が8.2%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が76.5%ともっとも割合が高く、次いで「ない」が13.4%、「週3～4日」が5.0%となっている。

図表 4-6 要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯) <***>



(3) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

【着目すべきポイント】

- 要介護度別・認知症自立度別の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」について、集計分析をしています（図表 4-7～図表 4-12）。
- サービス利用の組み合わせは、「訪問系のみ」のサービス利用と、レスパイト機能をもつ「通所系」および「短期系」のみのサービス利用、さらにその2つを組み合わせた「訪問系を含むサービス利用」の3種類（未利用除く）に簡略化したものを使用しています。
- 重度化に伴い、どのようなサービス利用の組み合わせが増加しているかに着目することで、現在在宅で生活をする中重度の要介護者が、どのような組み合わせのサービス利用を増加させることで在宅生活を維持しているかを、世帯類型別に把握することができます。
- また、世帯類型別の要介護者の増加に伴い、どのような「サービス利用の組み合わせ」のニーズが大きくなると考えられるかを推測することも可能になります。
- 例えば、特に今後「要介護度が中重度の単身世帯」が増加すると見込まれる場合は、単身世帯の要介護者が要介護度の重度化に伴いどのようなサービス利用の組み合わせを増加させているかに着目し、推測することなどが考えられます。

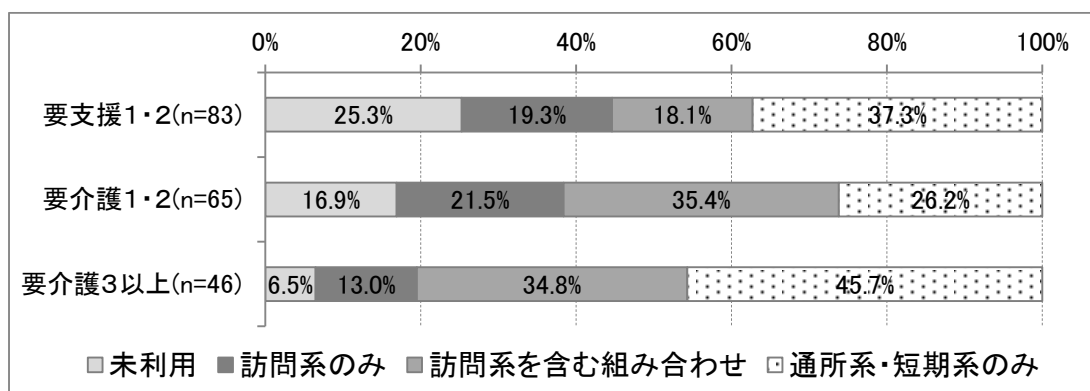
【留意事項】

- ただし、現在利用しているサービスが「地域目標を達成するためのサービス」であるとは限らない点には注意が必要です。

【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が37.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が25.3%、「訪問系のみ」が19.3%となっている。「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が35.4%ともっとも割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.2%、「訪問系のみ」が21.5%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が45.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が34.8%、「訪問系のみ」が13.0%となっている。

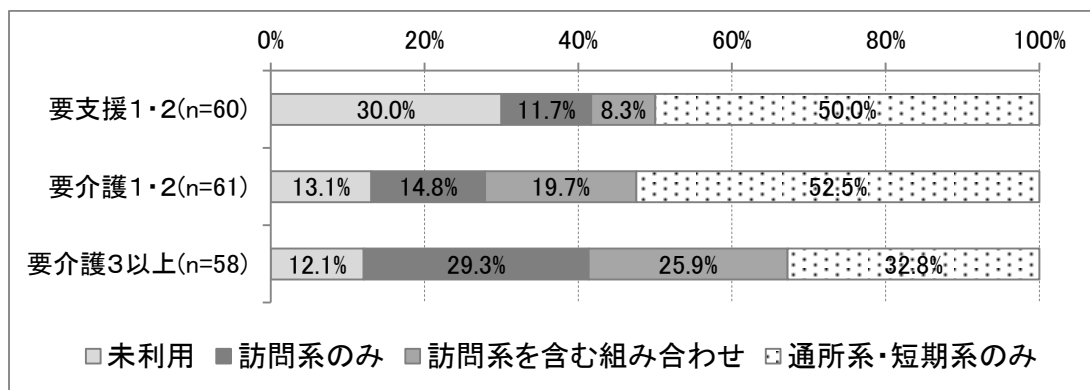
図表 4-7 要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯) <*>



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が30.0%、「訪問系のみ」が11.7%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が52.5%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.7%、「訪問系のみ」が14.8%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が32.8%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が29.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が25.9%となっている。

図表 4-8 要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯) <***>

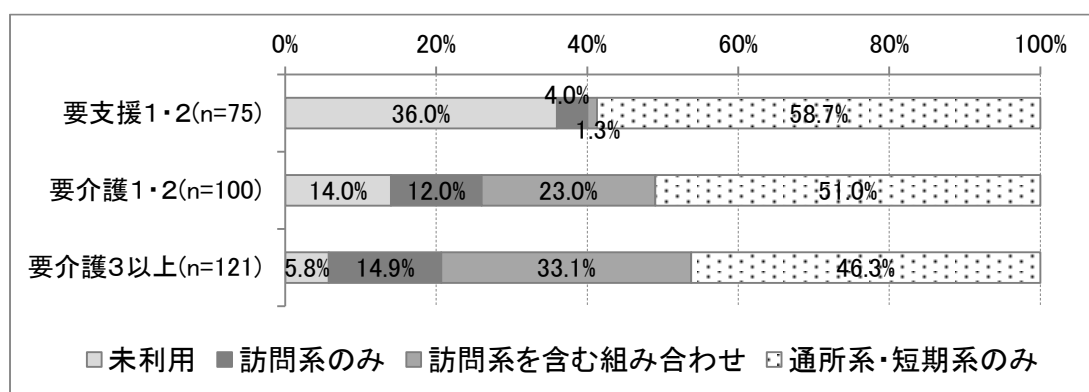


【要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が58.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.0%、「訪問系のみ」が4.0%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が51.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.0%、「未利用」が14.0%となっている。

「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が46.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が33.1%、「訪問系のみ」が14.9%となっている。

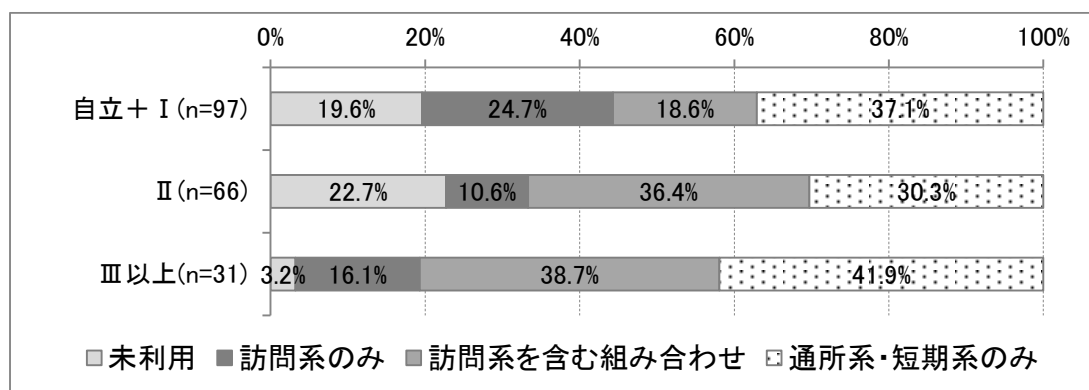
図表 4-9 要介護度別・サービス利用の組み合わせ (その他世帯) <***>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が37.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が24.7%、「未利用」が19.6%となっている。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が36.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が30.3%、「未利用」が22.7%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が41.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が38.7%、「訪問系のみ」が16.1%となっている。

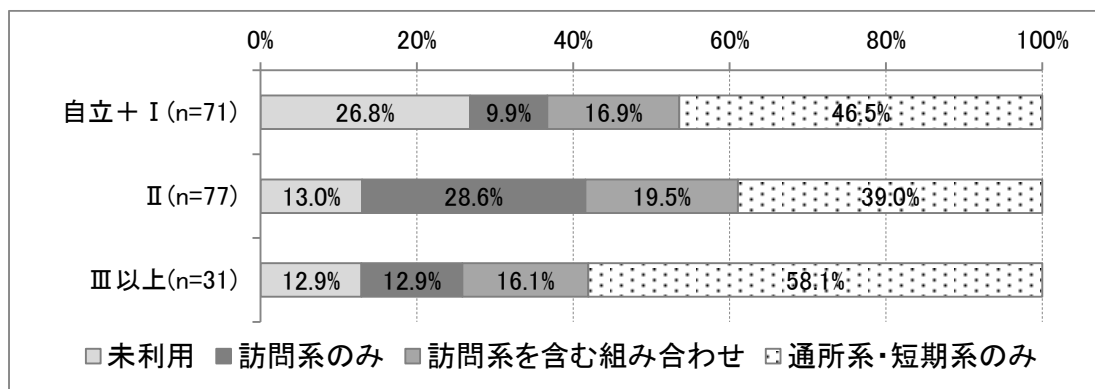
図表 4-10 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ (単身世帯) <*>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が46.5%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が26.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.9%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が39.0%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系のみ」が28.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が19.5%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が58.1%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が16.1%、「未利用」が12.9%となっている。

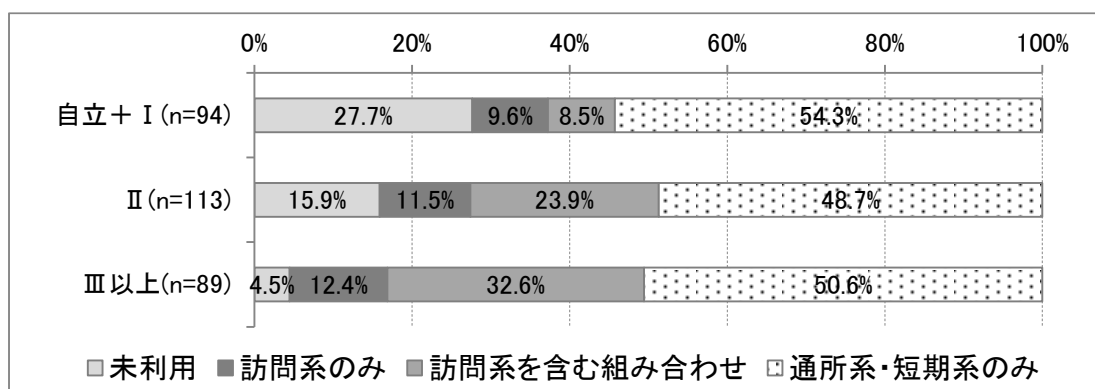
図表 4-11 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯) <*>



【認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)】

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系・短期系のみ」が54.3%ともっとも割合が高く、次いで「未利用」が27.7%、「訪問系のみ」が9.6%となっている。「Ⅱ」では「通所系・短期系のみ」が48.7%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が23.9%、「未利用」が15.9%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系・短期系のみ」が50.6%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が32.6%、「訪問系のみ」が12.4%となっている。

図表 4-12 認知症自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯) <***>



(4) 「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

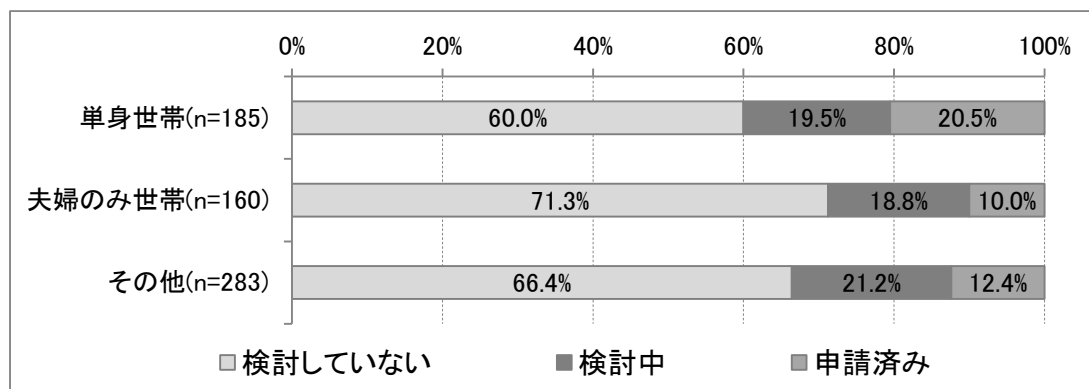
【着目すべきポイント】

- ここでは、「要介護度別・認知症自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」について、集計分析をしています（図表 4-13～図表 4-19）。
- 「施設等検討の状況」について「入所・入居は検討していない」の割合を高めることは、在宅介護実態調査で想定する「アウトカム」の1つです。
- ここでは「世帯類型」ごとの特徴を集計分析することで、地域目標を達成するためのサービス整備方針の検討につなげることなどを想定しています。

【世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)】

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が20.5%、「検討中」が19.5%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が71.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が18.8%、「申請済み」が10.0%となっている。「その他」では「検討していない」が66.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が21.2%、「申請済み」が12.4%となっている。

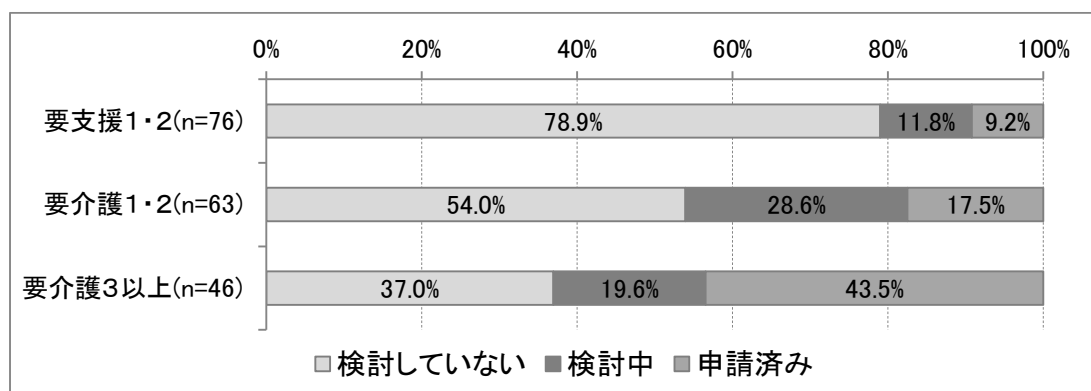
図表 4-13 世帯類型別・施設等検討の状況（全要介護度）〈*〉



【要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が78.9%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が11.8%、「申請済み」が9.2%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が54.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が28.6%、「申請済み」が17.5%となっている。「要介護3以上」では「申請済み」が43.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討していない」が37.0%、「検討中」が19.6%となっている。

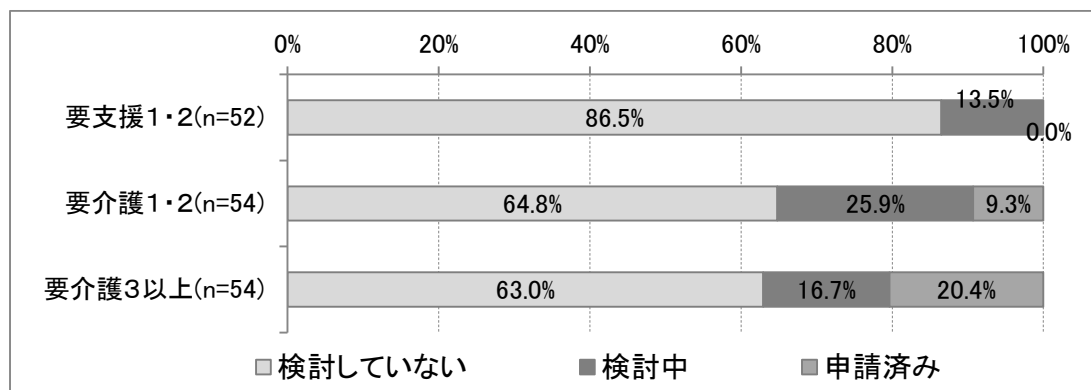
図表 4-14 要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯) <***>



【要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が86.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.5%、「申請済み」が0.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が64.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が25.9%、「申請済み」が9.3%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が63.0%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が20.4%、「検討中」が16.7%となっている。

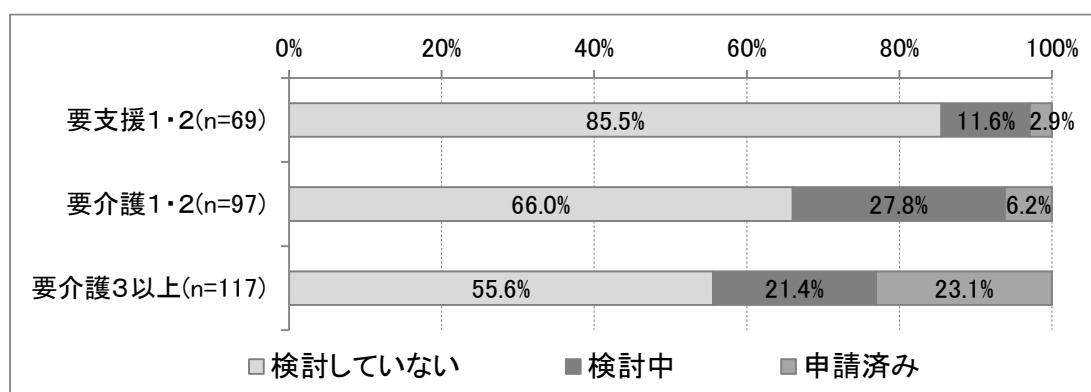
図表 4-15 要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯) <*>



【要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)】

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が85.5%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が11.6%、「申請済み」が2.9%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が66.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が27.8%、「申請済み」が6.2%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が55.6%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が23.1%、「検討中」が21.4%となっている。

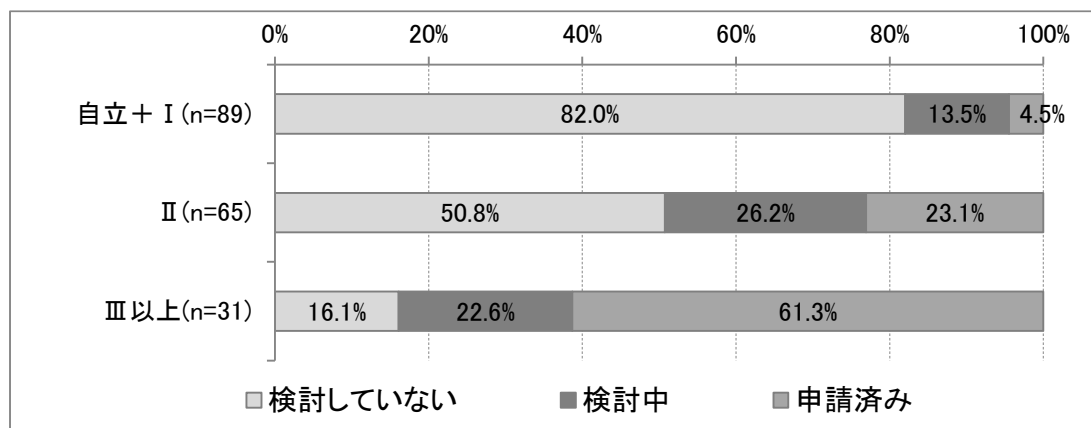
図表 4-16 要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯) <***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「検討していない」が82.0%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が13.5%、「申請済み」が4.5%となっている。「II」では「検討していない」が50.8%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が26.2%、「申請済み」が23.1%となっている。「III以上」では「申請済み」が61.3%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.6%、「検討していない」が16.1%となっている。

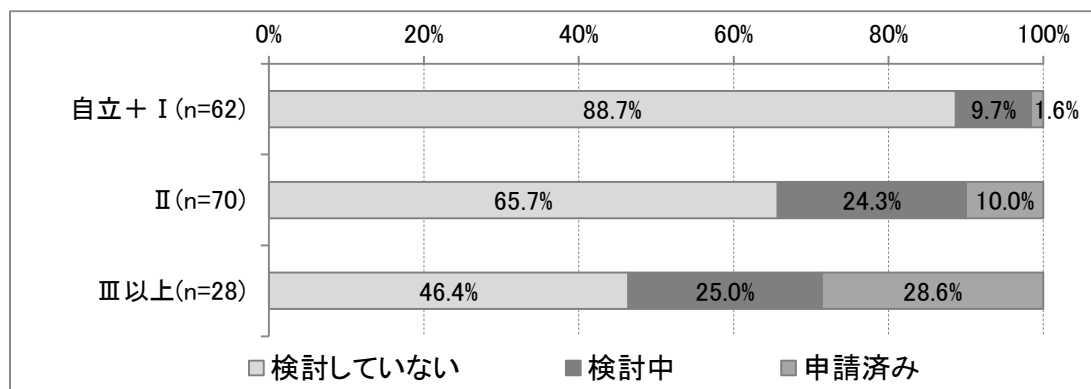
図表 4-17 認知症自立度別・施設等検討の状況(単身世帯) <***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が88.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が9.7%、「申請済み」が1.6%となっている。「II」では「検討していない」が65.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.3%、「申請済み」が10.0%となっている。「III以上」では「検討していない」が46.4%ともっとも割合が高く、次いで「申請済み」が28.6%、「検討中」が25.0%となっている。

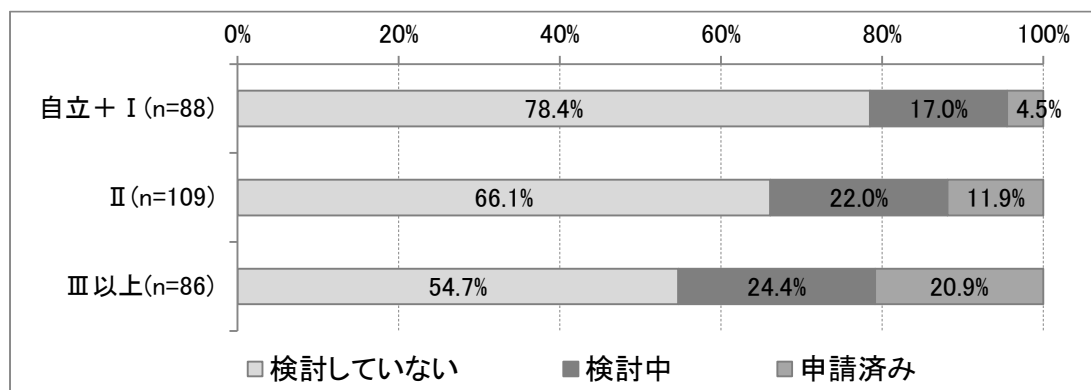
図表 4-18 認知症自立度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）<***>



【認知症自立度別・施設等検討の状況(その他の世帯)】

施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が78.4%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が17.0%、「申請済み」が4.5%となっている。「II」では「検討していない」が66.1%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が22.0%、「申請済み」が11.9%となっている。「III以上」では「検討していない」が54.7%ともっとも割合が高く、次いで「検討中」が24.4%、「申請済み」が20.9%となっている。

図表 4-19 認知症自立度別・施設等検討の状況（その他の世帯）<**>



4.3 考察

(1) 世帯類型別の要介護者の在宅療養生活を支えるための、支援・サービスの検討

- ・本調査に基づく分析の中では、「単身世帯」及び「その他世帯」の方については、要介護度の重度化に伴い、「訪問系を含む組み合わせ利用」もしくは「通所系・短期系のみ」が増加する傾向がみられました。(図表 4-7、図表 4-9)
- ・なお、「単身世帯」については、同居の家族等はいなくても、近居の家族等による介護が行われているケースも多いと考えられ、中重度の単身世帯のうち、家族等による介護の頻度は「ほぼ毎日」もしくは「週3～4日」の割合が50%を超えています。(図表 4-4)
- ・「夫婦のみ世帯」の方については、中重度の要介護者について「通所系・短期系のみ」の割合が最も高く、次いで「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ利用」の割合が高くなっていますが、顕著な差はみられません。(図表 4-8)
- ・同居の家族がいる世帯では、家族等の介護者へのレスパイトケアの必要性が高いことから、「通所系」や「短期系」の利用が多くなっていると考えられます。
- ・また、「夫婦のみ世帯」では、他の世帯類型と比較して、要介護1・2における「サービスの未利用率」がやや高い傾向がみられました。
- ・「夫婦のみ世帯」に限らず、サービスが未利用の中重度の要介護者については、家族等の介護者の負担が過大となることも懸念されることから、必要に応じて要介護者とその家族等へのアウトリーチを推進していくことが必要です。
- ・したがって、地域での資源の整備を検討する際には、「通いを中心とした包括的サービス拠点」としての「小規模多機能型居宅介護（もしくは看護 小規模多機能型居宅介護）」の利用促進を図ることにより、在宅療養生活を支えていくことが一つの方法として考えられます。

5 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

5.1 集計・分析の狙い

- ここでは、医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの検討につなげるための集計を行います。
- 具体的には、世帯類型別・要介護度別の「主な介護者が行っている介護」や「訪問診療の利用の有無」、「訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ」などの分析を行います。

5.2 集計結果と着目すべきポイント

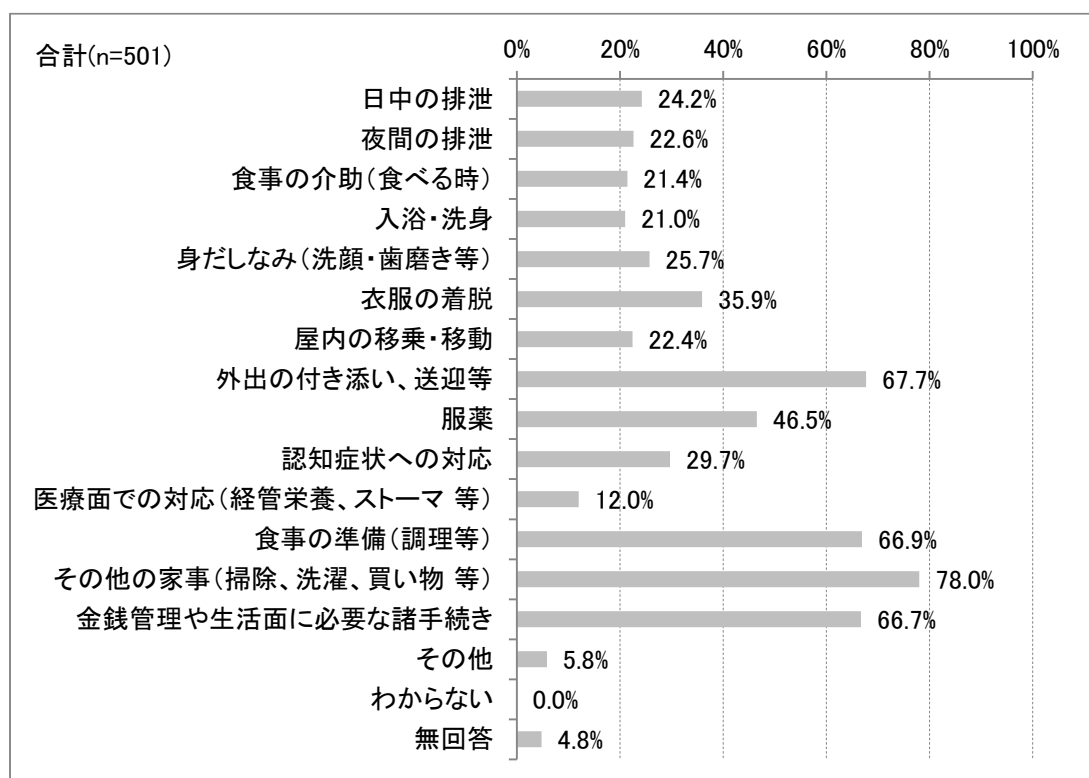
(1) 基礎集計

- 「主な介護者が行っている介護」について、要介護度別・世帯類型別の集計を行っています（図表 5-1～図表 5-3）。
- ここでは、特に「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」に着目し、家族等の主な介護者が「医療面での対応」を行っている割合を把握することができます。

【★主な介護者が行っている介護】

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」の割合が最も高く 78.0%となっている。次いで、「外出の付き添い、送迎等（67.7%）」、「食事の準備（調理等）（66.9%）」となっている。

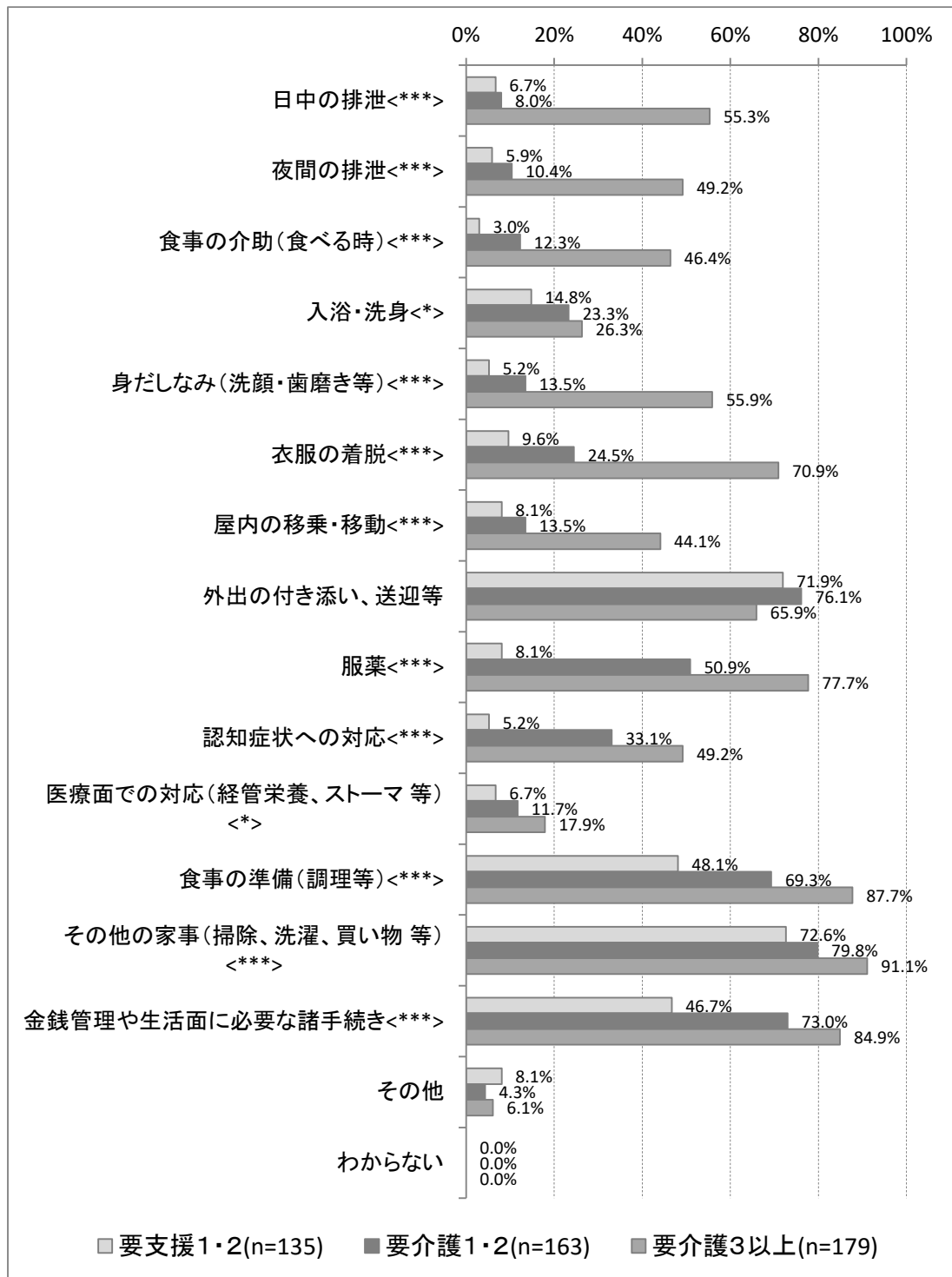
図表 5-1 ★主な介護者が行っている介護



【要介護度別・★主な介護者が行っている介護】

介護者が行っている介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.6%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.9%、「食事の準備（調理等）」が48.1%となっている。「要介護1・2」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が79.8%ともっとも割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が76.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が73.0%となっている。「要介護3以上」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が91.1%ともっとも割合が高く、次いで「食事の準備（調理等）」が87.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が84.9%となっている。

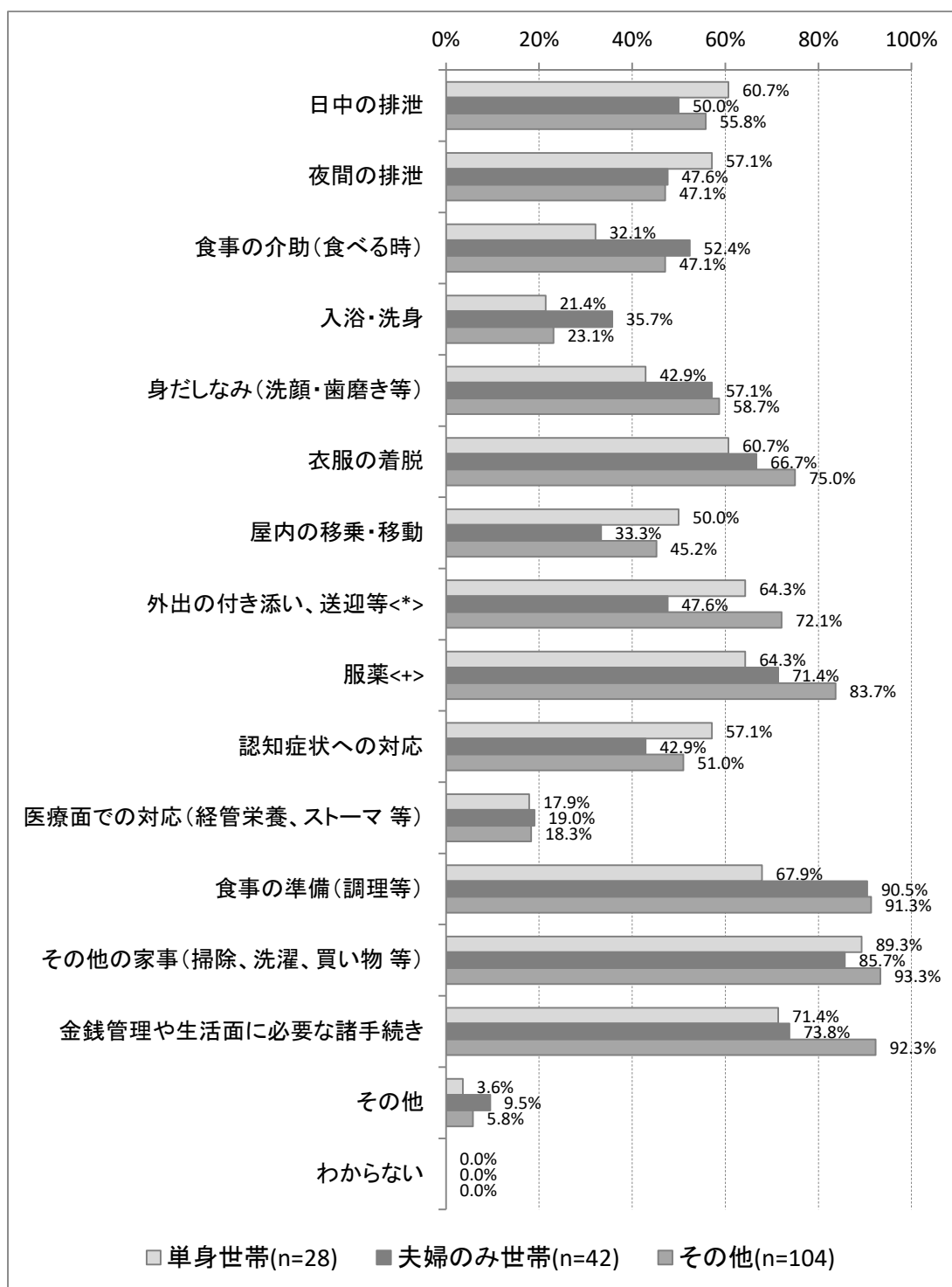
図表 5-2 要介護度別・★主な介護者が行っている介護



【世帯類型別・★主な介護者が行っている介護(要介護3以上)】

介護者が行っている介護を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 89.3%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 71.4%、「食事の準備（調理等）」が 67.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「食事の準備（調理等）」が 90.5%ともっとも割合が高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 85.7%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 73.8%となっている。「その他」では「その他の家事（掃除、洗濯、買い物 等）」が 93.3%ともっとも割合が高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 92.3%、「食事の準備（調理等）」が 91.3%となっている。

図表 5-3 世帯類型別・★主な介護者が行っている介護（要介護3以上）



(2) 訪問診療の利用割合

【着目すべきポイント】

- 「訪問診療の利用の有無」について、世帯類型別・要介護度別の集計を行っています（図表 5-4～図表 5-6）。
- 特に、「要介護度別の訪問診療の利用割合」を「将来の要介護度別の在宅療養者数」に乗じることによって、「将来の在宅における訪問診療の利用者数」の粗推計を行うことも可能です。

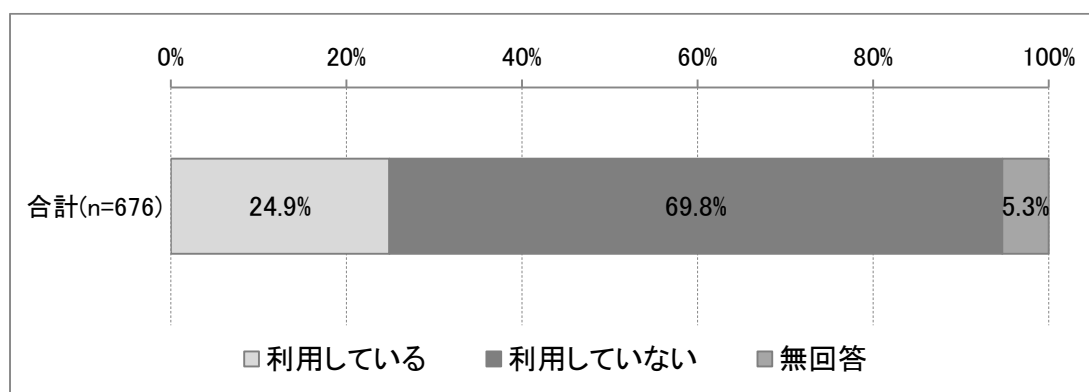
【留意事項】

- ここでの「訪問診療」には、訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含まれていません。
- また、上述の「将来の在宅における訪問診療の利用者数」を推計方法は、現在の訪問診療の利用割合を前提としたものであり、地域の状況の変化によっては誤差が大きくなることが想定されます。粗推計のための手法である点については、注意が必要です。
- 必要に応じて、地域医療構想の検討における「2025年の在宅医療等で対応が必要な医療需要」の需要量予測の結果等もご覧ください。

【★訪問診療の利用の有無】

「利用していない」の割合が最も高く 69.8%となっている。次いで、「利用している（24.9%）」となっている。

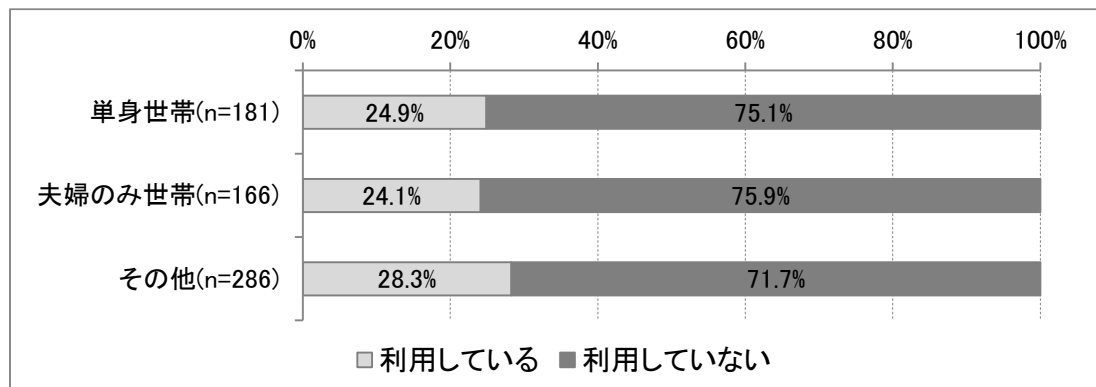
図表 5-4 ★訪問診療の利用の有無



【世帯類型別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「利用していない」が75.1%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が24.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「利用していない」が75.9%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が24.1%となっている。「その他」では「利用していない」が71.7%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が28.3%となっている。

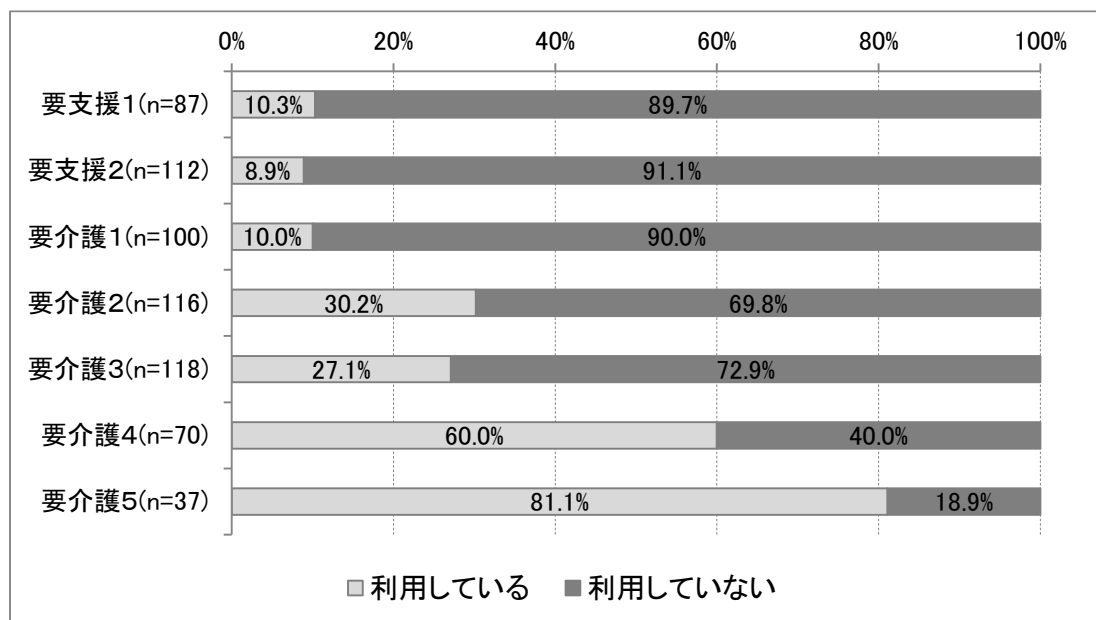
図表 5-5 世帯類型別・★訪問診療の利用割合



【要介護度別・★訪問診療の利用割合】

訪問診療の利用の有無を二次判定結果別にみると、「要支援1」では「利用していない」が89.7%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が10.3%となっている。「要支援2」では「利用していない」が91.1%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が8.9%となっている。「要介護1」では「利用していない」が90.0%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が10.0%となっている。「要介護2」では「利用していない」が69.8%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が30.2%となっている。「要介護3」では「利用していない」が72.9%ともっとも割合が高く、次いで「利用している」が27.1%となっている。「要介護4」では「利用している」が60.0%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が40.0%となっている。「要介護5」では「利用している」が81.1%ともっとも割合が高く、次いで「利用していない」が18.9%となっている。

図表 5-6 要介護度別・★訪問診療の利用割合<***>



(3) 訪問診療の利用の有無別のサービス利用の組み合わせ

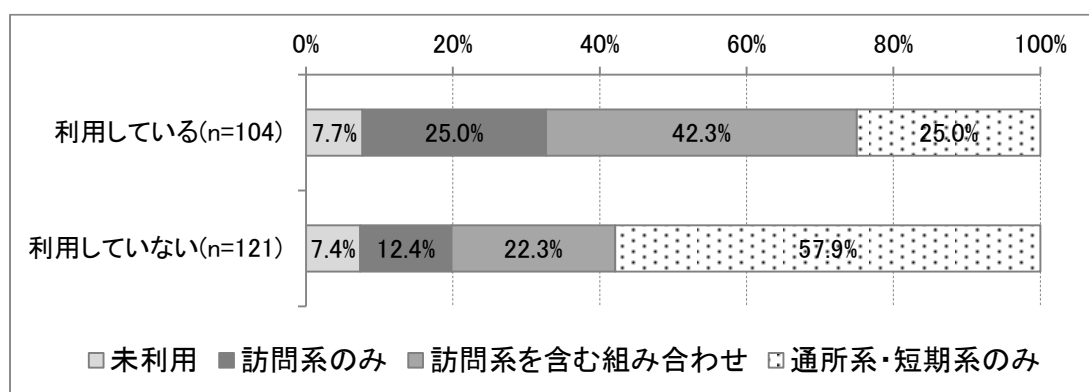
【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上の「サービス利用の組み合わせ」を集計していません（図表5-7）。
- 特に、今後在宅で療養生活を送る医療ニーズの高い中重度の要介護者の増加が見込まれる地域では、今後どのようなサービスに対する利用ニーズが高まるかを予測することにもつながります。

【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）】

サービス利用の組み合わせを訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系を含む組み合わせ」が42.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が25.0%、「未利用」が7.7%となっている。「利用していない」では「通所系・短期系のみ」が57.9%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が22.3%、「訪問系のみ」が12.4%となっている。

図表5-7 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の組み合わせ（要介護3以上）〈***〉



(4) 訪問診療の利用の有無別の訪問系・通所系・短期系サービスの利用の有無

【着目すべきポイント】

- 訪問診療の利用の有無別に、要介護3以上について、訪問系・通所系・短期系のそれぞれのサービス利用の有無を集計しています（図表5-8～図表5-10）。
- 地域によっては、例えば「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない場合に、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なることも想定されます。

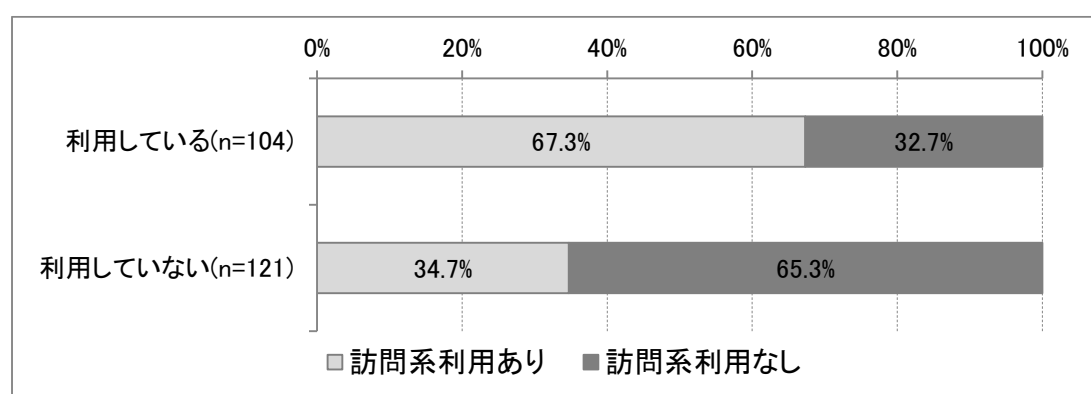
【留意事項】

- 上記の例のように、訪問診療の利用の有無で短期系の利用割合が大きく異なる場合についても、必ずしも「医療ニーズの高い要介護者」の受け入れが可能なショートステイが十分に整っていない」ことに原因があるとは限りません。
- 集計分析結果の解釈は、地域の実情等に照らし合わせながら、専門職を含む関係者間での議論・考察を経て行うことが必要です。

【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】

訪問系の利用の有無を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「訪問系利用あり」が67.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系利用なし」が32.7%となっている。「利用していない」では「訪問系利用なし」が65.3%ともっとも割合が高く、次いで「訪問系利用あり」が34.7%となっている。

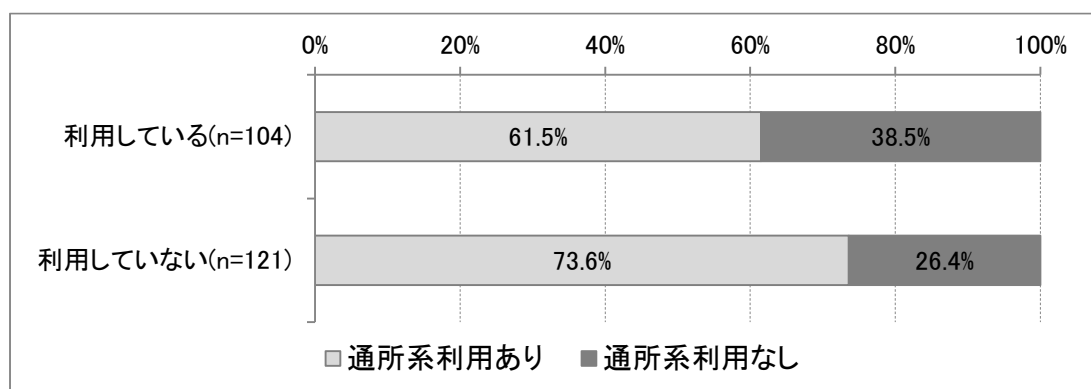
図表5-8 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）〈***〉



【★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上)】

通所系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「通所系利用あり」が61.5%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が38.5%となっている。「利用していない」では「通所系利用あり」が73.6%と最も割合が高く、次いで「通所系利用なし」が26.4%となっている。

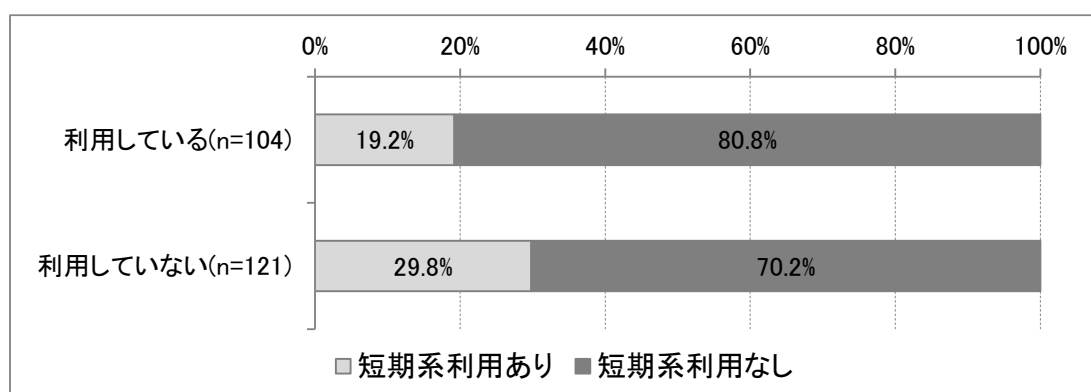
図表 5-9 ★訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無(通所系、要介護3以上) <+>



【★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上)】

短期系の利用の有無(定期巡回を除く)を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「短期系利用なし」が80.8%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が19.2%となっている。「利用していない」では「短期系利用なし」が70.2%と最も割合が高く、次いで「短期系利用あり」が29.8%となっている。

図表 5-10 ★訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無(短期系、要介護3以上) <+>



5.3 考察

(1) 医療ニーズのある要介護者の在宅療養生活を支える新たな支援・サービスの検討

- ・要介護度別の「訪問診療の利用の有無」から、要介護度の重度化に伴い、訪問診療の利用割合が増加する傾向がみられました。(図表 5-6)
- ・今後は、「介護と医療の両方のニーズを持つ在宅療養者」の大幅な増加が見込まれることから、このようなニーズに対して、如何に適切なサービス提供体制を確保していくかが重要な課題となります。
- ・また医療ニーズのある利用者に対応することができる介護保険サービスとして、「通いを中心とした包括的サービス拠点」の一つとして看護小規模多機能型居宅介護、「訪問介護・看護の包括的サービス拠点」として、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用促進を図ることなどが考えられます。

6 その他（サービス未利用の理由など）

- 各地域において支援・サービスの提供体制の構築を含む各種の取組を検討する際に、参考になると考えられるいくつかの集計結果を整理しています。必要に応じてご活用ください。

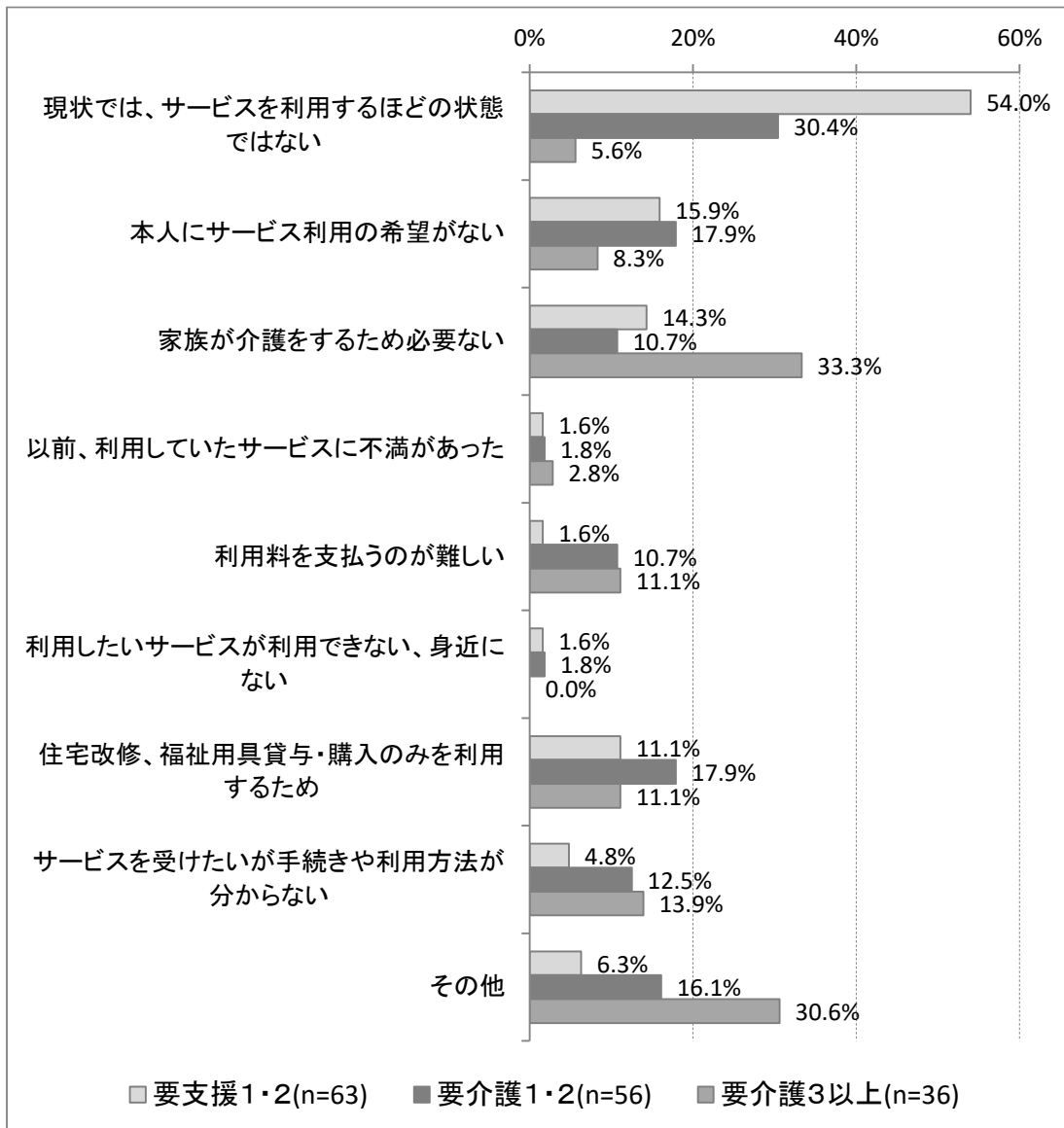
6.1 集計結果（参考）

(1) 要介護度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【要介護度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が54.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が15.9%、「家族が介護をするため必要ない」が14.3%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が30.4%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が17.9%、「その他」が16.1%となっている。「要介護3以上」では「家族が介護をするため必要ない」が33.3%と最も割合が高く、次いで「その他」が30.6%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が13.9%となっている。

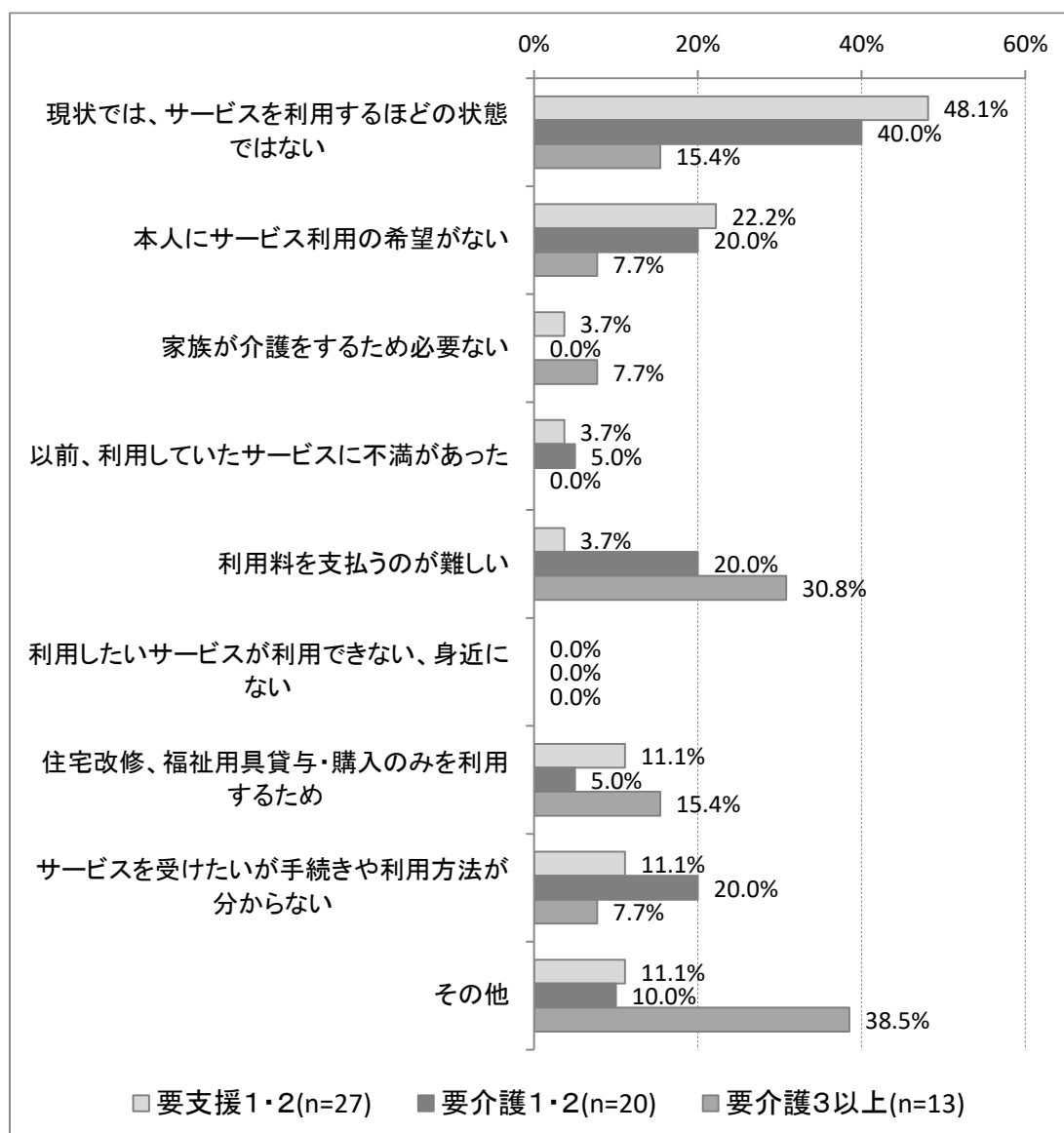
図表 6-1 要介護度別の★サービス未利用の理由



【要介護度別の★サービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が48.1%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が22.2%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が11.1%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「利用料を支払うのが難しい」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が20.0%、「その他」が10.0%となっている。「要介護3以上」では「その他」が38.5%ともっとも割合が高く、次いで「利用料を支払うのが難しい」が30.8%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が15.4%となっている。

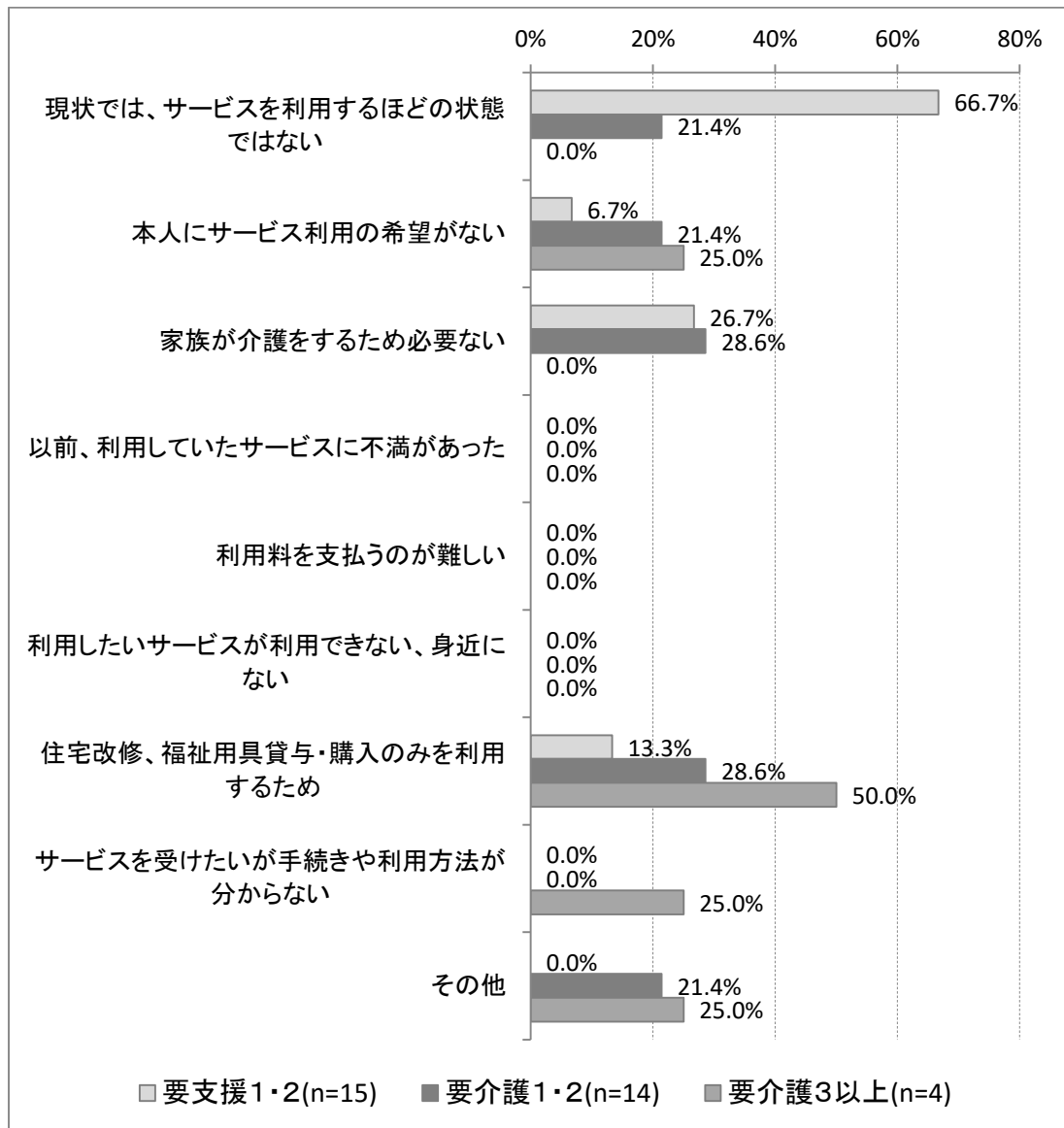
図表 6-2 要介護度別の★サービス未利用の理由(単身世帯)



【要介護度別の★サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が66.7%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が26.7%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が13.3%となっている。「要介護1・2」では「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が28.6%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」、「その他」が21.4%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。「要介護3以上」では「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が25.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が0.0%となっている。

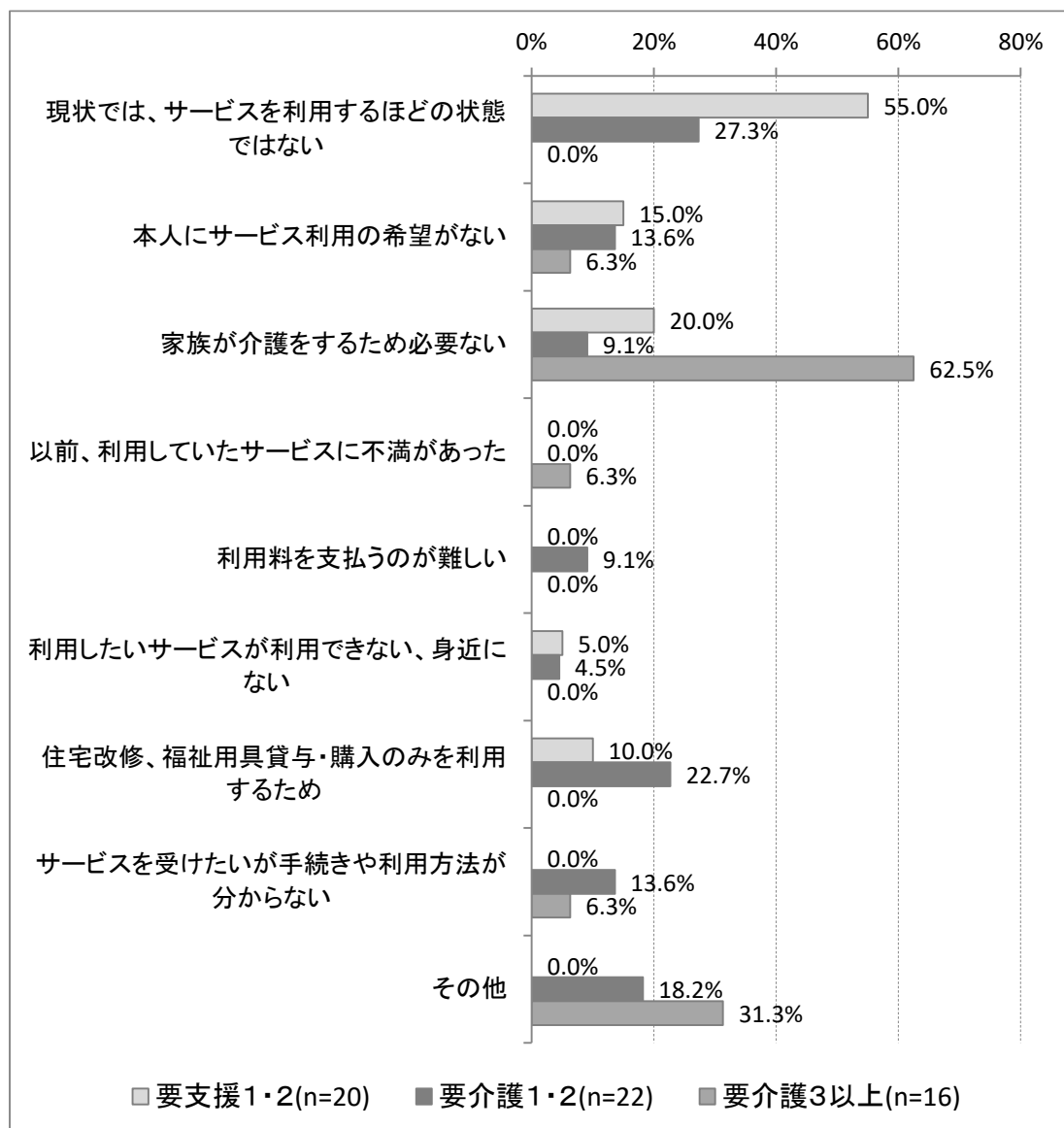
図表 6-3 要介護度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）



【要介護度別の★サービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.0%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が20.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が15.0%となっている。「要介護1・2」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が27.3%と最も割合が高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が22.7%、「その他」が18.2%となっている。「要介護3以上」では「家族が介護をするため必要ない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「その他」が31.3%、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が6.3%となっている。

図表 6-4 要介護度別の★サービス未利用の理由（その他世帯）

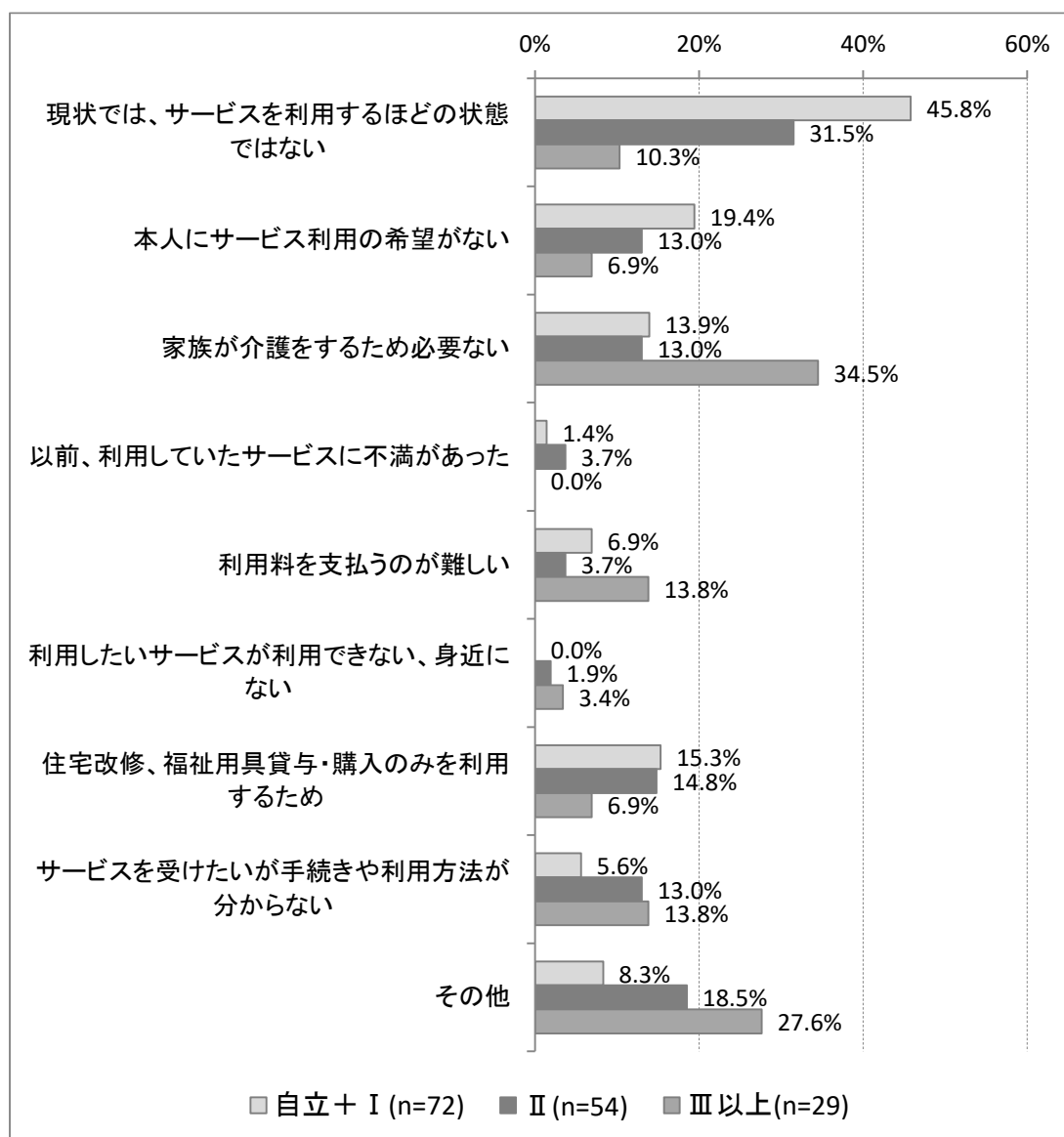


(2) 認知症自立度別・世帯類型別のサービス未利用の理由

【認知症自立度別の★サービス未利用の理由】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が45.8%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が19.4%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が15.3%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が31.5%と最も割合が高く、次いで「その他」が18.5%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が14.8%となっている。「Ⅲ以上」では「家族が介護をするため必要ない」が34.5%と最も割合が高く、次いで「その他」が27.6%、「利用料を支払うのが難しい」が13.8%となっている。

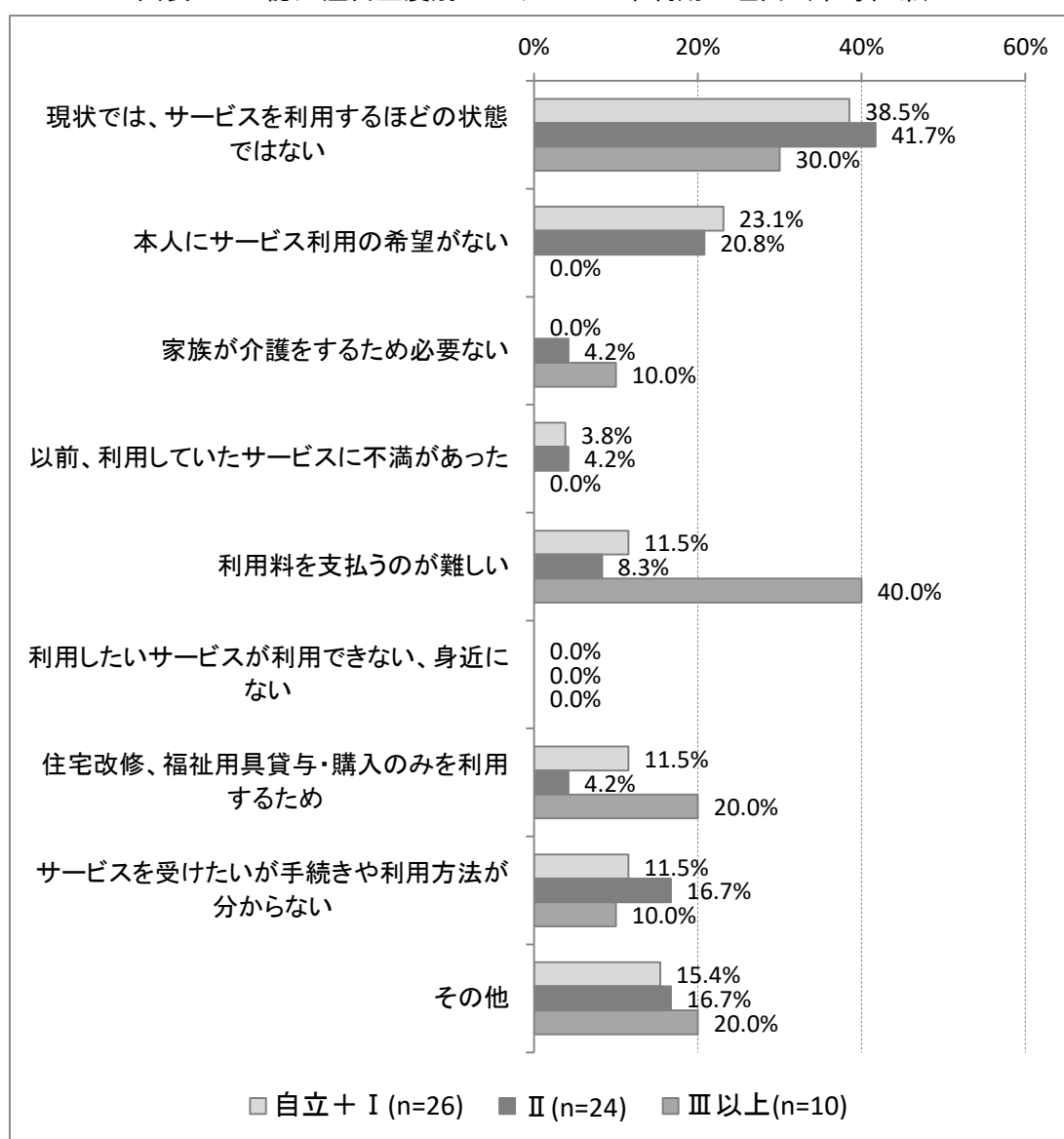
図表 6-5 認知症自立度別の★サービス未利用の理由



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(単身世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が38.5%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.1%、「その他」が15.4%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が41.7%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が20.8%、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」、「その他」が16.7%となっている。「Ⅲ以上」では「利用料を支払うのが難しい」が40.0%ともっとも割合が高く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が30.0%、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が20.0%となっている。

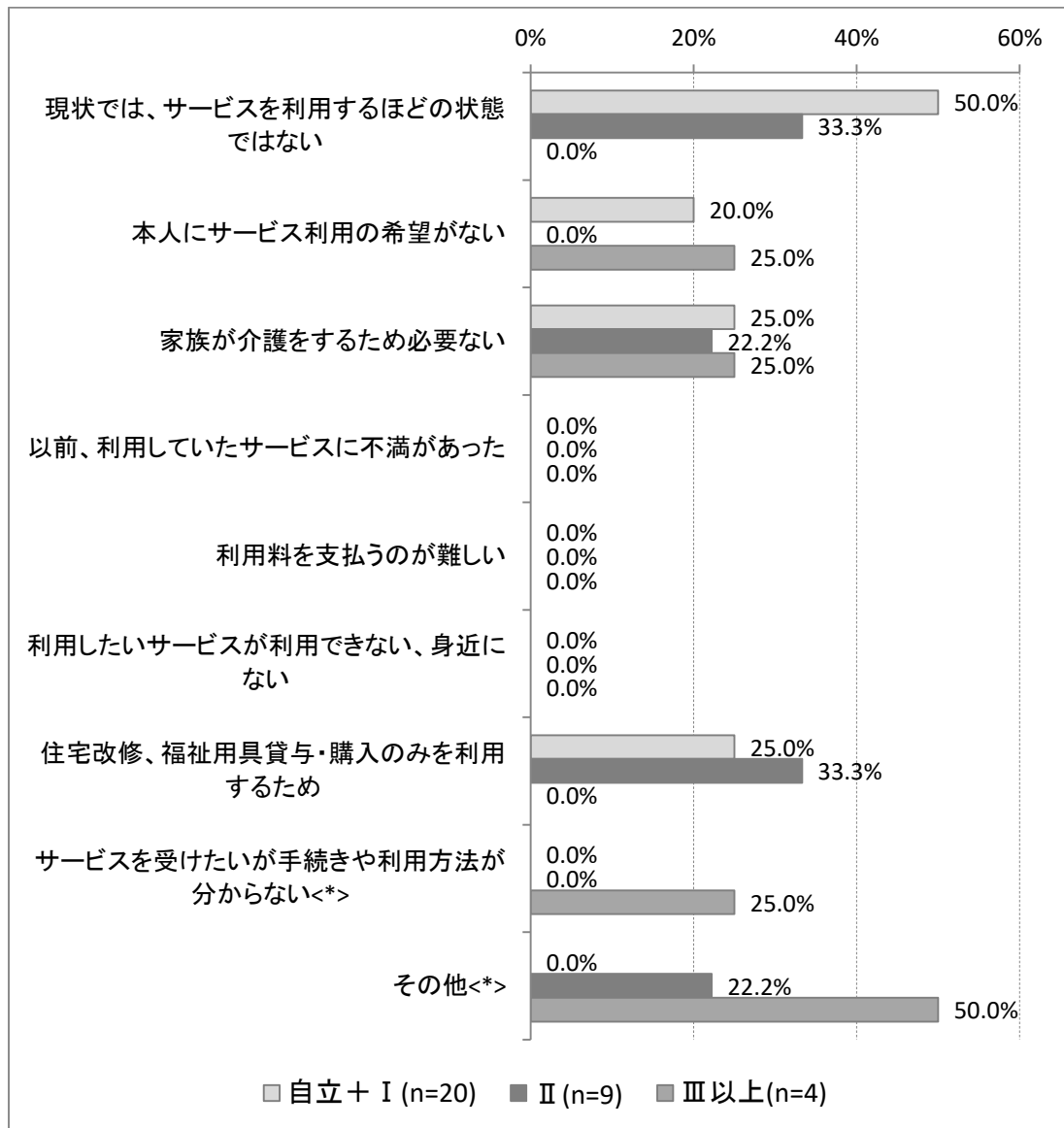
図表 6-6 認知症自立度別の★サービス未利用の理由 (単身世帯)



【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(夫婦のみ世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が25.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が20.0%となっている。「Ⅱ」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が33.3%ともっとも割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」、「その他」が22.2%、「本人にサービス利用の希望がない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が0.0%となっている。「Ⅲ以上」では「その他」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「家族が介護をするため必要ない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が25.0%、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用料を支払うのが難しい」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が0.0%となっている。

図表 6-7 認知症自立度別の★サービス未利用の理由（夫婦のみ世帯）

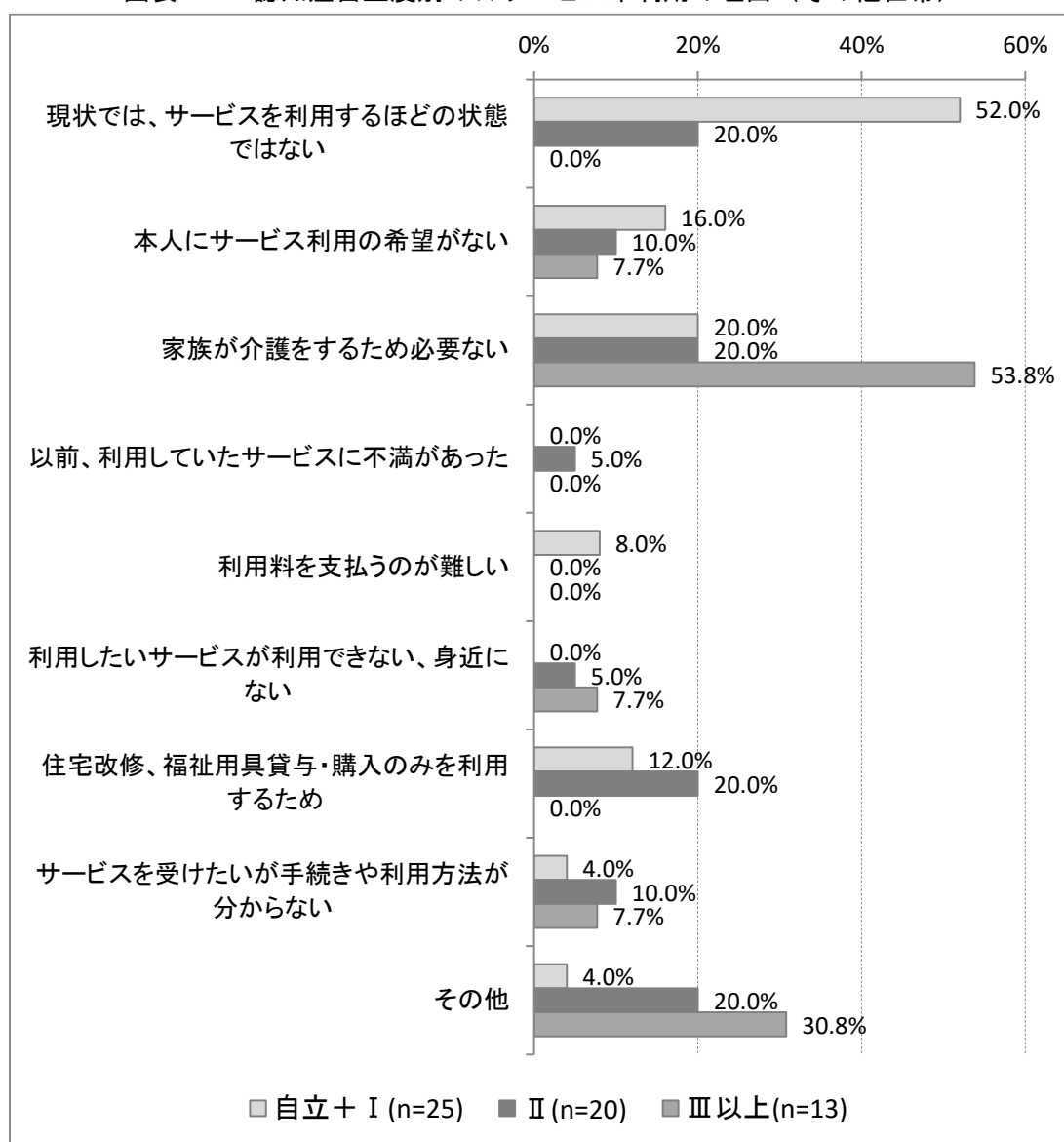


【認知症自立度別の★サービス未利用の理由(その他世帯)】

未利用の理由を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が52.0%と最も割合が高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が20.0%、「本人にサービス利用の希望がない」が16.0%となっている。

「II」では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「家族が介護をするため必要ない」、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」、「その他」が20.0%と最も割合が高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が10.0%、「以前、利用していたサービスに不満があった」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」が5.0%となっている。「III以上」では「家族が介護をするため必要ない」が53.8%と最も割合が高く、次いで「その他」が30.8%、「本人にサービス利用の希望がない」、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」が7.7%となっている。

図表 6-8 認知症自立度別の★サービス未利用の理由 (その他世帯)

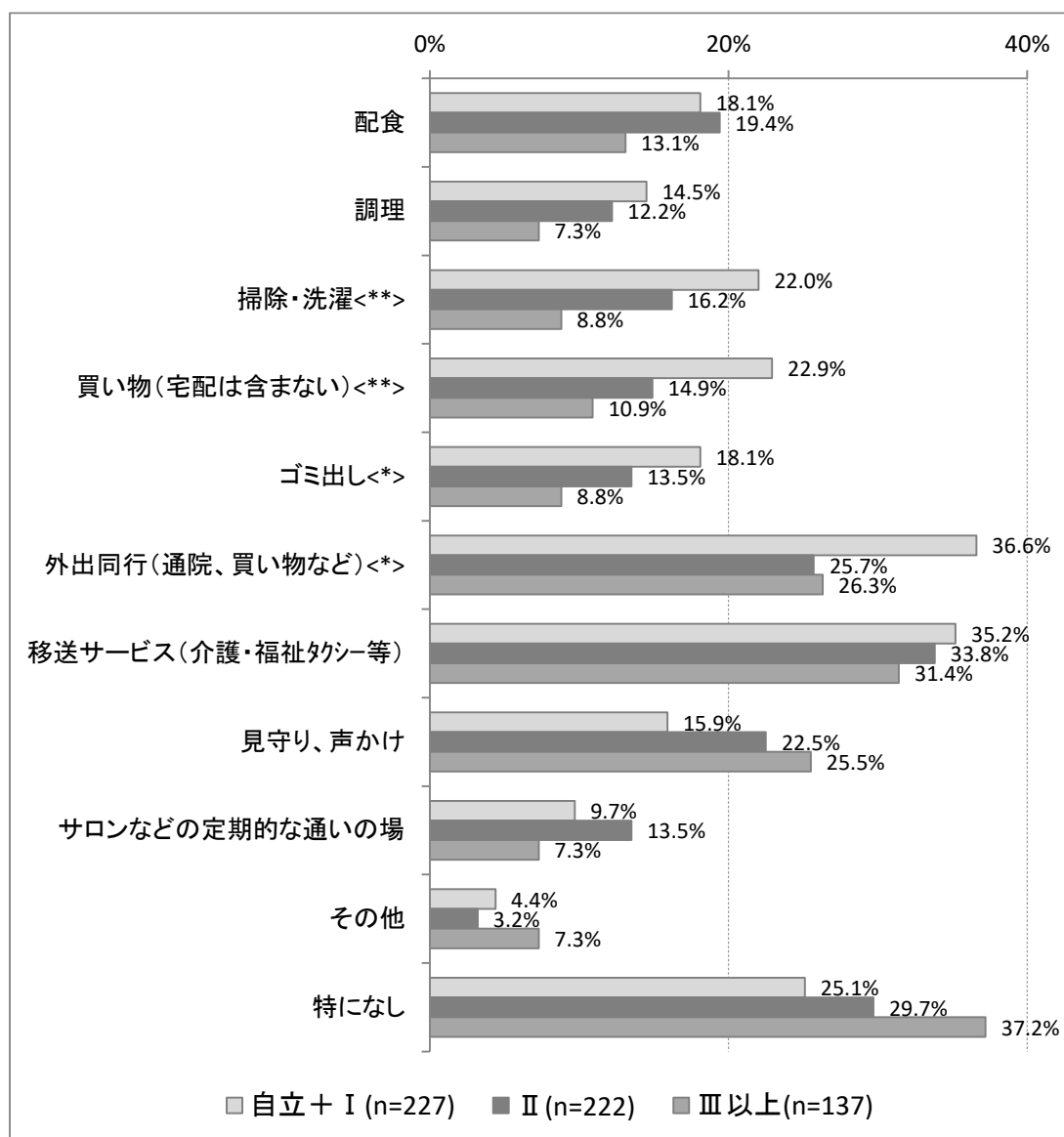


(3) 認知症自立度別の今後の在宅生活に必要と感じる支援・サービス

【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行（通院、買い物など）」が36.6%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が35.2%、「特になし」が25.1%となっている。「Ⅱ」では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.8%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が29.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.3%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が37.2%ともっとも割合が高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が31.4%、「外出同行（通院、買い物など）」が26.3%となっている。

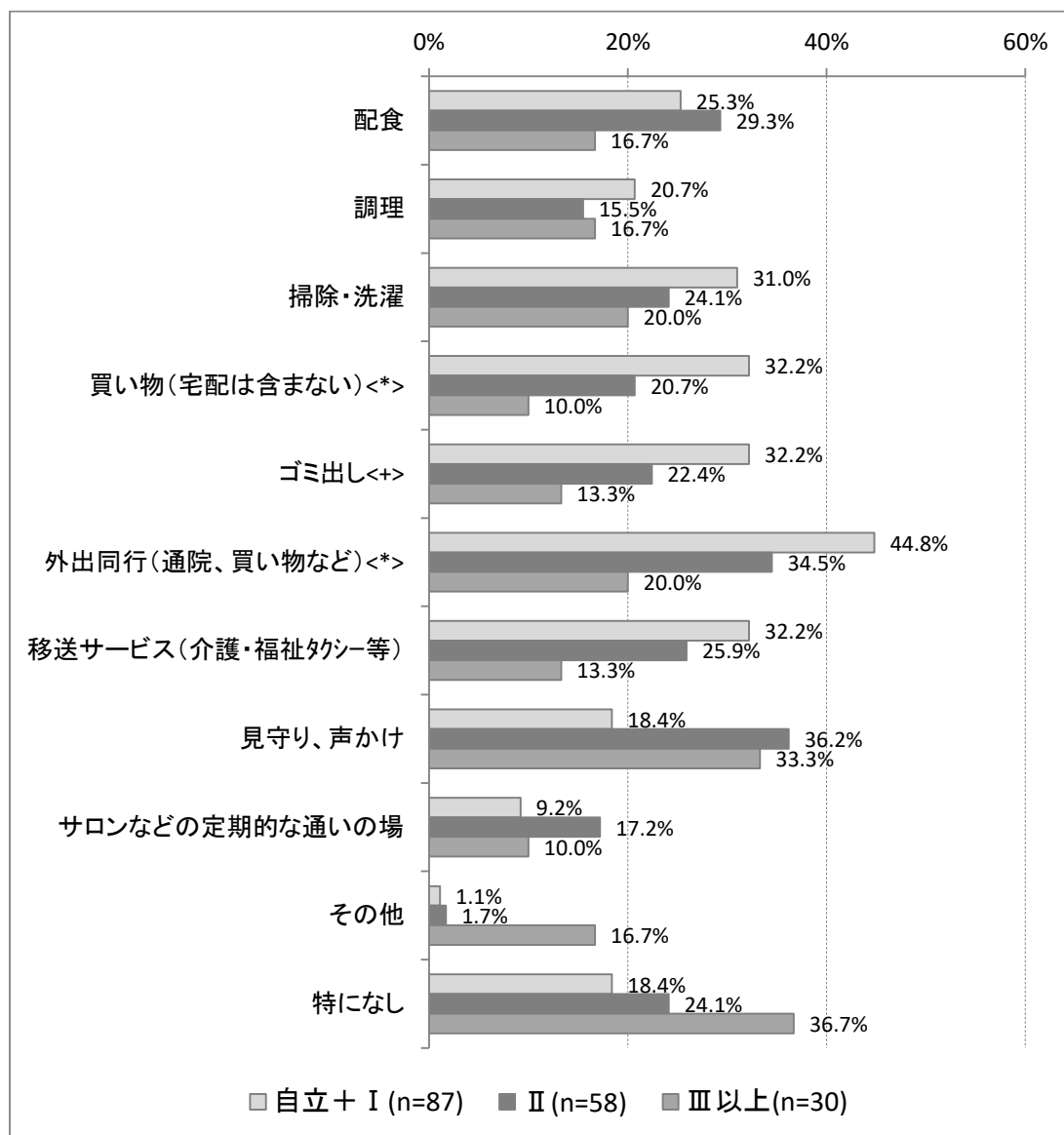
図表 6-9 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行(通院、買い物など)」が44.8%ともっとも割合が高く、次いで「買い物(宅配は含まない)」、「ゴミ出し」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が32.2%、「掃除・洗濯」が31.0%となっている。「Ⅱ」では「見守り、声かけ」が36.2%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が34.5%、「配食」が29.3%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が36.7%ともっとも割合が高く、次いで「見守り、声かけ」が33.3%、「掃除・洗濯」、「外出同行(通院、買い物など)」が20.0%となっている。

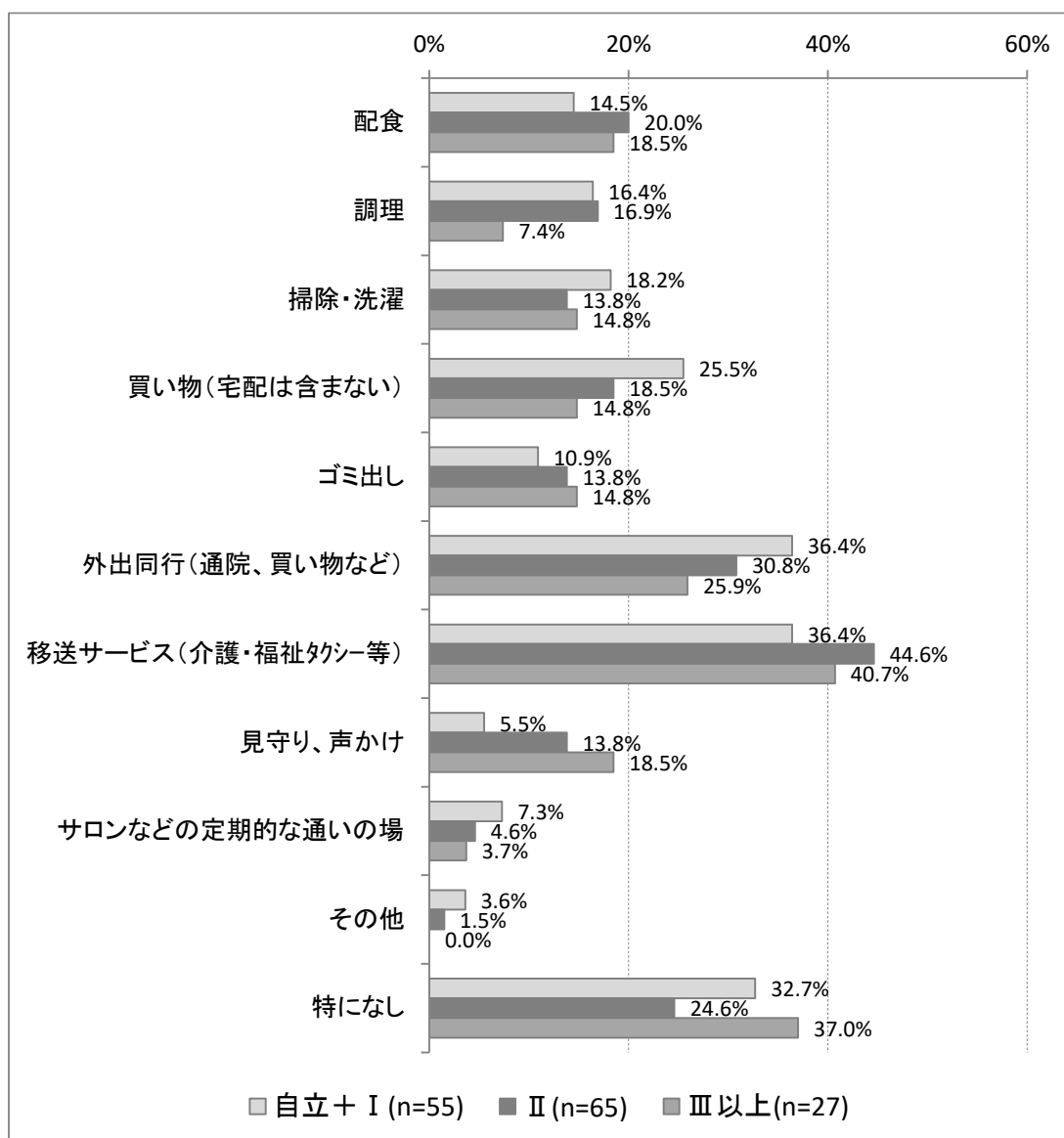
図表 6-10 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(単身世帯)



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(夫婦のみ世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出同行(通院、買い物など)」、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が36.4%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が32.7%、「買い物(宅配は含まない)」が25.5%となっている。「Ⅱ」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が44.6%ともっとも割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が30.8%、「特になし」が24.6%となっている。「Ⅲ以上」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が40.7%ともっとも割合が高く、次いで「特になし」が37.0%、「外出同行(通院、買い物など)」が25.9%となっている。

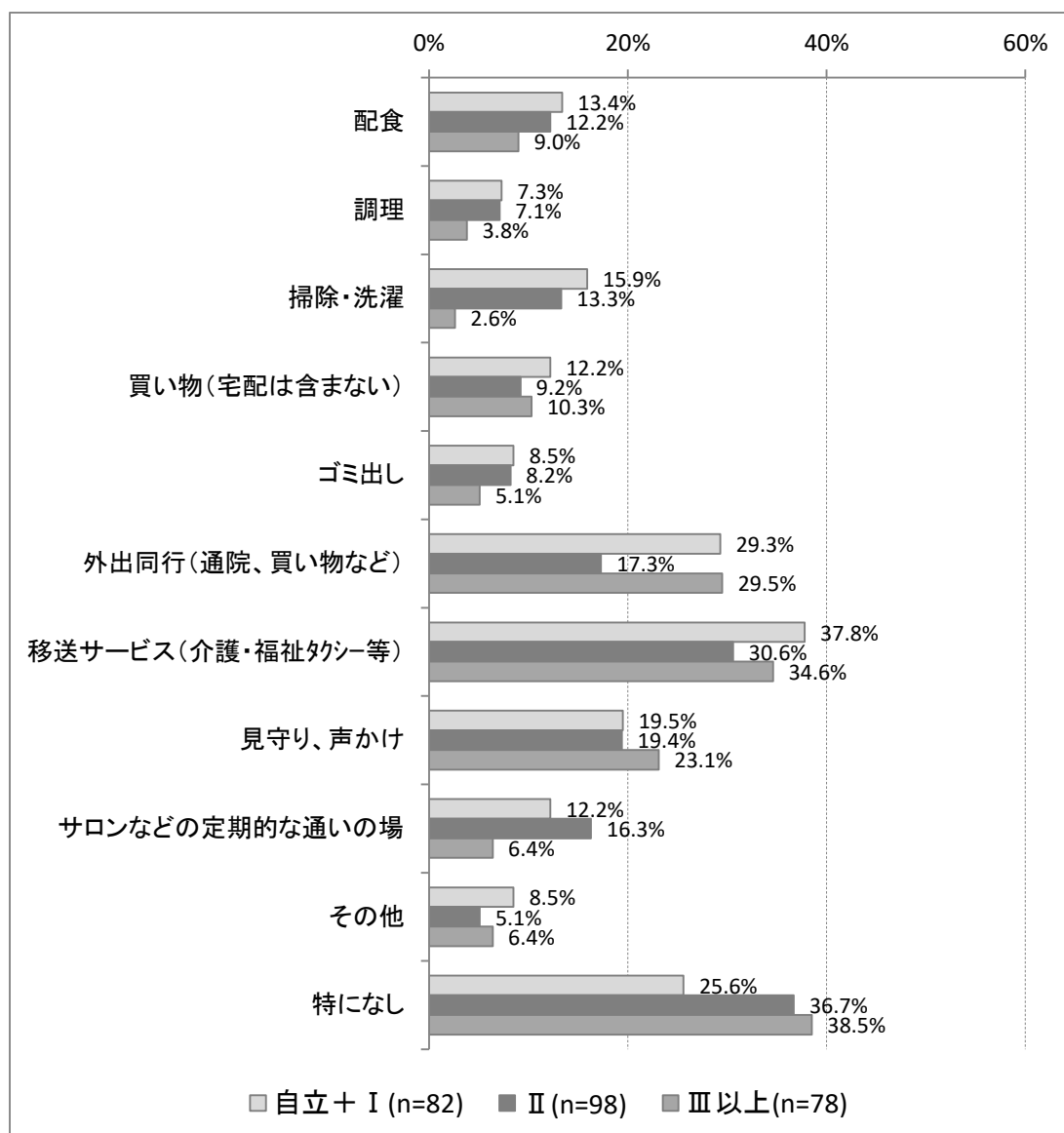
図表 6-11 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス
(夫婦のみ世帯)



【認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)】

保険外の支援・サービスの必要性を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が37.8%と最も割合が高く、次いで「外出同行(通院、買い物など)」が29.3%、「特になし」が25.6%となっている。「Ⅱ」では「特になし」が36.7%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が30.6%、「見守り、声かけ」が19.4%となっている。「Ⅲ以上」では「特になし」が38.5%と最も割合が高く、次いで「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が34.6%、「外出同行(通院、買い物など)」が29.5%となっている。

図表 6-12 認知症自立度別の★在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(その他世帯)



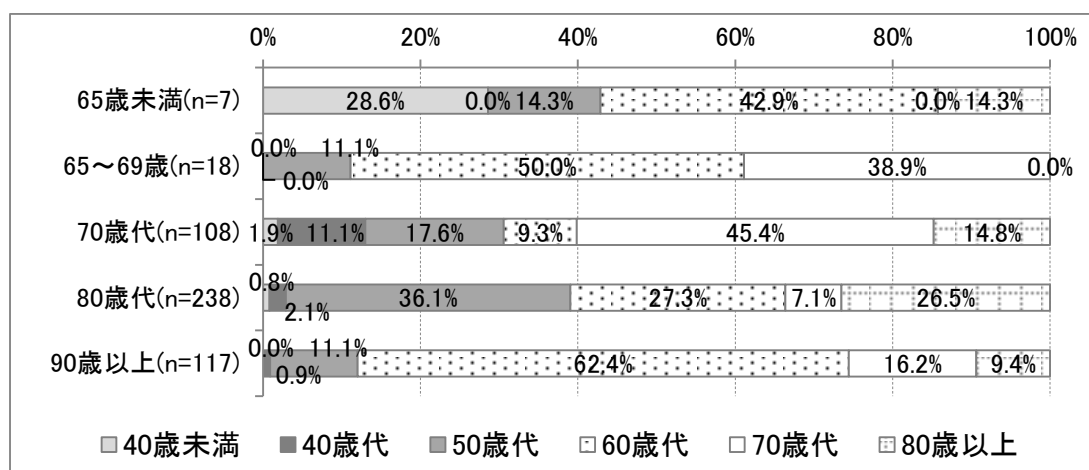
(4) 本人の年齢別・主な介護者の年齢

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「60歳代」が42.9%ともっとも割合が高く、次いで「40歳未満」が28.6%、「50歳代」、「80歳以上」が14.3%となっている。

「65～69歳」では「60歳代」が50.0%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が38.9%、「50歳代」が11.1%となっている。「70歳代」では「70歳代」が45.4%ともっとも割合が高く、次いで「50歳代」が17.6%、「80歳以上」が14.8%となっている。「80歳代」では「50歳代」が36.1%ともっとも割合が高く、次いで「60歳代」が27.3%、「80歳以上」が26.5%となっている。「90歳以上」では「60歳代」が62.4%ともっとも割合が高く、次いで「70歳代」が16.2%、「50歳代」が11.1%となっている。

図表 6-13 本人の年齢別・主な介護者の年齢<***>

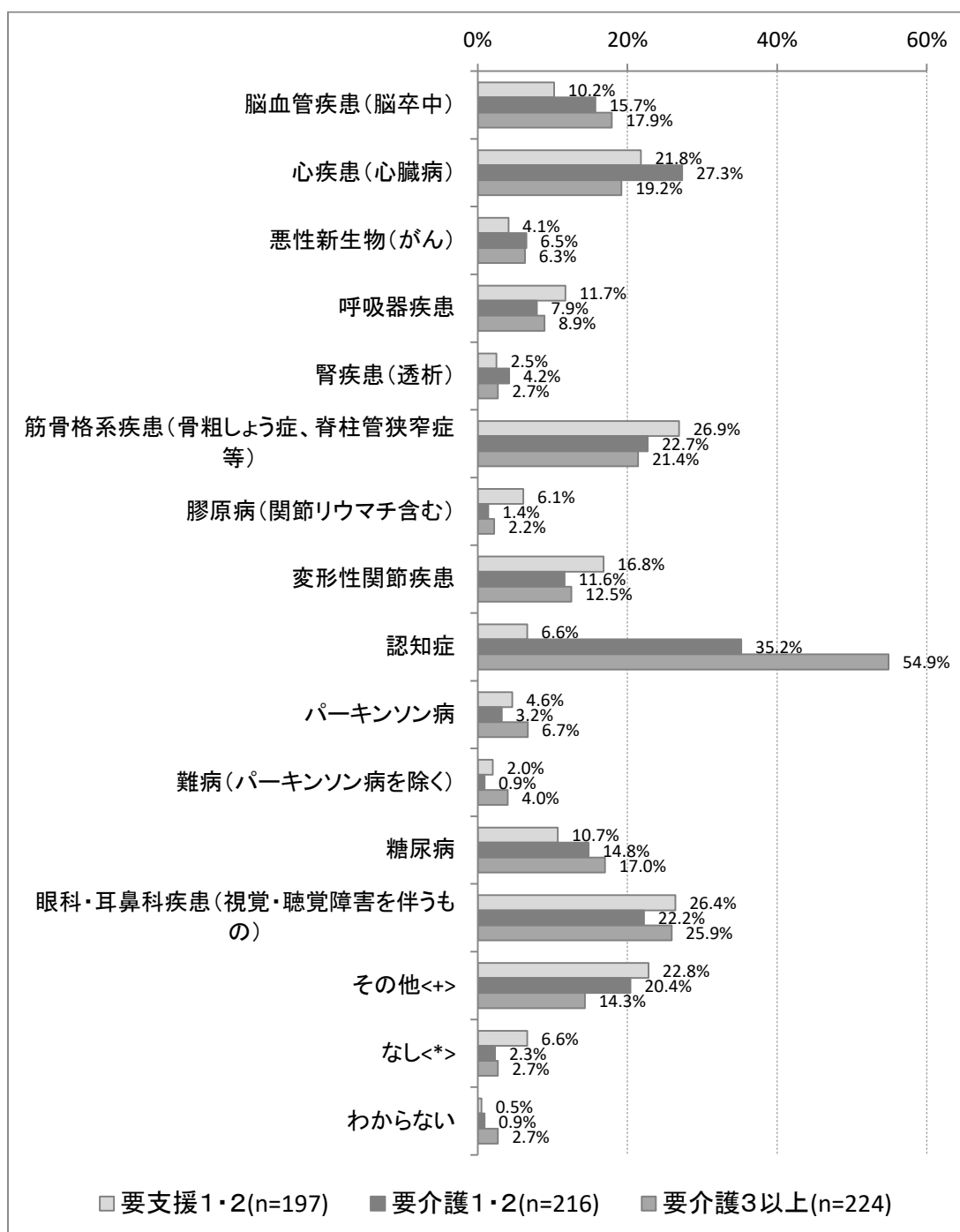


(5) 要介護度別の抱えている傷病

【要介護度別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が26.9%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.4%、「その他」が22.8%となっている。「要介護1・2」では「認知症」が35.2%ともっとも割合が高く、次いで「心疾患（心臓病）」が27.3%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が22.7%となっている。「要介護3以上」では「認知症」が54.9%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が25.9%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が21.4%となっている。

図表 6-14 要介護度別・★抱えている傷病

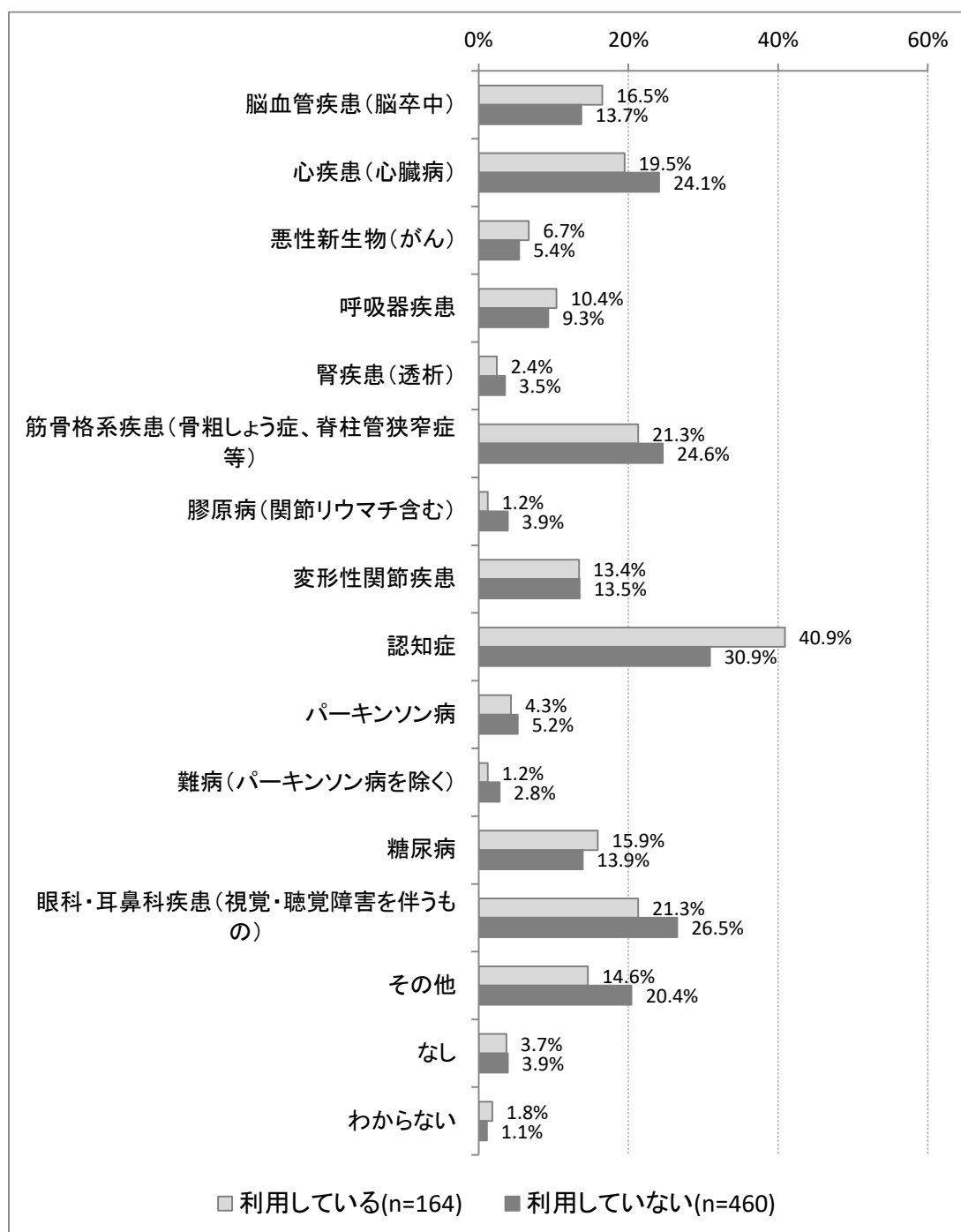


(6) 訪問診療の利用の有無別の抱えている傷病

【★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病】

抱えている傷病を訪問診療の利用の有無別にみると、「利用している」では「認知症」が40.9%ともっとも割合が高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が21.3%、「心疾患（心臓病）」が19.5%となっている。「利用していない」では「認知症」が30.9%ともっとも割合が高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.5%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が24.6%となっている。

図表 6-15 ★訪問診療の利用の有無別・★抱えている傷病

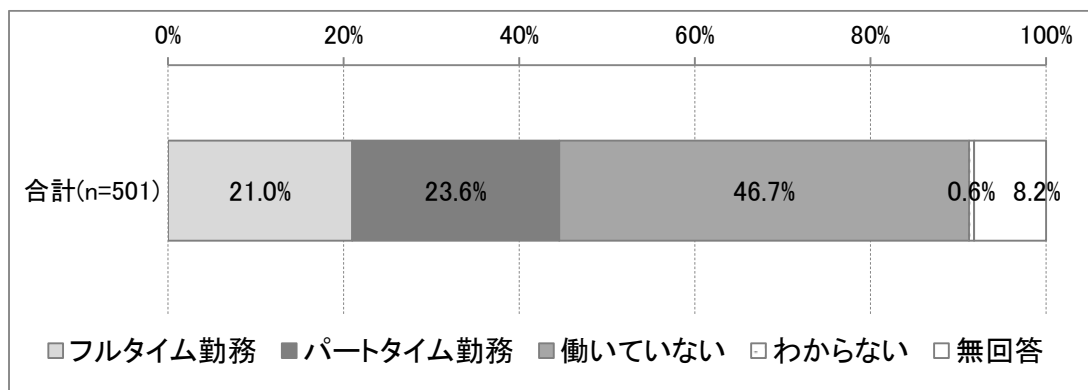


7 主な介護者用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 46.7%となっている。次いで、「パートタイム勤務 (23.6%)」、「フルタイム勤務 (21.0%)」となっている。

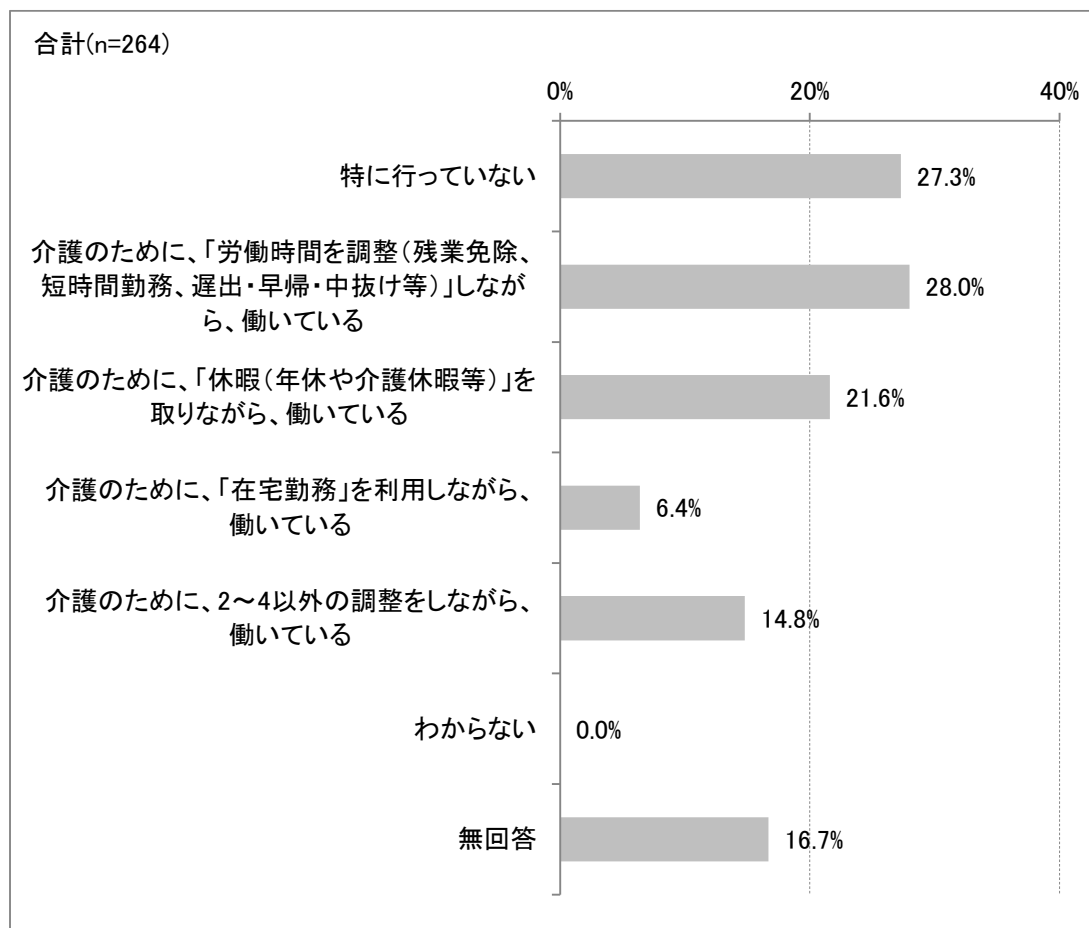
図表 7-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が最も高く 28.0%となっている。次いで、「特に行っていない（27.3%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（21.6%）」となっている。

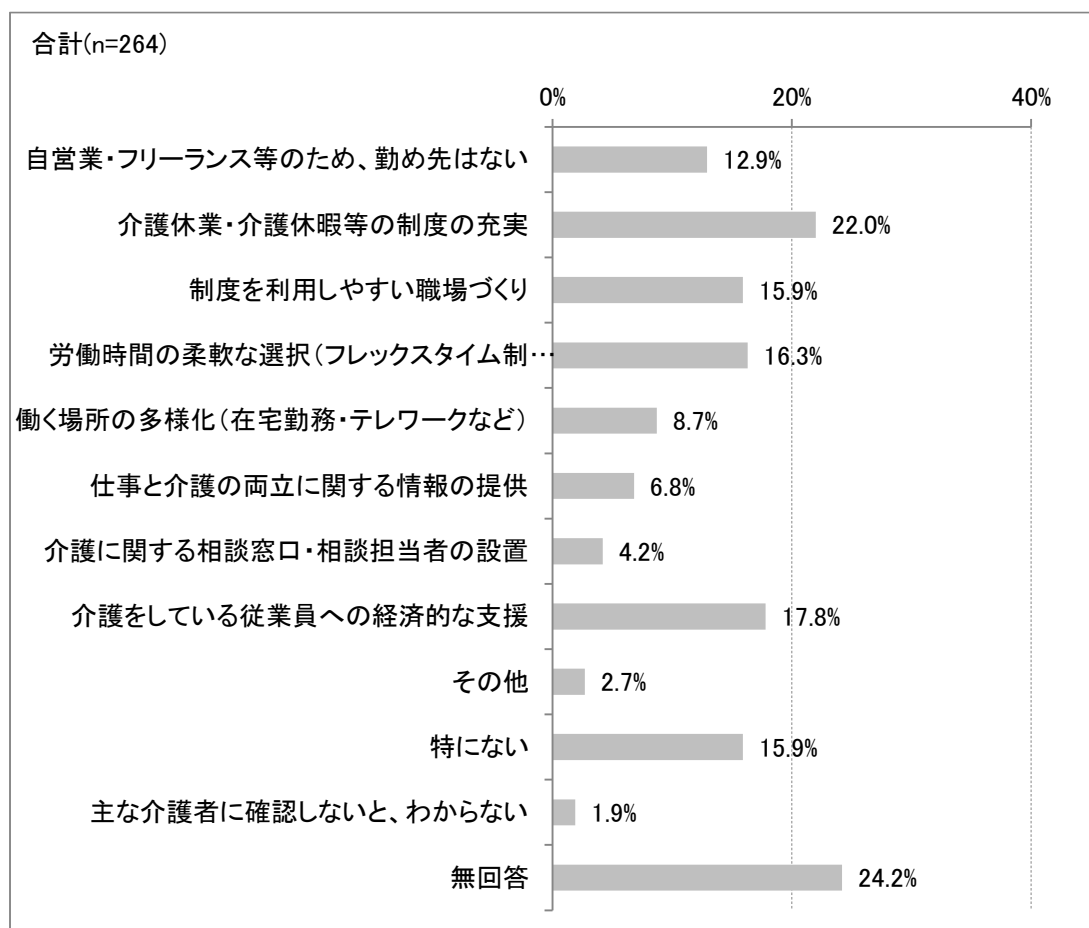
図表 7-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が最も高く 22.0%となっている。次いで、「介護をしている従業員への経済的な支援（17.8%）」、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）（16.3%）」となっている。

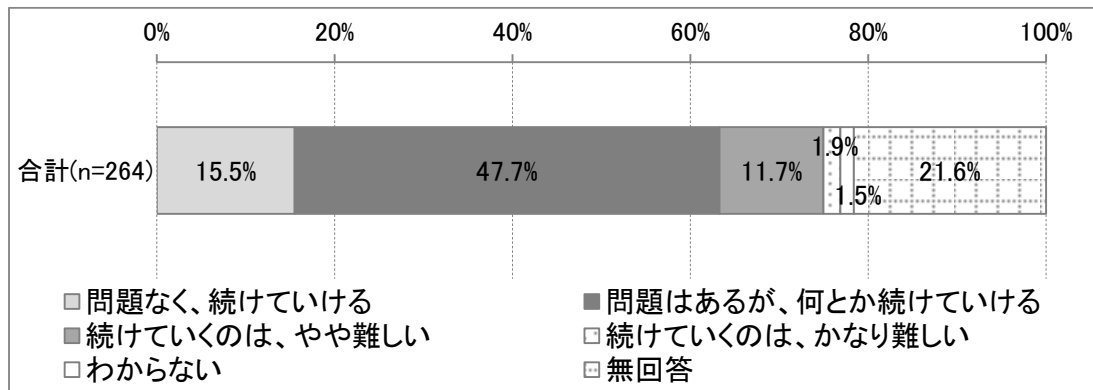
図表 7-3 ★就労の継続に向けて効果的であると考えられる勤め先からの支援（複数回答）



(4) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 47.7%となっている。次いで、「問題なく、続けていける (15.5%)」、「続けていくのは、やや難しい (11.7%)」となっている。

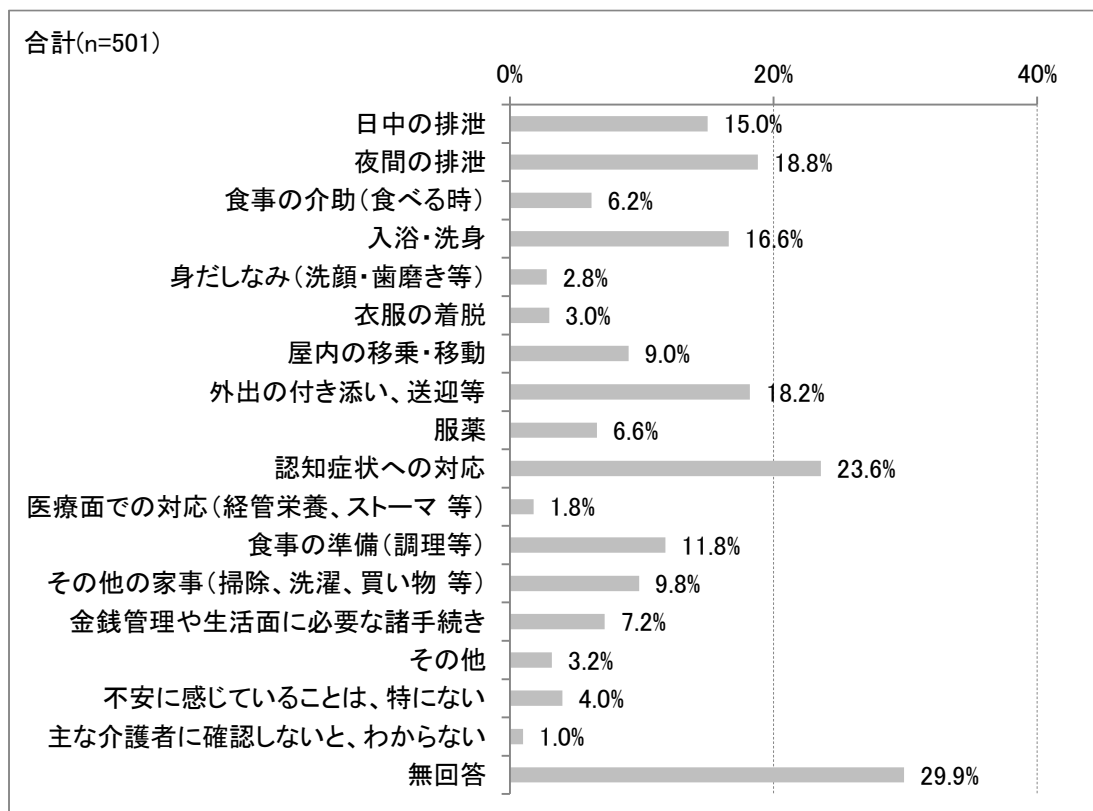
図表 7-4 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(5) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「認知症状への対応」の割合が最も高く 23.6%となっている。次いで、「夜間の排泄 (18.8%)」、「外出の付き添い、送迎等 (18.2%)」となっている。

図表 7-5 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

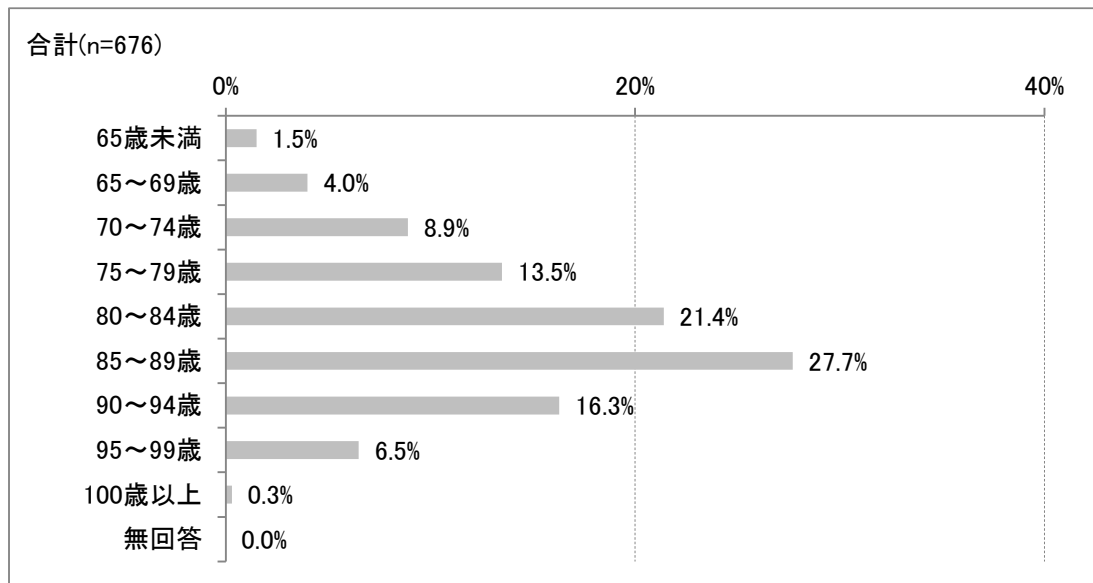


8 要介護認定データ（参考）

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く27.7%となっている。次いで、「80～84歳（21.4%）」、「90～94歳（16.3%）」となっている。

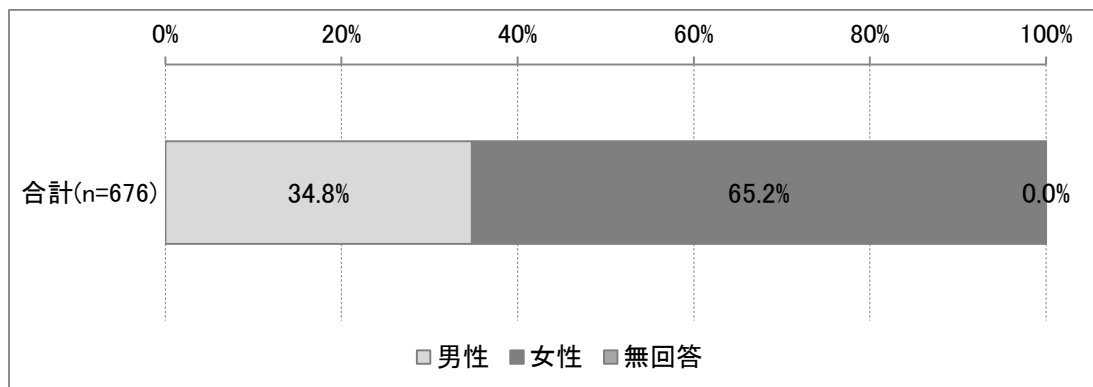
図表 8-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く65.2%となっている。次いで、「男性（34.8%）」となっている。

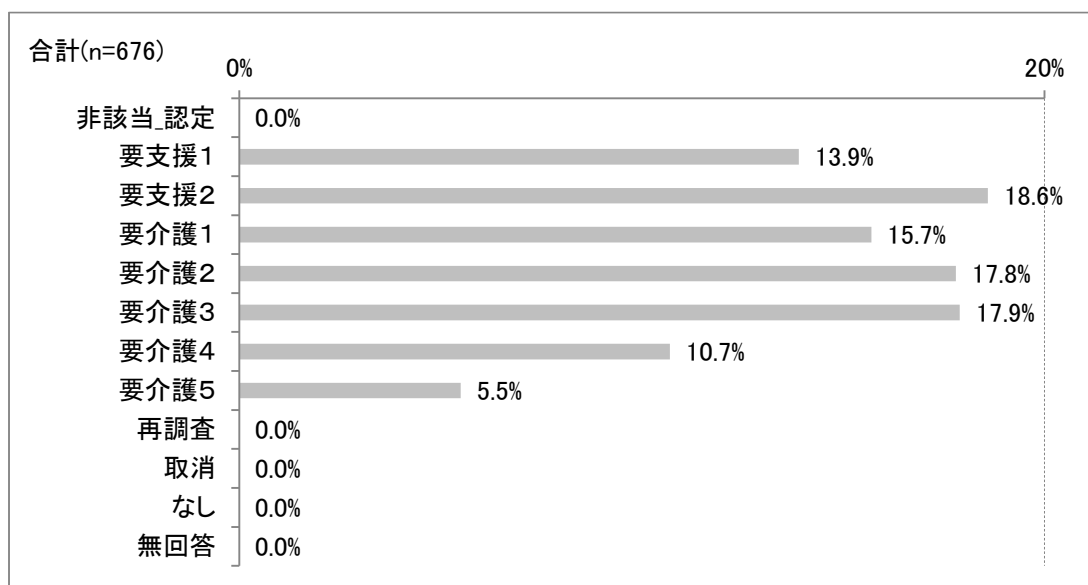
図表 8-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要支援2」の割合が最も高く18.6%となっている。次いで、「要介護3（17.9%）」、「要介護2（17.8%）」となっている。

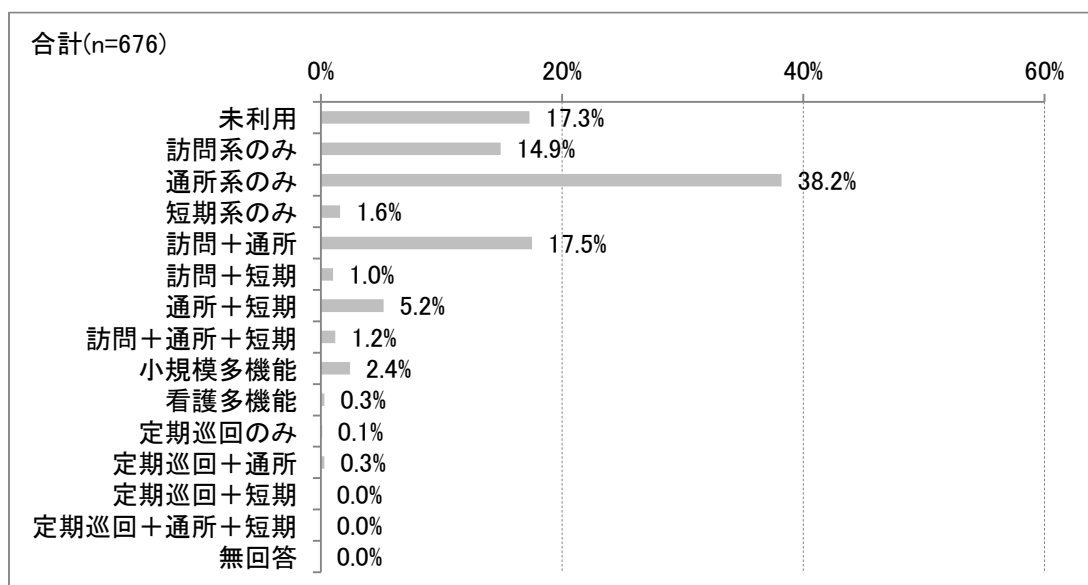
図表 8-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く38.2%となっている。次いで、「訪問+通所（17.5%）」、「未利用（17.3%）」となっている。

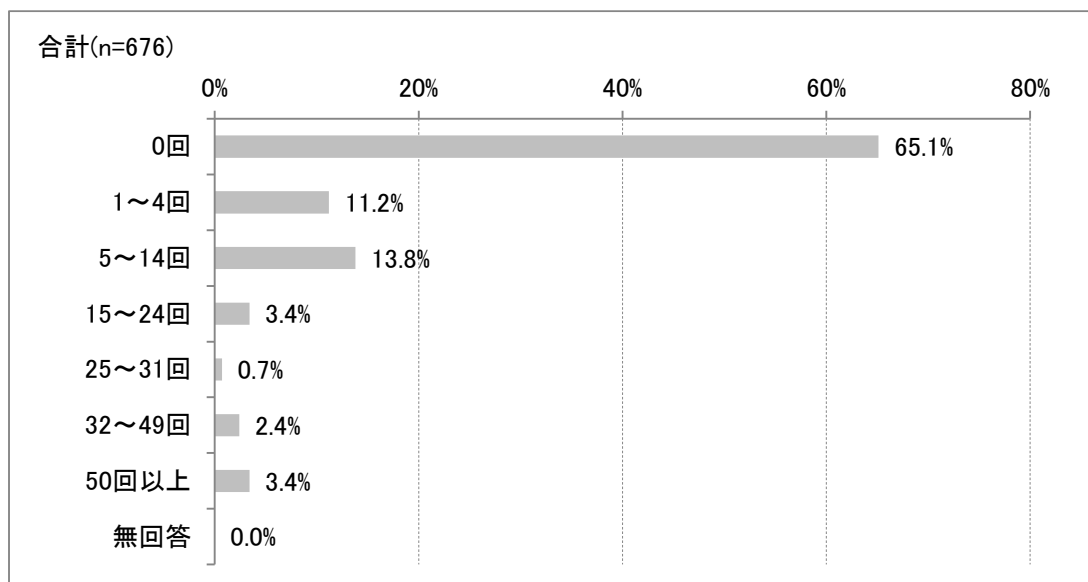
図表 8-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く65.1%となっている。次いで、「5～14回（13.8）」、「1～4回（11.2%）」となっている。

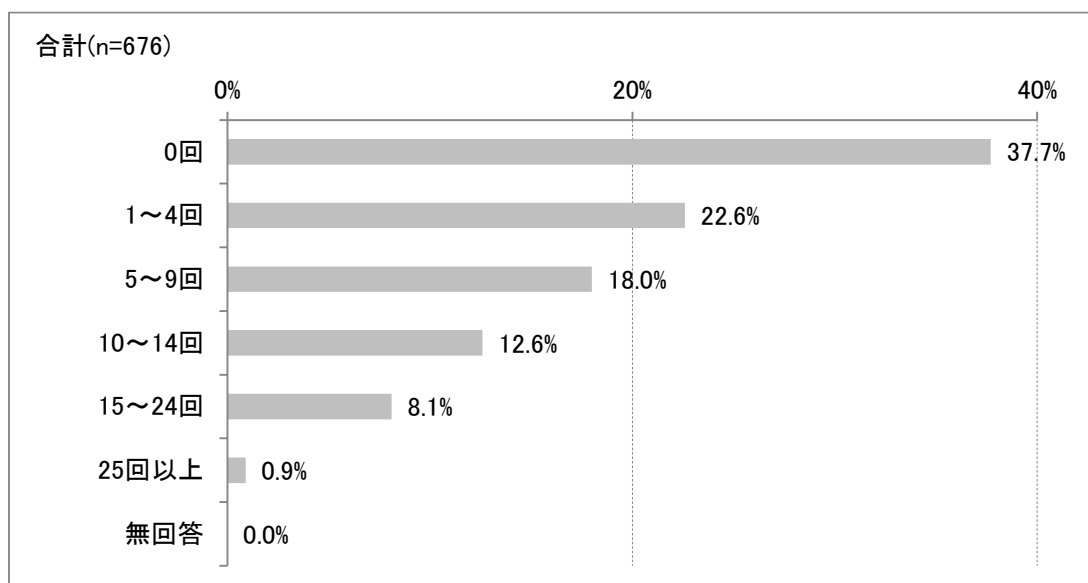
図表 8-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く37.7%となっている。次いで、「1～4回（22.6）」、「5～9回（18.0%）」となっている。

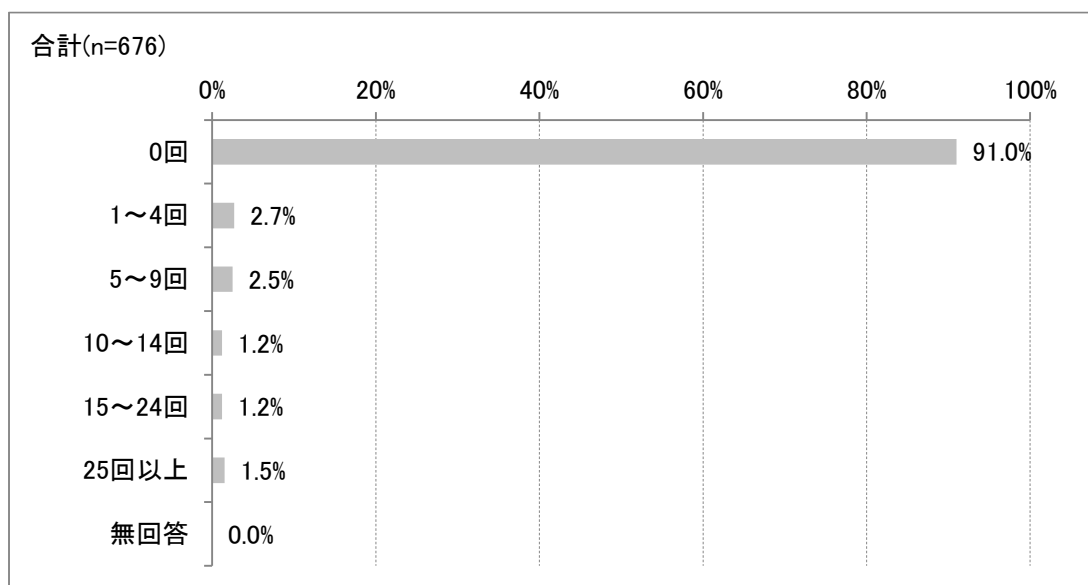
図表 8-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く91.0%となっている。次いで、「1～4回(2.7%)」、「5～9回(2.5%)」となっている。

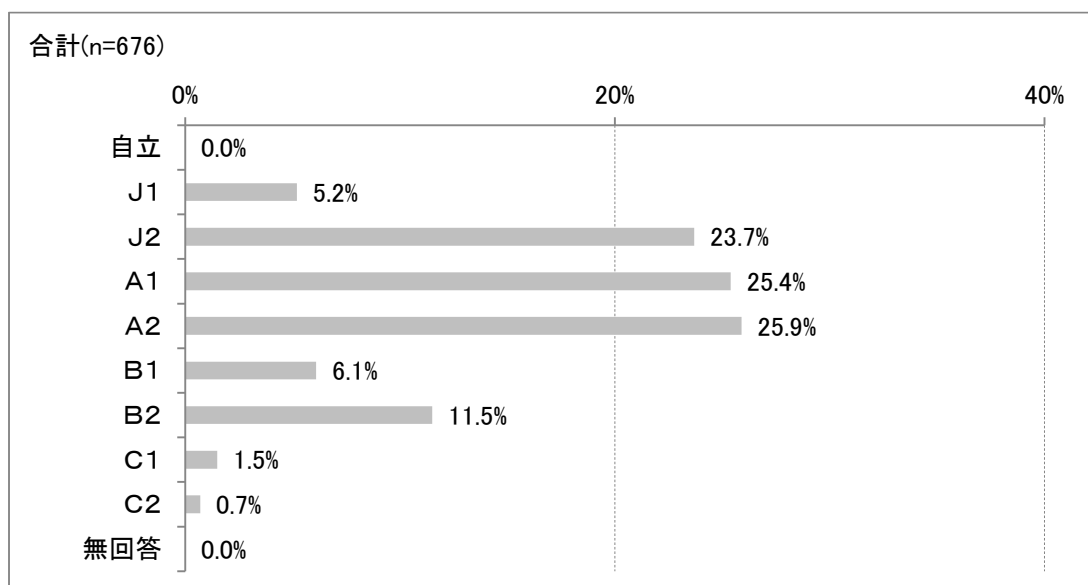
図表 8-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A2」の割合が最も高く25.9%となっている。次いで、「A1(25.4%)」、「J2(23.7%)」となっている。

図表 8-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く22.8%となっている。次いで、「II b (22.3%)」、「III a (18.2%)」となっている。

図表 8-9 認知症高齢者の日常生活自立度

